

わが国唯一のUFO専門誌

UFOと宇宙 第24号 昭和52年6月1日発行(年6回刊) 第4巻第24号 昭和52年1月14日国鉄首都特別扱承認雑誌第3043号

UFOと宇宙

UFOs & SPACE
隔月刊・1977・6月号

特集

戦後UFO30年史

- 英国南部に発生した驚くべき事件
ウィンチェスターに出現した
UFOと不思議な人間
- UFOが停電の犯人か
謎のニューヨークの大停電
- ジミーとジョージア州のUFO騒動
カーター大統領はUFOを見た!
- NASAは重大な秘密を隠している——
火星には生命が存在する?

もしも華麗なる変身をお望みならば……………

心を籠めたツクダ通販の誌上ショッピングをお役立てください。



サンビーム

●室内で日焼け・日光浴！
女性用化粧品が「小麦色の肌」をテーマにする最近、男たるもの女性に敗てはられない。敵が小麦色の肌なら、こちらは一步進んだ「褐色の肌」といこう。紫外線健康ランプ「サンビーム」は室内で日焼け・日光浴ができる新しい男の道具だ。1日5～15分ずつ1週間も続けると見事な褐色の肌のできあがり!! 「サンビーム」はキミの部屋の太陽だ。



¥8,700(千共)

スーパーレイ

●重宝な家庭用紫外線治療器
カッコいいスポーツマンやドライバーなどの中に意外と多いのが、頑癬(いんきん・たむし)や痔。これらのカユキや痛さは、体験者でなければ到底わからない。そうした諸君にぜひ推せんしたいのが紫外線治療器「スーパーレイ」。これは、頑癬や痔だけでなく、水虫湿疹・円形脱毛症(毛根残存の場合)などにも効果的という重宝なもの。使用法は1日数10秒患部を照射するだけと簡単だ。



¥23,000(千共)

保護メガネキャップ付
1年間保証

ジャームオイルE-S

●持久力をつくる新しい健康食品

「ジャームオイルE-S」は、ビタミンEを豊富に含む小麦胚芽油に紅花油を加えた健康食品。欧米では、オリンピック選手は勿論、受験競争に勝ちぬくために必要な健康食品として広く知られています。



270粒入 ¥3,600(千共)

プロテイン85

●ヤングの体力をパワー・アップ!
われわれのカラダを構成する骨や筋肉・血液・内臓などの主成分であるタンパク質をたっぷり含んだ植物性の体力強化食品がこの「プロテイン85」。大豆タンパクを中心小麥胚芽油、レシチンなどを配合したものです。



明治製菓の健康食品

480g入 ¥3,000(千共)

読書スタンド

●ゴロ寝読書の新兵器

文庫判から週刊誌大(厚さ5cm・重き900g)までの本がセットでき本の位置は寝返り状態にあわせて調節できる。また、スタンドには照明ランプが組込まれている親切設計で、目の疲れが少ない。



¥8,400(千共)

コインキャッチ

●自動販売機時代の新しい財布
「コインキャッチ」は、10円・50円・100円硬貨をスライド式に分類セットできる便利な財布。ベルトにも取り付けられるので、ドライバーにもピッタリ!
皮製で色は黒・赤・緑・紺・茶の5色。ご注文の際はご希望の色を指定してください。(カタログなし)



¥1,500(千共)

無料進呈
カタログ

カタログのお申込みはハガキか電話で右の通信販売元へ。
商品は当社が責任をもってお届け致します。

〒〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
お名前
お住所
お電話番号

商品名

20円 郵便はがき

東京都中央区
一丁目三十四
ツクダ通販株
UF係

☎03-543-2733(代)

受付時間 9:30~18:00

(土・日・祭日は休み)

ツクダ通販(株)

〒104 東京都中央区築地1-3-4

資料請求券
UF 5枚
52



驚異の円盤_{2機}出現

●1967年3月15日午後4時、ペルー、ヨンガイ上空を飛ぶ2機のUFOを、アウグスト・アラランダ氏が撮影した。太陽光を反射する物体はしばらく空中に停止したあと、北東の方向へ飛び去った。

UFOs OVER PERU

Two UFOs taken by Mr. August Arranda in Yongay, Peru, on March 15, 1967, at 4:00 p.m.

The objects reflecting the sun's rays hovered for a while, and flew toward the northeast.



コルシカ島のUFO

●仏領コルシカ島のオルモコルスで匿名の1
高官が1971年12月2日に撮影した。

UFO APPEARING OVER THE ISLE OF CORSICA

Taken in Olmo Corse on the Isle of Corsica by
an anonymous high official.



アルゼンチンで撮られた

アダムスキー型円盤

●1974年7月19日午後6時頃、アルゼンチン、バルカネーの南10kmの国道226号で、アントニオ・レペレ氏が撮影した連続写真2枚の内の1点。典型的なアダムスキー型円盤である。

ADAMSKI- TYPE SAUCER TAKEN IN ARGENTINA

Mr. Antonio Lepere shot this typical Adamski-type saucer as it appeared over Route 226, 10 km south of Balcanee, Argentina, on July 19, 1974, at about 6:00 p.m. This is one of two pictures he photographed in succession.



京都市上空で

UFOの機動演習?

●京都市の医師・江部洋一郎氏(28歳)は熱心なUFO研究者である。ここに掲げた4点の写真は同氏が住むマンションの屋上から撮影したもの。右頁の連続3枚は1976年6月27日午後8時頃、左頁は同年7月24日午後9時頃に200mm望遠レンズ付きミノルタSR-1でキャッチした。各現場とも同時目撃者が数名いる。

UFO MANEUVERING OVER KYOTO?

Being an earnest UFO researcher, Mr. Yoichiro Ebe(28), a medical doctor from Kyoto, took these four photographs from the roof of the mansion where he lives in that city.

Shown on the right page are three pictures taken in succession on June 27, 1976, at about 8:00 p.m. The photo on this page was taken on July 24, 1976, at about 9:00 p.m. with a Minolta SR-1 with a 200 mm telephoto lens. In addition to Ebe, several others witnessed the object seen in each picture.



●1975年、2月27日、エドアルド・メイヤー氏がスイス、チューリッヒ近郊のヒンウィルで撮影した大円盤。夕暮の空に浮かぶこの宇宙船は遠いプレアデス星団から来たという！

〈詳細は本号24頁「驚くべきコンタクトの全貌」を参照〉

SPACE SHIP FROM PLEIADES

The large flying saucer shown here was photographed by Mr. Eduard Meier in the village of Hinwil on the outskirts of Zurich, Switzerland, on February 27, 1975. According to Mr. Meier, this space ship hovering in the sky before sunset came from faraway Pleiades!

●はるかな星団から来たというこの宇宙船は、何の目的で地球へ？

スイスを訪れた円盤



読者アンケート大募集!

躍進する本誌は読者のみなさまの積極的な誌面参加を切望します

●大好評のプレゼント・コーナー。毎回じつに大勢の方々から回答が寄せられ、編集部では、みなさまの熱心なお声を、漫らさず誌面に反映させようと頑張っています。24号を迎えた本誌はここでさらに誌面の画期的大刷新をは

かるべく、豪華賞品を用意してアンケートを募集。あなたの忌憚のない意見を、本誌へぶつけてください。●官製はがきにあなたの住所・氏名・年齢・職業、そして①お読みになりました記事／載せてもらいたい企画 ②本

誌を購読された動機 ③本誌へのご意見・ご感想をお書きのうえ、左記あてお送りください。抽選で別掲の賞品をプレゼントします。

●宛先 〒110東京都台東区上野6・1
6 ヤマトビル ユニバー出版社

「UFOと宇宙」編集部
アンケート募集係

●締切りは6月20日(当日消印有効)。
当選者の発表は「UFOと宇宙」25号(7月20日発売)誌上で行います。

〔賞品〕●バッテリー卓上ライター
ユーフォ・ノア / 5名
〈宇宙サウンドつき ¥8,000 吉永プリンス株〉



●消えるボールペン / 50名
〈西ドイツ製 ¥300 ボラックス株〉



UFO目撃アンケート 当選者発表!

●「UFOと宇宙」23号誌上で募集した読者アンケートには、応募総数なんと2938通という、沢山の方々からの熱心な回答が寄せられました。厳正な抽選の結果、左記の方々をめでたく当選されました。貴重なご意見を寄せられたみなさまに感謝申し上げます。

●高級天体望遠鏡(スリーピーチ/No. MTZ42S 3名)
〒940-02 新潟県栃尾市金沢4丁目

- 船見 悦通
〒164 東京都中野区弥生町3・21
10 神田 美根子
〒860 熊本県熊本市安政町6・29
荒木 一之
●矢追純一著「写真で見る日本にきたUFOと宇宙人」空飛ぶ円盤を追つて(平安株式会社・刊 各10名)
中川康之(奈良) 西田逸郎(兵庫)
及川真美子(神奈川) 大塚栄一(福島)
島 下山浩之(群馬) 山中富雄(広島)
島 清水真奈美(岐阜) 斎藤慎子(北海道) 南治良(大阪) 品田建(東京) ほか10名。(敬称略)

UFO No.24 と宇宙

隔月刊 1977/JUNE 目次

口絵

- ▷ 驚異の円盤2機出現! 1
- ▷ コルシカ島のUFO 2
- ▷ アルゼンチンで撮られた
アダムスキー型円盤 3
- ▷ 京都市上空でUFOの機動演習? 4
- ▷ スイスを訪れた円盤 6

イギリス南部の怪奇UFO着陸事件

ウィンチェスターに出現した UFOと不思議な人間 レスリー・ハリス 10

UFOの仕業か?

謎のニューヨークの大停電 荒井欣一 16

チューリッヒ現地報告第3報

驚くべきコンタクトの全貌 ウェンデル・スティーブンス 24

ジミーとジョージア州のUFO騒動

カーター大統領はUFOを見た! ハリー・ヘルムス 30

特集 後UFO30年史

ケネス・アーノルド事件... 36 / 悲劇のマンテル大尉事件... 38 /
ホワイトサンズ事件... 40 / クラリオン円盤と小人宇宙人... 42
/ ジョージ・アダムスキーのコンタクト... 44 / コニストン円盤撮
影事件... 48 / 火星とのコンタクト... 50 / バック・ネルソンの
宇宙旅行... 52 / 南アフリカのUFO同乗事件... 54 / ブラジルの
奇怪な誘拐事件... 56 / パプア島のUFO騒動... 58 / バーニー・
ヒル夫妻の不思議な体験... 60 / ロドファー夫人の8ミリフィルム
... 62 / パスカゲーラの恐怖の誘拐... 64 / 日本にもあったコンタ
クト事件... 66

UFOに家族をさらわれた? ルーディ・ベアードマン 22

火星には生命が存在する? フレッド・ステックリング 70

(続) 宇宙・引力・空飛ぶ円盤(6) レナード・クランプ 91

天王星にも環があった! 34

UFO情報(海外・国内) 76 声・OPINIONS 102

科学ニュース 84 蚤の市 108

豪華景品が当たる
読者アンケート大募
集! 8

【表紙写真】

1965年4月18日、13:30にニューメキシコ州アルバカーキの西方10マイルでポール・ピラ氏が撮影。



ウィンチェスターに出現した UFOと 不思議な人間

レスリー・ハリス



暗闇のイギリス南部をドライブ中の男女2人の眼前に葉巻型物体が着陸し、中から奇妙な「男」が現れた！

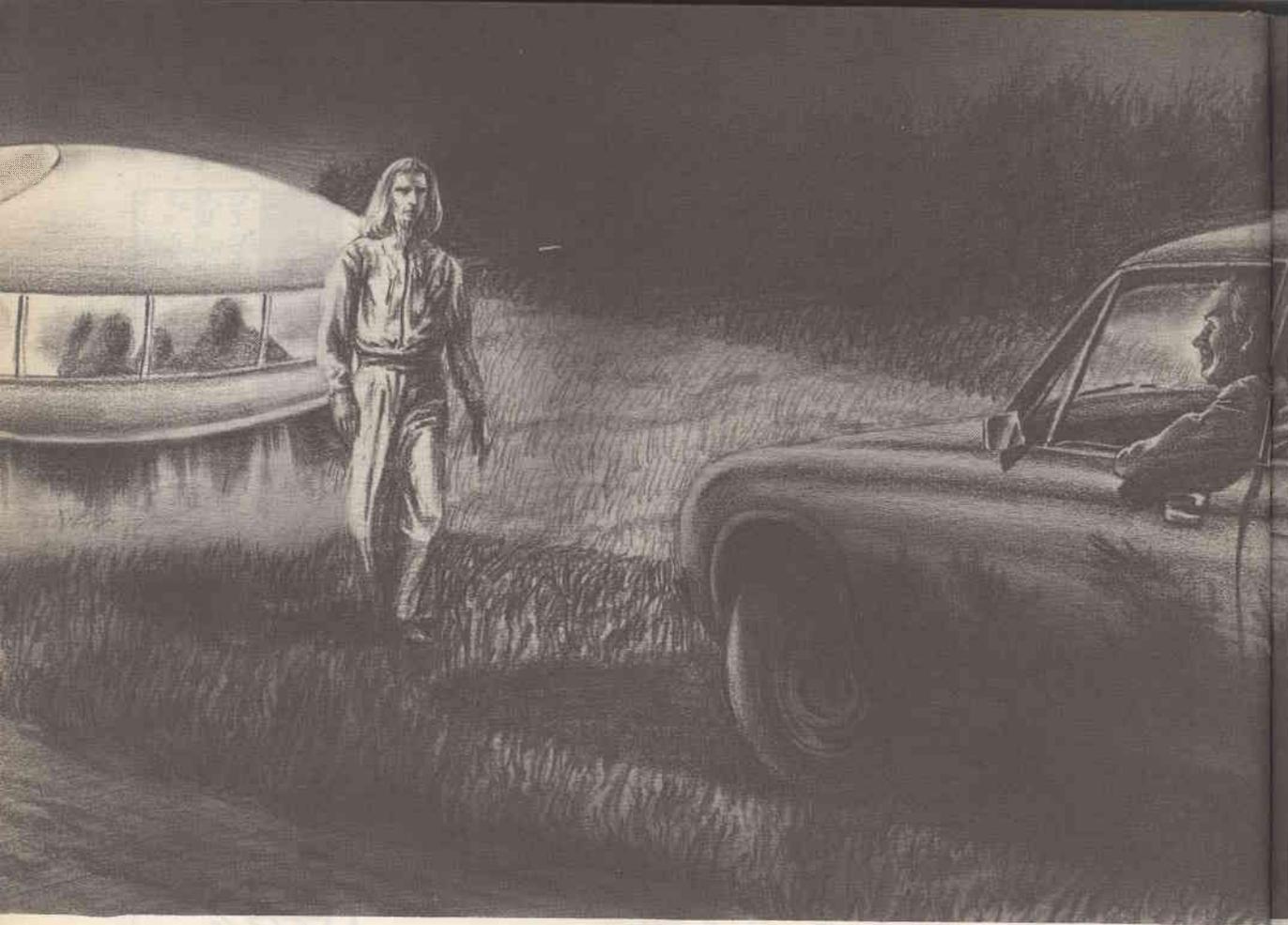
男は瘦型で銀色の服を着ており、すでにコイントロールを失い停止している車に向かって「ヒューツ」という音をたてながら近づいて来た

1976年11月14日、日曜日、ウィンチェスター（イギリス南部ハンブリンチャーにある海港サウサンプトン市より

北方20km弱にある小都市）付近で、着陸した1機のUFOと乗員に近接コンタクトするという異常な事件が発生し、BBCテレビからも放送され、大センセーションをまき起こした。以下はイギリスのUFO研究者による最新の調査報告である。

この事件の目撃者はウィンチェスター市クエリー通りに住むジョイス・ボウルズ夫人（42）で、ウィンチェスター1駅の婦人客用手洗所で働いている（注：欧米の駅には有料トイレが多い）。

他の1人はネザーワロップに住むエドウィン・プラット氏（58）。元農場の管理人で、心臓が悪くて退職した。両名とも信頼できそうな人で、2人の話には終始一貫して筋が通っている。そしてできるだけ簡潔かつ正直に実際の体験を述べたがっているという



印象を与えた。我々の2度目のインタビューで彼らは少々いらいらしたが、マスコミや多くのUFO研究者にひどく悩まされたことを考えれば、これは納得のゆくことである。それにもかかわらず彼らの説明は最初のとぎとかわらず、事件の真実性に対する確信には、

光体の出現と 自動車の異常な振動

ポウルズ夫人とブラット氏は、11月14日、日曜日の午後8時50分に夫人の家を出た。目的地は約5km離れたチルコム農場で、そこにいるガールフレンドを訪問中の、夫人の17歳になる息子を迎えに行くためである。2人は夫人の所有するミニ・クラブマンに乗り、夫人が運転した。

A272の地点にさしかかった頃、2人は、空中にオレンジ色の光体に気づいた。まもなく消えたが、また現れた。ただし今度は夫人が見ただけで、これから曲がって乗り入れようとす道路の方へ急降下するのだろうと彼女は思った。

続いて2人は左折してチルコム農場へ通じる道路へ入った。これは狭い道で、右手は幅約13mの草原でふちどられており、そのむこうはヤブになっている。この道に乗り入れてまもなく、車はバラバラになりそうに激しく揺れ

事件後2週間たってからも依然として強いものがあつた。2人の話によると、彼らは以前にUFO関係の体験をもつたことはないという。ただしブラット氏はウォーミンスターUFO事件と思われる本を読んだことはあるが、その題名は記憶にない。

始めた。夫人は車をコントロールできなくなり、ブラット氏が道路上に停めようとしてハンドルをつかんだが、だめだった。車は斜めに疾走して道路から飛び出し、草原地帯へ乗り上げて停止した。しかしまた車はひとりでに動きだして、その間夫人はアクセルから足を離していたのに、エンジンは轟音を発し、ライトは通常の明るさより4倍も強く輝いたという。

“人間”の乗 つた葉巻型 物体

車が停止したとき、長さ約4・5mのオレンジ色に輝く葉巻型物体が、車の前方約5m、地上約30〜40cmの空間に浮かんでいるのを2人は見た。エン

ジンはまだ唸り続けている。そこでプラット氏は手を伸ばしてイグニッションを切ってしまった。夫人は恐れおののいている。物体の下部には「噴射口」

接近する不思議な男！

があるらしく、そこから「蒸気」が噴き出ている。物体の頂上部左側には「窓」があり、そこから3人の顔が外を見ているのだ。

すると1人の「人間」が物体から出て来た。ただドアーは見えない。人間は物体の側面をずつと歩いた。身長約1・8m、ほっそりした体格で、銀色の服を着ている。錫箔でできたボイラーマンの着る服に似ており、アゴの所までジッパーのようなものがまっすぐについていた。風がないのにバタバタと音をたてているようだ。男は車の方へ4〜6歩あゆみ寄って来た。手足はよく見えない。頭には何もかぶらず、長い金髪が額からうしろへまっすぐに垂れて、肩の所でまき上がっている、あごヒゲが長くさがっている。皮膚は青白くて、きれいだ。

男が車に接近するにつれて、ボウルズ夫人は「ヒューッ」という音を聞いた。ヤカンがたてるような大きな音ではなく、プラット氏はこの音に気づかなかった。

車に接近した男はかみ込んで屋根

車が動かない

夫人はひどいショックを受けて、この体験で震えていたので、プラット氏

の上に片手をかけ、中をのぞき込んだ。鼻は長くはなく、とがって、目は白ウサギのそのようにピンク色で眼球もピンク色だが、虹彩と瞳孔はよくわからなかった。ボウルズ夫人はその男のピンク色の目があまりに鋭いので、目を離してもなお太陽を見たかのように焼きついた。

男が車の中をのぞき込んだとき、ボウルズ夫人は極度に警戒してプラット氏にしがみついたが、その服が異常に熱いの気づいた。

「その男が私を見たとき、私の心を静めるような何かのパワーを発したようだった」とプラット氏は言っている。

男は約2分間車のそばに立ってからUFOの後部の方へ歩いて行った。プラット氏は外へ出ようとしたが夫人が引き止めた。男はふたたび姿を現すことなく、目撃者がまた前方を見たとき、物体は消えていた。

が運転しようと言ったが、夫人はそうさせなかった。運転をかわると1人は

車外へいったん出なければならぬからだ。そこで夫人はエンジンをかけて発進しようとしたが、車は動かない。まるで目に見えない壁につきあたってそれに制止されているかのようだ。車輪が空転し、エンジンは止まった。夫人がもう一度やってみると、今度は容易に動き出した。車を道路の上にとめて、タバコに火をつけ、約800m先のチルクム農場目指して走り続けて、9時2分に到着した。この事件が発生した時間は約7分間である。

帰途、プラット氏は草原地帯にタイヤの跡を認めた。彼はその夜時速90kmで車を飛ばした。3年前にある事件があったために、それまで時速80km以上で運転したことはなかったのである。翌朝彼は奥さんを連れてタイヤの跡を見せに行ったが、その痕跡はほとんど消えていた。前夜ははっきりと見ることができたのである。

現場を調べても結論は出なかった。UFO自体は痕跡を残していない。あたり帯は柔らかい泥地で、多くのタイヤの跡がついている。この小道は車の多いA272に近い静かな道で、通過する車からは見えない所である。

プラット氏は事件後1週間、心が落ちついてゆったりとした。

ボウルズ夫人の話によると、現在彼女の車は事件前よりもよく作動し、もうチェックを用いる必要はないという。彼女は事件後3日間は食事するこ

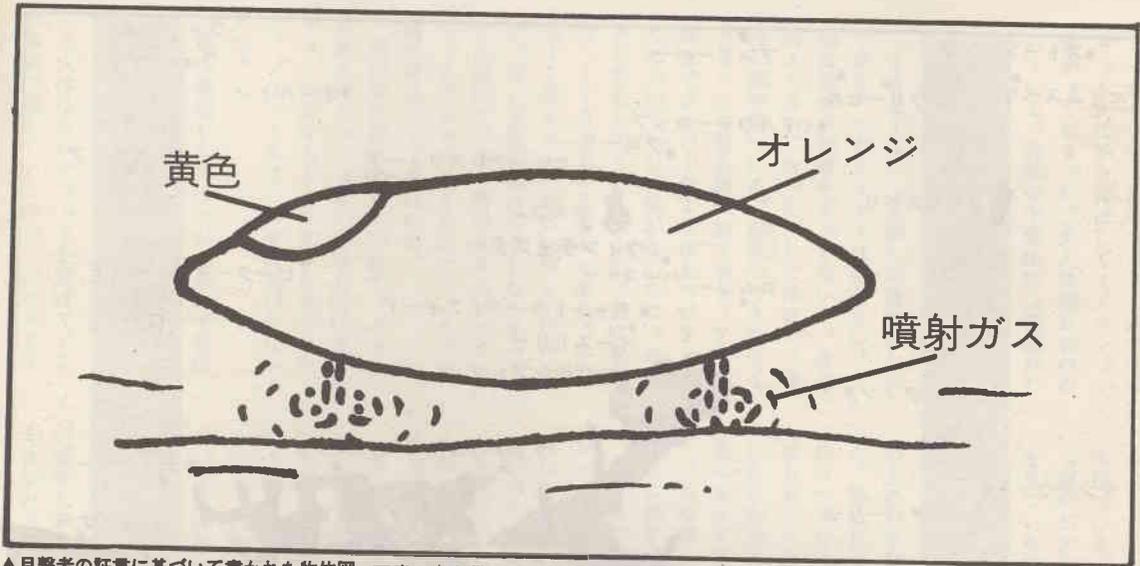
とができず、しばらくひどい震えが続いた。今も時折顔の右側に吹き出物ができる。事件現場へ訪れたあとには特にそうである。事件の夜、ポケットに入れておいた時計はかなり進み始めた。今は体力の更新した「違う人間」のような感じがすると言っている。

謎の人物からの電話

筆者がボウルズ夫人の家を2度目に訪問した折に、もっと興味深い情報が得られた。

11月20日の土曜日、言葉の洗練された1人の男から彼女の所に電話がかかった。相手は事件のことを他言するなと述べて、まもなく政府関係の男がやって来るだろうという。彼女はしどろもどろに警告に従うと述べて電話を切った。数時間後にまた同じ男が電話をかけてきたが、その声を確認するとすぐに受話器をおろしてしまった。しかしそれ以来は電話がないし、政府関係者も来なかった。

しかし彼女に電話がかかったとき、受話器を取り上げると「話し中」の信号が鳴ることがときどきあり、受話器をいったん置いてまた取り上げても、やはり鳴るといふ。また通話後にも台所の電話延長ベルが少し鳴ることもあ



▲目撃者の証言に基づいて書かれた物体図 ▼車の中を覗きこむ“男”



幽霊をしばしば見る。これは修道女であるという。他の人々も同じ幽霊を見るけれども、夫人ほどに鮮明な姿ではない。しかしポウルズ夫人がしつこく主張するところによると、ブラット氏と共に路傍で見た銀色の服の男は完全に性質が異なるもので、修道女よりはるかに「現実の人間」であるという。この修道女の幽霊は家庭、庭、職場などにも出現するのである。この霊的な力は夫人に対して好意的で、車のドアをロックし忘れると、ひとりでもしめたりする。

また彼女は病気を治す力を持つ。超能力的な力が増強してくると病気の治癒に応用する。このとき幽霊はしばらく出現しない。その後次第にまた力が増してくる。しかしUFOを見て以来超能力を応用していないという。

裏付けとなる目撃報告

ウィンチェスター事件の週末に、次のような事実が報告された。

●ヘインズ夫妻が、ウィンチェスター目撃事件の現場から11kmのチャンドラーズ・フォード・マーケット付近で、銀色の服を着た男を見た。

●ホートンヒースのサンドラ・ホイラー夫人が、空中に停止しているオレンジ色の物体を見た。物体はやがて飛



▲現場付近

び去った。

●イーストリーのノーマン・ボイス夫妻が、ウィンチェスターの事件現場から9 kmのオールフォードで、空中に“2個の太陽”を見た。

●ポーツマスのアトキンソン夫人が、スウィンドンから車に人々をいっぱい乗せて家路をドライブ中、“多くの光”をつけた大きな物体が空中にいるのを見つめた。

●ウィンチェスターのモーリン・ラヴ

超能力とUFOは関係がある？

ジョイス・ボウルズとエドウィン・ブラットによる体験が本物だという証拠はないけれども、右に挙げた各報告が裏付けしているように思われる。また2人の報告を2人ででっちあげたとすれば、どんな動機があつたのかを知らずには困難である。たしかに、この事件が広まることよって、目撃者ばかりか両名の家族まで、かなりの嘲笑を蒙る結果になつたのである。筆者の2度目のインタビューの間、こうしたことで彼らがいらいらしていることはたいそうよくわかつた。

この事件の心霊的な面が何かの意義を持つのかもれない。ボウルズ夫人はたしかにこのような潜在超能力を持つているので、表面的なボルタガイズト現象として現れる。そして病氣治療の目的でこの能力を応用することによ

リー夫人は、正体不明の物体が空中にいるのを20分間見た。

●ジョセフィン・ローズ夫人と家族がオールフォードの義母の家で、輝く物体が空中に停止しているのを10分間見た。

●サウサンプトン、シャーレーのP・J・ペーカーが、カーブリッジを訪れていた11月14日、午後7時頃、オレンジ色の円盤を見た。一友人も同じ現象を報告した。

つてのみ、この人騒がせな現象が起これなくなるほどに力が減退するのである。

そうだとすれば彼女のUFO目撃はこの現象の延長だということになり、超能力がその事件を引き起こしたのかまたは我々にはわからない何かの力が彼女の内部にひそむ能力を応用して、現象化させ、2人の目撃者に見えるようにしたとも考えられる。

解決は出ないけれども、超能力とUFO体験とに多少とも何かの関連があることは、もはや疑いないと思われる。

しかし先例や指針のないこの事件の調査には、十分に慎重を期す必要がある。マゴニアへの道には多くの落とし穴があるのだ。

謎の ニューヨークの大停電

UFOが停電の犯人か？



▲「ライフ」のカメラマン、アーサー・リックバイ氏が大停電中に撮影したUFO。

米国北東部に突如大停電事故が発生！ 大ニューヨーク市は暗黒の世界と化した。そのとき上空にUFOが出現！
これは何を意味するのか？—

日本空飛ぶ円盤研究会
代表

荒井欣一

私達の日常生活が「電気」とは全く切っても切れない密接な関係にあることは今更いまでもないが、案外ふだんはこの恩恵になれすぎていて、それほど有難味を感じていないのが実情であらう。

たしかに電気は近代生活にはもはやなくてはならないものであり、今や私達の市民生活、交通機関、都市の機能、生産等のあらゆる分野にわたって電気エネルギーの恩恵に浴していないものはないといつてよいだろう。

しかし、その反面、この現代文明の繁栄の裏側に私達のもつ最も大きな弱点の一つを抱えこんでいるのである。

数年前、石油ショックが、あれだけパニックを日本の各地にひき起こさせたことは、私達の脳裏にまだ鮮やかなことであるが、停電による突発的な事態は、石油ショック以上に私達の生活に重大な影響を与えるのではないかと思う。

そこでもしもこの地球文明のアキレス腱を狙って、宇宙の邪悪なる遊星人が攻撃を仕掛けて来たら、私達は一体どうなるであろうか……とちょっと心配にもなってくる。しかし現在はまだそのような「地球侵略計画」？があるという確度の高い情報を私達は受け取っていない。しかし将来にわたってこの魅惑的な惑星に食指を伸ばそうとする宇宙生物が絶無であるとはだれも保証できないと思う。最近一部で伝え

られているところでは若干その徴候があるようにもいわれており、枕を高くして宇宙の平和を謳歌していてもよいものか？と気になる時代でもある。

1958年11月3日の真夜中、ブラジル東海岸にあるイタイブ要塞を襲ったUFOが、基地内の電源系統をすべてストップさせ、基地の機能を全く無力にさせ、部隊の兵士をパニック状態におとしいれた後、ゆうゆうと飛び去ったという重大な事件も発生していることでもあり、将来については予断を許さないものがあるといえよう。

東北地方と東京にも大停電が発生！

昨年12月末、突如東北地方3県にわたって約50万戸も停電するというパニックが起こった。停電時間は約25分位という短時間だったが、このため国鉄の列車は各地で立往生、主要都市では交通信号が作動しなくなったため、交通渋滞が発生し、ビルやデパートのエレベーターが止まって、一時は大混乱を呈したようだ。スキーリフトも途中で停止し、救出作業も大変だったらしいが、首都東京でこういう停電が起こったらどうなるであろうか。

今からちょうど5年前の昭和47年の夏、東京は大規模な停電に見舞われ、都市の機能が全く一時停止してしまっただけでなく、その年の7月19日正午少し前、東京都の南西部一帯、すな

わち港、品川、大田、目黒の各区から横浜、川崎両市にかけての相当広範囲にわたる地域が突如停電になった。ちょうどその日は「土用の入り」に当たっており、東京の正午の気温は30度を超え、不快指数79という、うだるような暑さだった。停電によりクーラーはピタリと止まり、電車は国電を除いて全面ストップ、病院では赤ちゃんの保育器の酸素が出なくなり、銀行の「オンライン」もストップして一時預金の出し入れもできなくなったり、レインジャー部隊が出動して、エレベーターに閉じこめられた婦人の救出にあたりたりするなど、大変な騒動であったようだ。ところで、この原因が大変ふ

ついていた。つまり暑さで異常に大量発生したクラゲの大群が、東京湾岸に設置されている火力発電所の取水口に押しかけ、このため発電機が回転できなくなつたという珍事が原因だということだった。このように停電の原因がハッキリつかまえられた場合は善後策もあるが、米国東北部およびカナダ東部を襲った俗にいう「ニューヨーク大停電」の原因は、今に至るも謎につつまれており、しかもその原因が、UFOにあるのではないかとという見方をする人もあり、私達にとって大変興味のある話題ではないかと思う。

ニューヨークの大停電

と恐るべきパニック

1965年11月9日、午後5時28分、米国東北部の各州からカナダのトロント州におよぶ約20万5千平方km（日本の面積の約半分程）という広大な地域が時間的なズレはあったが一瞬にして暗黒の世界と化した。

しかもこの大停電の原因については一般には「機械の故障」によって引き起こされたものであるといわれているが、その故障は、何によって引き起こされたものであるか、という点になると、いまだ万人の納得のゆくような説明がなされておらず、依然としてこの事件の真相は、近代文明史の中でも最大の謎の一つと考えられているのである。

この停電は、アメリカ国民の5分の1に当たる3千6百万人のひとびとに混乱を与えたため、当時のジョンソン大統領は、直ちに真相究明のため命令を出したほどである。

停電は一部では翌朝まで続く長時間にわたつたため、各所で多くの混乱が発生した。とりわけこの大停電の影響を受けたのが大ニューヨーク市で、ちょうどラッシュ時にぶつかり、交通信号は消え、地下鉄はストップ、約850万人の人々が足を奪われ、帰宅出来ないサラリーマンが多数出たという。

空港上空では滑走路に着陸出来ない飛行機が何回も空港周辺を旋回したり、階段を踏みはずして死亡した人もあり、エレベーターに閉じこめられた

婦人が発狂するなど、停電による各種の事故が各所で続発し大混乱を呈した。

しかし一方こんな話もとりざたされた。停電後9カ月、ニューヨーク市のマウント・サイナイ病院では、出生率が28%も異常な上昇を示し、さらに驚くべきことには同市の聖路加病院では、なんと出生率が倍にも上昇したというところが「ニューヨークタイムス」の記事になっている。停電中の真っ暗闇の中では、アレ以外に楽しみがなかったのだからか。

アメリカの映画製作会社「MGM」では、翌年ドリス・デイ主演で軽快な喜劇「ニューヨーク大停電」を製作、封切った。この映画はブロードウェイの人気女優と高名な建築家の結婚生活に長時間の停電が思いがけずまきおこす想像力とおかしさタップリなその夜の出来事を描いた楽しいコメディである。この映画を観て、停電のもたらす生活への影響が意外に大きいものであることを今更ながら確かめた人が多かったことと思う。

送電線の故障か

ニューヨークタイムス紙は「11月11日までに東北電力の供給能力が徐々に回復し、もとに戻りつつある」と報道しているが、「停電の原因については不明である」と述べ、また当局者は

「この種の信ずべからざる停電が、今後警告もなく再び発生するかどうかについては確言できない」と一般の市民に警告を発している。

同紙によると、ニューヨーク州ウォルキルに住むウィリアム・コーベル氏は1千人もいる送電線監視者の1人であるが、この停電の原因を発見しようとして、飛行機を飛ばして、送電線の上を低空で飛んで調べたが、高圧線にひっかかっている樹木や、その他の妨害物の接触も全く発見されなかったといっている。

またナイヤガラ発電所の主任技師、エドワード・ホフマン氏は「電圧の低下は第2次原因で主原因ではなく、停電より少し前、ナイヤガラ瀑布の近くの送電線で故障があった」ことを発表している。その事故の内容についてはハッキリしない。

一方10日の午前0時、ニューヨーク州シラキウス市の北10マイルにある小さな町クレイで、電力会社の送電線を監視している「自動監視所」の近くで解きたい問題があることが発表された。この高圧線には34万5千ボルトの高圧がかかっており、ナイヤガラ瀑布からクレイを通り、ニューヨークの南に延びる送電所のハイウェイでもあった。しかしながらナイヤガラ発電所の修理班が、クレイに調査に行ったが、故障や火事や、破壊は何ら発見されなかったと、「タイムス」紙は書いてい

る。

ところがシラキウス市の近辺で、停電の日に極めて異常な事件が発生していたのである。しかし「タイムス」紙はくわしくこの事件をとりあげていない。では一体どんな事件がおこっていたのであろうか。

赤いUFOの出現

民間パイロットであり、またその教官でもあるウェルド・ロス氏は、ちょうど停電の発生した瞬間の時刻頃、クレイの自動監視所の近くをシラキウス市のハナコック飛行場に向かって飛行していた。彼が乗機の下方をフト見ると、クレイの監視所の近くの送電線の上空に、巨大なしかも物凄く輝く赤い球体を発見した。「直径は約100フィート位あった」と彼は後に「ジャーナル・アメリカン紙」に報告している。

彼はその大きな火球の位置が34万5千ボルトの2本の送電線の上あたりであることを推測した。彼と同乗していた訓練生も、ロス氏の言葉を証言している。

しかも彼等が目撃したのと全く同時に、シラキウス地区の連邦飛行協会の会長ロバート・ワルシ氏等もハナコック飛行場の数マイル南で同じ現象を目撃したことを報告している。合計5人の人々が同じようなものを目撃したわけで、連邦電力協議会は直ちにこの

件を調査すると発表したが、その後の件については何等の発表もされていない。

ロス氏が目撃時刻は午後5時15分で、これはシラキウス地区に発生した停電と全く同時刻であることが確認されている。

午後5時25分にはマサチューセッツ州ホリストンの学校教師が、妻と共に双眼鏡で強い白光物体が空中をゆっくり水平線に向かって飛んでゆくのを目撃しているし、また同時刻頃同市の17歳の少年、ダビット・ハウジ君も南西に移動している物体を目撃したと報告している。

このような目撃が同地区周辺で続発しているため、ニューヨーク大停電の原因はUFOにかかわりあいがあるのではないかと多くの人に信じこまれている。

このような意見に対して最近非常に面白い考え方が発表されている。

最近になって、たてつづけにUFO否定論の部厚い著書2冊を発行したアメリカの航空雑誌の編集者フィリップ・クラス氏は彼の著書の中で、数多くのUFO現象とかUFO写真の分析を行っているが、前項の「赤いUFO」についても、クラス氏の理論をもとに考察すると、これは氏のいう「電気的コロナ現象」といえるかも知れない。すなわち氏によれば、2本の平行に走る電線の電圧を次第にあげてゆく

と、電線は輝き出すようになり、同時にかすかな音を発し、更に電圧をあげると、電線の輝きは増してきて、ついにはコロナ状の放電をするというものである。この状況をカメラにおさめると、2本の高圧線の上の「赤いUFO」と全く同じように思われるコロナ現象の写真が撮れるのである。彼のいうところのプラズマ現象がハッキリ現れるのである。

しかしこれには疑問がないわけではない。果たして実験室内でできる現象と、複雑な大気中で全く同じような現象がおこるかどうかが極めて疑問であり、ちょうどテキサス州ラボックで撮影されたUFO大編隊[?]の写真に対して、当時メンゼル博士が気温の逆転層に反射した自動車のヘッドライトであると説明したのと同じような見方ではないかと思う。

大停電中にカメラがUFOを捉える

ニューヨーク市では停電と同時に2人の婦人が空中に異様な物体のあることを目撃したと次のように述べている。

グリー・ホーク夫人の説明によると、「私は5時55分、プロスペクト山道路（オレゴン州とニュージャージー州を結ぶ横断道路）にそってドライブをしている途中、この道路とイーグルロック道路との交差点に来たとき、空中に

赤い縞（痕）を発見しました。私は停車して、それがなんであるかじっとそれを見ていました。後方から来た車にも注目してもらおうと努力しましたが、残念ながらダメでした。その場所は樹木の多い地区で、その後、車で丘の頂上についた時ふたたびそれを目撃しました。その物体は2つの先端を上に向けて半月のような型をしていました。それは真赤ではなく、また炎のようでもなく、しかし先端に何かあるように見えました。しかも非常に高空で、最初私は宣伝用の空中文字かと思いましたがそれがとても全く違い、太陽は右の方に没しつつあり、この物体は左にあつて上昇しつつありました」というような目撃談をよせている。

もう1人の婦人は、ニューヨーク市のセントラルパーク西に住んでいるソルカプラン夫人で、彼女はハドソン河に面する寝室でテレビを見ていたが、突然テレビが消え、電燈も消えた。彼女は窓から首を出して外を見渡した時、空中に沢山の飛行物体が飛行しているのを発見、しかもその物体に丸い大きなドームがあるのを発見した、と述べている。しかもそれは飛んでいるというのではなく、上下左右に動いている。これらの物体は銀色で、飛行機のような灯火がなく、しかも双眼鏡で見ることができたといっている。しかしこれには多数の同時目撃者がいないのでなんともいえないが、この日ニ

ューヨーク、マンハッタン上空のUFOをカメラでとらえた記者がいたのである。

写真雑誌「ライフ」のカメラマン、アーサー・リックバイ氏は、停電直後ニューヨークスカイラインでまさに劇的な写真を撮っている。その物体は西の方からマンハッタンのビル街の上空に現れて、強く銀色に輝いていた。氏は運よくこの物体を撮影したわけである。この写真は同年11月19日付の「タイムス」紙に発表され一躍有名になっている。しかしこの写真的評価についてはあまり発表されていないようだ。一部の人は金星ではないかという批判もあつたが、氏はこの説を全く無視している。

しかしこれは異様な感じのするUFOで、あるいはニューヨークの停電の様子を偵察に来た地球外生物が搭乗した偵察機ではないかという説もあり、UFOと停電現象との結びつきの強力な事例ともとれる可能性は充分ある。

その他フィラデルフィアの多くの場所からも、奇妙なハンドルのついた半月型の雲のような物体を、雲一つない空中に目撃したというような目撃報告もある。

またエンジンの研究家ワルター・ポエルカー氏は「その時刻空中高く上昇する雲のような物体を3カ所の違う場所から目撃した」と報告を寄せてい

る。そのほかコネチカット州ブルーム基地の周辺でも異様な物体の目撃が数度にわたって報告されているといわれている。

NICAP（全米空中現象調査委員会）によると、その日の午後4時30分、パイロットのジェリー・ホワイトタッカー氏と乗客の1人は2機のジェット機に追跡されて、彼らの上方を飛ぶ2個の輝く物体を目撃したことをとりあげている。1個のUFOはジェット機から逃れるため、猛烈なスピードを出して圏外に脱出したという。

このほかにも停電時刻頃UFOを目撃したという報告はアメリカの東北部地区から多く寄せられているとNICAPではいっている。

その後連邦委員会が発行された「停電調査委員会」の報告書は、部厚い大冊にもかかわらず、ニューヨーク大停電の原因については、依然充分な説明がなされておらず、今もってこの謎は充分に解明されていないといってもよいのではなからうか。

世界各地で原因不明の停電騒ぎ

この大停電はアメリカばかりでなく世界各地にあい次いで起こり、11月16日はイギリスのロンドンに発生し、多くの人がロソクの光で仕事をしなければならなかった。

南米ブラジルのブエノスアイレスで

POWER FAILURE SNARLS NORTHEAST 800,000 ARE CAUGHT IN SUBWAYS HERE AUTOS TIED UP, CITY GROPE IN DARK

To Our Readers
The power outage that snarled the northeast section of the city, from Times Square up to the Bronx, was not a total one. Through the efforts of the city's electric department, the lights were kept on in the Times Square area, and the transit system was kept on its feet.

Johnson Restates Goals in Vietnam
WASHINGTON, Nov. 11. — President Johnson restated his Vietnam policy in the State of the Union message to Congress last night.

L's Score Big Victory
NEW YORK, Nov. 11. — The Liberal Party scored a major victory in the election of its new president.



Snarl at Rush Hour Spreads Into 9 Stab
10,000 in the National Guard's 5,000 Off-Duty Policemen Called to Service in New York

By PETER KING
The power outage that snarled the northeast section of New York City, 100,000 of whom were caught in the subway system, spread into 9 streets and 100,000 cars were stuck in traffic. The city's police force was stretched to its limit, and the National Guard's 5,000 off-duty policemen were called to service.

▲当時のニューヨークの大停電を報じたニューヨークタイムス

は同市を中心として50マイル以内が12月26日に大停電となり、同じ日、フィンランド中部と南部でも停電騒ぎがあった。

東京でも翌年東京を中心に三多摩、神奈川県を含む広範な区域が停電に見舞われているが、この時は変電所の故障ということで詳しい報道はされていない。

NICAPではこれらの広域停電とUFO現象との間になんらかの関係があるのではないかと、その可能性について過去のデータから探索している。

その結果、UFOによる電気障害と思われるような事件が数多く発見された

模様で、その中の2、3の例を紹介すると――

1957年イリノイ州ヌマロア上空をUFOが飛んだ時同市に停電がおこった。同年にブラジルのノギミルムで3個のUFOが通過した直後停電が発生、1958年8月3日イタリアのローマ上空を光り輝くUFOが通過した直後やはり停電し、1965年9月3日、メキシコ州キユアナバカを低空でとぶ光り輝く皿型の物体が多くの人的によって目撃されたが、その時刻、町は停電になったという。

通信衛星テルスターの怪

そしてさらに停電事故が人工衛星をもまきこむ不可解な事件にまで発展した。

この事件は1966年1月13日、メイン州アンドーヴァからのAP電としてボーツマス市の「ヘラルド」紙に掲載された記事である。

「通信衛星テルスター追跡ステーションの発表によれば、フランクリンの西部約75平方マイルを襲った停電は、午後4時から11時20分まで通信が不可能になったが7時間後になぜか自然に停電が回復された」ということをメイン州電力会社が発表したことを伝えている。

ここでさらに2つの注目すべき事件を思い出したい。1962

年10月に打ち上げられた測地観測用衛星「アンナ」2号には、4個の閃光灯が備えつけられており、約2カ月間米空軍によって追尾されていたが、突然閃光信号をとめてしまった。空軍当局は衛星がなんらかの原因で故障を起こしたものと推定した。

翌1963年5月7日、低高度通信用の衛星テルスター2号が打ち上げられたが、この衛星もまた2カ月後の7月16日に突然沈黙してしまった。この原因については隕石の衝突説が強かったが、不思議なことに先に打ち上げた「アンナ」がその年の8月に突然機能を回復して再び閃光を放つようになり、さらに3カ月後には「テルスター2号」も完全に機能を回復したのである。2個の衛星ともなぜ自然に機能が回復したかについては、いまもってはっきりとした原因がつかめていないのである。

テルスター2号を生み出したベル研究所のドーレン・ミッチェル博士は「機能がなぜ回復したかについては、皆目見当がつかない」といっているが、UFOとの結びつきは考えられないだろうか。宇宙にいる何者かが、衛星の機能をこの期間精密に調査していたのではないだろうか。とすると地球上の情報はずべて宇宙生物に筒抜けといえるかも知れない。宇宙人の「スパイ衛星」ともなりかねないとなると大変な事である。

不可思議な関係は残る

以上のようにニューヨーク大停電にまつわる多くの事例を紹介してきたが、これらの事件を通して私達は次の点にさらに注意を喚起すべきではないだろうか。

その1は停電現象が人工衛星までまきこんでいるのではなからうか。

その2は、科学と技術の進歩したこの時代に、故障した装置が何らかの原因で機能を回復したということ。

その3は、多くの地域での停電が、何が原因で発生したのかよく原因のわからないことが多いということなどである。

だが、これら数多くの停電事故とUFOとの関連性は、現在のところ全くの状況証拠でしかなく、それを裏付けるはつきりした物的証拠といえるものは残念ながら存在していない。すなわちUFOと大停電との間には依然として未解決な関係にあるといわざるをえない。ニューヨークタイムス紙は翌年1966年1月4日付の紙上で「昨年11月の大停電については、多くの人々がその原因について述べているが、依然として全く納得のゆくものがない」とそのもどかしさを表明している。そして現在にいたるも、謎が依然として続いているのは全く不可思議なことである。

昨年、アメリカに起こった謎の誘かい事件

に家族をさらわれた?

ルーティ・バードマン

私は全くのUFO不信者だったとは言えません。UFOのことをあまり考えなかっただけです。この物体が実在するばかりでなく、その中に人間が乗っているとは、ほとんど知りませんでした!

しかもその人間たちは、欲しい物を手に入れるためには何でもやりかねないらしいのです。こんなことを言うのと狂気じみて混乱していると思われるでしょう。最初からお話しするほうがよさそうです。

● 幸せな家族だった

約5年前に夫が死んだとき、娘夫婦が私を引き取ってやろうと親切に申し出ましたので、私はそれに従いました。

私には5人の娘があり、2人はカリフォルニア州、2人はアリゾナ州フェニックス、1人はニューメキシコ州のアルバカーキに住んでいます。

そこで私は喜んで娘のリタとその夫のエドと共にアルバカーキに滞在しました。

夫婦はたいそう幸せな暮らしをして、ジョンとジミーという2人のきれいな男の子を育てていました。ほんとうに、これ以上すべきな家族はないと思えるほどでした。

● 不思議な男の出現

しかし1975年の夏に、娘のリタが奇妙な、何かに夢中になったような行動を始めました。エドとのあいだにトラブルでもあるのだろうかと思い、介入はしませんでした。だけど全然トラブルではなかったのです! 突然、リタがUFOのことしか言わなくなったのです。

もちろん私は「何をバカなことを言うの」と、笑って相手にしませんでした。それはあなたの空想であって、UFOなど存在しないんだから人間も乗っているはずはないと言ってやったのです。しかし娘は聞きいれようとはしませんでした。

そういえば、あるとき教会の会合で娘があやうく私にUFOを信じさせようとしたのを覚えています。会合が終了したあと、娘は私をパウ・レッジという男に紹介しました。その人はどう見ても奇妙な振舞いを示しているんです。すぐ柔らかに話し、その人に見つめられると、体がこわばって動けなくなるんです!

私はお酒を飲みません。教会では、みなさんのために作るフルーツジュースの「ジャリー・テンブル」(子供用のドリンク)で私はよく知られてお

り、ピクニックなどには酒を持って行きません。

その男が私を見つめて体を動けなくしたのは本当のことで、そのときは恐ろしくて目が見えなくなってしまうました。レッジさんに会ったあと、こんな人には近づかないほうがよいと娘に話し、悪魔かもしれないと言ってやりました。

● 奇妙なヤケドと宇宙人アーロン

しかし遅すぎたのです。娘はますますUFOとの心霊的なコンタクトに夢中になるんです。そしてひどい病気になるって、家族をUFOコンタクトの信者にさせようとした。

ある夜、娘がベッドに横たわっていたとき、突然、苦痛の叫び声をあげ始めました。走り込んでみると、自分の額を手で押さえています。宇宙人の1人がやって来て、頭に触れたと言っています。見ると、頭部にひどいヤケドをしています。タバコによるものではないし、全く見たことのないヤケドです。まるで人間の指の跡みたいに見えるんです! 娘の話によりますと「宇宙人の父」であるアーロンがやって来たというので、家族全員がこの狂気じみた話を信じました。

その後まもなく、12歳になる息子の

UFO



ジョンが横腹にひどい痛みを起こして倒れてしまったので病院へかつき込みました。医師たちによると異常はないということ、しばらく様子を見ることにしました。家族全体が縁遠くなり、異常に見えて、続く数日間私にとって地獄みでした。ついに病院側はジョンを退院させようと言いだし

ました。ジョンが看護婦さんたちに命令を発するといろんです！

「ぼくに熱いファッジ(ケーキ)を持って来てくれ」と言うもんだから、看護婦さんはそうしないわけにはゆきません。私は手に負えなくなつて、家族から離れることにしました。それで町のアパートへ移り住んだのです。

●不気味な

黒服の4人組

するとある日、娘が不意に私のアパートへ来て、黒服の4人の男が娘を捕えようとしたと言っています！ 私はリタを落ち着かせようとしたが、リタは狂乱状態でした。

見ていると、娘は頭を押さえます。両手を離したら、額にあの奇妙なヤケドをしているんです。突然、娘はおだやかになり、アロンが来て守護してくれた、額に触れてくれたと言います！ バカバカしい行為をやめたのを見て、私は胸をなでおろしましたが、地球よりもすぐれた別な惑星へお母さんも一緒に行けないのが残念だと娘は言うんです。しかも、娘はまもなく宇宙人の父であるアロンと宇宙人の母、エナ・エタと共に出発するのだと話すものですから、これはかなわないと思つて、アパートから追い出してしまいました。

●7名の

謎の失跡

今になってみれば、これは私の誤りでした。もつと娘の話聞いて、手助けをしてやればよかったのです。

なんとか援助しようと思つてその後娘の家へ行つてみますと、屋内には全然だれもいないんです！ 衣類や食物はみなありますが、家族はいません。心底から恐ろしくなつて警察へ行きますと、たぶん予告なしに旅行に出ただろうということでした。

全部で7名の方が行方不明になっています。娘のリタ(37)、夫(39)、12歳と18歳になる2人の息子、40歳代の3人の友人、レイ・シーバー、フェイス・シーバー、デラ・スーザリーです。みんな5月26日から蒸発してしまいました。

いったい何が起つたのでしょうか。私自身も恐ろしい体験をしました。数週間前、私の家の前にビカビカ光る一台の黒塗りのリムジンが5時間もとまつて、その中に4人の男が乗っていました。みな黒服を着ており、4人とも顔がそっくりなんです！

私は気が狂つたのでしょうか。何もかも恐ろしくなりません。ふたたび娘や孫たちに会えるでしょうか。

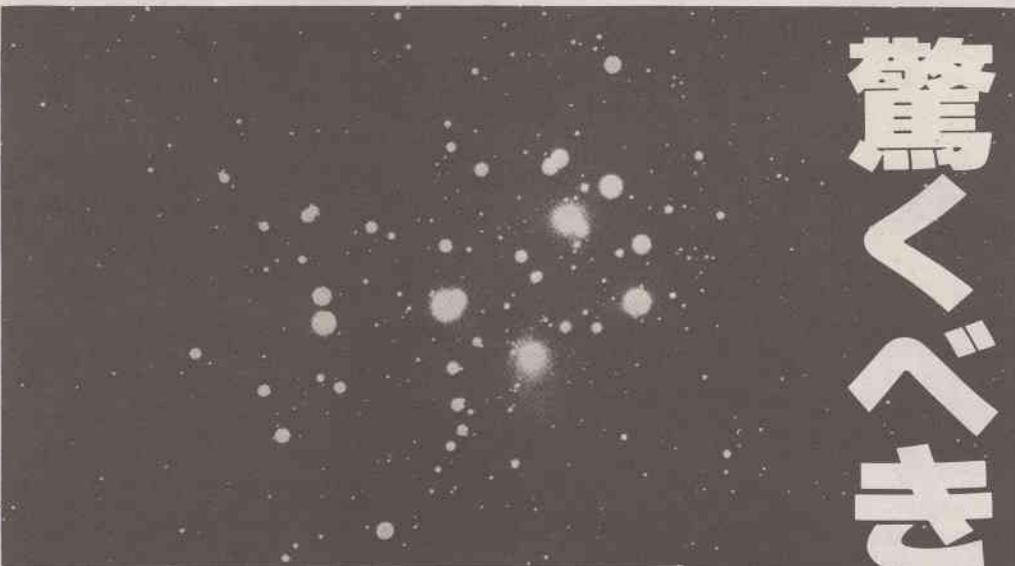
スイス・チューリッヒ現地報告第二報

驚くべきコンタクトの全貌

本誌特約 ウェンデル・ステイブンス

スイスの女性宇宙人コンタクト事件現地報告も、いよいよクライマックスをむかえる。430光年のかなた、プレアデス星団から訪れた美女セムジャーゼは、エドアルド・メイヤーの質問に答えて、次々と驚くべき事実を彼に知らせていく……。

▶プレアデス星団



惑星エラの美女、セムジャーゼ

宇宙船から降り立ち、メイヤーの方
に近づいてきた飛行士は、顔立ち、ス
マイルともに美しい女性だった。宇宙
服を着ている、彼女の美しさは容易
に見てとれた。ヘルメットをかぶって
いなかったため、彼女の美貌と、そよ
風になびく金髪がよくわかった。

近づいて来た彼女は、セムジャーゼ
と名のり、ブレアデス(すばる座)に
属する惑星「エラ」からの訪問者だと
自己紹介した。

彼女の明るい金髪はほほ真っすく
で、肩まで伸びた髪を真中で分けてい
る。目は大きくて、どこことなく東洋人
のおもむきがあるが、虹彩は狭く、と
ても明るいブルーである。小柄でキャ
シヤな容姿、頬骨が突き出ている、口
も唇も小づくり。鼻は小さくて、鼻筋
が通っている。白く輝く小粒な歯が、
きれいに並んでいる。しかし、なんと
いっても目を惹くのはシミひとつない
キメの細かな肌で、かすかな青味を帯
びている。足どりは優雅で軽やかだ。

メイヤーが手をさしのべると、地球
人と同じように握手した。小さくて繊
細な手で、指は5本、私たちと同様に
親指が他の指と向かいあっていた。し
かし、私たちの指は3つの部分に分か
れているが、彼女の指は2つにしか分
かれていない。関節のつながり具合も

少し違っている。手の感触は、大き
さの割にしっかりとしたものだ。

彼女はまた、彼女の耳がやや小さく、
耳のある場所もやや異なっているのに
気づいた。そして、耳たぶがなく、ず
っと首筋につながっている。もしセム
ジャーゼが普通の街着を身につけれ
ば、私たちの社会でまったく人目につ
くことはないだろう。

セムジャーゼは、地球から430光
年離れたブレアデス星団のエラという
惑星から来た女性である。彼女の年齢
は350歳くらい。ただ、地球人の寿
命が約72年であるのくらべ、ブレア
デス人の平均寿命は地球風に言うと約
1千年である。つまり、セムジャーゼ
は惑星エラでは24歳ということにな
る。地球での1000年は、彼女の惑星
では35年に相当する。

メイヤーは最初の会見以来、セムジ
ャーゼもしくは彼女のグループのメン
バーと18回以上も深遠な問題について
長時間の会話をしている。彼は1千
ページを超すノートと、200枚以上
の写真をとった。写真の中にはセムジ
ャーゼ、および彼女の父親のものもあ
る。また、飛行中の宇宙船をムービー
・フィルムに収めている。

彼は小型の偵察用宇宙船と巨大な母
船のいずれにも同乗し、宇宙船の中か

ら写真を撮影している。1975年7
月17日、彼は偵察用宇宙船に乗って飛
び、地球を背景にして、アポロとソユ
ーズがドッキングする模様を写真撮影
した。

メイヤーによると、セムジャーゼの
惑星の技術は、地球よりも1万3千年
ほど進んでいるという。彼女の惑星の
人々は、宇宙旅行にかかる時間の問題

コンタクテーターに選ばれた理由

宇宙人との最初の数回の会見で、メ
イヤーは私たちみんなが知りたいこと
をいくつか質問している。その質問に
対する解答をご紹介しよう。

「私が異星人とのコンタクトに選ば
れ、特別な使命を委ねられたのは、私
が前世で同じような任務を果たしてい
たため、偶然ではありません。

ブレアデスの人々は私たちの先祖の
直系の子孫で、太古から私たちの指導
にあたっていました。そして、私たち
の導き手として、彼らが地球で実施し
たいと望んでいる計画のため、人材を
選んでいるのです。だから、彼らがコ
ンタクトを、選ばれた人だけに厳密に
限っているとしたら、それだけの理由
があるのです。

何千年の間、彼らはこのまわりを
守ってきました。古代では、こうした
人々は予言者と呼ばれましたが、この
名称は現在でも用いられています。彼

を克服している。異星の友人たちは、
メイヤーが以前に痛めて完治していな
かった肋骨を、特殊な器具で治療して
くれた。彼らにくれた故郷の惑星の石
は、現在、マックス・プランク研究所
で分析されているが、まだその正体は
判明していない。

彼らとの会見は、現在も続けられて
いる。

予言者は、自らやろうとする意欲を
持たず、関心も欠落している地球人を
どう扱うか学ぶために、長期間の苦し
い修業をしなければなりません。し
た。いまでも、彼らは自分たちに課せ
られた特別な任務を果たしています。

彼らの教えは、精神に関するものが
ほとんどですが、物質についてのもの
すごく深遠な意味を秘めた技術知識も
含まれています。人類のなかには偉大
な科学的知識に到達した者もいます
が、それでもこれに比較できるような
ものは現実にはありません」

メイヤーはここでセムジャーゼが彼
にした説明を述べたが、それによると
彼の魂はこの任務のためはるか昔に選
ばれ、多くの肉体的生涯を経て現在に
至るまでに徐々に発達してきたこと、
彼の精神構造が感受性に富み、まさに
驚くべき概念を理解し、受け入れる能
力を持っていること、が挙げられた。

「このため、多くの人々が希望しているにもかかわらず、プレアデス人は彼らとのコンタクトを行わないのです。私を通してコンタクトしようと、多くの人々がやって来るのですけれど、彼らの多くは、自分が私に勝るとも劣らない資格を備えていると考えて、自分たちにもコンタクトの機会を与えられてしかるべきだと思っています。しかし、そうではないのです。宇宙からの訪問者は、私たちと違う尺度で物事を判断しているのです。地球人はこのことをよく理解するように努めなければなりません。そうすれば、彼らと同じ結論に達するでしょう。」

つまり、私たちの文明が、そのよう

コンタクト現場を保護する手段

メイヤーがコンタクト現場に他の人間を同伴したらどうなるのだろうか。

「他の人を同伴すると、宇宙船の誘導に用いられるテレパシー操縦装置が影響を受けます。コンタクト現場への宇宙船の操縦はいつもこの装置で行われるのですが、この装置には異質の脳波パターンを検知する安全装置が組み込まれています。目標地点でテレパシー操縦装置に登録されていない異質の脳波パターンが検知され、それが持続するようだと、その目標地点は拒否されます。」

この場合、宇宙船を手動で操縦しな

な進歩した文明と交流するには、まだ機が熟していないのです。地球人は精神に関する進んだ概念と、その意味するものにまともに取り組めるほど成熟していません。いまのところ、一般大衆がコンタクトすることは私たちに比べて最善とは言えず、それに加えて、私たちの現在の精神状態では、彼らは正しい意味を伝えられないでしょう」

宇宙人とのコンタクトは何千年も続いております、私たちの人間性の準備がどのようように、特定の地球人がコンタクトに選ばれてきた。この進歩は今後も続き、我々の知識と理解が深まるにつれてテンポも速まると予測されるが、まだまだ先は長い。

ければならず、また特殊装置を用いて同伴者をさらに接近させるのが有益かどうか決定しなければなりません。その同伴者を受け入れてよいということになれば、私はある地点までテレパシーによる誘導を受けます。そこで同伴者は留まり、私だけがさらに数百メートル、あるいは数千メートル歩いて実際の会見地点に向かうようにとのメッセージを受け取ります。一般に、会見を危険に陥れるような誤ちがないかぎり、この手続きは順調にいきます。

宇宙人たちは、コンタクトのあいだ自分たちの防護措置を講じています。

一般に、プレアデスの宇宙船には2つの防護スクリーンがあります。外側のスクリーンは宇宙船から約500mのところセットされていて、スクリーン内への立ち入りを制限する効果を持っています。好ましくない人間が、意識的にしろ無意識にしろ宇宙船に近づくと、この目に見えない非実体スクリーンで惑わされて、それ以上宇宙船に近づけないようになっていきます。

2番目の防護スクリーンは宇宙船から100mのところであり、2つの強力な磁石の同じ極同士が反発しあうのに似た働きをします。宇宙人の話では、このスクリーンの力は非常に強力なので、大型戦車でも突破できないという事です。また弾丸でさえも、スクリーンを30%も貫入しないうちに反発され、入射角に応じて様々な方向にそらされてしまいます。

概して、同伴者たちは、はるか遠くから宇宙船の離着陸を観察するのがせいぜいです。この距離は、前にも言ったように、500m以内ということはないでしょう」

プレアデスのさまざまな宇宙船

「プレアデスの小型宇宙船は、地球大気中で活動しているときには、ふつうの場合、乗組員も操縦者もたいていは女性です。100件にも近い目撃例のうち、男性が操縦していたことが分かっているのはたった2件だけです。こ

ありません。また、宇宙船の着陸する場所は見とおしの良くない森の中の空地が普通なので、着陸した宇宙船が発見されることはほとんどありません。昼間のコンタクトでは、光線を屈折させる技術を使って、宇宙船を上空からも横からも見えなくしています。普通、着陸地点は辺鄙で、人がぶらつきそうもない場所です。

私の場合、はじめのころのコンタクトは、ほとんど日中に会見してしました。しかし時間がたつにつれ、会見の予定時刻は夜中や夜明け前に変更されることが多くなりました。これはひとつには家庭的な理由のためですが、もうひとつは、いろいろなグループがコンタクトの場所をみつつけようと私のあとをつけ、荒っぽい迫害を試みながらです。

グループの中には、自動車に回転式アンテナを装備したものもいましたが、まったく役に立ちませんでした。このような試みは今後も成功することはないでしょう」

のことは、少なくともプレアデス人とその仲間たちの場合は事実ですし、また私たちの宇宙と協力関係にあるDAL宇宙の人たちの場合もそうです」

このことについて質問したメイヤーは、地球人を観察した結果彼らは、地

球人が女性に対しては男性に対するよりも親切であると知ったからだ、と聞かされた。

「偵察船は3、4人乗れるように建造されています。直径は少なくとも5mはあり、必要とあれば惑星から惑星に飛行することも出来ますし、また惑星の大气中でも行動できますが、宇宙船としては小型の部類に属しています。地球周辺で行動しているこのクラスの

プレアデス偵察船は一樣に7mの直径を有し、3人乗りです。その装備の中には、次元及び超次元急速移行（ジャンプ）のための装置があつて、一瞬のうち何万年光年の距離を移動することを可能にしています。この偵察船は、ふつうは乗客や物資の輸送に用いられませんが、その他の色々な作業にも使用されています。操縦は自動車の運転よりも簡単なくらいで、実際には操縦者が1人乗っているだけです。また、将来起こりそうな出来事を計算する自動装置を組み込んであるので、故障はそれが実際に発生する何日も前に指示されますから、事故は絶対に起こりません。この装置は同時に、操作の誤りをも修正して、それを無視できる程度にまで減少してしまいます。人工頭脳と連動しており、自動計測用円盤を除いた全旅客船の重要部分となつています。

直径約3・5mの小型偵察船も使用されています。これは操縦者だけの1人乗りです。偵察や調査用に建造されたものですが、地図製作その他色々な目的にも使用されます。その行動能力は惑星の表面上のみに制限されていて、つまり大気中で行動できるだけです。しかし他の宇宙船と同様に反重力装置は備えているので、ただ惑星間航行の能力がないというだけで、ほとんど無限の行動能力を持っています。

自動計測用円盤は直径1mから5m

無人の遠隔操縦機です。調査・観測に使用されています。他の宇宙船から遠隔操縦されるのですが、自動飛行もできます。

本場の宇宙船は、直径は数百mで、長さ数kmにも達する巨大なものです。その収容人員は数10万にも及びます。このような巨人宇宙船は大気圏外に停止しています。事実上自給自足の小宇宙で、1つの宇宙から他の宇宙への航行が可能です。行動の制限はないと言つてよいくらいで、いかなる惑星系か

時空を克服する高度な科学技術

エドアルド・メイヤーと宇宙人の第4回のコンタクトは1975年2月2日に行われ、次のような会話が交わされた。

メイヤー セムジャーゼ、あなたは（地球）人類が、光速に達したとき物質を変化——というよりむしろ一時停止させることの可能な全く新しい推進法、たとえば光子推進とか放射能推進などを採用したときはじめて大気圏外探険ができるようになる、と話していませんか。宇宙船がそのような状態、つまりいわゆる「超宇宙」に突入すると、時間も空間もはや存在しなくなる、と言っていましたか。

セムジャーゼ そのとおりです。宇宙を横断するには光速をはるかに越えた速度が必要です。でもそのような推進

らも全く独立しています。これらの大宇宙船には多数のロボットが搭載されていて、エンジンを動かしたり、広範囲の労働に従事しています。船上にはたくさんアンドロイド、つまり半分は機械、半分は人間にきわめてよく似た有機的な人造人間も乗っていて、観測などのようにロボットよりも複雑な作業を行っています。これらのアンドロイドは自分で考え、仕事をする能力を持っていますから、宇宙船の重要な乗員でもあるのです」

装置はこの速度に達してからはじめて作動を開始できるのであって、ですからその瞬間までは別の推進装置が必要です。つまり、宇宙船には2種の推進装置を装備しなくてはなりません。1つは通常の動力、もう1つは「超宇宙」用動力です。時間と空間が存在を停止してはじめて、光年で測るような超遠距離を一瞬のうちに航行することが可能となるのです。

メイヤー そのような宇宙船の乗員にとって、彼らが船内ですごす時間と故郷の惑星で経過する時間とは、同じものなのでしょうが？

セムジャーゼ 全く同じです。たとえば私たちがプレアデスを出発して7時間かかって地球に着いたとすると、プレアデスでも同じく7時間が経過して



いるのです。出発のときには通常動力でブレアデス圏を横断し、超高速になつてはじめてもう1つの動力にギヤ・チェンジします。そして、地球圏に入る前にはもう一度チェンジしなくてはなりません。だから7時間という時間が必要なのです。しかし、このギヤ・チェンジは惑星にあまり接近しないうちに行うよう十分に注意しなければなりません。

メイヤー セムジャーゼ、この2種類の動力がどのように作動するのか説明してくれませんか？

セムジャーゼ ごめんなさい。詳しくお話しすることは許可されていないのです。でも、地球の科学者の一部がすでに正しい方向に研究を続けていることだけは確かです。彼らがいわゆるタキオン推進や光子推進を試験している

ことは、私たちも知っています。彼らはもう基本原理は知っています。光子推進は宇宙船をタキオン推進への切替点まで加速するのに有効です。私たちは別の言葉を使っていますが、原理は同じことです。

メイヤー そのような宇宙船は外形が大切でしょうが、宇宙旅行には円盤型が適しているのでしょうか？

セムジャーゼ そうです。円盤型ですと最大の表面積に対し抵抗は最小となるので、推進力が十分に利用できるのです。

メイヤー なるほど、でもそのような力で乗員が圧死する危険なしに、惑星の重力の場と大気圏を通過しておそろしい高速にまで達することができるものでしょうか？

セムジャーゼ その説明は簡単です。

私たちの宇宙船は、いかなる種類の抵抗も物質の破片も自動的に排除するエネルギー・スクリーンで保護されています。この保護スクリーンは、私たちが宇宙船の周囲に作り出す特殊な重力の場と同じものです。この保護スクリーンにより、どんな惑星に接近するときでも、その惑星の重力の場を中和させることができます。そうすれば、宇宙船の乗員が天体の力の場に影響されないことはお分かりでしょう。乗員は、自分たちの居心地の良いような、制御可能な重力場の中で生活しているのです。重力や大気状態の異なる惑星に着陸するときには、私たちは宇宙服を着て、小さいけれども有効な装置を

地球人に対する重大な警告

7回目のコンタクトは1975年2月25日に行われ、重大な警告が与えられた。

セムジャーゼ 今日、あらゆる政府首脳や科学者が読んでほしい伝言をお伝えしたいのです。それは、地球のある種の生命を絶滅してしまうおそれのある研究の成果を彼らが実用化するといけないからです。私たちは何百年にもわたってあなたがたの地球の周囲の各大気層を調査してきましたが、この数年間に危険な変化が生じつつあることに気づいたので、たとえばオゾン層は、各種のガス——もっとも有毒な

携行して自分の周囲に保護スクリーンを作り出すのです。

メイヤー 詳しく教えて頂いて感謝します。その装置をすこし技術的に説明して頂けませんか？

セムジャーゼ 残念ですが、それはできません。でも、もう一度申し上げますが、地球にもすでにそのような装置を研究している科学者がいます。しかしそのような装置を活用するには、まずもっと精神的に発達をとげねばなりません。そうでないと地球人類は、そのような装置を誤用して脅威を受けるようになるでしょう。同じような事件が以前の惑星でもしばしば起こったことがあるのです。

臭素ガスなどが蓄積してきたため、一部の地域では徐々に分解しようとしていきます。臭素の量はすでに6・38%にも達しましたが、ここまでするにはわずか60年しかたっていない。このガスはきわめて危険な気体で、植物、動物、それに人間まで変化させてしまうおそれがあります。その上、これらのガスのために生じた裂け目から、現在よりもずっと多量の紫外線が大気中に降りそそぐ結果となります。

これは、あらゆる生命体にとって危険なことです。このような状態が生じて危険にさらされている地域が、地球に

天文図書の

地人書館 〒112 東京都文京区後楽1-1-10
☎03(815)4422 振替東京6-1532

新刊

●天文学習に役立つ天文ファン待望の書

天文観測辞典

古畑正秋監修 A 5判 380頁 定価2900円 千200円

天文観測用語の解説と観測法の標準化を目標に、第一線の諸先生が解説した天文ファン必携の辞典です。天文の基礎事項から天文現象・観測法・機器などまで観測に役立つことに徹しました

●「天文の基礎教室」姉妹篇

天文の計算教室

斉田 博著 A 5判 228頁 定価1500円 千200円

“直径2.2cmの100円玉を、目からどれぐらい離すと太陽をおおいかくすか”など、天文に関する色々なことを簡単な計算式で解き、勉強しやすいよう受験参考書形式にまとめた楽しい天文書

●初心者のための入門の入門書

子供の天体観測

天文と気象編 B 5判 128頁 定価700円 千160円

観測をはじめようと思っても、どんな望遠鏡がいいか、またどうすれば星がさがせるかなど、望遠鏡をのぞく前に知っているほしい観測の基礎知識をいっばいつめこんだ天体観測の入門書

好評発売中

●ヘール天文台校閲による天体写真の決定版

パロマ天体写真集

大澤清輝解説 B 4判 定価1700円 千240円

ヘール天文台の5m大望遠鏡がとらえた神秘的な宇宙の姿を、一頁一枚、週刊誌を開いた大きさに再現した迫力ある写真集。これまでの上、下2冊を1冊にまとめた永久保存版です

●先生と生徒の必読書

顕微鏡のすべて

井上 勤監修 B 5判 240頁 定価1300円 千200円

顕微鏡の正しい使い方、標本の集め方、作り方がわかり、生物の生きる仕組みをとらえて学校の授業や毎日が楽しくなります。顕微鏡をしまいこんでいる人、これから買う人のための本

は3カ所あるのです。早くこれらのガスの放出を制限しないと、地球を保護しているオゾン層は数十年以内に完全に破壊されてしまうでしょう。このことは、内燃機関や、1945年くらい地球に影響を及ぼし生物に重大な損害を与えてきた核分裂などの、物質を変化させる施設から生ずる有害ガス類が蓄積している事実についてもあてはまらず。一言付け加えますが、スプレーのような小さな道具を使用すること、やはりそうなのです。その内部にはきわめて有毒な薬品が封入されていて、大気中のその総量は徐々に増加しています。一部の科学者もそのことに気づき、これを兵器に利用しようとしています。彼らは有毒物質を積んだロ

ケットを建造しようとしてさえしているのです。ロケットが成層圏に打ち上げられて爆発しますと、オゾン層には巨大な穴が開くのです。この穴がふたたび閉じるには非常に長時間、たぶん数百年もかかります。オゾン層は決して静止しているものではないことにも注意してほしいのです。それは地球の周囲を移動し、それにつれて人工の裂け目も移動し、地球の色々な地域を次々に汚染していきます。科学者はこの事実を無視していません。ですから、私たちの伝言は、このような狂気の計画が実行に移されることのないよう阻止するのが目的です。政府高官へも科学者へも、また一般大衆へもこのことを発表してください。地球の全生命に危

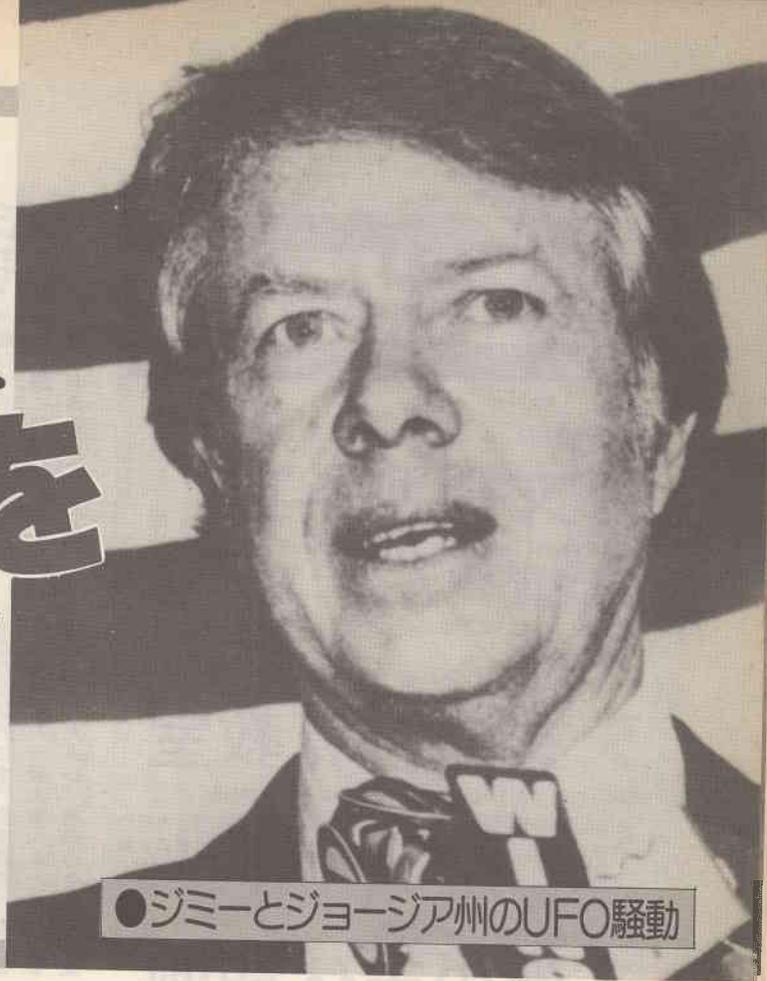
機がせまっています。このような危険な兵器の使用を禁止する国際条約の締結のため、ただちに協議を開始しなければいけません。これに関連して私は、この研究分野の発達に重要な役割を演じている人物として、米国ハーバード大学のマイケル・マッケルロイ教授の名前を挙げたいと思います。マイヤー どうすればよいかまだ分からないのですが、とにかく全力をつくしましょう。セムジャーゼ 心配することはありません。あなたはりっぱにやりとげてください。援助してくれる人も現れるはずですよ。あなたにあまりにも多くを求めすぎることは分かっていますが、これは急を要します。大衆もこの危機を

自覚しなくてははいけません。これに関して、私たちの技術時代とそれに付随して生ずる物質とエネルギーの大量変換の結果起こる危険を科学者は自覚していないが、現在進行中の変化がどの程度のものなのか、私たちは十分自覚していないのだ。私たちが作り出した結果から私たちが救出するために来る者はだれもないのだ、と宇宙人は主張する。問題を解決して地球の生産性を高めることは、私たち自身のみで課せられた仕事なのだ。さもなければ、破滅あるのみである。宇宙人のほうがたぶん正しいのだろう。(完)

訳／中村省三・増野一郎

カーター 大統領は UFOを見た!

ハリー・ヘルムス



●ジミーとジョージア州のUFO騒動

UFO問題の正体を暴露しようとする人が好んで用いる戦術は、UFO事件の物的または写真による証拠などを無視してかき、目撃者を激しく攻撃することにある。一般人のだけれがUFOを見たと言ったと報告すると、攻撃者の仕事は容易なものになってくる。目撃者はすぐに無学者、売名屋、ウソつき、インチキなどのレッテルが貼られるのである。攻撃者は本人に会いもしないことが多い。保安官や軍のパイロットなどがUFOを目撃すると、攻撃者は工作を始めて、市民の日常生活や国家の安全が託されているこの人々は突然精神がおかしくなったか、何かを誤認したということにされてしまう。

アメリカの宇宙飛行士のごときエリートが目撃者集団でも、この傲慢な取扱いをまぬがれ得ない。最近もある筆者——その人の書いた記事ではNASA(米航空宇宙局)の職員だとは言っていない——が主張するところによると、ジェミニ4号に乗って飛んだ宇宙飛行士のジェームズ・マクディビットは、自分のタイタン・ブースターをUFOと誤認したという。ジェミニ7号によるUFO目撃も別な誤認だとされた。精神がおかしくなったというような非難は別として、ある宇宙飛行士たちは、非難者の見当はずれな引用や事実の誤述に悩まされたのである(マクディビットはフィルムにUFOをとらえているとコンドン報告は明確に言明

しているのに、彼はUFOを撮影しなかったのだといわれた。

UFO目撃者の人生はむづかしい。攻撃者が宇宙飛行士すらも信じないということになれば、一体だれを信じているのだろう。大統領がUFOを見たと言張してもそれを信じるだろうか。

UFOを目撃した大統領

UFO攻撃者はジミー・カーター大統領を信じないかもしれないが、大統領自身はある夕方、ジョージア州南部のリリーという小さな町で、数名の同時目撃者とともにUFOを見たことを力説している。

「それはたしかにいた。たしかに未確認物体だった」と大統領は円盤の目撃について語った。月ほどの大きさで、色光が変化したという。

知事・大統領を通じてカーターの対報道人秘書であるジョーディー・パウエルは、カーターの目撃について記者団に次のように語っている。

「ジミーが不思議な発光体、つまり物体のある夜空にたしかに見たと言っているのを私は覚えてます。星、飛行機、その他の見当のつく物ではないということでした。これを未確認飛行体(UFO)と定義づけるとすれば、まさにそのとおりだと思います」

大統領の選挙運動のさなかにカーターに付き添っていたパウエルは、次のよ

うにつけ加えて、目撃報告から生じる攻撃を最小限に食い止めようとした。「このことが多少とも彼に攻撃の材料になったとは思いません。私が敢えて言いたいのは、彼は知事時代にたぶんもつと不思議な不可解な物を見ているということです」

1973年9月13日にジョージア州ダブリンのインタビュアーで、ジミー・カーターはUFOを見たことをまず認めた。1973年の後半、当時彼が知事であったジョージア州がUFOブームの中心地になったとき、彼は驚くべき発言をする気持ちを起したのである。

ジョージア州のUFO出現ブーム

ジョージア州のUFOブームは1973年9月7日に一斉に始まった。この日、サバナ付近のハンター陸軍飛行基地をパトロール中の憲兵2名の車が、低空で飛ぶUFOに追跡されたのである。下士官のバート・J・バーンズとランディー・シェードがそれで、両名が飛行場周辺の道路を巡回していたとき、東から西へ高速で飛ぶ、閃光をともなった物体に気づいた。高度は約600m。2人が約10分間見つめてみると、突然UFOは超低空でパトロールカーめがけて、降下して来た。そして車の青い点滅灯すれすれに飛びすぎたとたん、車は道路から飛び出て溝

の中に落ち込んだ。物体は約180m彼方で停止して、青、白、黄などの色光を放っている。一方憲兵は車を溝から引っぱり出そうとして15分間悪戦苦闘した。やっと車を道路にもどした2名は本部へ帰り、物体もいなくなつた。

両名にとって幸いなことに、この体験に対する裏付け証拠が、2カ所の思いがけない方面から出てきた。憲兵の事件より約45分前に、サバナの住人マールカス・ホランドが、サウスキャロライナ州の方向から1機のUFOがサバナ川を飛び越えて、大きな弧を描きながらハンター飛行場の方へ突入したのを見たと言ったのである。物体は種々の閃光を放ったという。また、同じ日の夕方、サバナ郊外の約12名の住民も、北極星の2倍ほどの明るい黄色の物体がサバナ上空を飛ぶのを見たと言っている。

9月9日には、ジョージア州全体からUFO目撃報告が出てきた。モロウ市のバートニア・スミス夫人は午前4時40分にネコの唸り声と奇妙な動作で目が覚めた。ネコを連れ出そうと起き上がり、ドアをあけたとたん、UFOに気づいた。旅客機ほどもあるオレンジ色の物体で、パイプ状の付属物が底部と両横から突き出ている。

「頂上からもパイプみたいな輝く物が突き出ており、約15分間樹木の高さほどの位置に停止して、急速に無音のま

ま北西の方へ飛びました」とスミス夫人は語っている。

同夜、ジョージア州の警官R・E・トレイラーは、車でパトロール中、「大きな発光体が高速で真南の私の進行路線に入ってきた。気球のように浮かんでいたが、かなりなスピードで、約90mの高度にいた」という。

その目撃の2分前に、トレイラーは22km離れたマンチエスター上空でUFOが目撃されたという報告を無線で受けていた。その地域にいた1警官がパトカーの上を飛ぶ物体を見たのだ。

また、同じ日曜日の夕方、7時30分頃、アトランタのジェームズ・R・ワイアットも、自宅上空を3個の発光体が見た。そのとき道路の両側の灯火すべてが消えたという。

「物体(複数)はジグザグに飛び続け、北の方へ去って行った」と氏は回想する。ワイアット氏の家の近くに住むアルマ・エスリッジ夫人も、同時刻にその3個の謎の物体を目撃した。

その夜遅く10時30分に、アトランタ近くのバフォード・ハイウエーをドライブしていたメリー・アリス・ローズは、飛行機が空中爆発を起したような現象を見た。アトランタ郊外のドラビルのオイルタンク付近で、数個の閃光を見たのである。

「マグネシウムみたいで、ものすごく光りましたが、赤い光も見えました。

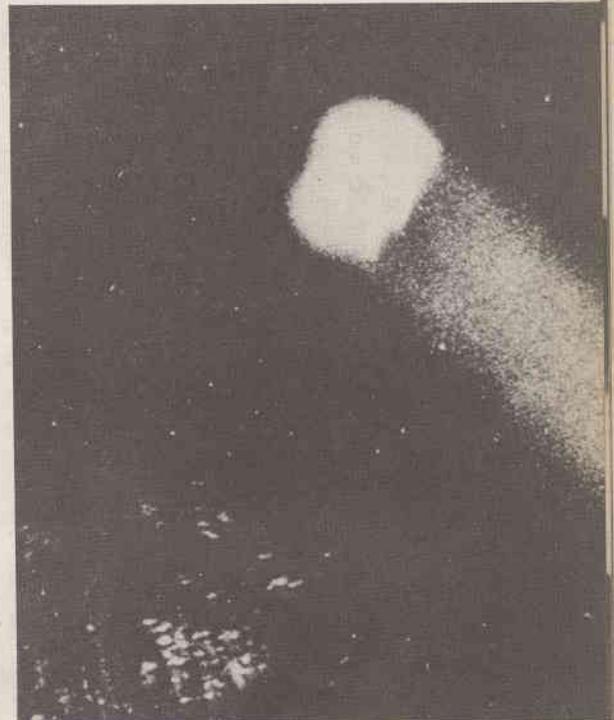
飛び去るときに煙があつたように思いますが、雲だったかもしれせん」

着陸したUFOの残した跡

いよいよ面白くなったのは9月10日である。その日午後4時15分頃、ジョージア州グリフィンのあるラジオ放送局に、近くのオーチャードヒルという村のラスト・クレイトンという農夫から電話があつた。彼の家から約22mの位置の地面に、黄金色に輝く物体が降下するのを見たという。物体はコマミたいに回り、着陸時に地上から煙が立ちのぼつた。少しの間接地したあと、上昇して視界から消えた。

この報告はグリフィンにあるジョージア大学農事試験場の化学者、O・E・アンダーソン博士に回送され、博士は事件後2時間少々過ぎにクレイトンの畑へ到着した。そしてバスケツトボールほどの大きさの焼け跡を発見したのである。アンダーソンは土のサンプルを採取して異常な物質はないかと調べてみたが、ガソリンのごとき可燃性のものは見当たらなかった。

「土はただ草が焼けるにしろは異常に熱かった。少なくとも半インチの深さまで熱く、1インチの深さになるとすごい高熱だった」と博士は報告している。土中の草の根や木のクズなどは焦がっていた。焼けた地面には穴やくぼみはない。夜までにグリフィンのラジオ



▲1973年9月1日夜、ジョージア州の新聞発行人 チェスター・タタム氏撮影のUFO。

局には、この人口の少ない地域の上空を各種の謎の物体が飛んだという報告が殺到したのである。

9月14日には、ラスト・クレイトンの謎の訪問者は別な農夫の注目を引いた。オーチャードヒルのクレイトンの農場から30km南東のブルックス村でロイ・ローホンが5歳の娘ドナと一緒に住んでいる。午前2時30分頃、屋外のセミの鳴き声に似た音と強烈な光によって目が覚めた。

外を見ると、黄金色に輝くUFOが彼の家の方へやって来る。大きさは人間の頭ほどある。物体が何なのかわからなかったが、すぐに自分と娘の身をを守る行動を起こした。「家の方へ来るらしいので、ライフルをつかんでせいづめがけて3、4発撃ったら、地面のむこうに消えてしまった」と彼はア

トランタ・コンステイテーション紙の記者に語っている。

物体は家から9m彼方に着陸し、焦げ跡を残した。雨がサマタイにゆっくり降下したという。

O・E・アンダーソン博士はまたも謎の球体が降りた地点を調査した。ここにも穴やくぼみは見当たらなかったが、ある種の跡が残っていた。長さ30cm、幅15〜20cmのひっかき跡があったのだ。地表のすぐ下部は広く焦げた有機物の地層になっており、これも可燃性液体がしみ込んだ跡はない。2種類の目撃事件に首をひねったアンダーソン博士は、これは地上に激突した人工衛星の破片によるものかもしれないと説明したが、金属が落ちた形跡はないし、UFOの行動は、地球に落下する燃える破片どころではなかったのである

る。

カーターの勇敢な発言

しかしロイ・ローホンのUFO遭遇は、9月14日の主要事件ではなかった。ジョージア州で新聞の大見出しになったのは、ジミー・カーター知事自身がUFOを見たという声明である。カーターは同州のダブリンで講演を行い、そのあと記者団の質問に答えたのである。UFOはすでにジョージア州でかなり新聞沙汰になっていたのだから、UFOに関する意見を求めたのだ。記者団は冗談か皮肉が返ってくると思ったが、意外にもカーターは次のように答えた。

「私はUFOを見たという人たちは笑いません。私自身も見たからです」

その体験をくわしく話せと記者団からしつこく要求されたカーターは、1970年にジョージア州知事選で選挙運動中、青い円盤型物体を目撃したと述べたのである。目撃時に彼は選挙演説をする予定で、南部ジョージア州のリリーという町にいて、演説をする事になったというホールの外で地元のリオンズクラブの数名のメンバー全員とUFOを見たのだ。目撃時間は5〜10分間である。カーターはただちにテープレコーダーの所へ行つて、「驚くべき光景」と彼が称する事件内容を

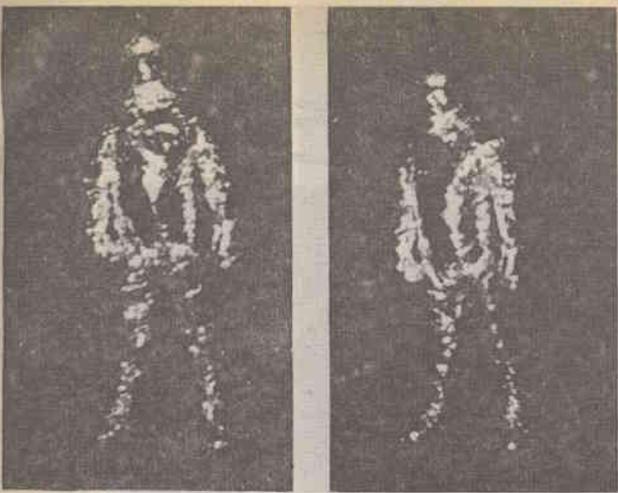
口述録音した。

ダブリンでの記者会見でカーターはその物体を次のように説明している。「物体は地平線から仰角約30度の所にあり、月ほどの大きさに見えた。次第に小さくなって、赤い色に変わったがまた大きくなった」

まもなく物体は夜空に消え去った。その目撃体験をどのように解釈するかと尋ねられたカーターは「たぶん何かの電氣的な現象だったかもしれない。全く酒を飲んではいなかったがね」と皮肉ったけれども、「たしかにそこにいたし、たしかに未確認物体だった」と強調した。

UFOの背後にいる何者かが、または何かが、カーターの驚くべき告白に気づいていたかどうかは不明だが、10月17日にはジョージア州に不思議な物体が大挙して着陸した。その夜アトランタ一帯の空は謎の物体群に満ちたのである。アトランタの近くのオックスフォード町に住む退役海軍パイロットのエルモ・シューベから典型的な報告が出た。彼は後に記者団に語つたように、「気球とは異なる4個の明るい光体」を見たのだ。1個が他と離れて西方へ消えて行くと、他の3個も高度を変えずに従った。この光体群はものすごく輝いていたという。

「私の娘が円盤を見てごらんと呼びかけたのだが、当然のことながら私は急がなかった。しかし最後の一個は2種



▲アラバマ州フォークビルの警察署長ジェフ・グリーンホーが撮影した宇宙人(?)

類の色光を放っていた。空軍へ知らせると、気象観測気球だと言っていた。以前私はUFOを疑っていたが、今は違う。あれはこの世界のものではない」とシューベは言っている。

UFO乗員に発砲!

1973年のジョージア州のUFOブームのなかで、最後の主な事件が、最大の見ものだろう。1人の恐れおののいたドライバーが2名の乗員に発砲したのである!

ジョージア大学のあるアセンズに住むポール・ブラウンは、車の販売業者である。彼は10月17日の深夜、アセンズ付近のマディソン郡国道29号をドラ

イブしていた。カーラジオでワールドシリーズを聞いていたとき、突然、そのスポーツ放送が消えて、空一面が強烈に輝いた。

彼は耳もとをかすめるゴルフボールのようなシューッという音を聞いた。車のガラス越しに見上げると、上空約60mの位置に奇妙な飛行体が見える。はじめは飛行機が故障を起こしたのだろうと思った。

しかし物体は車の時速100kmよりも速く降下し、彼がスリップして停車すると、物体は30m以内に来ている。それで飛行機でないことがわかった。前方に彼が見た物は、目もくらむほどの光を放つ1機の円盤型物体である。推定によると、直径は4・5m、高さは1・8mあった。

ブラウンが目もくらむ光をささぎろうとしていたとき、突然、2人の「人間」が物体から降りるのが見えた。強烈な光のために、どうやって降りたのかはわからない。

2人とも身長約1・2mで、銀色のユニフォームを着ているようだった。靴もはいている。足首のところは縮まっていて、首の部分もそうなっている。銀色の手袋をはめて、髪はまっ白だ。強い光のために顔付きはよくわからないが、顔色は赤味を帯びている。ひどく恐怖したブラウンは、車中にあったピストルを取り出して、ドアを開き、外へ出て狙いをつけると、2

人の怪人はあわてて物体の方へ逃げ帰った。物体の光が消えたので、ブラウンはUFOめがけて2発撃った。弾丸は当たらなかったようで、UFOは離陸して、夜空に消えて行った。

彼がすぐにマディソン郡保安部へ通報すると、保安官補のジミー・マトックスがブラウンと共に事件現場へ行った。ブラウンはその体験でひどく恐れていたとマトックスは証言している。全身を震わせていたという。彼がUFOを見つけてブレイキを踏んだ場所に7・5mもスリップした跡が発見された。

期待もてるホワイトハウス

ポール・ブラウンの体験はほとんど広まらなかった。これは1973年10月には各種の新聞が米国中からのUFO報告で埋まっていたからである。有名な報告が、アラバマ州フォークビルの警察署長ジェフ・グリーンホーから出ている。自宅付近でUFOを見たという婦人からの電話連絡を受けたグリーンホーは現場へ急行してみると道路のまん中に立っている奇妙な金属の服らしいものを着た怪人を見つけた。彼はすぐにカメラを取り出して写真を撮った。パトカーでそれを追跡しようとしたが、怪人は逃げてわからなくなった。

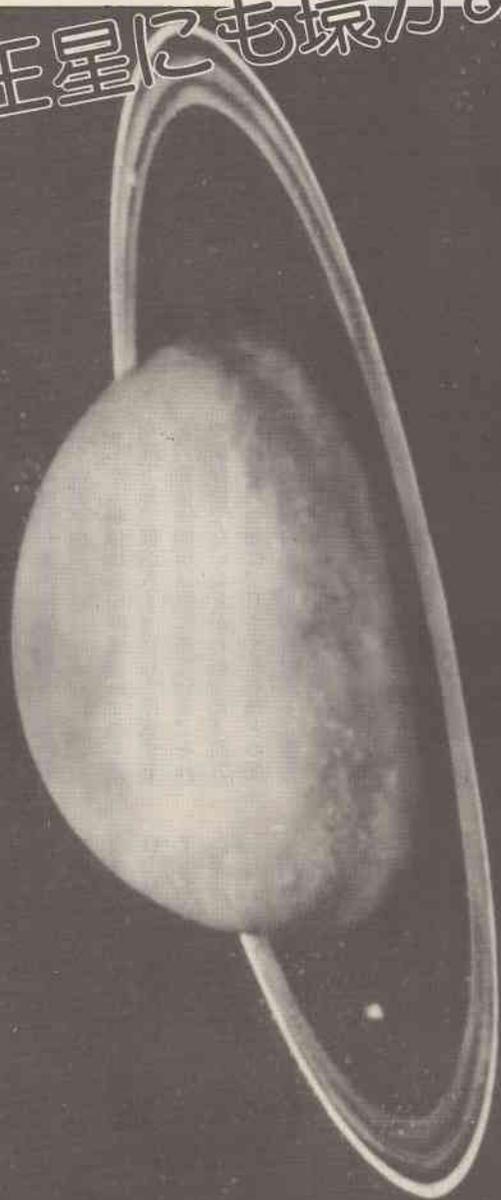
ポール・ブラウンは事件数分後に、

警官に通報したが、彼がジェフ・グリーンホーの体験について聞いていたはずはない。なぜならブラウンがマディソン郡保安部へ通報したときには、まだグリーンホーの事件は発生していなかったからだ。

しかし2人の事件が密接な関連をもつことはきわめてあり得ることだ。2人とも同じ物体と乗員の1人を見たのだ。グリーンホーの事件は同夜、300km以内の所で、しかも1時間少々後に起こったからである。

UFO問題がカーター新政権の重要問題表の上位を占めているとはまず考えられないが、UFO目撃公言者が初めてホワイトハウスにおさまっているのである。UFO現象に対する連邦政府各機関の態度は、代々、せいぜい無関心か悪くすれば敵意を示すものであった。ジミー・カーターは1973年のブームの秋に、多くのジョージア人がUFO体験について語るのを聞いたことがある。もっと重要なのは、彼が自分の目で見たということだ。UFO問題に対する積極的な関心をなくさせようとする圧力はまだかなりある。なぜならUFOに対する考え方を狂気と結びつけている人がまだいるからだ。しかしUFOに対する政府の態度ももう少し和らげるために、穏当な手段がとられるかもしれないという望みはある。

太陽系では50年来の大発見
天王星にも環があつた！



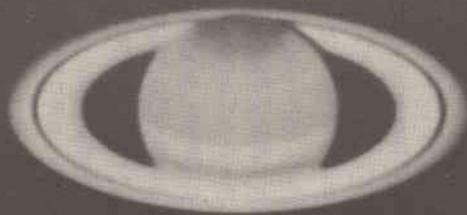
BYZANBACH 1977

天王星の周りにも土星と同じような環があることがわかった。環は5つあり、色は土星のものとよく似ているが、幅は非常に狭い。最大でも50~100km。

発見したのは米コーネル大学のJ・エリオット教授。同教授らによると、1930年に冥王星が発見されて以来、太陽系における最大の発見だという。

(写真/WWP)

▶土星の環は1万数千kmもある



30 YEARS OF UFO HISTORY AFTER WORLD WAR II

特集

戦後UFO30年史

——ケネス・アーノルド以後の驚異の主要事件——



●UFO目撃者、写真撮影者、映画に撮った人、宇宙人に誘拐された人、円盤に乗った人……UFOとの接触事件は世界各地に尽きることがない。ケネス・アーノルドの目撃から30年目のいま、人間とUFOとの衝撃的な遭遇事件を取り上げて、UFOの謎を追跡する

1947

●戦後UFO目撃第1号!

特集／戦後UFO30年史

ケネス・アーノルド事件

1947年6月24日午後2時、米ワシントン州チェハリスから自家用機を操縦して飛び去ったアーノルドは、同州ヤキモー目指して快適な飛行を続けた。だが途中でレイニア山の南西側に墜落したと思われる大型海兵隊輸送機を空中から探したために、飛行は予定より1時間遅れた。高度は約2800m。左後方約420mの高度にDC4型機がいる。空は一点の雲もなく澄み渡っていた。

強烈に輝く9個の円盤が出現

レイニア山上空を2〜3分飛んだとき、機体が強烈な閃光を反射した。驚いて見まわすと、左方のレイニア山の北方に9個の奇妙な物体が、約280

0mの高度で北から南へ飛んでいるのが見えた。急速にレイニア山の方へ近づいて来る。彼はジェット機だろうと思つた。数秒ごとに物体群のなかの2〜3機が急降下したり少しコースを変えたりする。いずれも太陽を反射して燦然と輝いている。かなり遠方なので形はよくわからない。

物体群がレイニア山に接近するにつれて、輪郭がはっきりしてきた。各機の尾部が見えないので、変形のジェット機だろうと考えた。高度は約3000mと推定されたが、地平線にかなり近くて、アーノルドと同高度を保っていることがわかった。

物体群はガチョウみたいな飛び方をし、互いにつながっているかのように一列をなしている。一定の方向へ進ん

でいるらしいが、高山の峰々を縫うように進行する。アーノルド機と物体群の距離は約40kmと思われた。

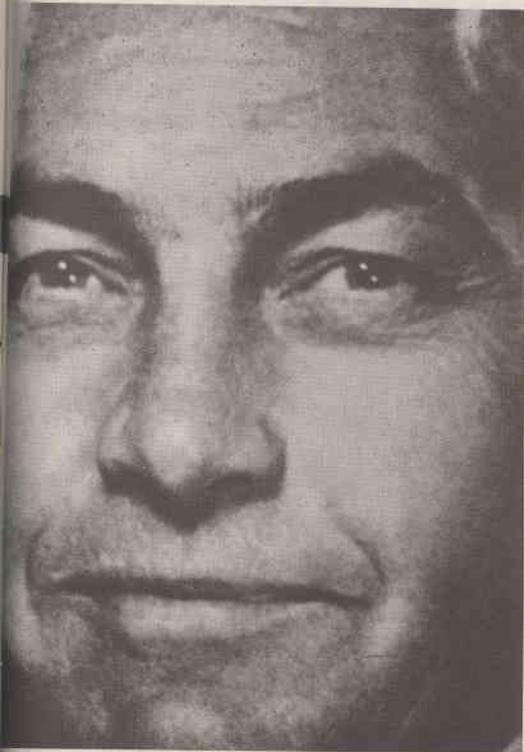
カウリング工具を用いて彼は各物体の大きさを、DC4型機の3分の2程

度と見つもつた。9個のUFOは雲におおわれた高い峰を通過して行く。先頭の物体がこの峰の南側頂上を飛んだとき、最後尾の物体が北側の頂上にさしかかるのが見えた。

その後この峰の長さを測ってみたら約8kmあることがわかった。したがって物体群の行列の長さも8kmあったことになる。アーノルドはレイニア山とアダムズ山間を飛行した物体群の所要時間を測って、この75kmの距離を1分42秒で通過したことをつきとめた。これは時速2650kmに相当する。

空軍はアーノルドの目撃を不可解な事件の一例としているが、公式見解では「目撃された物体群は艦気球しんきゅうであった」となっている。

物体が何であったにせよ、アーノルドの体験は新聞・ラジオを通じて大評判になった。それ以来、UFO(俗に



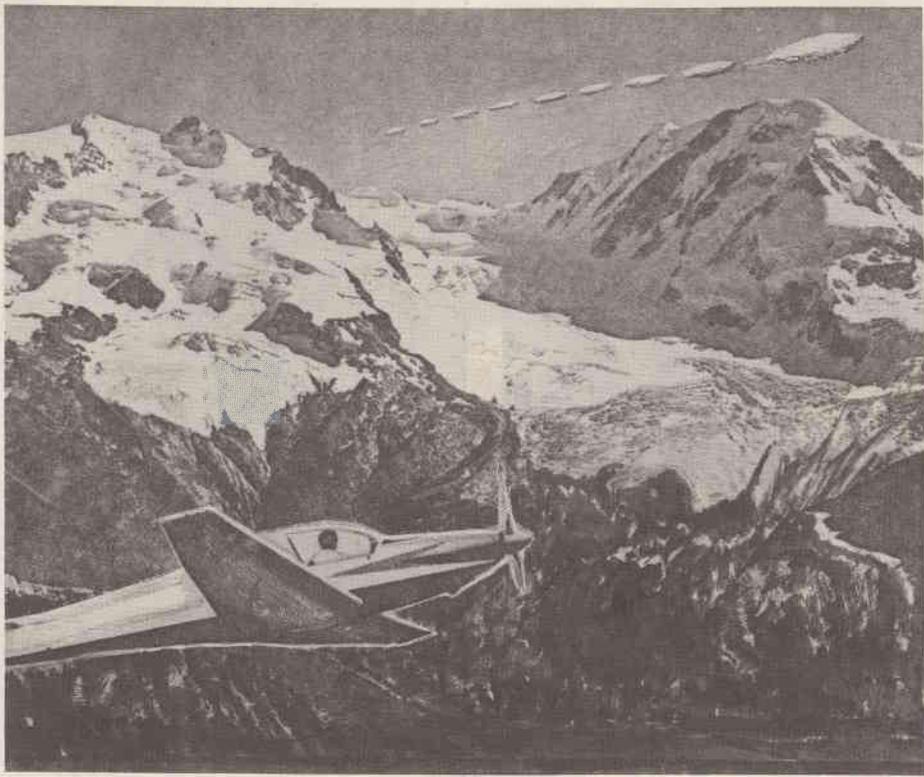
▲ケネス・アーノルド。

空飛ぶ円盤)が広く知られるようになったのである。

現在61歳のアーノルドはアイダホ州ボイスで健在であり、会社を経営している。1962年にはアイダホ州の副

知事選挙に共和党で立候補したが、敗れた。1966年には国会の共和党立候補者として立ったが、また落選した。

彼は現在も1947年の不思議な体



▲レイニア山上空で9個の円盤を発見(想像図)。

験を人々に語っている。

「私があの日キヤスケード山脈の上空で物体を目撃したのは、真実なのだ。全く偶然に9個の謎の物体を見た体験で名声を求めたことはない。普通のパイロットならだれでも報告するような出来事だ。

国を愛するという見地から、もし私が観察したものを報告しなかったなら、国家に対して忠誠心をもたないと思なされたことだろう。

私の目撃は特殊な視力や超能力などによるものではない。同じ時刻に同じ位置にいたパイロットなら、だれでも見えたはずだ。空想を働かせて気球、幻日、ヒョウ、雲などを誤認したのではないし、どう考えても幻覚、幽霊、騒気楼でもない。」

生きもののようなUFO

この体験以来アーノルドは別なUFOを数度目撃しているという。

「二度目に奇妙な物体群を見たあとで受けた印象では、UFOは機械というよりも生きもののような感じだった——ある種の魚に似て、密度を変える力を持つと思われる有機体のようなものだった」

とにかくアーノルドのUFO目撃が戦後ほうはいとして起こったUFOブームの先端となり、UFO研究史上重要な事件となったことは間違いない。

しかし反論者も現れた。多くの科学者は騒気楼説をと考えたが、その筆頭は当時マサチューセッツ州ケンブリッジのスミソニアン天文台長であったドナルド・H・メンゼル博士である。彼は実験室内で蒸気と光を応用して見事な「円盤現象」をつくり出し、学生たちを驚嘆させた。

だが、以来三十年間、世界各地に無数のUFOが出現し、多数の写真が撮影されて、今やUFOの存在は否定できないものとなった。しかしその謎は未解決である。別な天体から来る宇宙船なのか、それとも四次元世界の実体が具象化するものなのか——。アーノルドの見た謎のUFOは今もなお神秘のベールに包まれている。

いつか解明されるときが来るだろうか。UFOは人類の科学と精神が現在のレベルをはるかに凌駕する時代へのガイドの役割を果たす「何か」なのか。それとも破壊の方向にむかう惑星・地球に対する警告的な意味をもつものなのか——。

ちなみにアーノルドが記者会見で、「まるで空飛ぶソーサー(コーヒー台皿)みたいだった」と語ったところから、Flying Saucerという語が生まれたと伝えられているが、これは誤りで、実際は記者の一人がそのような新語をつくり出したというのが真相のようである。

●UFOを追跡中に無惨な最後をとげた――

悲劇の

マンテル大尉事件



▲マンテル空軍大尉。

巨大な円盤が現れる

同日午後1時15分に、ケンタッキー州ルーイビル郊外にあるゴッドマン空軍基地へUFOらしい物体が出現したという報告があった。場所はそこから約130kmのメイスビルで、報告者はハイウェーパトロールマンである。すると20分後に州警察からまた報告が入って、ルーイビルの西方で直径100mもあると思われる巨大な円盤型物体が目撃されたという。調査してみると、どうやら大変な「怪物」が飛んでいるらしい。そして1時45分にはゴッドマン基地司令塔の監視員2名

1948年1月7日、米ケンタッキ―州ゴッドマン空軍基地付近上空で、マンテル大尉が愛機F51を操縦してUFOを追跡中に、機体が空中分解し、無惨な墜死をとげるというショックな事件が発生した。これはUFOにより犠牲になった事件の代表的なものである。

も、上空にUFOらしい物体を観測したというので、基地司令官ヒックス大佐も身を乗り出して双眼鏡で観測した。大佐によると、巨大な燃えるような円盤で直径は約45mと推定した。続いて2時10分頃、ゴッドマン基地から50kmのマジソンで数10名の住人が巨大な円盤を目撃し、それがフォートノックスの憲兵隊に伝えられ、更にゴッドマン基地の司令塔に入った。

ここで運命の神はその手を大きく伸ばして、1人の若い勇敢なパイロットを引き寄せる――。

ちょうどその頃、南方から4機のF51戦闘機が訓練を終えて基地に接近中であつた。司令塔はその指揮官トーマス・マンテル大尉(25歳)に連絡してUFOを追跡せよと命令したが、燃料

を補給するためにいったん編隊は着陸した。急いで補給をすませた後、マンテル機は3000m上昇し、これを2機が追尾した。

2時45分にマンテルから無電連絡が司令塔に入った。

「前方に何かが見える。本機はなおも上昇中。物体は空中で一時停止し、また、すごいスピードで飛び去った」

ここでマンテルは一時UFOを見失つたらしい。しかし3時には地上の要員たちも金属製と思われる巨大な円盤を目撃している。大きさは巡洋艦ほどもあり、上部は円錐型で、頂上に赤い光を放ち、高度は約4000mであつた。

3時5分にマンテルから連絡が入つた。

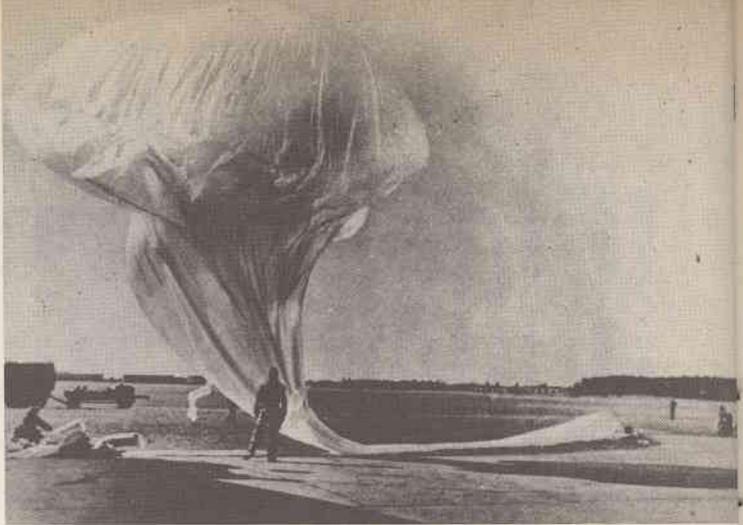
「本機は物体に接近中。真上にあり、本機の約半分の速度で飛行中。金属製らしい。ものすごく巨大だ。本機は更に上昇中」

司令塔内は息づまる緊張と興奮に包まれて、次の連絡を待った。他の僚機はUFOの追跡を断念したらしい。

3時13分、またマンテルの声が響いた。

「物体は上昇中。本機と同じ速度。時速約470km。本機は6000mまで上昇し、それで捕捉できねば追跡を断念の予定」

これがマンテルの最後の声だということになっている。そして4時15分に



▲マンテル事件当時で使用されていたスカイフック気球。

は、基地から約150kmの地域にマンテル機の残骸が数キロにわたってバラバラに散っているのが発見された。

こうして第二次大戦中ヨーロッパで活躍して飛行十字章を授与された沈着果敢な空の勇士は、25歳を最後として死出の旅路へ向かったのである。基地では大騒ぎになり、ただちに墜落現場へ調査隊を派遣したが、現場では嚴重な立ち入り禁止となり、新聞記者の接近は拒否されて、しばらくは極秘扱いとなった。その後の公式発表では、機体は燃えておらず、放射能も検出されず、マンテルの死体の腕時計は3時13

分を指して止まっていたという。そしてこの事件は謎に包まれてしまった。

中に人間がいる！

マンテルが追跡した物体について、ただちに空軍司令部は「金星だ」という公式見解を発表した。たしかに金星は白昼でも見えることがあるけれども当日の金星の位置と光度からみて、これは考えられないことであった。だいいち、マンテルほどの優秀なパイロットが金星を「巨大な物体」と見誤るはずはない。というわけで、これは空軍が真相を隠すために詭弁を弄したのである。その他にも、天蓋反射説、幻日説、スカイフック気球説等、さまざまな憶測が流れたが、当時の状況からみて、いずれも妥当な説ではないとされている。

ところが事件後20数年経過してから驚くべき事実が判明した。司令塔と交信した最後の声の実はそのとおりだったことが、事件当時司令塔にいた人から洩らされたのである。「たいへんだ！ その中に人間がいるぞ！」マンテルは公表されて

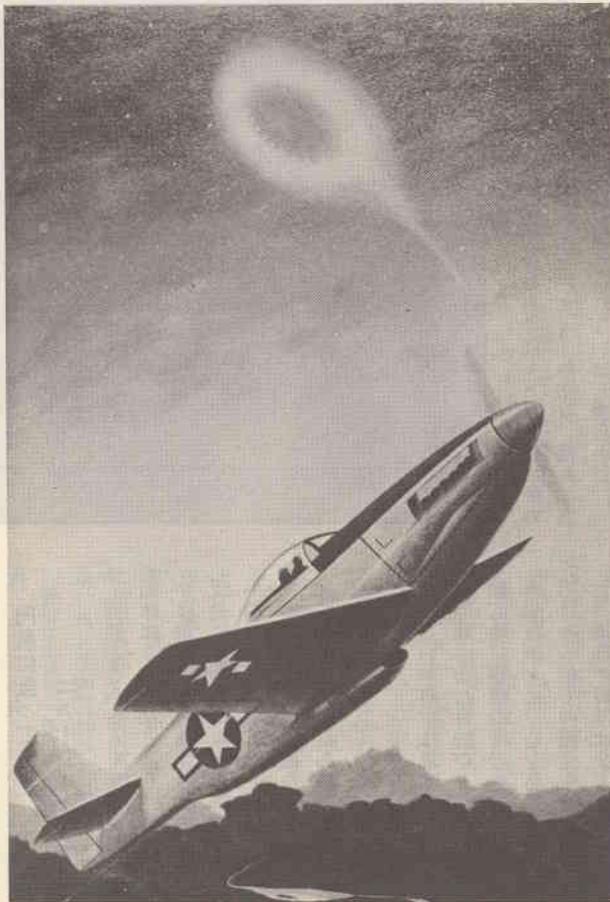
いる最後の交信のあと、UFOに接近したが、そのとき驚くべき光景を見たのだ。巨大な円盤に数名の人影がいるのを発見したのである。彼は「人間」という言葉を複数で叫んだ。その直後に機体が恐るべき破壊を起こしたらしい。

しかも当局の公式発表「マンテルの遺体は焼死体ではない」という声明をくつがえす事実も明るみに出た。当日ゴッドマン基地にいた空軍情報機関のある人物が、「マンテルが追跡したのは本物のUFOであり、金星や気球ではない。死体が発見されたときは高熱をあてられたように、文字どおり人間

が煮物料理されたような状態だった」と言っているのである。

そうするとマンテル機は巨大な円盤に接近しすぎたために、円盤から放射されているフォースフィールドに突入して、そのために分解し、同時に高熱を浴びたのだろうか。UFOに接近してヤケドをしたという実例は他にもある。1952年に発生したフロリダ州ウェストバームビーチの森でUFOに接近して腕にヤケドしたボーイスカウトの隊長J・D・デスバージュスの例がそれである。とにかくマンテルの真相は依然として謎だ。

(詳細は本誌8号参照)



▲「本機は物体に接近中。そいつは真上にあり物凄く巨大だ」

●一科学者の驚異的円盤同乗体験

特集／戦後UFO30年史

ホワイトサンズ事件



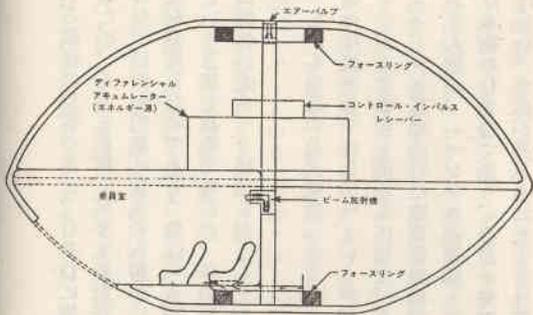
▲ダニエル・フライ博士。

米ニューメキシコ州のロケット実験場ホワイトサンズで、一科学者が円盤に乗せられるという驚くべき事件が発生したのは、1950年7月4日の夜である。UFOにより大空に散ったマシテル大尉とは対照的で、これはあまりに友好的なコンタクトであった。

ロケット実験場に円盤着陸

この日、ラスクルーセスで行われる米国立記念日の花火大会を見に行くつもりでいたロケットモーターのテスト技師ダニエル・フライは、町行きの最後のバスに乗り遅れて、仕方なく軍の宿舎で一人読書した。しかし夕方になつて冷房がとまったので、夕涼みのために外へ出た。射撃場を通り抜けてオーガン山脈のふもとに平原へ行つたとき、満天に輝く星々の1つが急に消えてしまった。更に付近の星々が消えて黒い物体が降下するのを認めた。それは長軸の直径が約9mの卵型の物体で、地上に接近するにつれて速度を落とし、20m彼方に無音のままふわりと接地した。不思議に思ったフライは近づいて周囲を歩いてみた。ソース皿の上にスプーン皿をさかさにしたよう

なこの物体の高さは4・8m、フチの高さは地上約2・1mある。機体の表面は、信じられないほど滑らかだ。



▲フライに乗った円盤の断面図。

円盤に乗って

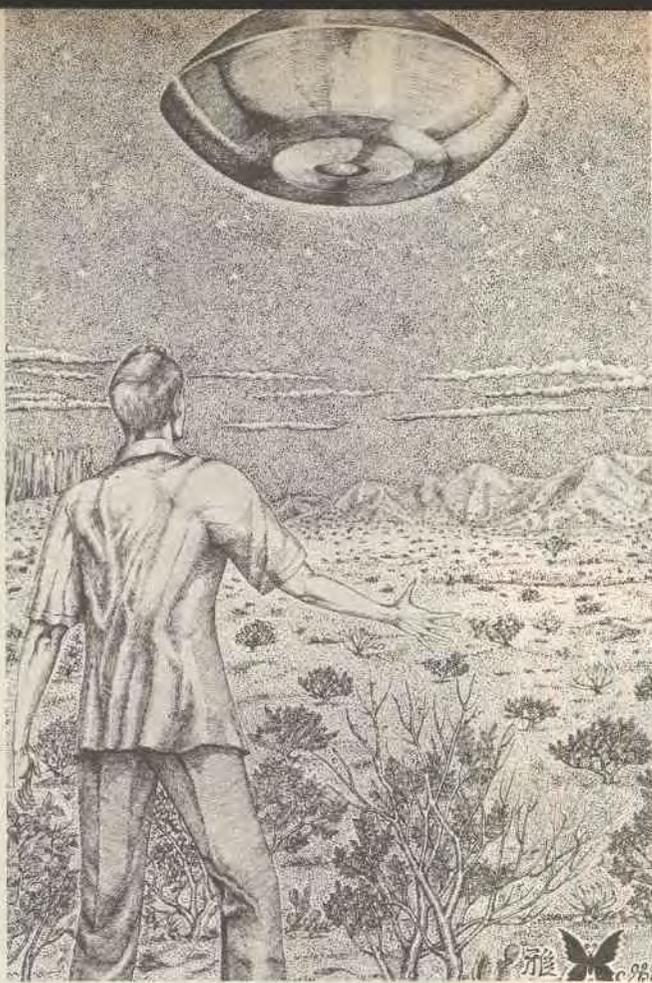
ニューヨークまで飛ぶ

突然どこからともなく声が響いた。船体にさわるなと言う。質問を返すと声は説明した。船体はあらゆる物質に反発するフィールドを帯びており、手が船体表面に触れたとき、実際はフィールドのために表面からごくわずかに離れていたため、滑らかな感じがするのだという。

こうして、どうやら遠い惑星から来たらしい声の主は説明を続ける。彼らが地球へ来た目的の1つは、地球人の順応性、習慣的な考え方にとつて全く未知な概念に、心を急速に穏やかに順応させる能力の程度を知ることにあつた。地球の科学はひどくゆがめられて、大木の無数の小枝のように分かれており視野が狭すぎて幹全体を見通せない。科学者は既成概念の鑄型で固められていて、フライは信念を受信できる少数の地球人の1人である。宇宙の基本的真理は簡単だという。

ここで声は物体の中へ入れとすすめる。これは遠隔操縦の輸送機だが、椅子もあるという。カチャという音がして船体の壁に入口が開いたので、フライは中へ入って椅子に腰をおろした。これからニューヨークまで30分間で往復すると声が言う。これは時速1万3千kmという超高速だ!

室内の照明が消えて映写機のような



装置からドアーの部分へ光線が放射されると、その部分が透明なガラス状になって外景が見える。金属が透明化する科学的説明が続いた。更に加速を感じない理由として、船体を加速させるフォースフィールドが、船体自体のあらゆる原子ばかりか、内部に乗っている人間の体のあらゆる原子にも等しく作用するのだという。だから船内の人間は無重力状態にならないのである。

船体の作動原理についても解答を与えた。地球の科学者は物質とエネルギーの簡単な同一性をまだ十分に把握していない、アインシュタインは物質はエネルギーに転換するし、その逆にもなるというが、これは誤りで、本当は物質もエネルギーも1つの実体の異なる面にすぎないのだという。

円盤は数10kmの上空を無音のまますごいスピードで飛行する。セントルイス、シンシナティの灯火が下方をすざりて行く。高度は32kmに落ちた。やがて大ニューヨークのすばらしい夜景が下方に展開した。数百万個の巨大なダイヤモンドをちりばめた巨大な黒い衣装に似た、息をのむような壮大な景観を時速960kmで旋回しながらフライは觀賞した。

テレパシー練習法を教わる

帰途船内で、フライは上空の母船から発せられる声の主の名前を聞いた。「アラン」だと答えた。本名は「アラン」だという。

続いてアランはテレパシーの受信法を説明する。それによると、地球で言うESP(超感覚的知覚)は超感覚ではなくて、肉体の知覚器官の1種なのだ、地球人はそれを使用しないために、未発達な状態にある。精神を集中させてはいけない。精神集中は送信の態度であつて、受信に際しては完全な障害となる。正しく受信するには完全なリラクセーション(心身をゆつたりさせること)の状態に達する必要があるという。ここでフライは、自分が睡眠法として応用している方法を紹介すると、アランはすぐれた心のリラクセーション法だと確証する。

続いてテレパシーで船体の構造を透視することになり、室内が暗黒にされてからフライは独特なリラクセーションを行う。すると船体の構造が次第に見えてきた。その各部の機能についてアランが説明したあと、円盤推進の基本原理を語る。要約すれば2個の永久磁石の同じ極同士を近づければ圧力が生じるように、円盤のフィールドも外部へ広がってそれが地球のフィールドの力線と交差して必要な反発を生じる

のだという。

驚くべき空中旅行は終了に近づいた。円盤はゆつくりと降下して行く。そのときフライは椅子に刻まれた奇妙なマークに気づいて、大きな精神的ショックを覚えた。樹木にへびが巻きついた図柄である。これは地球の各民族の碑銘や伝説によく見られるもので、それが大気圏外からもたらされたというのでフライは驚いたのだ。

アランが言った。彼らの先祖は元々この地球の沈んだ大陸「ユーまたはレムリア」の住民で、大帝国と偉大な科学を築き上げた。当時一方にはアトランチス大陸にも大帝国があつた。最初は友好的だったが、時代とともに仲が悪くなり、また科学は一大発達をとり、エネルギー軸を中心に全質量を回転させることを知った。当然、この二大帝国は互いに破壊し合ったのである。

すばらしい高空旅行は終わり、円盤は地上に着陸してフライは外へ出た。振り返ると、船体の中央部あたりに水平な一筋のオレンジ色の光が上方へ飛び上がった。空気の入れ替えて、吸入される空気によりフライは体を押された。光の筋がスペクトルのオレンジ色から紫まで変化するあいだ彼はかろうじて円盤に目を向けると、円盤はすでに数千m高く上昇し、光が紫色でなくなったときに視界から消えた。

(詳細は本社刊「私は円盤に乗った」を参照)

●トラック整備係と宇宙人の交友

クラリオンの
円盤と小人宇宙人

米カリフォルニア州サンタバーバラで道路舗装車の運転手として働いていた1898年生まれのトゥルーマン・ベサラムは、ラスベガス郊外のウエルズ・カーゴ社の友人E・E・エドワーズ氏の要請を受けて、アスファルト舗装工事の新しい仕事につき、ネバダ州モルモン台地でトラックの整備係として働いていた。

うだるように暑い1952年7月27日の夜、奥さんのメリーが趣味に集めていた貝殻を見つけてやろうと、トラックに乗って仕事場から2・5km離れた丘陵地帯へ出かけたが、そのうち疲れてトラックの下にもぐり、眠り込んだ。

1時間ばかりすぎてから数名の人間の声に目が覚めた。起きてみると、驚いたことに8〜10人の小人たちがトラ

ックを取り巻いている。彼らは制服を着て、大部分は黒いひさしのついた運動帽をかぶり、顔つきは濃茶色だ。しかも英語を話すのである。

ふと前方を見てベサラムはとび上げらんばかりに驚いた。直径100m、厚さ5・5mの巨大な円盤が砂漠地帯の草地から1mばかり浮き上がって静止しているのだ！1人の女宇宙人が出て来て握手した。続いてベサラムは

円盤の内部に案内されて美しい女機長と会った。こうしてベサラムの不思議な体験が始まる――。

クラリオンの大型円盤と

美しい女機長との交友

会社へ帰ったベサラムは仲間に体験を話すが、だれも信用せず、大声でかかったり嘲笑したりする。こうしてベサラムの性格は淋しい怒りっぽい人間に変わってゆく。

▲トゥルーマン・ベサラム。
(学研刊「宇宙よりの来訪者たち」より)。
8月3日の深夜、彼はまた円盤の来訪を受けた。今度の着陸地点はソールトレーク市への幹線道路第91号ハイウェイから

1・5km離れた地点である。あるトラックのヘッドランプの修理に出かけて、それを運転して帰る途中だった。着陸した円盤から出て来た小人たちの誘いを受けたベサラムは、再度機内へ入り、例の美人機長と語り合った。ここで彼女は彼らの惑星についていろいろと話してくれた。それによると、その惑星はクラリオンという名で、地球のような悩みは一切なく、病気もない。平和そのもので、彼らは万物の創造主を礼拝して生きている。また磁力の制御法も解決したという。約30分間円盤内において、彼は出た。

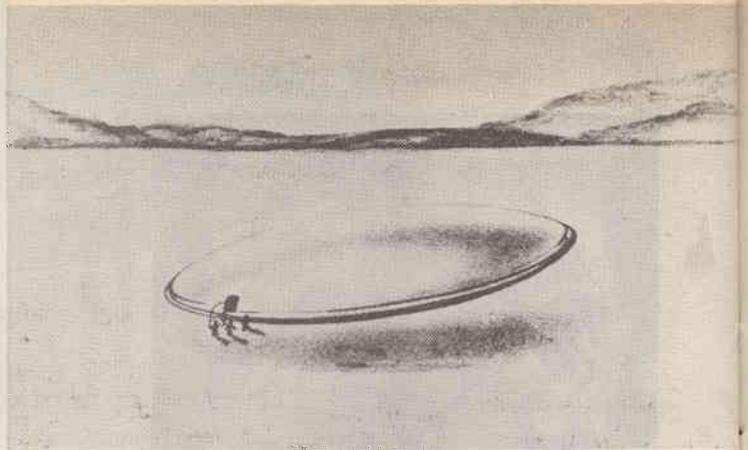
円盤が3度目にモルモン台地へ着陸したのは8月18日の深夜である。また円盤内に招じ入れられたベサラムは、美しい機長の名を尋ねると、アウラ・レインズだと答えた。彼らにはみな名前があるけれども、ある理由により言えないという。あれこれ話し合っているうちにアウラはベサラムをハッとさせるようなことを述べた。

「私は今後も数千年の間ここへやって来るつもりですけど、地球の荒野に生じる水の大部分は涙でしょう」

これは相手が不老長寿を保つことを意味するし、地球はいつまでも苦難の世界だということになる。アウラは自分が幽霊でないことを立証するために肩や腕に触れさせた。宇宙空間には人類の住む惑星が沢山あるという。そして宇宙的な哲学をひとくさり語った。



▲トゥルーマン・ベサラム。
(学研刊「宇宙よりの来訪者たち」より)。
8月3日の深夜、彼はまた円盤の来訪を受けた。今度の着陸地点はソールトレーク市への幹線道路第91号ハイウェイから



▲モルモン台地へ着陸した円盤のスケッチ。

4度目の円盤内訪問は8月25日夜、エルジン・カーブ水路近くのボロウ坑にあるキヤタピラー・トラクターにサームを取り付ける仕事に行ったベラムは、終了後に自分のトラックに乗ってぼんやりしていたとき、小人宇宙人たちが迎えに来てからである。案内されて円盤内に乗り込んだ彼は、クラリオンという惑星の位置について質問すると、月のむこう側にあつて、地球からは見えないとアウラが答えた。更に火星についても語ったが、それによると、そこは人間の住む大工業惑星で、各家屋は都市の中心から離れた場

所にあり、一戸の地所の広さは5エーカーもあつて大邸宅だという。また地球でいう重力の問題は小人宇宙人たちも全く簡単に解決していると答えた。カメラを持参したベラムは、ここで写真を撮らせてくれと頼むが、女が一人だけ部屋の中にある写真が何の証拠になるかといつて断られた。円盤から外へ出たとき、機体を持ち上げてみるとすすめられ、冗談だと思つたベラムが試みに機体の縁に手をかけて持ち上げると30cmほど浮き上がった。

人間と物体の消滅

翌日、社長のエドワーズ氏と一緒にネバダ州グレンデールへ行ったベラムは、食堂と一緒に食事していると、意外にもアウラ・レインズ機長とお伴の男がいるのを見て仰天した。そつと近寄つて話しかけると、アウラは警戒して返事をしたがらない。外で見張っているように伝えられたエドワーズ氏は、たしかに入口から出て行ったはずの2人の宇宙人を全然見なかったという。2人の小人は入口の所で消滅したのだ！

9月5日の午後10時半頃、クラリオンの大型円盤はモルモン台地の作業場付近に5度目の着陸をした。ベラムは例によつて内部へ招かれた。有名人でもない一職工の自分がなぜコンタクトに選ばれたのかという質問に対

して、それは着陸地点にベラムが偶然に合わせたからだと言ふ。アウラは答えた。別れを告げて出るときに、もし地球人から攻撃されたらどうするかという問いに答えて、アウラは意外なことを言つた。自分たちはどんな攻撃を受けても決して相手を殺さない。そのかわりに相手を消滅させると言う。そしてベラムに実験してみせることになつた。ベラムが持つていた懐中電燈を彼の手にのせさせて、アウラがジツと見つめるうちに、突然、その懐中電燈が消滅して、彼の手はからつぽになつた！ 仰天したベラムはほうほうの態で逃げ帰つた。

9月6日にラスベガスの散髪屋に行つたベラムは頭のマッサージ中に、表通りを通りかかった小柄な婦人を見て驚いた。小さなベレーをかぶり、ビロードのような黒い上衣に細い平ヒダのついた赤いスカート姿は、アウラ・レインズその人である。あわてて表へ飛び出て呼びかけたが、彼女は首を振つて行つてしまつた。地球上の人混みの中では親しくしたがらないようだ。そのあとエドワーズ夫妻の家に行つて体験をすべて話したけれども全く相手にされないの、トラックに乗つてヘンダーソン寄りの砂漠へ行き、そこでテレバシーにより円盤を呼んだ。すると約1時間後にクラリオンの大型機が着陸して、ベラムはまた内部へ入つた。物体消滅について尋ねたけれども

アウラにはうまく説明できないという。ここでアウラは奇妙な方法によりベラムの知人の女の子宛にフランス語の手紙を書き、ベラム自身には中国語で肉筆の手紙を書いて渡した。この中国語の短文をあつて中国人のコックに見せたら、コックはとび上がつて驚いた。「この世のものではない。あそこから来た！」と叫んで天井を指さして一目散に料理場へ逃げ込んだ。この文章を和訳すれば次のとおりである。

「中国の婦人はその夫を愛情でつなぎとめます。決して鎖で縛るようなことはしません。あなたの友達アウラ」

次の円盤訪問は9月16日の夜に行われた。機内でアウラは惑星クラリオンの偉大な文明について語るが、ついでに動力の問題にも触れた。第1は反磁力または反重力、第2がブルトニウム、第3が中性子を利用する。クラリオンでは中性子動力を家庭で使うという。

9月23日にクラリオン機は7度目の着陸をし、またベラムを招いた。ここで彼らは過去観察機を使用していることをアウラは語つた。

続いて10月12日に9度目の着陸をしてアウラはクラリオンの結婚式の模様を語り、10月12日の10度目の着陸ではベラムやその友人たちをクラリオンに招待することを約束する。帰途ベラムは何者かに追跡されて、懸命に逃げ帰つた。11月2日に11度目のコンタクトが行われた。

1952

●世界最大のコンタクト事件!

ジョージ・ アダムスキーの体験

特集／戦後UFO30年史



▲ジョージ・アダムスキー。

「あっ、宇宙船だ!」「すごいじゃないか!」。一同は驚嘆の声を上げて空中の巨大な葉巻型母船を仰いだ。19

52年11月20日の昼すぎ、場所はカリフォルニアの砂漠中の小村落デザートセンターから、アリゾナ州パーカーに

通じるハイウェイを17km行った地点である。この日アダムスキーを中心とする7名のグループはUFOを探し求めてパロマー・ガードンズからドライブに出たのだ。ただしアリス・ウエルズとルーシー・マクギニスを除くアル・ベイリー夫妻とジョージ・ウィリアムソン博士夫妻の4名はアリゾナから来て途中で合流した。大母船は道路から約800mの位置へ移動したので、アダムスキーは急いで車に乗り、その真下へ行った。しかし母船は飛行機群の追跡を受けて上昇し、消えた。

円盤が着陸し金星人と会う

まもなく800m彼方の丘の間に1

機の円盤が着陸した。望遠鏡にカメラを装備して10枚の写真を撮ったあと、約400m前方に1人の人間が現れて手招きをするのを認めたアダムスキーは、おそるおそる近寄って行った。相手は上下続きの服を着て髪を肩まで長く垂らした美しい顔の人である。これが金星人であることをアダムスキーは知って、「偉大な知恵と大いなる愛をもつ人の面前にいて幼児のように感じ」ながら手まねとテレパシーで会話を交わした。

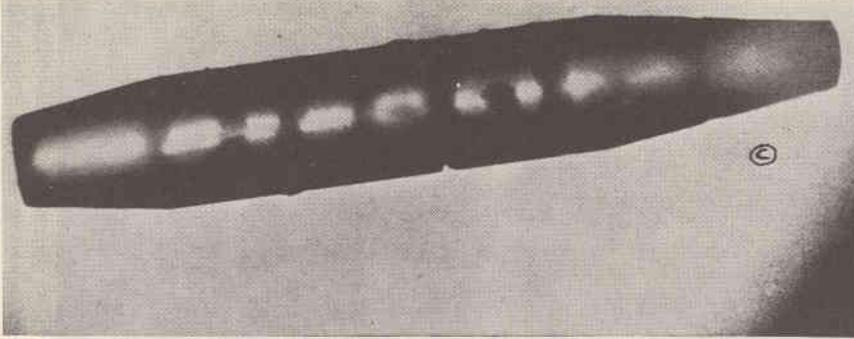
なぜ地球へ来たのかという質問に対して、相手は核爆発の危険性を観察するためだと答えた。うしろの谷間には円盤が着陸している。円盤の作動原理について尋ねると、磁気の吸引と反発の法則を応用しているという。そしてこの小型円盤は惑星間を航行する大母船で運ばれて来ると説明した。以下アダムスキーの質問に答えた内容は次のとおりである。

金星人は宇宙の創造主の法則を生かして生活している。地球人のように個人の意志で生きるのではない。この太陽系内の各惑星ばかりでなく、別な太陽系から地球へ来る人間もいる。宇宙旅行は彼らの風習になっており、また地球で墜落して死んだ宇宙人もある。人口過密な場所に公然と着陸すれば、地球人が恐怖して八つ裂きにするので人目を避けて着陸している。顔写真も撮らせない。この太陽系の各惑星には

人間が住んでいるし、姿かたちも地球人と同様である。いかなる人間でも肉体は滅するが精神または知性は死なずに転生を続ける。

奇妙な足跡

約1時間の会談が終わってから相手



▲金星の母船。1952年5月1日午前7時58分に撮影。

は地面に靴の跡をつけたが、そこには奇妙な模様が残っていた。やがて二人は半透明のガラス状機体に近づいた。しかしこれは金属製らしい。上部はドーム状で、その基部の側壁の周囲をコイルがとり巻いている。丸窓(複数)があり、下部には大きな3個の球形着陸装置がついている。アダムスキーは接近しすぎて円盤のフランジに右肩が触れて腕が吸い寄せられ、しばらくマヒした。相手は機体内に入り、飛び去った。その前に金星人はアダムスキーがポケットに入れていた撮影済ネガを借りて行った。

遠くでコンタクトの光景を見ていた6名が現場へ来て、ウィリアムソンが足跡を石膏にとったし、双眼鏡で会見の模様を見ていたアリス・ウェルズはあとでその姿をスケッチした。

この事件はすぐにフェニックス・ガゼット紙に掲載されて、全米に大センセーションを巻き起こした。

不思議な金星文字のメッセージ

それから1カ月足らずの12月13日の朝9時10分頃、今度はアダムスキーの



▲アリス・ウェルズがスケッチした金星人。

住居のあるパロマー・ガードンズへ同じ金星の円盤が低空で飛来した。アダムスキーが素早く数枚の写真を撮影すると、円盤は30mまで降下して、丸窓から1本の手が伸び、先日砂漠で渡したネガホルダーが地面に落とされた。これは後日現像してみると、撮影したはずの円盤のかわりに奇妙な文字と図形が写し込まれていた。何かのメッセージと思われるが、後年解読した南アフリカの科学者バシル・バンデンバーグは、これが円盤の推進原理を意味することを発見し、それに基づいて磁石を応用した小型の反重力モーターを製作したが、その後彼は行方不明になった(本誌第14号参照)。

金星の円盤と母船に乗る

翌年(1953年)2月18日、アダムスキーは何かにせきたてられるよう

な衝動を感じてロサンジェルスクラークホテルへ投宿した。夜10時30分、ロビーに突然2人の男が現れて彼の方へ接近した。2人とも身長1・8m前後で普通の服を着ていたが、特殊な握手の仕方によって彼らが宇宙人であることを示した。車に乗れとすすめられて3人でドライブに出かけたところ、疾走中に1人は火星人で他の1人は土星人であることを明かした。

約2時間足らずのドライブの後、車は砂漠地帯に待機している円盤の所へ行く。そこには例の金星人が待っていた。彼らには名前がないのだが、アダムスキーは便宜上仮の名をつけた。金星人をオーソン、火星人をフアーコン、土星人をラミュールと呼んでいる。

ここでアダムスキーは初めて円盤に乗せられた。内部には珍しい装置やコントロールパネルがあり、中央には太い磁気柱が上下に貫いている。円盤は

◀地球と月の間を飛ぶアダムスキー撮影の母船。全長は約600mと推定される。



上昇した。床には大レンズがあり、数10kmの高度にいても地上の個々の人間が見分けられるほどのすごい倍率を有しているという。

1万2千mの高空に砂漠で見たのと同じ大母船が停止していた。全長600mあるという。このハッチから円盤は母船内に侵入して行く。アダムスキーはまず大操縦室を見学したあと、隣の華麗きわまりない休憩室へ案内された。ここで2人の絶世の美女から温かく迎えられる。両人は足首まであるベールのような織物の衣装を着て、腰にはベルトをしめている。小柄な金髪婦人は金星人で、これをアダムスキーはカルナ、背の高い黒髪の火星婦人をイルムスという仮名で呼んでいる。壁には男性と女性が完全に融和した若い「神」の肖像画がかけてある。彼らは多数の巨大な母船を建造し、大挙して宇宙旅行に出かけるという。しかも太陽系の惑星間を数時間から数日で飛ぶのだと説明する。「私たちのスピードは宇宙の活動と等しくなるの

です。飛行機のように人工的に推進されないで、宇宙船は「宇宙の流れに乗る」のです」と語り、引力を征服することの重要性を強調した。

偉大な指導者に会う

アダムスキーは操縦室へ案内されて丸窓から暗黒の空間を見た。地球から8万キロの宇宙空間に無数のホテルが飛び回っているような光景を見る。その他船体内外のさまざまな光景を観察したり説明を聞いたりしたあと、また休憩室へ入って、ここで偉大な指導者から長時間にわたり宇宙の実情や法則などを伝えられる。この宇宙人たちはみなテレパシーの達人で、無言で会話を交わすことができるのである。そしてテレパシーの伝達法について語る。彼らはそれを想念の「送信者と受信者」という2点間の「意識が一体化した状態」と呼んでいる。テレパシーには空間や距離は全然障害にならない。また彼らは7千8百万年にさかのぼる地球の過去の歴史を知っているという。そして太陽系では地球が最下等の惑星で成長と破壊をくり返しているが、彼らの惑星は精神と科学の両面で想像を絶した進歩をとげている。

こうしてアダムスキーは豊富なすばらしい知識を与えられて、再度円盤に乗り、地上へ帰還する。ホテルの自室へ帰ったのは午前5時10分だった。

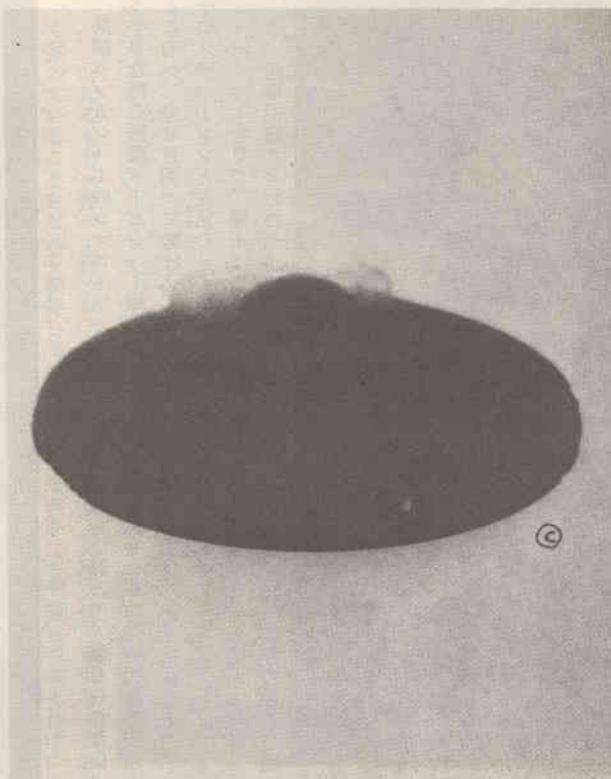
土星の円盤と母船に乗る

2カ月後の4月21日、またテレパシクな衝動を感じたアダムスキーはロサンゼルスへ行き、例のホテルへ入ると、ファーンが迎えに来る。喫茶店で地球人の破壊的感情や習慣の束縛などについて語った後、車で砂漠地帯へ行き、今度は少し大型の土星の円盤に乗せられて上昇し、宇宙空間に停止している土星の大母船に入り込む。ここで大勢の優雅な服装をした男女の異星人に迎えられる。彼らの年齢は地球式に比べて30歳から200歳に及ぶというが、いずれも20歳ぐらいしか見えない。なかに1人の黒人もいた。

ここで彼らは生命哲学と宇宙の法則について語ったあと、驚嘆すべき装置類の充満した研究室へ案内する。ここでは超小型円盤が発射される光景を見学する。

そのあと大母船は月へ接近した。土星人ズール(仮名)の話によると、月には大気があり、雲も流れており、月の中心部には草木や動物も存在し、人間も快適に生活しているという。拡大スクリーンで観察すると、水流の跡や小さな植物帯、砂地などが展開した。その地面を1匹の小さな毛皮の4足動物が走るのが見えた。再度休憩室へ入り、別な指導者と会話し、高遠な生命哲学を聞かされる。

アダムスキーが6インチ反射望遠鏡を用いて撮った円盤。上部のドームの周囲に凝縮した水蒸気が見えるが、これは極の転換時によく発生するという。輪郭の欠けて見える部分は円盤のフォースフィールドとカリフォルニアの熱気流との合成によって生じた見かけ上の現象。



各種UFO事件の真相を知る

9月8日にまたロサンゼルスへ出たアダムスキーは、ホテルでファークンとラミューに会う。付近のレストランへ入って、ここでフロリダの少年団長の事件、ブラッシュクリークの報告、マンテル大尉事件等の真相を語り、地球の飛行機は翼が突き出ているので円盤のフォースフィールドに触れると危険だという。また地球の太古の歴史についても話す。

数日後、アダムスキーはロサンゼルスから再び連れ出されて土星の母船に乗り、また指導者に会って生命の科学を長時間教えられる。

月の裏側と金星のすばらしい都市

1954年8月23日、またコンタクトが発生した。ファークンとラミューは地球での使命を果たしてホーム惑星へ帰るのだという。金星の母船に乗り込んで、今度は立体スクリーンによりまた月の表面を見るが、多数のクレイ

ター内に大格納庫群がある。人間も住めるが、そのためには24時間かかって体内の減圧処置をほどこす必要があるという。月の裏側へ回ると高山の雪や大森林地帯、山中湖、川などもある。大都市も見えて、人々が歩いている。休憩室へ帰ってからファークンとラミューのために訣別の饗宴が催され、珍しい食事が出る。続いて特殊な映写機により室内に金星の驚くべき立体画面が展開する。すばらしいお伽の国のような円形の都市、路上を歩く衆しそような人々、地上数mを移動する乗物、砂浜、熱帯地方の植物や動物、地球の牛馬に似た動物等――。

オーソンの説明によれば、金星をとり巻いている厚い雲が有害な放射線を弱めるフィルターの役目をするので、金星人の平均寿命は1千年になるといふ。地球の自転軸が傾けば――現在傾きつつあるのだが――世界的に大変動が発生し、海底の土地が隆起する。その水分が蒸発して常に雲で覆われる状態になると、地球人の寿命も伸びるようになる。これが地球の新しい周期の黄金時代であり、洪水期でもある。これは聖書にも予言として述べてある。これに気づくように地球人は宇宙の法則に従って生きる必要があるのだとオーソンは力説する。アダムスキーは凜然として聞いたあと、地上へ帰った。(詳細は本社刊「宇宙からの訪問者」を参照)

会員募集

日本GAP

UFOと宇宙哲学
研究グループ

わが国UFO研究界の先駆者久保田八郎はジョージ・アダムスキー研究者としても著名であるが、1961年よりアダムスキー主宰の世界GAP（知らせる運動）組織網の日本代表となり日本GAPを設立。以来あらゆる困難と障害を乗り越えてアダムスキーの特異な体験と宇宙的哲学の促進活動を展開してきた。機関紙「GAPニュースレター」はすでに61号まで発行。毎月東京文化会館の月例会で宇宙哲学を指導し、宇宙の法則と人間の真の生き方を探求。大阪・高知・熊本・新潟・岐阜・福知山各市支部設立。個人的奉仕活動として啓蒙運動を続行中である。真剣な探求者の参加を歓迎している。

不定期刊機関誌
「GAPニュースレター」
第61号発行中
第58、59号残部僅少

●本格的活版印刷・B5版・極上アート紙40頁●UFOに関連した他惑星における偉大な人類存在の認識と宇宙法則の探求専門誌
主要記事■連載スペース・プラザースはなぜ来るのか・G・アダムスキー／太陽が黄金色に見える／宮内温夫／宇宙冥想について久保田八郎／その他有益な記事写真満載

入会希望者は50円切手と宛名明記返信用封筒を同封の上「UFOと宇宙」24号で見たと書きそえてまず案内書をお申し込み下さい。入会は高校生以上に限ります。非会員に機関誌の一冊売りはしません。

〒133東京都江戸川区本一色町365-818 日本GAP(主宰)久保田八郎

1954

特集／戦後UFO30年史

●ステイーブン・ダービシャー少年の驚くべき体験

コニストン

円盤撮影事件

英国ランカシャーのコニストンという小さな町の医師ダービシャー博士のところへ、息せき切って馳け込んだ息子のステイーブンと従兄のエイドリアン・マイヤーを見て、博士は驚いた。一体、何事が起こったのか。話を聞いて

た父親は首をひねって、信じられないという顔を見せたが、知的で寛容の精神に富んだ博士は、息子をすわらせ、気分を落ち着かせてから、目撃したとおりを文章に書かせ、記憶どおりにスケッチさせた。これが世界のUFO史

上で名高いコニストン円盤の目撃撮影事件である。

降下する円型の物体

1954年2月15日の朝、13歳になるステイーブン・ダービシャーは、なぜ気分が落ち着かず、家の裏山へ登りたくなってきた。ただそのような衝動を起こしただけである。小鳥の観察を趣味とする少年は、従弟のエイドリアン・マイヤー（8歳）を連れて出かけた。手にはコダックの安物カメラをさげている。むかし流行したジャバラ付きのベス単（ベス単玉カメラの略）である。山といっても低い丘で、近くにはコニストン湖の水が細長く展開している。頂上に着いた2人はあちこち

見まわした。ステイーブンはカメラのレンズを無限遠にセットした。鳥を写すつもりなのだ。丘のむこうにはコニストン・オールドマン山（海拔773m）がそびえている。

午前11時頃、エイドリアンがその山を見て、ステイーブンは反対側を見ていた。

突然エイドリアンがステイーブンの肩をたたいて叫んだ。

「おい、あれを見ろ！」

ステイーブンが振り向くと、太陽の方向から円型の物体が降下している。約90m離れた地面まで降りて、少し盛り上がった土のむこう側へかくれたが、数秒後にまた出現した。かくれる直前にステイーブンは素早くシャッターを切り、ふたたび現れたときにまた撮影した。

物体は日光を反射してすごく輝いたが、上昇するにつれて雲が日光をさえぎったので、少年たちは明瞭に見ることができた。それは固い金属状の物体で、ドームと丸窓が数個あり、底には3個の球がついていた。底の中心には黒っぽい円錐型の物が突き出していた。丸窓は初め3つ見えたが、物体が少し自転してから4つになった。キャビン・ドームの頂上にはハッチのような物があった、という。

とにかく撮影したフィルムを現像しようと思った博士は、2・4km離れた所で写真スタジオを経営しているパテ

▲ステイーブン・ダービシャー（左）とエイドリアン・マイヤー。





▲ステイーブンの撮ったコニストン円盤。

インソン氏のもとへ持って行った。うまく写っていることをだれも期待しなかったが、数日後、パティンソン氏が走り込んで来た。「何か写っていますよ。空飛ぶ円盤らしい！」

プリントに現れた円盤は少しボケているけれども、輪郭と3個の球形着陸装置は識別できた。この物体は光を通すけれども内部を見透すことはできないような物だったとステイーブンは言う。つまり彼は *semitransparent* (半透明の) という言葉を知らなかったためにそういう表現をしたのである。ダービシャー博士はステイーブンとエイドリアンにむかって徹底的に問いつめた結果、両名の話が真実であると断定

し、家族と相談し合ってから、これは重大な事件なので隠しておくわけにはゆかない、新聞社へ報告しようというわけで、各社へ電話をかけた。

まず飛んで来たのはデーリー・メール紙の記者で、写真の物体が本物であることに満足して早速紙上に大きく掲載し、これが国内に大反響をまき起こしたのである。またランカンチャー・イープニング・ポスト紙も1頁をさいて大々的に報道した。

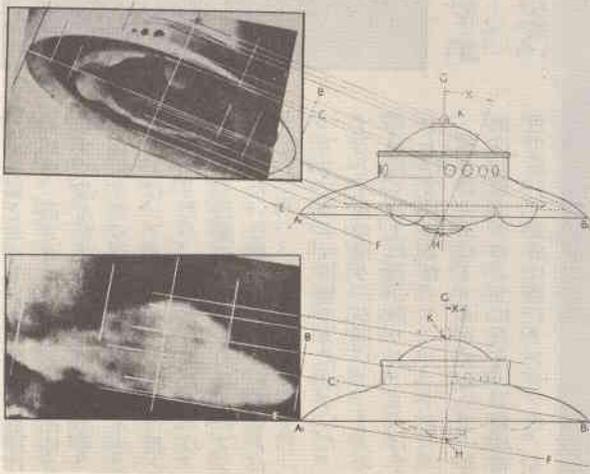
アダムスキー型と同じと確証

写真がボケた理由についてはUFOO研究家のデスモンド・レスリーが2月

23日に同家を訪問し、2日半ほど滞在して徹底的に調査した結果、次の事実が判明したのである。つまりステイーブンは円盤が出現したとき、興奮のあまり、カメラのシャッタースピードを25分の1にしたつもりで実はB(バルブ)で撮ったらしい。Bならばシャッターボタンを押している間だけ露光する。これではブレるのが当然である。ただし本人はシャッタースピードについて確かな記憶がない。このピンボケの点が新聞記者から指摘されて、あれこれと詰問されたが、ステイーブンとエイドリアンの2人の主張は最終スジが通っていて、いささかの食い違いもなかった。ウソをつくような子ではないと父親のダービシャー博士も断言している。一体にダービシャー家は知的な家族である。ステイーブンはそれまでアダムスキーの第1著『空飛ぶ円盤は着陸した』を全然読んでいないが、1953年9月30日発行の『イラストレーターズ』誌で、アダムスキーの金星円盤の写真を見たことはあるという。彼の説明によると、アダムスキーの円盤には丸窓が3個しかないが、自分の見た円盤は4個あるので違う物だというのが、実はアダムスキー撮影の金星円盤写真に

も4個あったにもかかわらず、ワーナー・ローリー社がアダムスキーの第1著の初版を出したときに、写真の右側を少しカットしたため、掲載された写真の丸窓は3個になってしまった。それを知らないステイーブンは4個説を主張したのである。

このステイーブンのコニストン円盤は後に英国工業デザイン協会の技術者レナード・クランプが正射影法によりアダムスキー円盤と比較し、同じ型の物体であることを確証した。(詳細は本誌6、9号参照)



▲レナード・クランプの、アダムスキー円盤(上)とコニストン円盤の正射影法図。

1954

●スコットランドの海岸に火星の円盤が着陸！

火星人とそのコンタクト

音をたてながら円盤がアリンガムの方へ飞来し、約50m離れた位置に着陸した。金属とおぼしいこの物体の直径は約15m、高さ6m。ドームの周囲に3個ずつ並んだ2グループの窓がある。底部に3個の球型着陸装置があるとこゝろなどは、アダムスキーの金星円盤とそっくりだが、1つだけ異なるのは、こちらの円盤にはドームの頂上にアンテナみたいな棒が突き出ていることだった。

アリンガムは円盤の方に近づいた。すると下部の滑り戸が開いて、1人の男が軽く地上に飛び降りた。2人は手を上げて挨拶した。

相手の身長は1・8mぐらいで、年齢は30歳すぎのように見え、頭髪は褐色で短い。皮膚は濃いタンニン色。も

に約30000mと思われる高度を、急速に飛ぶ2度目の円盤を見た。

3時45分頃、今度は海の方から低い

もトレイラーに乗って鳥類観察を目的としたもので、そのためカメラと双眼鏡を携行していた。

アダムスキー型円盤が着陸

イングランドの実業家セドリック・アリンガムが、スコットランドへ旅行に出たのは1954年の2月であった。彼は実業家だが、趣味に天体観測と鳥類の研究をやっていた。この旅行

2月18日の昼すぎ12時35分頃、モ

レイ州ローマウスと、バックキー間の海岸をぶらついていたとき、突然上空に円盤が出現したのである。高度約1500m、金属製と思われる物体のドームと球型着陸装置を底部にもつ輪郭が双眼鏡のレンズを通してはつきり見えたが、まもなく北方へ上昇して消えてしまった。しかしそれまでにアリンガムは素早く3枚の写真を撮影した。興奮した彼は再出現に期待をかけたが空を見続けていた。3時5分すぎ

▲セドリック・アリンガム。

▼円盤に帰ってゆく火星人。身長180センチ、年齢30歳ぐらい。





▲アリンガムが撮影した円盤。

火星には運河がある

次にアリンガムは火星の運河について質問した。手まねやスケッチなどいろいろな苦心して意志を通じさせた結果、相手は運河が実在することを肯定し、しかもその運河は中央に水の帯があつて、その両側を植物地帯が沿っていると答えた。火星には海がなく、そのため彼らは極冠の水で閉じ込められているわずかな水を利用する目的で運河を建設したが、その後、火星の科学が進歩するにつれて水を作る方法を発見した。しかし運河は現在も使用されているという。

し地球人の服装をすれば地球人と見分けがつかないほどだが、異常に額が広がった。首から足まで続いた服を着ており、鼻孔にチューブを差し込んだ特殊な呼吸装置をつけている。

言葉が通じないので、手まねで会話を交わした。

あれこれとやっているうちに、相手が火星から来た人であることがわかった。

地球へ来た理由を尋ねたが、これは通じない。アリンガムは自分が友人であることの証として、万年筆を相手に贈った。円盤の動力について聞いたが、これも相手に理解できなかった。

その他にも種々の会話を交わしたあと、時間が来て火星人は帰ることになったので、アリンガムは許可を得て、18mばかりむこうに着陸している円盤を写真撮影した。円盤の中へ乗せてくれと頼んだところ、相手はていねいな、しかもきつぱりした態度でことわった。アリンガムは円盤のそばへ接近して、機体にさわってみたが全然ショックを感じなかった。モーターが作動していなかったためだろうという。表面は少し暖かい感じがした。円盤が音響を発する件について尋ねると、本物の円盤は無音だが、低空に降下したとき、空気の摩擦とモーターのかすかな唸り音が出ることもあるという。

火星人が円盤に帰ってゆく後ろ姿を

▼証人になってくれた漁師ジェームズ・ダンカンの宣誓書。

4.35. 18th February 1954

I solemnly swear that between about 4p.m. and 4.15 p.m. on the 18th February 1954 I witnessed a conversation between Cedric Allingham and a man who was the pilot of a flying saucer which landed near Lossiemouth in the county of Moray. Afterwards I saw the pilot get back into the saucer which took off and headed north.

James Duncan

アリンガムは素早く撮影した。そのあと相手は開き戸から内部へ入り、ふたたびかすかな唸り音が聞こえると、機体はゆっくり上昇した。上部のドームが急速に回転している。10mばかりの高さに達してから、急にものすごい高速に変えて、北の方へ消えて行った。この時刻は4時25分である。驚くべき会見は約40分間行われたことになる。

コンタクトの目撃証人がいた

ところが、このコンタクトの様態を見ていた証人が1人いた。近くの丘の見通しのよい場所から会見の最後の数分間と、円盤が離陸する光景を見かけた漁師のジェームズ・ダンカンという

人で、アリンガムがロンリーマウスへむかって出発しかけたとき、路上で偶然に出会った最初の人であるところから、今円盤を見なかったかと尋ねた結果、見たという返事がかえってきて、アリンガムは狂喜したのである。有力な傍証が得られたからだ。証人になってくれと頼むと、相手はすぐに了解したのでアリンガムはノートに紙を裂き取って宣誓書を書かせた。これから数日後になってアリンガムはランカンシャイ、コンistonで発生した有名なステイブン・ダービンジャー少年の円盤撮影事件をエディンバラで買った新聞で知った。数年後、彼は体験記を出して有名になったが、その後スイスへ行って以来、行方不明になった。

●火星、月、金星に行つてきた男

バック・ネルソンの
宇宙旅行

特集／戦後UFO30年史



▲バック・ネルソン。

米ミズーリ州マウンテンビューの農夫バック・ネルソン（当時60歳）が「金星の円盤で火星や月や金星を旅行した」と語って話題になったのは、アダムスキーの金星人コンタクト事件から3年、アリンガムが火星人と会った翌年、1955年のことである。

彼は、コロラド州デンバー付近で生まれて以来、生涯のほとんどを農夫として過ごし、当時はマウンテンビューで自分の農場を開いていた。

その彼が初めて空飛ぶ円盤を目撃したのは、宇宙旅行をする1年ほど前

であった。

金星人とのコンタクト

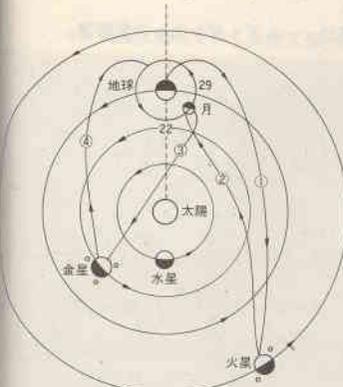
1954年7月30日午後4時頃、農場の自宅でラジオを聴いていたバック・ネルソンは、愛犬「テディ」の吠える声に気がつき外へ出てみると、正面上空—家の2倍くらいの高さ—に円盤状の物体が滞空しているのを見た。彼は、さっそく自宅からカメラを取り出すとその物体を撮影。

3回ほどシャッターを切った後、再び家にもどった彼は、フラッシュライトを持ち出し、円盤に向かって着陸するように合図を送った。

するとその瞬間、円盤から光線が発射され、直撃を受けたネルソンは地上に倒れた。彼はそのときの模様を「その光線は太陽光線よりもはるかに強烈

で、しかも高い熱をもっていたので、その光線に長く当たっていたら、おそらく無事ではなかっただろう」と述べている。しかし彼は、無事であったばかりでなく、光線を浴びたときから長年悩まされた神経痛や疝氣がピタリとなおり、視力も回復したという。

図1(上) バック・ネルソンの13億kmにわたる宇宙旅行行程。図2(下) バック・ネルソンが同乗した宇宙船の平面図。



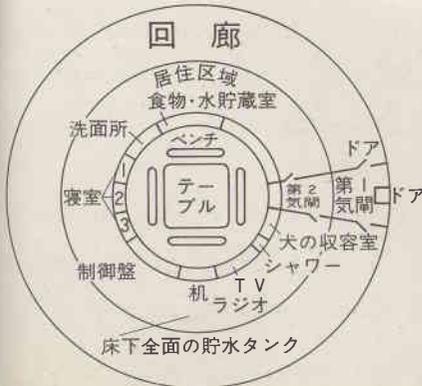
のは6カ月後の1955年2月1日午後12時頃であった。
自宅上空で低く旋回する円盤を見上げていたネルソンは、円盤の中から呼びかける声を聞いた。その声の主は、親しみにあふれた調子で「農場の裏に円盤を着陸させてもらいたい」と申し入れた。が、このとき円盤は着陸せず、数分間の話し合いが終わると飛び去ってしまった。

それから1カ月たった3月5日の真夜中、ネルソンの家に3人の男が現れ、彼らは金星からやって来たことを告げた。

1人は「バックキー」と呼ばれ、17歳のときから2年間金星で生活している青年。2人目は「ボブ・ソロモン」という200歳の男。もう1人は、話したがらず名前をいわない男だった。このほかに彼らは「ビッグボー」と呼ばれる大きな犬を連れていた。

3人の男たちは家の中に入り、ネル

回廊



ソンと約1時間会話をしたあと去って行った。

同じ月の22日真夜中、再び数人の宇宙人が現れ、ネルソンを宇宙旅行に連れて行くための準備をしに来たと告げる。彼らはまた、宇宙船の着陸地点近くに12個の小石を並べ、その意味を尋ねるネルソンに「これは神の12カ条の法則のシンボルである」と答えた。

そして4月24日。約束の日が来た。真夜中にネルソンを訪ねた彼らは、これから宇宙旅行に出発することを伝えるが、出発する前に『神の12カ条の法則』を書き記さねばならないとネルソンに命じた。

宇宙船から洩れる光でその法則をノートに書いたネルソンは、同伴を許された愛犬「テディ」を連れて宇宙船へと乗り込んだ。

火星旅行

宇宙船の中で彼らは、この旅行がいかに安全であるかを話した。

たとえば、飛行中にネルソンが操縦ボタンやダイヤルを勝手に回したとき宇宙船は方向や速度を変えたり大きく傾いたりしたが、彼を含めた乗組員全員には実際の障害も起こらなかった。

その間宇宙船は、黒インクのような暗黒の世界を火星に向かって進み、船内は、火星の大気圧に合うように調節

された。

知らぬ間に眠りこんだネルソンは、「もう火星に着陸するところですよ」というバックキーの声で目をさました。外の景色をよく見れるように宇宙船が傾けられ、ネルソンは火星の運河や、野原にいる馬、家畜などを眺めることができた。

やがて宇宙船は、火星のリーダーの家からわずか6mの地点に着陸した。リーダーの家にはすでに昼食が用意されており、乗組員たちには鶏卵や野菜サラダのような料理、犬たちには魚が与えられた。

この家は、外側が岩でできていたがネルソンは、この岩が地球の月から持って来たものであると伝えられた。内部はスチールのものでおわれているようであった。彼はここで火星人が動力に太陽や電力を利用していることも知らされた。

また、火星人についてネルソンは、「私が地球人であると紹介されるまで火星の人たちは私が地球人であることがわからなかった」と述べ、地球人とよく似ていることを強調する。

月旅行

食事が終わると一同は宇宙船にもどり、第2の目的地「月」へと向かった。

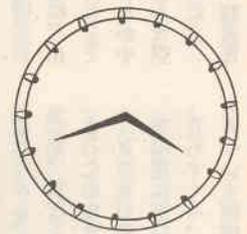
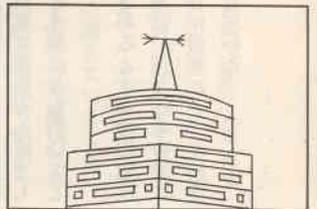


図3(上) 金星の時計。17の目盛があり、文字は中国文字のような形。この目盛は昼の17時間と夜の17時間を表わしているという。図4(下) 金星の建物。すべて岩石でつくられ、丸屋根が多いという。



船内が月の大気圧に調整され、間もなく月の表側に着陸。一同は地上に出てクレーター内に造られた月のリーダーの家で食事をした。食後、月の石切場に案内されたが、この石は他の惑星の建築用に用いられるとのことだった。家庭用の水は、山上の雪から採られ、あたりに植物地帯はなかったようだ。ネルソンは述べている。

次に一同は月の裏側に到着したが、その日は非常に濃い霧が発生して川や湖は見ることができなかった。

金星旅行

一同を乗せて月を離れた宇宙船は、まもなく金星に到着した。

金星は、曇天にもかかわらず昼間のようには明るく、そこでは3個の月が見えたという。

ある場所にとめてあった乗物は、地球の小型自動車を思わせたが、それには車輪がなく、宇宙船と同じ動力を使

っているとのことだった。

それ以外にネルソンが金星で見たものは、岩石でできた図4のような建物や、17の目盛がついた金星の時計(図3)などで、それらは約20分の金星滞在の間にネルソンが見たものである。

こうして13億kmにわたる宇宙旅行は終了し、バック・ネルソンは、人々の要望により、この体験の翌1956年から毎年6月下旬に彼の農場で『宇宙船についての集い』を開くことを了解した。その後回が集まりが開かれたというが、現在は不明である。

宇宙人が伝えた神の12カ条の法則

- (1) 汝の創造主たる神を愛すべし
- (2) 汝殺すなかれ、偶然にも戦争においても
- (3) 汝の隣人を愛すべし
- (4) 汝の持てる光を人の前に照らせ、然らば人々は汝の善事を見ん 汝と汝の神に栄光あれ
- (5) 汝姦通するなかれ
- (6) 汝ぬすむなかれ
- (7) 汝の欲するところを人に施せ
- (8) 創造主たる神の外に汝の神はあらず
- (9) みだりに神の名を唱えるなかれ
- (10) 汝の父と母を讀えよ
- (11) 汝の体は神の物である 体を乱用するなかれ、食物の外何物をも飲食するべからず、身をそこなうなかれ、その内外を問わず身をそこなう物まとうなかれ、また用いるなかれ
- (12) 神は天と地を造り給えり、さらば我等神の与え給えし物に感謝すべし

●エリザベス・クララ夫人、金星人と会見！

南アフリカの
UFO同乗事件

▲エリザベス・クララ

南アフリカのプレトリアに住む円盤
研究者エドガー・シーバースは、19
56年4月7日、南アフリカで起きた
空飛ぶ円盤同乗事件を強力に支持して
いる。

彼の伝えるところでは、ドラケンス
バーグ山脈の麓でナタール地方を流れ
るムーイ川流域に1台の円盤が着陸、
中から出て来た乗組員がエリザベス・
クララという婦人に会見し、彼女を円

盤に同乗させたという。

エリザベス・クララにとって円盤を
見るのがこれが初めてではなかった。
7歳の頃彼女は、フットボール大のオ
レンジ色の物体がドラケンスバーグの
起伏の多い丘の上空をゆっくり横切っ
ていくのを目撃した。この事件はクラ
ラの心に大きな影響を残し、それ以来
彼女は、いつか円盤がもどってくるこ
とを願うようになったという。

円盤との再会

1954年12月27日午前10時頃、自
宅近くの丘を歩いていたクララは、南
の空に輝く不思議な光を発見した。そ
の光が近づいてつれ彼女は、それが小
鳥などではなく、長い間待ち望んだ空
飛ぶ円盤であることに気がついた。

円盤は、太陽の光でキラキラ輝きな

がら北側の斜面上数mのところを何度
も旋回し、やがてクララに近づいた。

彼女は、そのときの模様を次のよう
に語っている。

「その物体は私に大変近寄って来まし
たので、私は窓の中にいる乗組員の顔
をはっきり見ることができました。し
かし疑いと驚きのため私は本能的に後
ずさりしたのです。でも私の目は乗組
員の顔から離れませんでした。彼は、
ブロンドの髪と明るい灰色の目を持ち
私が出会ったどの男性よりもハンサム
だったからです。私を安心させるため
でしょうが、彼は私に微笑みかけまし
たが、私はそのとき後に身を引いてし
まったのです」

クララが後にさがるとすぐに円盤は
南の空に飛び去った。彼女はその場に
立ちすくみ、自分が最後にとった態度
について後悔をしていた。

それからというもの、彼女はもう1
度チャンスをつかむため、毎日のよう
に外に出るようになった。しかし当時
彼女にはすでにマリリン、デビッドと
いう2人の子供があったので、子供た
ちの世話を優先させないわけにはいか
ない。こうして彼女は次第に忍耐強く
なっていたのである。

円盤同乗事件

前述のエドガー・シーバースは、当
時の彼女について「有能なピアニスト
であり、音楽の教師でもあった。イタ
リアとイギリスで勉学を修め、歴史か
ら天文学に至る知識を備えた人物で、
熱心な旅行家であり、自然を愛し、彼
女はけっして狂人や変人でない」と強
調する。

彼女はまた、テレパシクな感覚も
もっていたようだ。例の事件が起こる
前日の1956年4月6日、エリザベ
スは、いつもの丘に登りたいという衝
動にかられ、旅行先のダーバンから家
にもどったのである。そして翌日、朝
早く家を出て丘の南側斜面の頂上に立
った彼女は1機の円盤がまだ朝日の当
たらぬ東側斜面に着陸しているのを
目撃した。

以下は、エリザベス・クララ自身が
述べた事件の詳しい経過である。

私は最初のときのようにためらって



円盤のそばには、以前に見たことがあるプロンドの男が立っていたのです。

私が彼に向かつて手をさしのべると彼は、私の手を取り完璧な英語で「今度は恐くないですわね」と言ってくれ、円盤の中に案内してくれました。

円盤の中で彼は私に柔らかな丸い椅子をすすめてくれました。私はそれにすわると一息つきましたが、なにより嬉しかったのは、室内の空気が驚くほど新鮮だったことです。

しかし、そんな気分は、操縦装置のそばにすわっているもう一人の男を見るまででした。男は色が黒いうえに背が高くなく、恐怖の念に襲われた私は、背の高い方の男に「あなたがたはロシア人ではないんでしょうね」と尋ねると

いる場合ではないと感じ、円盤に向かって全速力で駆けおりました。すると

彼は微笑みながら「私は、あなたたちが地球と呼ぶこの惑星から来たものでは

なく、金星から来たのです」と答えました。

円盤の内部は、燃料のむっとするような臭気はまるでなく、すべて清潔でシンプルで美しさに満ちていました。床下からはハミングのような静かな音が聞こえ、その音が私の気持ちを和らげてくれたように思います。

窓は4つあり、そのうち3つのおおいが外されたので、外を眺めましたが円盤の胴体が邪魔をして下の方を見ることはできませんでした。そのときはまだ、床のレンズを利用すれば下を見れるなど考えもつかなかったのです。

彼らの服装はというと、上衣とズボンがそれぞれ手首とくるぶしで細く切ったデザインで、身体にフィットした暗褐色のスーツを着て、素材は目の粗いナイロンのようにも見えました。

しばらくたつと彼らは、私に新鮮な水と、リンゴやバナナに似たおいしい果物をよこしました。

私がこれらのものを食べ終わると、背の高い金星人がいろいろ説明を始めた。

まずこの部屋の空気は金星のものであること。金星には水が多く、高く美しい山々があり、家は円型で外からは光が入るが中からは外が見えないような特殊物質からできていること。月には、非常に親切で理解力のある宇宙人たちが基地をつくって住んでいることなどを教えてくれました。

また彼は、彼自身が地球で生活をしてきたわずかな期間に、地球人の生活を学ぶため多くの町を旅行したと話してくれました。彼は、地球人が常に戦争の脅威にさらされ、不安に満ちた生活を送っているのを見て悲しんだそうです。

次に私たちは、音楽について話し合いましたが、宇宙人たちは、音に対する感受性に優れており、この領域では他にひけをとらないとのことでした。円盤の動力については、自然力を用いるのだと説明してくれました。

いよいよ別れの時間が来ました。彼らはもう時間がないと言い、私の息子デビッドが病気であることを教えてくれて、円盤を元の場所に着陸させ、私を地上におろしたあと、ゆっくりと南の空へ去って行きました。

円盤が去った後、クララは家に急いだ。彼らが言ったとおりデビッドはひどい咽喉カタルにかかり母親を待っていたのである。

それから3カ月後の7月17日、彼女は娘のカメラで円盤を撮影することに成功した。フィルムを調査したエドガー・シーバースによると円盤の直径は約15〜18mで、ドームはアダムスキーやアリンガムの写真に見られるような半球状ではなく平たいものであった。その後、彼女は数度コンタクトしたという。

1957

特集／戦後 UFO 30 年史

●一青年農夫の不思議な妖しい体験

ブラジルの

奇怪な誘拐事件

ブラジルの奥地で途方もない事件が発生した。ときは1957年12月15日の午後11時頃。ところはミナスジェライス州フランシスコサレスで、体験者はアントニオ・ビリヤス・ポアスという若いまじめな農夫である。この土地は12月になると極端に暑くなる。あまり暑いのでアントニオは弟と一緒に夜間働いた。トラクターを運転して、河のそばの平野の畑を耕すのだ。

1個の発光体が接近

12月14日の午後11時頃、兄弟が畑仕事をやっていたとき、アントニオは弟に呼びかけて空中に1個の光点が見えることを知らせた。2人が畑の端でトラクターの方向を変えるごとに、その光点も位置を変えた。すると次第に近づいて来るので兄弟は恐ろしくなりト

ラクターからスキをはずして家にむかって逃げ帰ったのである。

次の夜、またアントニオは畑で仕事をしていた。今度は一人だ。すると真夜中に1個の「星のような光る物」が北方から急速に接近して、数秒後に畑の上空30mの位置に停止した。びっくりしたアントニオは道具をまとめて家にむかうことにし、トラクターからスキをはずす油圧装置を操作し始めたが、どういいうわけか作動しない。

アントニオが必死になって取り組んでいるうちに、トラクターのエンジンもとまってしまった。すると空中に浮かんでいた物体が急降下して、トラクターから18m離れた所に着陸した。

おびえきったアントニオは、2人の「人間」が物体から出て自分の方へ走って来るのを見た。大変とばかり彼はトラクターを飛び離れて逃げようとし

たが、「人間」たちは背後から彼をつかまえてしまった。若くて頑丈なアントニオはかろうじて1人を頭ごしに投げ飛ばしたが、物体の方から更に新手的な「人間」2人がかけつけて彼を捕えた上、ついに5、6名の「人間」がのしかかって手足を押しさえつけてしまった。当初は激しく抵抗したものの、相手が大勢では暴れるのもむだだと知っ



▶診察を受けるアントニオ青年。

て、おとなしくした。しかし1対1なら相手は自分ほど強くないことがはっきりした。

UFOの内部へ連れ込まれる

捕らえられたアントニオはUFOの方へ連行されてハシゴを昇り入口を通り抜けて丸い室内へ入れられた。そこは高さ2m弱で、幅は約2mある。この部屋の床の中央から天井へ1本の柱が貫いていて、周囲の壁には四角な穴(複数)があった。ちょうど電気装置にあるような穴だという。また3本脚の固定テーブルがあって、その上に1個の器具があった。

さて連中はただちにアントニオのアゴの突き出た部分の付近2個所に柔軟な注射器をあてがった。明らかに彼の血液を取るためである。

次に彼らはアントニオの服が裂けないように注意深くボタンをはずしながら、信じがたいほど敏速に彼の服を脱がせた。

続いて彼は入口を通して別な部屋へ導かれたが、その中の唯一の家具はプラスチック材料を使用した寝台である。その上に横にさせられた彼の全身を相手は一種のスポンジで拭いたが、それには気分が爽快になるような液が含まれていた。アントニオは最初これは体をきれいにするためだと思った。彼は汚れていたからだ。



セックスのもてなしを受ける!

人のように吊り上がって、頬骨はスラブ人のように突き出ており、歯は白くて形よく並び、奇妙な感じがするけれど、

最初の部屋にいた時間は5分間ぐらいだったが、今度の部屋ではものの20分も放置されていただろうか。だれもやって来ない。すると突然、強烈な匂いが室内にただよぶのに気づいた。アントニオは次第に吐き気をもよおして気分が悪くなってしまう。

この部屋には別な部屋に通じる3番目のドアがあったが、突然それが開いて、2人の「人間」が1人の全裸の少女を連れて入ってきた。

この女の身長は1・5mぐらいで、頭髮は薄い金髪、まつ毛もまゆ毛もなく、わずかに細い白いまゆ毛らしいものがあるだけで、全身には毛が全く生えていない。耳は小さくて、アゴ、くちびる、鼻などは形がよくととのっており、目は中国

ども、気味悪いものではなかった。この女が微笑を浮かべながら両腕をひろげてアントニオの方へ近づき、彼の上におおいかぶさった――。

行為が終わって女は出て行ったが、その間、相手は一言も発しなかった。夢見心地から我に返ったアントニオは衣服を取りに最初の部屋へ引き返した。自分で服を着ると、1人の乗員がやって来て、外部のプラットフォームへ連れ出した。そこは各室の床と高さと同じである。

乗員と船体の特徴

ここでアントニオは周囲の状況を見ることができた。5、6人の乗員がいたが、皆一様に白い、びったりとした服を着ており、これには「金属のウロコ」がついている。アントニオの両手は畑の格闘のときにこのウロコによって傷ついていた。各乗員は幅の広いベルトをしめており、その正面から赤い光を放っている。足には粗末な白いクツをはいているが、アントニオが翌日柔らかない地面についていた足跡から判断すればカカトがないようだ。彼らは丈夫な手袋をつけて、頭には大きな不透明なヘルメットをかぶり、目の位置には水平な小さなすき間がある。背中には小さな突起部から平たい金属のパイプが出て、ヘルメットの両側に連結している。このヘルメットのために相

手の顔はわからなかった。「人間」たちは皆小柄で、意味不明の甲高い調子の言葉で話し合っていた。

UFOの形は円型で、高さ約3m、下部には更に3mもある3本の脚があり、各脚の厚さは約30cm、地面に接する部分ももっと広くなっている。

本体の直径は15、18mあり、緑色の光を放つ、先のとがった前部が突き出て、更にそれより短い平行な突起部が前部の両側に一對付属し、両方とも先端付近にオレンジ色の光を放っている。本体の両側には、板のような形の短い突起部がある。本体の上部には大きな丸屋根があった。これは着陸中も絶えず回転していた。

アントニオは付き添いの男と一緒にハンゴを降りた。すると男は地面に2つの輪を描き、1つの輪を指さして、次に空の方を指さし、続いてもう1つの輪を指さした。宇宙空間の2つの異なる惑星を意味するらしい。

やがて機体は離陸した。前部の緑色光は目のくらむような白色光に変化して、信じられないほどのスピードで上昇し、あっという間に消えて行った。

帰宅してからアントニオは吐き気をもよおし、3週間は肝臓が痛んだ。顔や腕の皮膚に小さなハレモノができたが、これはまもなく全治した。UFO内でアゴに注射された痕跡は3年以上も残ったという。

1959

特集／戦後UFO30年史

●ニューギニアの村落で起きた劇的な事件

パプア島のUFO騒動



円盤に乗った「人間」が38人の目撃者の前で手を振って答えたという劇的な事件が発生した。

1959年6月27日、ニューギニア島パプア地区のオーエン・スタンレー山系の深い峡谷から流れ出たマセ川が作る狭い舌の形をした土地にポイアナイという村がある。驚くべき事件はこ

の村落で起こった。同村の伝道部長の神父・ウィリアム・ブース・シルは、そのときの模様を親友にあてた手紙の中で次のように書いている。

「昨夜……ポイアナイではUFOが4時間も飛び回っていました。何者かに操縦されていることは間違いなさそうです。全く息をのむほどの見ものでした」

これに署名入りのスケッチが何枚か添えてあり、38人の目撃者のうち25人が署名している。UFOは近くでは薄いオレンジ色に光って見え、表面は金属のようで、一種の脚があり、ときどき青い光線を約45度の角度で空に照射していた。上甲板では乗員が4人、出たり入ったりを繰り返していた。宇宙服のようなものを身につけていたとすれば体にピッタリ合ったものに違いな

に取り巻かれていた。

UFO乗員が手を振る！

そして問題の翌27日の模様を次のように続けている。

「UFOは前夜より早目にやって来た。上部に人影が見えた——4人だ——たしかに人間だった。昨夜の母船と同じものだと私は思った。付近には小型UFOも2機静止していた。大型UFOの乗員の1人は手すりにもたれてこちらを見下ろしていた。私が手を上げて振ると、驚いたことにその人影も同じことをした。教師のアナニアスと私が手を振ると、4人も手を振ってこれに答え

た。皆、大きなため息をした（喜びのあまりか驚きのあまりか、たぶん両方であったろう）」

何分間か交歓を繰り返すうち、彼らは興味を失ったらしく、姿を消してしまつたという。UFOの大きさがわかると乗員の身長を地球人と同程度とすればUFOの直径は、およそ基部で11m、上甲板で6mになるという。

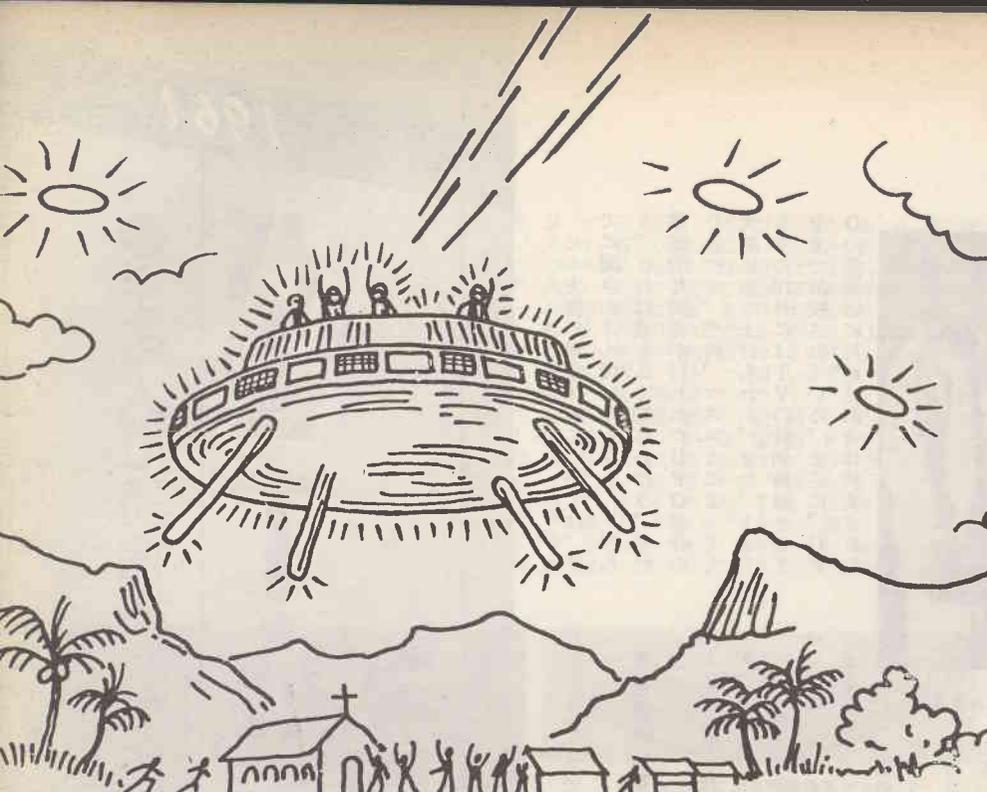
その動きからこれまで何者かの意志

◀目撃者ステイヴン牧師はUFOを「コーヒー皿」と証言。



▼UFOの現れたパプア地区のポイアナイ。





により操縦されているのではないかと
いわれてきたUFOの搭乗員。シル神
父の手紙は、実は私たち同様の人間だ
ったということを教えてくれる。

▲UFOの乗員は手を振って答えた。ノーマン神父のスケッチ。

国、ソ連? 1959年といえば米国
はすでに調査委員会を設立している。
なぜそんなものが必要なのか。他国は
なぜ領空侵入に抗議しないのか。また
UFOほどの武器があれば、米国は時

代遅れの大陸間弾
道弾に巨額の費用
をつぎ込んだりは
しなかったはず。
ソ連にしても同様
である。

ボーアナイの騒
ぎが前代未聞のこ
となので、信じる
人たちと頭から否
定する人に意見が
大きくわかれてし
まった。後日、空
軍はボーアナイ事
件について調査結
果を発表したが
——「シル神父以
下38名の目撃した
物体は、有人航空
機ではないと確信
します。方位と角
度を分析した結
果、光体のうち少
なくとも3個は木
星、土星、火星で
あると思われるま
す。光の屈折と熱
帯の複雑な気象状

態のため光体が運動したように感じら
れることがあります」といったものだ
った。

UFOが目撃されたのはボーアナイ
だけではなかった。グッドイナフ湾付
近では79件の目撃報告がある。UFO
の出没のピークは1959年の6、
7、8月だが、前ぶれめいた小さなビ
ークが1958年の10、11月にあっ
た。中には一度に100人以上もの目
撃者が出た。目撃者の中には民間航空
局長官、航空会社支配人、牧師、教
師、政府職員などの有能な目撃者がい
る。

そして、1959年8月を境に目撃
報告が急速に減った。つまり、このU
FO騒動はバプア地区の特定地域に集

中して起こったのである。

目撃者の証言はすべて共通性をもっ
ていた。白く輝く「ティリーランブ」
にそっくりだということ。そしてその
動きは、一切の重力、慣性、空気抵抗
とは無関係のようで、質量を持たない
のではないかと思われた。光の変化を
伴い白、赤、緑、青緑といったぐあい
で、音もなく、超音速の数倍の速さで
飛んでいる。

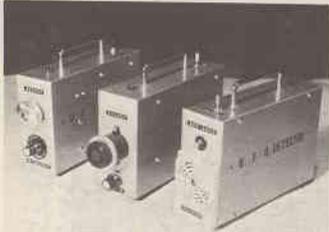
バプアUFO騒動のナゾはいまもつ
て解明されていないが、ひとつたしか
なことは、彼らに敵意の証拠がないと
いうことである。乗員が手を振って応
じたことさえある。これは友情の表れ
ではないだろうか。(詳細は本社刊「バ
プア島の円盤騒動」を参照)

UFO探知機

超高感度

国産唯一の本格的磁気探知機!

現在230台が全国で活躍中!!
既にUFO探知成功18件!!



左からT-5・T-3a・T-3b型

- T-5型……¥9,000
- T-3a型……¥18,000
- T-3b型……¥19,000

■その他、連続観測用のACアダプター及び補助電池ボックス(新製品)があります。

申込先: 〒213 神奈川県川崎市高津区長尾1606

折田 至

Tel. 044-866-8347

●カタログ請求は100円切手をお送り下さい。

●宇宙人に誘拐されて記憶を消された夫婦

バーニー・ヒル夫妻の 不思議な体験

代表的なケースである。

車を追跡してきたUFO

ヒル夫妻の異常体験については、すでに聞きおよんでいる人が多いだろう。これは最も広く知られたり、また徹底的な調査が行われたUFO事件のひとつで、当時、マスコミによって大的に取り上げられた。また、1975年の10月にはTVの特別番組として全米で放映されている。まさに、UFOの搭乗者に拉致され身体検査された

1961年9月19日の午後11時頃、ヒル夫妻はニューハンプシャー州ポーツマスPortsmouthの自宅へと国道3号線を車で走っていた。カナダへの休暇旅行の帰りである。

▲不思議な体験をしたヒル夫妻。

夫のバーニーが運転し、妻のベティーは自動車の窓から月のきれいな夜空を眺めていた。すると、明るく輝く星のようなものが動いているのに気づいた。その物体は輝きを増しながら、高度を下げ、彼らの方に近づいて来る。

ま、双眼鏡を手を外へ出た。その正体を見きわめようと思ったのである。地上30mのところ静止した物体は円形で、ジェット機よりも大きく、明りのついた2列の窓が並んでいた。双眼鏡を向けたバーニーはショックで立ちすくんだ。その窓には黒っぽいユニフォームを着た人影が5、6人立ち並び、奇怪な目で彼をみつめているのだ。

▼宇宙人の石膏像を持つベティー・ヒル。

バグを叩いているような感じだ。その音を聞いているうちに、2人は全身の力が抜けて眠たくなり、意識を失ってしまった。

再びビーンという音で2人が気づいたとき、車は以前の場所から56kmも南に離れたアシュランドAshland付近を走っていた。やっとのことで自宅に帰りついたときには、予定の時刻を2時間も過ぎていた。いったい何が起こったのか、2人は一生懸命に思い出そうとしたがどうしても駄目だった。その部分だけ記憶にボツカリ穴があいていたのである。

捕えられるという恐怖に襲われたバーニーは車に駆け戻り、通行のどだえた夜ふけのハイウェイをフルスピードで逃げだした。数分たったとき、ヒル夫妻はビーンという音を耳にした。車のトラ



で止まっていた。また車のトランクには光る斑点がいくつもついていて、磁石を近づけると針が激しく回転した。さらに、その晩から2人とも悪夢に悩まされるようになったのである。

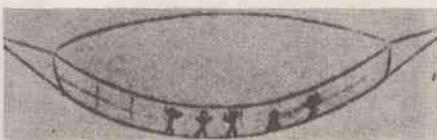
耐えきれなくなったベティーは、洗る夫を説得して、9月25日にUFO研究団体NICAPに連絡をとった。調査におもむいたヘイドン・プラネタリウムのウォルター・ウエップは、ヒル夫妻が評判のよい人たちで、ウソをつくとは考えられず、UFOを目撃したことは確実だという結論に達した。だが、空白の2時間の記憶は、1963年になるまで戻ってこなかった。

ヒル夫妻は神経障害があまりにもひどくなったので、治療のためボストンの有名な精神分析医、ベンジャミン・サイモン博士のもとを訪れた。博士は2人の失われた記憶を回復させるため、ベティーとパーニーのそれぞれに、3回にわたって催眠術の治療を施した。その結果、2人は驚くべき内容を語りだしたのだ。

宇宙人に消されていた記憶

2人の車の前に、数人の黒服の怪物が立ちはだかっていた。彼らの身体つきは人間に似ていたが、身長は1.5mそこそこしかなかった。しかも彼らの顔つきは見るからに恐ろしいものだった。奇妙な形で、耳とおぼしき

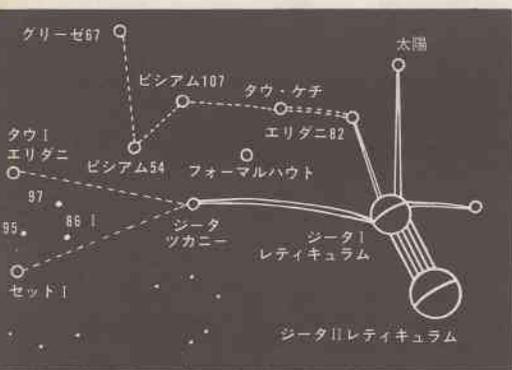
部分には穴があるだけ。口と鼻はおしつぶされたようで、横からはほとんどわからない。とくに奇怪なのは大きな目で、顔の側面まで長く切れあがり、邪悪な雰囲気をもたらしている。彼らはベティーとパーニーを車からひきずり出し、円盤の内部へと連れ込んだ。誘拐者たちは「危害を加えない」と保証したが、2人の恐怖はすこしも薄れない。円盤の中でベティーとパーニーは別々の部屋に入れられ、長時間にわたる身体検査をされた。



▲ヒル夫妻による円盤のスケッチ。

◀6年後に解読された宇宙図。

ベティーはそ



の模様を次のように語っている。「彼らの検査はとても単純なものでした。私の目、鼻、喉を調べ、髪の毛、爪それに皮膚のサンプルを採取しました。それから、私の神経組織の検査も行いました」

神経の検査の際、彼らはベティーの臍に針を突きさしたので、彼女は痛みで叫び声をあげた。しかし、彼女の1人が彼女の目の上に手をかざすと、不思議と痛みがおさまった。

一方、パーニーの方は腹部を奇妙な装置で締めつけられた。後になってパーニーの下腹部に大きなイボがブツブツとできたのは、この検査のせいだと考えられる。

宇宙人たちは、パーニーとベティーの違いが不思議でならない様子だったという。パーニーが黒人、ベティーは白人と人種が違っているうえ、パーニーは入れ歯をしていたのである。ベティーがいろいろ説明を試みたけれど、彼らには理解できなかったようだ。

身体検査が済んだから、ベティーは宇宙図を見せられた。それはいくつかの点を太さの違う線でつないだものだった。宇宙人の説明によると、点は星をあらわし、太い実線は交易ルート、点線は探検ルートを示すという。

その後、2人は自分たちの車に連れ戻されたのである。

質問を終えたサイモン博士は、催眠状態のまま、2人にそれぞれ宇宙人の

絵を描かせた。またベティーには、彼女の見た宇宙図をスケッチさせた。

この治療の後、ヒル夫妻の精神的トラブルは軽くなった。しかし、この体験が強烈すぎたのか、パーニーは1969年の2月に脳溢血で死亡している。46歳であった。

では、ヒル夫妻が催眠状態のもとで語った内容は真実なのだろうか。

夫妻が自分たちの体験を信じていることは確かである。だが誘拐されたことに対する心理的な反動ではないか、というのがサイモン博士の意見だ。

だが、6年後に、ベティーの描いた宇宙図から驚くべき事実が判明した。1969年、オハイオ州に住む小学校の女教師、マージョリー・フィッシュが、苦心の末に宇宙図に描かれている星をつぎとめたのである。しかもその星のうち3つは1969年になってやっと発見されたものだった。ベティーが事件当時、この3つの星について知っていたはずはない。とすると、ヒル夫妻は本当に宇宙人に会ったとしか考えられない。

もちろん、フィッシュの研究結果が正確かどうか、あるいは偶然の一致で説明できないかどうか、検討の余地は残っている。しかし、ヒル夫妻誘拐事件の真実性を裏づける有力な証拠であるとは言えよう。(詳細は本誌6号を参照)

1965

●ムービーカメラにキヤッチされたUFO!

ロドファー夫人の

8ミリフィルム

特集／戦後UFO30年史



▲マデリン・ロドファー夫人。

1965年2月26日の静かな午後。アメリカの首都ワシントンD・Cの郊外の自宅で、いつものように家事に精出していたマデリン・ロドファー夫人は、ふと、一息いれようとして窓の外に目をやって驚いた。

自宅の前に広がる林のこずえ、冬の枯れ枝が空をつかんでいるあたりに、縦横無尽の動きを見せる奇妙な飛行物を発見したのだ。

「あッ、UFOだわ!」
ロドファー夫人は、あわてて隣りの部屋から日頃愛用している8ミリカメラを取ってくると、脱兎のごとく表へとびだし、自宅の前庭から、ズームレンズを使って、激しく飛び回るUFOを、無我夢中で撮影した。

UFOは、まるで木の葉が舞い散るようにヒラヒラと下降するかと思うとまた、前後左右に急角度・超スピードで移動する飛行を、およそ10分間ほども繰り返したあと、ロドファー夫人の視界から飛び去った。

8ミリカメラのフィルムには、上部にドームがあり、底部に球形の着陸装置を持つ、典型的なアダムスキー・タイプのパネルが、その飛行状態ともども鮮明にとらえられていた。

連続写真で見ると、このUFOは左右非対称な形に、刻々とその姿を変化させ、またフィルムのひとコマずつを分解写真にしてみると、これもあるいはUFO推進原理と関連があるのか、底部の球形の脚部が、出たりひっこんだりしているのがわかった。

UFO教室

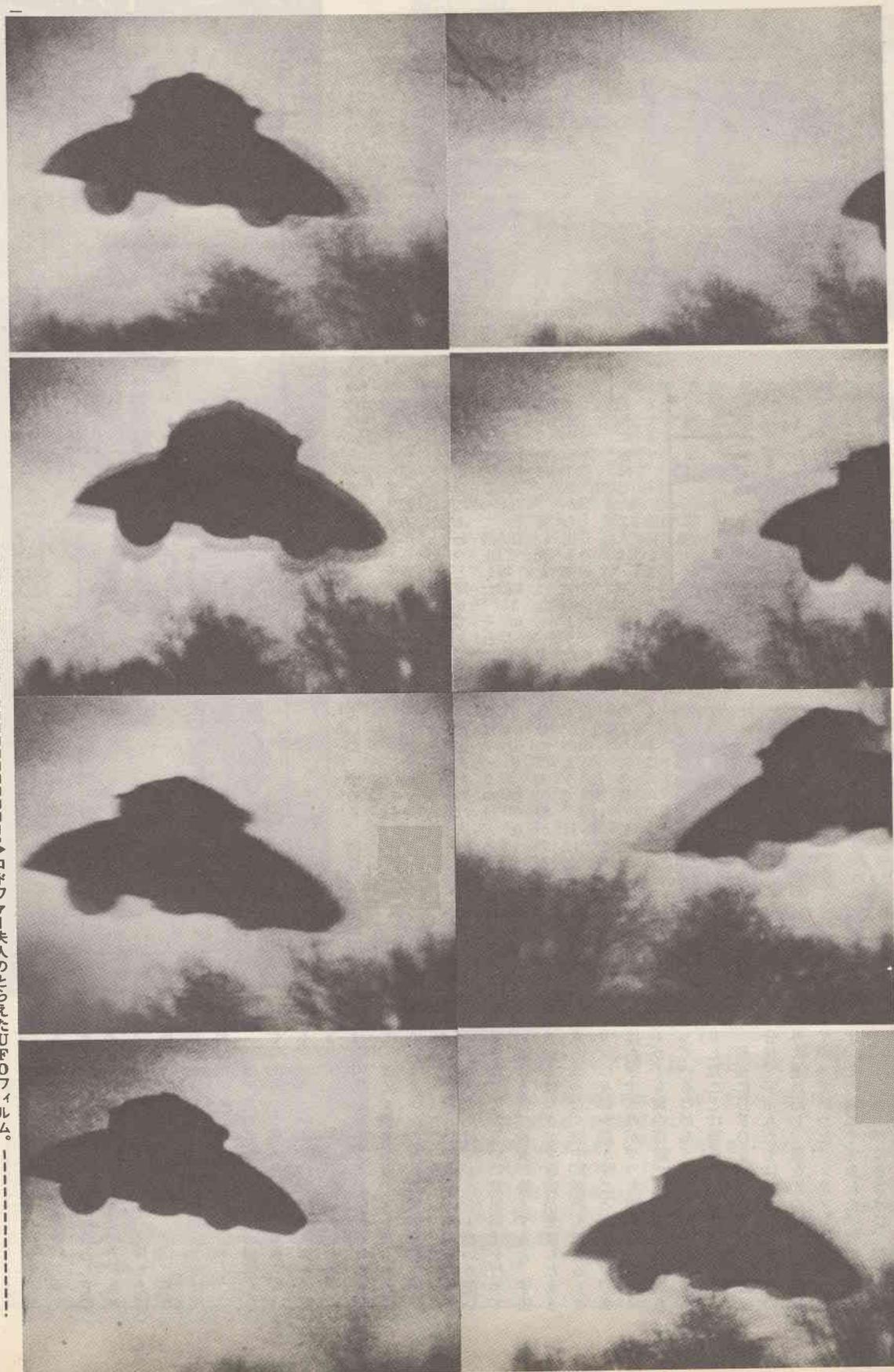
主な内容 ウィスコンシンの円盤目撃・音産事件と講演活動の相関性(トーマス・ハイマン) ■ワシントンへの旅—政界・医学界へのアピールと日本大使館訪問(センター報告) ■連載—アダムスキーの幻の著書「宇宙のバイオニアー達」第二回 ■ブルー・ブック計画の結論は当然(安齋純夫) ■「UFO教室」発行の意義(古山晴久) ■メンバーの研究経過(垂沢潤一郎) ■他 ※6月末発行 価360円 送料140円 年二回発行分で1000円

アダムスキーの質疑応答集の決定版

進化した宇宙人と
他の惑星に関する

1965年版 質疑応答集(本邦初訳)

これ以前に出された質疑応答集には内容がゆがめられた所が多かったため、アダムスキー自身の手で旧本を改めて出されたもの
竹島正訳 価格350円(送料100円)



▶ロドファー夫人のとらえたUFOフィルム。――

●UFOに身体検査をされた2人の造船工

パスカグーラの恐怖の誘拐

アメリカのミシシッピ州南部、アラバマ州寄りがある町、パスカグーラ。1973年から74年にかけて米国各地を襲ったUFOラッシュのピークともいべき事件は、このメキシコ湾に面した人口3万人足らずの小さな町で起こった。川で夜釣りをしていた造船所の工員2人が、着陸した円盤に連れ込まれ、身体検査をされた後に釈放されたのである。

奇怪な宇宙人にさらわれて

円盤に連れ込まれたのは、ウォーカイ造船所に勤務するカルビン・パーカー(19歳)とチャールズ・ヒクソン(42歳)。2人ともパスカグーラの近くにあるゴーンシャアの住人である。

1973年10月11日の午後7時頃、パーカーとヒクソンはパスカグーラ川

の西岸にある古い桟橋で釣を楽しんでいた。

突然、夜空の彼方から青みがかった光が近づいてきたかと思うと、彼らの斜め後ろの川岸にふわっと降りてきて地上50cmのところまで静止した。それは卵形をした巨大な物体で、幅3m、高さ2・5mほど。青い光をはなち、まるで圧力ホースから出る空気のような音をたてている。

恐怖に麻痺した2人は、逃げ出すこともできず、その物体をじっと見つめ

ていた。すると、円盤の表面が開き、

3人の宇宙人が姿を現した。宇宙人たちは脚を動かさずに、フワフワと浮かぶように近づいてくる。

宇宙人たちは人間に似た形状で、身長は1・5mほどあり、頭は弾丸のように尖り、首がなく、鼻と耳にあたる部分には突起物があるだけ。口は細いミノのようで、目はあるかどうかかわらない。皮膚は薄灰色で、ゾウの皮膚のように多数のしわがある。足は丸く、手はカニのハサミのような格好を

していた。

近づいてきた宇宙人3人のうち、2人がヒクソンを、もう1人がパーカーをつかまえた。パーカーは恐ろしさのあまり気絶してしまった。一方、ヒクソンも、腕の下をつかまれて持ち上げられると、身体の力が抜けてしまった。こうしてヒクソンとパーカーは円盤の内部に連れ込まれた。

円盤内部の部屋にはほとんど何もなく、光源の不明な光で照明されている。ヒクソンの身体は空中に浮かんだままである。それから、フットボールほどの大きさの目玉に似た物体が出現し、まるで検査装置でもあるかのようにヒクソンの身体の周囲を動き回った。

宇宙人たちは、ジージーという低い音をたててお互いに意思伝達を行っているようだ。検査が終了すると、宇宙人たちはヒクソンを宙吊りにしたまま立ち去った。空中に浮かんでいるヒクソンは身体を動かすことができず、まばたきするのがやっとである。彼はパーカーも別の部屋で同じような目にあっていいるのだろうと思っただが、はっきりしたことは判らなかつた。

最初にUFOを目撃してからはほぼ20分後、宇宙人たちはヒクソンを円盤の外に連れ出し、彼を元の場所へと戻して去っていった。ヒクソンは足が立たず、その場にくずおれた。彼のそばでは、パーカーが泣きさけび、祈りを唱



▲チャールズ・ヒクソン。



▲カルビン・パーカー。



▲パスカグーラ川の誘拐事件現場。

えている。一方、円盤はシューという音をたてながら垂直に上昇し、アッというまに消えていった。ヒクソンはヒステリックになっている友人をなだめながら、2人でその場を逃げだした。

科学者たちの調査の結果は

最初、2人は自分たちの経験をだれにも話すまいと決心した。こんな話を人は信じないだろうし、あざけり笑われるのが関の山だと考えたのである。しかし、政府にはこの出来事を知らせる必要があるのではないかと思ひ直し、彼らはビロクソンのキースラー空軍

基地に電話をした。

電話に応待した基地の軍曹は、保安官に事件を報告するようにと言う。しかし彼らは、保安官が信じてくれないのではないかと懸念して、地方新聞の記者に会いに行った。彼らが着いたときにはもう新聞社のオフィスが閉まっていた。結局、新聞社の守衛の勧めに従って彼らが保安官事務所に行ったのは、その晩の10時半である。

翌日、その噂を聞きつけた地方新聞が事件を報道、数日のうちにこのセンセーショナルなニュースは全国に広まった。

UFO研究団体のAPPROは、この事件の調査のため、コンサルタントの1人であるカリフォルニア大学工学部教授ジェームズ・ハーダー博士を現地に派遣した。また、J・アレン・ハイネック博士も、目撃者とのインタビューのためパスカグーラにおもむいた。

ハーダーたちはヒクソンに催眠術をかけ詳しい記憶を再現させようとしたが、ヒクソンがあまりにも苦痛と恐怖を訴えるため途中で中止した。ハーダー博士は、事件が起きてからの時間的間隔があまりにも短かすぎ、精神的な



▶宇宙人のスケッチ。

傷が癒えていないためだと語った。

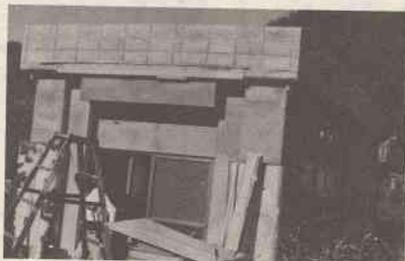
一方、最初に事件の報告を受けたジャクソン郡のフレッド・ダイヤモンド保安官は、その晩、ヒクソンとパーカーを収容した部屋に隠しマイクを取り付け、2人の会話を録音しておいた。もし2人がウソをついているのなら、彼らだけにしておいたとき、きつとボロを出すと考えたのである。

しかし、彼らが2人だけかわした会話は、ハーダー博士たちが催眠術で引き出した事柄ときわめてよく一致していた。また、その後、ヒクソンとパーカーはウソ発見器によるテストを受けたが、このテストにも合格している。

これらの事実から、ハイネック博士もハーダー博士も、ヒクソンとパーカーの語ったとおりの事件が起きたと信じるようになった。2人とインタビューした後、ハイネック博士は次のような意見を発表している。

「彼らが『非常にリアルな、恐ろしい体験』をしたことは確かである。この奇想天外な事件は、アメリカ国内、あるいは世界中の他の場所ではかの人々が体験した事件と同じ文脈の中で考えなければならぬ」

その後、パーカーは造船所の勤めをやめ、よその町に引っ越した。一方、ヒクソンは住所も職場も以前のままであるが、あの事件に触れられると神経質になるといふ。



重力研究所
〒798 宇和島市宮下甲519

空飛ぶ円盤の科学的研究誌 宇宙艇 隔月刊 B5判

内容 A) 空飛ぶ円盤の理論研究 B) 空飛ぶ円盤の試作
C) 時間反転機の理論研究と試作

☆ 部分品を領布します (カタログは、宇宙艇巻末にあり)。

年会費 A) 4,000円 (大学生及び社会人)

B) 3,500円 (高校生以下)

振替 徳島 28986 (又は、現金書留にて) (切手は不可)

☆ 超相対性理論 (原著) 定価 3,000円

〒 200円

(同じく切手は不可) 発売中

1975

●宇宙人が大僧正に伝えた驚異的な予言

日本にもあった コンタクト事件

特集／戦後UFO30年史

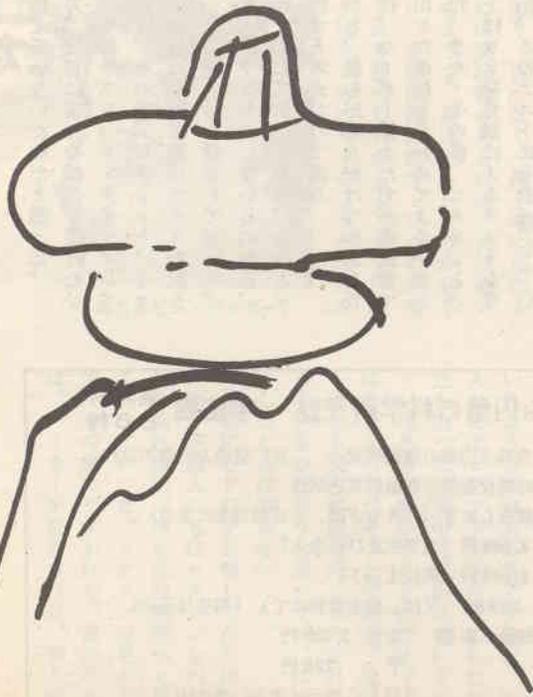


▲大僧正北野恵宝師

真言宗の大僧正が宇宙人とコンタクトしている。彼らは日本沈没を含め、3つの驚異的な予言を伝えた。おまけにその避難方法と思われる彼らの言葉を文字に残して行ったのである。

1975年7月22日の深夜、城下町のおもかげを色濃く残す広島県三原市に数個の不思議な光体が現れた。ちょうどその夜、所用で同市の禅宗大本山仙通寺に滞在していた姫路市・真言宗本覚寺の住職北野恵宝師はまぐら元で、そっとささやくヒトの声を聞いて眼を覚ました。「友よ、友よ、起きなさい！」だが、辺りに人影はなかった。不思議に思って窓を開けると、次第に近づいてくる奇妙な光体が見える。やがて音もなく向かい側の山の大きな岩の上に降りた。その中に、4〜5人の動く人影が見える。おそらく光体は10〜20mあるにちがいがなかった。上空に

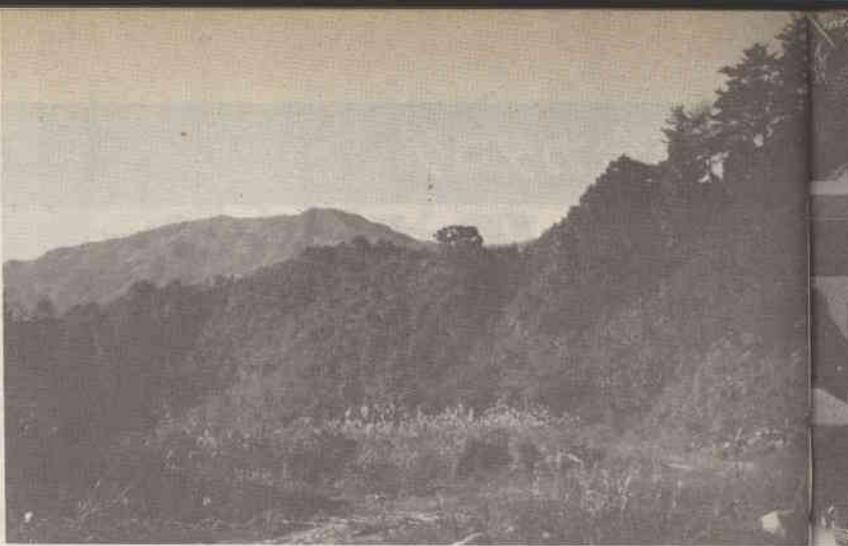
は、ほかに3つの光体も見える。すると宇宙船のドアが開き、中から茶色のすねまで隠れる長いガウンを着た男が現れた。そして、やさしい口調で大僧正に話しかけてきたのである。



▲北野師が描いた岩の上に着陸した円盤。

「友よ！ 恐がることはありません。私は地球人を滅ぼすために来たものではありません。その逆です。この星の人類を救済するために来たのですから」。





▲事件のあった仏通寺山

いいえ、私は仏でも神でもありません。地球人の言う宇宙人です。宇宙人は我々だけでなく、どの星にもいます。この太陽系内はもちろん、地球人がまだ発見していない、もう2つの惑星にも宇宙人がいます。

ところで、地球人は原子爆弾を使っていますね。それを爆発させたところでの惑星自体はなんの変化もしないのですが、この地球人の文明を破滅させる恐れがあります。つまり原子爆弾の爆発はこの惑星の地軸の傾きに大き

な影響を与え、地軸の位置を変化させてしまいます。惑星は全く新しい地軸を中心に自転を始めるでしょう。

そうだったら、どうなると思いますか。おそらくこの惑星はバランスを保とうとして、これまでとは異なった地形をその表面に作ることになるのです。つまり現在の世界地図をすべて書き直すことになるでしょう。

友の住む日本列島も同様です。第一の変動はガイソク地震帯が次第に伸びて、現在の四国と九州の間、豊後水道を通り、山口県から日本海に抜けて頭を上げることから始まるでしょう。結局、日本列島は西に高く、東に低く沈むかもしれません。しかし、全部の間が死ぬことはないでしょう。沈まない土地もあるからです。

その時期がいつかわかりませんが、何百年も先のことではないでしょう。友が死んでからのことです。

この惑星に大変動が起こる要因が、もう一つあります。つまり太陽系はまもなく崩壊するということです。ですから、この惑星の人々は様々な環境の変化に悩まされるでしょう。各地で起こる大地震、異常気象がそうですし、人々の身体にも変化があるはずですが、しかし、いま話した2つの事は、他の人に話さないほうがよいかもしれません。話す友によくないことが起こるからです。

あとひとつ、これはすぐに起こりま

すよ。パングラデシユ大統領のラーマンが殺されます。このことが現実になれば、私がウソをついていなかったことが友にわかるでしょう」

(注)たしかに同年8月15日、元アワミ連合総裁パングラデシユ大統領になつたラーマン氏はクーデターで殺された)

宇宙人は未来の出来事が予知できるのだらうか。その他、大僧正の身の周りに起こる出来事をこと細かく予言したが、これまでに何ひとつはずれていない。友が魚の骨をノドにさして救急車に乗ることも、そして友の一番親しかった人が亡くなることも、すべて当たっている。

こうして1時間半ものコンタクトの最後に宇宙人は不思議な言葉を大僧正に書き取らせた。これはまさしく宇宙人の言葉なのか。まだ、だれひとりとして解読したものはいない。

3571字におよぶ宇宙人の言葉。

「ググジャラー ドバーンジャー
アンパパー ニギッタ ベヤッチザ
ーザ オジャーマ カギ ドバジジ
ミー……(全文本誌16号に既報)……
ホロローパーリールイチャダヤッチャ
アンローアンロー」

どこの星から来たものかも言わずに、この宇宙人は「友よ、さようなら。また会いましょう」と言つて去つて行った。

(詳細は本誌16号参照)

本格的UFO研究団体

日本宇宙現象研究会

JSPS三大機関誌

研究誌 未確認飛行物体

日本UFO研究の粋ここに在り// 調査・探究・分析……充実した内容でUFO現象の重要な本質を多数掲載。UFO研究者必読の重要論文多数印刷。図版、写真多数掲載。年2〜3回刊、現在6号まで刊行中。1500部限定、非売品(会員配布)

情報誌 JSPS's UFO Information

もうマスコミにたよってはいられない// 早く詳しい情報を求めて、現地に調査を本旨とする。UFO研究は誤りのない情報から。●B5判、通常8ページ、高級オフセット印刷、図版、写真多数掲載。8月創刊以来月刊ペースで現在6号まで刊行中。1500部限定、非売品(会員配布)

英文誌 Japan UFO Information

ここ数年の間休刊していた英文誌が、装いも新たに、いよいよ復刊。現地調査に基づく確実な情報のみをよりすぐって世界に報道する待望の新月誌。(近日創刊)

●本誌のみ会員外の方にもおられます。入手法の詳細は後日発表。

当会はUFOに興味関心をもちたい方なら、男女老幼、年齢を問わず、誰でも入会でき、会費も年会費500円(マーク入り会員証交付)1期2000円(誌代差引制、約1年分)入会費1期2000円(住所氏名を明記の上、入金お喜びのうえ、振替、書留等でお申し込み下さい)

〒150 東京都渋谷区神山町5-2

日本宇宙現象研究会

振替:東京6-128740(当会是非営利団体です)

総合カタログ

ここに紹介できない小物パーツや製品を満載した《総合カタログ》を切手130円同封の上、エレクトロニクスセンターUFO24号係へご請求ください。

ご来店もどうぞ

パーツコーナー

ビス1本 からシャーシ・工具に 純正部品 を豊富に取揃え、便利な概算注文方式を採用しております。価格や送料がはつきりわからない時は、雑誌やエレクトロニクスセンターのカタログを参考にし、大体の金額を 抵抗1本 でもご注文お送り下さい。差額は品物発送時に精算します

ご注文は

★雑誌やカタログを参考にして必要なパーツをお好きな数だけご注文下さい。★送料のこまかな点までおわかりにならないときは、おおよその計算でご送金下さい。発送のときご精算申し上げます。★ご注文には必ず〇月号〇ページのパーツとご指定下さい。

★君の腕前を友達に自慢できる自作スタイル=工作は簡単

全機種発売 エレックサーキット

エレックサーキット(回路)は必要なパーツを全部取揃え実体組立回路図付きで組立ては簡単。

2石VHF超再生受信機
FM放送もアマチュア無線も受信できる!!
初心者でも簡単に作れます。
★受信周波数40~60MHz・70~100MHz パーツ式
¥1,800(送料共)



2石・超短波帯コンバータ
144MHz帯のアマチュアバンド受信可
本機の出力をFMラジオのアンテナコネクタに接続するだけで140~200MHzがキャッチできます。超短波帯には重要な機密通信もありますので受信には注意して下さい。
パーツ式 ¥1,900(送料共)



5石アメバト・サイレン
アメリカン・パトロール・サイレンをソックリスピーカーから抵抗、コンデンサーまで全部そろっているので半田ごて一本で組立OK。
出力1000mW、SP、10cm。
部品一式 ¥2,350(送料共)



電子ビクリ箱
9V(006P)電池をトランジスタで発振させトランスで100V以上の電圧ができるようにしたものです。電流は15mA位ですので危険はありませんが、使い方はテキストをよく読んで注意して下さい。寸法:90×65×25%
¥1,100(送料共)



3石電子小鳥
トランジスタ2石のマルチバイブレーター回路、1石のプロッキング発振回路を組合せて、本物そっくりの小鳥の音が数秒づつ鳴いたり、鳴きやんだりします。窓辺にいかがですか。
パーツ式 ¥1,980(送料共)



超小型高性能 FM3石ワイヤレスマイク・WL-303

高性能コンデンサ・マイク使用。盗聴器としても最適。手のひらに入る大きさで到達距離もぐんと伸びました。76~90MHz到達距離約200m、電池単5本(連続36時間可)、寸法48×18×26%
キット¥1,100(送料共)
完成品¥1,150(送料共)



モールズ通信機キット
モールズ発信機と送信用の2部からできており、モールズの通信や練習ができます。プザーの首をランプの光にかえることもできます。
¥2,000(送料共)



エレックサーキットのニューフェース4入カミキサー1台のアンプでボークアルとエレキギター2台と司会用のマイクを鳴らしたい時、カセットテープにレコードとナレーションを入れたい時などに便利な4つの入力があるミキサーです。サイズ95×112×61%
部品一式 ¥3,000(送料共)



金属探知機キット
虫ピンや針のような小物まで探知できるポケット型金属探知機。メータを使用した高級品(実用)です。宝探しに、凶器発見器としても最適。
¥3,500(送料共)



光線スイッチキット
基板は、ハンダ配線済。光を受光面に当てたり、又は当たっている光を通ったりすると(両用の切換スイッチ付)自動的に電気スイッチがONしたりOFFになったりする光制御の光線リレーキット。
¥3,000(送料共)



高感度 1石TRラジオIT-50
高感度回路がコンパクトにまとめられたミニイヤーホン付
¥1,080(送料共)



スピーカ式TRラジオ組立キットAR-205
優秀なパーツと完全な回路設計で高感度・高分離安定した動作。
¥1,600(送料共)



初級向・高性能 4石TRラジオ組立キット
4石で5石の働きをするフレックス回路採用。
¥1,750(送料共)



盗聴機の本格派・超小型FMワイヤレスマイク WEM-31
電源:水銀電池H-02個
サイズ59×40×14%・43g
発信周波数:FM76~90MHz可変可
完成品 ¥3,100



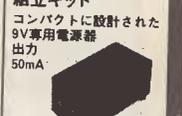
8石TRラジオ組立キットSP-8000
回路図通り組立てられる。
¥2,700(送料共)



3石トランジスタ・インターホン組立キット
実用価値もバツグン。
¥2,100(送料共)



9V直流電源器組立キット
コンパクトに設計された9V専用電源器
出力50mA
¥1,450(送料共)



2バンド通信型受信器組立キットSR-100K
国内放送・アマチュアバンド・海外の短波放送・無線電などが受信できます。
¥8,800(送料共)



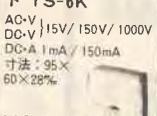
高感度 5石トランシーバースタイル満点で安定した受信
完成品 2台1組
¥3,450(送料共)



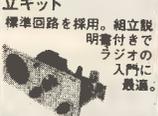
超小型 ICラジオ IC-3000
52×40×17%の小型で高感度のICラジオ
¥1,450(送料共)



新発売 テスターキット TS-6K
AC-V:15V/150V/1000V
DC-V:1mA/150mA
寸法:95×60×28%
¥2,650(送料共)



標準型 3球ラジオ組立キット
標準回路を採用。組立説明書付きでラジオの入門に最適。
¥6,200(送料共)



遠距離用・超小型 ICスーパーラジオEP-7
本格的なスーパーヘテロダイニン式で感度選択度もバツグン。
¥2,500(送料共)



工具セット
エレックセンター特選の11点入
¥4,300(送料共)



修理・調整

当社でお買上げの製品は、組立ても簡単ですが、もしうまくできないときには、修理票を付けて修理・調整もいたします。

★ご注文に際し、ご来店いただけない方は、現金書留か振替で右記へご送金下さい。また小額のご注文は郵便局で小為替を組んで受取人を指定し、普通便で送ると料金も安く早く着きます。着金次第、完全梱包で品質保証の現品を発送します。

品質保証の専門メーカー品を売る専門店

エレックセンター

〒166 東京都杉並区高円寺北2の1の21
☎03(339)5839-4215 振替/東京5-14056



日曜・祭日休み、月~土PM6:00まで

●お急ぎでないご注文は振替をご利用になると安く送金できます。

になろう!!



日本全国・世界各地の仲間が
キミの電波を待っている
JA1ZEAさん、こちらJR6△△△。あなたの電波は59(ファイブ・ナ
イン)で沖縄県は那覇シティに后感しております……お初にお耳にかかり
ますが、QSO(交信)よろしくおねがいたします。どうぞ……」

楽しさバツグンのHAM

「JA1ZEAさん、こちらJR6△△△。あなたの電波は59(ファイブ・ナイン)で沖縄県は那覇シティに后感しております……お初にお耳にかかりますが、QSO(交信)よろしくおねがいたします。どうぞ……」

HAMになるのはカンタン

『電話級HAM免許』は〇×式(四者択一式)のやさしい試験で取れる国家資格で、小中学生の合格者もたくさんいます。ラジオ、模型、BCLなどの好きな方なら、短期間の準備でOK。
▶HAMをみざす初心者のための通信講座『充実した指導と実績の普及会』で、あなたも今すぐ免許を取ろう。



HAMガイド集 無料贈呈中!!

——こんなふうに《電波の声》で仲間を呼び出して自由にラグチュー(おしゃべり)を楽しめるHAM(アマチュア無線)が、いまヤングの間ですごい人気。マイクにむかって呼びかけるキミの声が空を駆け一瞬のうちに世界各地の仲間(100万人以上!!)にとどいて、楽しい交信が始まります。

↑クルマとHAMを結びつけた《カー無線》は人気最高! 運転免許を取ったらキミもぜひやろう。



楽しみつきなHAMの世界

●海外交信で外国の友達もたくさんできるし●ローカル(近辺)の仲間とのラグチューもゴキゲン●また学校その他のクラブ局や野外交信でも活躍できる●カラフルなQSL(交信)カードあつめの楽しさはBCL(ファン)なら見逃せないところ●HAMコンテストやフォックスハンティング等各種の楽しみも盛り●手がるで予算少々のハンディー局も急増中!

●HAM受験から開局までの総合指導システム

氏名・年齢

「HAMガイド」送れ

20冊

普及会E77係

千158 東京玉川局 私書箱19号

CQアマチュア無線普及会

QTH. 東京都世田谷区尾山台3-9-7

[CQ/HAMサービス 03・704・4986]

生命が 存在する?

フレッド・
ステックリング

NASAの発表は
間違っている!

数世紀のあいだ地球人は夜空を通して見られる遠い惑星に「生命」が存在するかどうかと考えてきた。太陽から4番目の惑星で、金星とともに地球に2番目に近い火星は、我々の知っているような生命を発見するのに最適の推測目標といえるだろう。

科学者の生命存在説

それは、1877年に有名な火星の

「運河」を発見したと報告したイタリヤの天文学者ジョバンニ・シヤペレリによって始まったと思われる。知的生命でないところのような構造物は建設できないと考えられたのだ。

その後、今世紀の初頭に米アリゾナ州フラグスタッフの天文台で活躍した名高いパーシバル・ローウェルは、1906年に火星観測の一流専門家になった。彼もシヤペレリの「運河」を発

見して、これを裏付けたのである。

すると、有名なニュース解説者で俳優のオーソン・ウェルズが、1938年の有名なラジオ放送によって数百万のアメリカ人を恐怖におとしいれた。ニュージャーシー州に着陸した火星人による現実の侵略として描いたドラマだったのだ。(訳注)このドラマを本物の事件と勘違いした多数の米市民間に大恐怖が発生して、狂人まで出る騒ぎとなった)

数10年後の1960年代にソ連の天文学者(複数)が科学界を驚かせた。火星を綿密に調査した結果、この赤い惑星の2個の衛星は人工衛星と思われる、というのである。観測した結果、2・3の謎の事実に基づいてこの結論に達した。2個の衛星(フォボスとダイモス)は火星に接近して軌道を描いている(6千km)。通常なら、それらはいつか火星上に落下するだろうし、両方とも自然の天体にしてはあまりに光の反射が強烈すぎるのである。最大の謎は、両衛星が時計廻りの軌道を描いていることだ。他のあらゆる衛星は反時計方向に動いているのである。無数の星を伴う銀河系全体すら反時計方向に動いている。しかし火星の2個の衛星だけは違ふのだ。それはよいとしても、直径8 kmと16 kmの2個の天体が人工的な物であるという説には少々議論の余地があり、空想を高めるものである。

1969年11月16日、トップクラス

の科学者で天文学者のハロルド・C・ユーリー博士は、ソ連の学者と同じほどの驚くべき発言をした。博士はテキサス州ヒューストンの有人宇宙船センターで次のように述べたのである。

「我々が火星へ有人宇宙船を送る場合は極力注意しなければならぬ。火星の生命体は敵意を持ち、宇宙飛行士が地球へ帰還するのを妨害するかもしれないからだ」

ユーリー博士は化学の分野でのノーベル受賞者である。同じ論文で宇宙開発計画を擁護し、我々にはそれを実施する余裕がある、というのは、米GNPの1%のわずかりしか要しないからだ、と述べている。

米市民は生命を

期待している

1976年に眼を転じてみよう。最近のバイキング1、2号は、以上あげた科学者たちの誤りを証明したかにみえる。しかしこの2個の探査機の成果を長時間調査研究してみると、読者のなかには驚く人もいるだろう。前記の科学者たちは誤っていないと言えるのである。以下、私は自分の発見した事実をなるべく論理的に説明して読者の評価にゆだねたい。

一般大衆の反応は次のように分類できる。米国中でインタビュを受けた100名の市民の内、40%はバイキン

火星に

グによる完全な生命存在否定説に失望した。50%は火星に知的生命が存在すると確信し、この計画を遂行した当局が何かの理由で隠していると考えている。10%はバイキング探査機が火星へ送られたのではなく、月へ送られたと考えている。概して言えば、米市民の当局に対する大きな不信が存在しているのである。たしかに、ある不信感が存在するが、これは過去の隠蔽や、CIAやFBIのごとき数種の米政府機関が互いに非難し合ったりしたためである。考慮しなければならぬのは、UFO問題に対する大きな隠蔽策である。毎年5千名以上の専門家、パイロット、科学者、あらゆる階層の無数の男女によって目撃されるUFOは、当局の見解によれば存在しないことになっているのだ。

私が感じるのは、米国は、なんとかして火星へ2個の探査機を着陸させたが、それによる真の発見事や大抵の写真は、今日まで公表されていないということである。

科学者は誤っていた

私は自分で研究しているあいだに次のような発見をした。

火星は地球の大きさの約半分で、表面の重力は地球に比べて約40%である。また大気圧は地球の約1千ミリバールに比較して7・7ミリバールであるといわれている。火星の大気の密度は地球の大気の1%以下といわれる。また火星の温度は真昼直後で華氏零下22度、夜間で零下122度にまでさがるともいわれた。火星の赤道付近に着陸したバイキング1号は、極冠に近い

1600 km北方に接地した2号よりも低温を記録している。

科学者団は驚いた。彼らは大気測定中に100%の誤りを発見したのだ。

火星大気中のアルゴン含有量は、彼らが予想した30%ではなくて、わずか3%だったのである。同じ程度の誤りが別に認められた。我々が地球の測定から考えていたよりも、はるかに多量の水蒸気が発見されたのである。

バイキング管制センターのジョージ・サンズ博士は言った。

「火星は、我々が予測したよりもたしかに水分が多い。真陸地点には1日の内、ある時期に、地面に霧が立ちこめていた。大気中には30ミクロンの水分が発見されているが、これは地上の霧ばかりか霜や雪を降らせるのに充分な量である」

私は科学者ではないが気象学を研究しており、これにより火星の「地上の霧」は、その温度が公式発表よりもはるかに高いことを証明していると言えるのである。霧というのは寒冷地上または水上を移動する温かい湿った空気によって生じる。それは華氏32度の氷点以上の温度の産物なのだ。

次の事実も興味深い。地上推定460 mの高度で雲が撮影されているのである。このような雲や地上の霧などはわずか7・7ミリバールという気圧では生じないと私は断言したい。地球の雲は1万mに達することもあるが、そ

れでも地球の気圧はまだ2千ミリバールあり、これはこうした雲を保つのに充分な気圧なのである。

火星の雲は4500 mまで存在するといわれている。したがって少なくとも4500 mまでの温度は華氏32度の氷点以上でなければならぬ。湿気を帯びた上昇気流が上方へ移動するとき、一定の高度で凝縮し、温度によってある高度で雲を形成する。これを我々は凝結点と呼んでいる。ここで注目しなければならぬのは、記録された火星の華氏零下122度という低温は、ある地域に存在するもので、どこにもみられる温度ではないということである。地球の南極では華氏零下127度の低温が記録されており、ここにも生命が存在することが知られている。

火星の大気は濃密？

バイキング探査機の問題に返ると、他にも不可解な点がある。

バイキング各号は地球重量で約550 kgあるといわれた。重力に関する報告によると、火星上ではこれら探査機の重量が約220 kgになるという。パラシュートの大きさは直径15 mとなっている。15 mのパラシュートに220 kgの重量物を吊り下げると、地球の大気圏内ならば逆噴射しなくても充分に落下速度を落とすだろう。しかし希薄といわれている火星大気中では（地球大気密度の1%以下）、15 mのパラシ

ユートを使用しても全然減速効果はないだろう。そんな大気ではパラシュートを開くほどの空気分子があるかどうかとも疑わしい。そのように希薄な大気中で必要なパラシュートの大きさを計算してみると、直径約2300mを要することになる。そうなると、こんな大きな物を収納する場所や重量などの問題が起こってくる。少なくとも900kgになるだろうし、収納するには19m²の場所を要することになる。それは探査機自体よりも大きくなる。したがって科学者が15mのパラシュートを用いたからには、火星の大気は、我々が聞いているよりもはるかに濃密なのである。ここで濃密というのは地球のそれに近くて生命を継続できる濃密さという意味である。

15mのパラシュートをつけた探査機は1200mの高度で切り離されて、3個の逆噴射ロケットを作動させた。巨大な燃えるタイムツツのような噴射は機体を減速させて、うまく軟着陸させた。しかし、この3個のロケットエンジンは、数千度の高熱ばかりか莫大な推力を出している。この2つの要素は、接地前に着陸場所を完全に殺菌したばかりでなく、少なくとも30m周囲にわたって生物学的に価値のある土を吹き飛ばしたのである。こんな地面で生命のシルシを発見できるだろうか。科学者もそう思ったのではないか。一方、あの小さなシャベルはその殺菌さ

れた土地を掘り続けて探索を続けているのである。

『サイエンティフィック・アメリカン』という雑誌に出た火星に関する最近の記事の中には次のように述べてある。「火星の環境は全く“生命”を排除するほどに敵対的ではない。更に言う。「バイキングから確答を得ようという我々の望みは、高すぎることはない」

風と砂丘の謎

更に興味ある別な点が見られる。たとえば、「オービター」によって撮影された火星の砂丘は、米コロラド州のサンダレ・デ・クリスト山系に見られるのと同じ密度、高さ、砂丘間の広さなどを持っている。地球の密度の1%以下にすぎない火星の大気中で、こんな砂丘ができるわけがない！

火星で砂丘を移動させるには、風速320kmまたはそれ以上のハリケーンのような風が必要だといわれているが、完全な零度以下の環境で風速320kmもの風がどこから来るかについては、スジの立った説明は現在までなされていない。再度述べると、最初になんらかの速度をもつ風を生じさせるには、少なくとも火星のどこかが、温暖でなければならぬ。だれでも知っているように、風というものは、地面から温かい空気が上昇して、その空隙を埋める冷たい空気のかたまりが流れ込むことによって生じるのである。バイ

キング探査機は65mの風を記録しただけであり、320kmではない。そうすると、どうしてそこに砂丘ができたのだろう？ 更に考えると地球の1%にすぎない大気と華氏零下120度の中で、どうして風が起るのだろうか？

我々はこのことについて敏感になる必要があると思う。というのは、多くの物事が全く道理に合わないように思われるからだ。考えてみるとたしかにそうで、バイキング計画に従事する科学者たちもそうだろう。なにか暖味あまいな話が發生しているらしい。

観測の結果、火星の極冠は平らな雪やただの凍った水であることがわかっている。また、しばしば雪が降り、極冠上の大気には水蒸気が充滿していることもわかっている。こう言うと調子よく聞こえるだろうか。しかし続けよう。火星の極冠はバイキング2号によれば華氏零下90度ないし120度の低温で、全くの凍った水だといわれている。しかしNASAの同じ記事は続けている。「北極は今や夏で、極冠は相変わらず小さい」。ここで私は知りた。零下の温度でどうして氷が解けるのかと！

ごく最近、バサデナのバイキング管制センターを退職したマーティン博士は、国際宇宙科学技術アカデミーで述べた。

「火星上の我々の生物探査機は、有機体ではないにしても、生物学的に“生

命”の有力なシルシをつかんだ」

あれほど焼けただれた着陸地点で、生命のシルシを発見したとは驚くべきことである。

火星の環境を分析した結果、そこには炭素、窒素、酸素、かなりの水蒸気などの存在を示した。これらが“生命”を支える基本的な成分ではないか。ここでまたNASAの言葉を引用する。

「もしバイキング探査機をバサデナ駐車場において、そこから火星と同じ化学的、生物学的な探査結果を得たとすれば、我々は確実な生命のシルシを発見したと言えよう」

これが何を意味するかは、読者の考えにまかせよう。

あらゆる惑星は基本的には地球と同じ成分でできていることを考えずに、生命はわが小さな地球にしかないという仮定でもって、他の惑星へ探査機を送ろうとする限り宇宙探査に難儀するだろう。

惑星というものは、その大気を打つ太陽光線による摩擦というかたちで、太陽から暖をとっているのみならず、同じプロセスによって、惑星から出る暖気が大気を温めているのである。あらゆる惑星は内部の圧力に釣り合うための大気が必要とするのであって、大気なくしては存在できない。さもなければいつか崩壊するだろう。

火星の水量は、もしその内部の水を

全部放出したとすれば、深さ1・6 kmの海洋で全体を覆うほどであると分析されている。一方、極冠は800mの厚さを示している。

運河を撮影！

イタリアの天文学者・シヤパレリの「運河」の報告は、ダニエル・J・ミルトンの最近の発見と比較すると、全く可能性がありそうだ。米地質調査局の地質学者ミルトン博士は、サイエンス・ニューズフロント誌で次のように述べている。

「我々は火星の謎の運河を撮影した。それらは幅38 km、長さ数百kmの巨大な水路のように見える。突然の水の放出によって形成されたこれは、アマゾン河の流れを小人のように見せるものである」

読者にもわかるように、人間は真実を探求しなければならぬ。求めれば与えられると言われている。ここに、筆者の机上に届いたばかりの報告がある。これはAP電である。

「火星の北部地域の新しい写真は、謎の模様を示している。この惑星の赤い表面に刻まれた等高線みたいなのだ。科学者は不可解だと言っている。『我々は不思議な物を見つけた。全くの謎だ』と、バイキング2号オービターから送られた火星の写真を解説するチームのメンバーであるマイクル・カーは述べた。カーによると、目標地域の最

新の写真類は、農場を耕したあとに空中写真を撮ったかのような縞模様を示しているという。『この縞は整然として、自然のものとは思えない』とカーは述べている。何がそれを作り出したのか？『可能性については私には全くわからない』とカーは答えて『人工的なものだと充分に考えられる』と言っている」

ここで最重要な事実を読者に指摘したい。バイキング関係の科学者による「人工的」という発言は、我々が探している火星の生命をバイキング1号が発見できなかった後に出版されたということである。

この記事の結論として、私は信用のおけるものは信用したい、しかしそれでも大気圏外の発見物に関しては曖昧な話を聞かされる、と言いたい。我々は文明人として、宇宙空間に進出することにより莫大な知識を得ているのである。我々は一般大衆によって認識される以上に大気圏外からの地球観測と写真撮影により、地球に関して多くを知ってきた。地球を回る軌道に乗せた人工衛星は、地球の汚染問題を知らせている。我々は気象のパタン、海流、鉱床、土壌分析、洪水制御、森林管理、既使用や未使用の高生産農業地帯などについて知ってきた。

地球を回る衛星により、我々人間は完全ではないこともわかった。というのは初期の時代に、この地球にすら生

命は存在しないという報告が出たからである。人工衛星が、地球には我々が知っているような生命を維持するほどの水蒸気も酸素も存在しないと報告し返したのだ！ したがって、探査機は必ずしも正確ではないことがわかっていく。人工衛星によって探知されるべきは衛星をとりまく圧力や磁場などの影響が起ころのである。

今後とも判明するだろうが、人類の未来は大気圏外の研究調査にかかっているだろう。人間が「ホーム」と呼んでいるこの小さな世界を評価できるようになるのは大気圏外からなのである。しかし、いつの日か地球の様相が緊迫したとき居住に適した別な惑星を発見するために大気圏外へ進出する必要があるだろう。

この計画で費される金なら1ドルといえども有益である。人間は平和裏に多忙となり、一方では学ぶことにもなる。この宇宙開発計画は、いつか人間に宇宙空間を探索させ、兄弟として共に働かせる要素のすべてを含んでいる。この計画に徹底的に従事すれば、人類によけいな悲哀や悲惨事をもたらすだけの愚かな戦争をやる余裕はなくなってくるのだ。

人間は自分を地上で最も知的な生物だと称している。それを証する黄金の機会をまもなくつかむだろう。

訳／久保田八郎

新発売！！

アルファートーン

バイオフィード

バック装置

アルファートーンを使わない精神統一は、鏡を使わないでお化粧するようなものです。

米国でヨガ、坐禅、超能力開発に効果をあげています。詳細は超科学七、八号（各三〇〇円・送共）参照

¥二九、五〇〇円
T5000円



ESPカード……………¥五〇〇円
T140円

橋本電子研究所
鎌倉市小町一―一五―一七
☎0467(25)3035

あなたの中に眠る超能力を引き出しすばらしい人生を送るための会

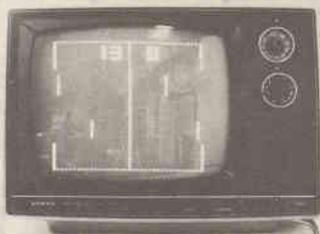
日本超科学会

会員は、右記の品一割引、毎月アルファートーン使用統一会実施

お 待 た せ い た し ま し た

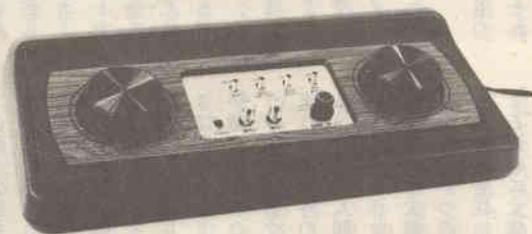
“ホームビデオゲーム”の決定版 いよいよ販売開始です!

アメリカで大人気!! 今話題のTVゲーム。ご家族そろって、お友達と、子供からお年寄りまで楽しめるゲームマシンです。反射神経のトレーニングに、プレゼントにどなたにも喜ばれます。



サッカーの場合の画面

■ウッディーデラックス
(22×45×7cm)



インテル特価 ¥35,000
(荷造送料800円)

【性能】 テニス、サッカー、スカッシュ、ブラクティス(練習)
◎スピード切替付 ●モノクロ

【使用LSI】 GI 8500

【電源】 単2電池6本使用(ACアダプター付)

●切替スイッチボックス ¥1,200

テレビゲームお買い上げの方には
無料にてサービス致します。



■ライフル銃 ¥16,000

インテル特価 ¥12,000 (荷造送料500円)

- カラークィーン用
- スポーツキング用
- チャンピオン用 (ビデオエース)

(使用機種を御指定下さい。)

カラーTVゲームマシン

■カラークィーン (新発売)
(15×33×8cm)



インテル特価
¥32,000
(荷造送料800円)

【性能】 テニス、サッカー、スカッシュ、ブラクティス(練習)、ライフルI・II
◎スピード切替付 ●フルカラー-4色

【使用LSI】 MOS 7600-001

【電源】 単3電池6本使用(ACアダプター別売り ¥1,500)

■スポーツキング ¥23,000

インテル特価 ¥19,000 (荷造送料800円)

テニス(ピンポン)、サッカー(ホッケー)、スカッシュ、ペロター(練習用)
ライフルI・II ●スピード切替付

■チャンピオン(ビデオエース) ¥22,500

インテル特価 ¥15,000 (荷造送料800円)

テニス(ピンポン)、サッカー(ホッケー)、スカッシュ、ペロター(練習用)
ライフルI・II ●スピード切替なし

★御注文は現金書留で下記へお申し込み下さい。
(業者卸の取扱いも致します。お問合せ下さい。)

あて先 (株)インテル 電機事業部U係

〒193 東京都八王子市小比企町2957-9

☎ 0426-25-7941(代)

ついに発生した!! アダムスキーを継ぐ 真実のコンタクト!!

最新発売中

宇宙の友人たち

ブラザーズ・シスターズとの会見手記と生命の真理



著者
古山晴久

七年前渡米後、アダムスキーの活動を引き継ぐグループに合流し、幾多のUFO目撃と宇宙人とのコンタクトを体験した。

それがいま、日本で初めて公表される!!

「……アダムスキー氏の話では、彼は少年の頃に地球体でおもいきりだきしめた……彼は私を見るなり、大きなときよく訪れた事を語りはじめた……『彼女はスラーとした体格で、均斉が整っており、美しいビーナスのような感じだ……ときどき会合にやってくる金星から来た人である』」
——第一部より

850円 (送料160円)

著者が撮影した円盤など写真と図31枚掲載
推薦序文：韭沢潤一郎

- 第一部：宇宙の友人たちに会うまで
- 第二部：アダムスキーが残したもの
- 第三部：宇宙的進化の原理

絶賛発売中

PSI(超常現象)HANDBOOK
実験四次元科学

上・下巻 各1300円
送料160円

超能力ブームの引き金となった『ソ連圏の四次元科学』の名コンビ
S・オストランダー L・シュロウダー共著
関英男推薦序文 照洲みのる・森島三郎各訳
上巻 植物編・エネルギー編・テレパシー編
下巻 念力編・霊界ラジオ編・資料編

エドガー・ケイシー秘密シリーズ

転生の秘密 1300円
〒160

2500件の生まれ変わりの実例

超能力の秘密 1200円
〒160

超能力開発の原理と実践法の解明

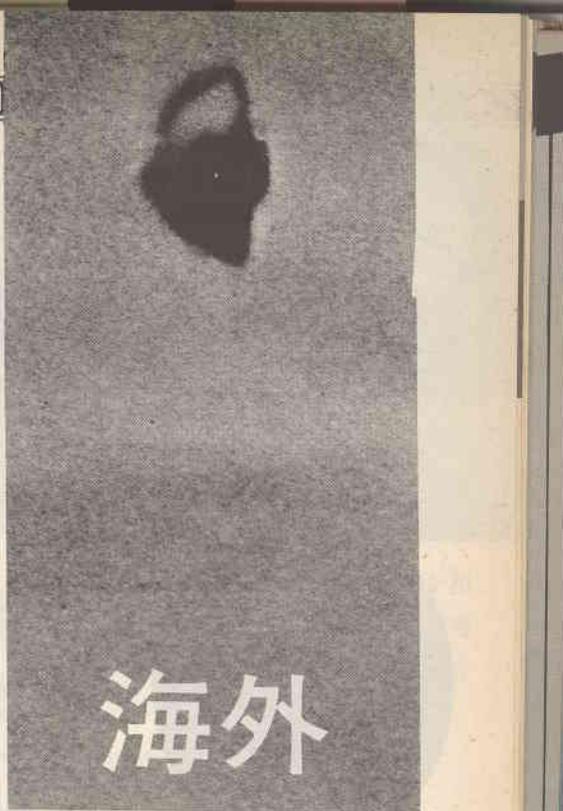
夢予知の秘密 1300円
〒160

夢による未来予知と霊性の開発法

- アダムスキーの
宇宙哲学 750円
〒120
- 宇宙人の高度惑星文明の真相 久保田八郎訳
応用心霊学入門 1300円
〒160
- 直感による自覚と人生の根本 横山公実著
- 聖癒人はそれを
奇跡と呼ぶ 680円
〒160
- 科学が救えぬ難病を快癒する 夏村輝彦著
- 宇宙文明の夜あけ 950円
〒160
- 惑星人とのテレパシー交信記 高橋田一著
- UFOは第二の黒船だ 680円
〒120
- マイナス科学による地球救済 坂本ツトム

たま出版

162 東京都新宿区納戸町33 電話03-260-4367 振替 東京3-94804



海外

フアントム戦闘機が幽霊を追跡

●テヘラン上空にUFO出現

1976年9月18日(土曜)の夜、テヘラン郊外の上空で、イラン空軍のジェット戦闘機2機が明るく輝くUFOを追跡された。最初にUFOを発見したのは、

メーラバッド空港管制塔の職員で、物体は市の南部の上空を高度約6千フィートで飛行しながら赤、青、緑の色光を交互に発していたという。

ジャファリ中尉(23歳)がメーラバッド空港の管制塔へ送ってきた報告の録音テープが公表されたが、それによると、UFOは急にあと戻りして、追跡する戦闘機に向かってきたので、彼はあぶなく墜落しそうになったという。ジャファリ中尉は、物体を調査するためハマダンのシャーロキ空軍基地から離陸した2機のジェット戦闘機のうち1番機を操縦して

いた。機は超音速でテヘランさして飛び、UFOに接近してからメーラバッド管制塔に連絡してきた。UFOは速度を増して機のはうに向かっていた、と彼は語っている。「大ききは地上から見た月の半分くらい。月光より3倍も明るいオレンジ色と白色の光を発している」

機を最高速度で飛行させてもUFOには追いつけなかった。管制塔からは、もし物体に接近できなければ帰還せよ、と呼びかけ、中尉も承知した。しかしそのすぐあとで「何物かが後から接近して来る。距離15マイル……今10マイル……もう5マイル」と報告してきた。

「追いつかれた。衝突しそうだ。……ストレスで追い抜いた」中尉のうろたえた声はテープにはっきりと録音されている。2番機が離陸を指令されたのはそのときだった。操縦士はシャーレ・レイ上空でUFOを発見し、物体が速度をおとした、と管制塔

に報告してきた。機の調子は良好でいまUFOにミサイルを発射する準備中だ、と彼は言った。それからすこし沈黙が続いたのち彼は、直径約4・5mの明るく輝く丸い物体がUFOから発進するのを目撃した。が、数秒後にその物体を母船に帰投し、母船は音速の何倍かの高速で飛び去ってしまった。

このUFO目撃事件は、2人の操縦士とメーラバッド管制塔の職員数名が確認しているうえに、日曜の夜になつてからも、附近から目撃者の報告が寄せられた。ある者は「明るい物体」が大空をかすめて飛び去るのを目撃したし、ある人たちは「何か光るもの」が空から落下するのを見たのである。

一方、イラン政府当局は、この新聞報道に関して次の公式見解を発表した。

何人かの市民がメーラバッド空港の管制塔へ、夜空に明るい光が見える、と電話してきた。2機のジェット機が調査に飛び立ち、その1機の操縦士から、地面を照らし出すほど明るく光る物体を発見したという報告があった。だが物体はすぐに姿を消した……これでおしまいである。

結局、新聞報道は「誇張」されている、というのが政府当局の結論である。オレンジや白の光を見たとか、UFOに追跡されたというジャファリ中尉の報告についても「理解に苦しむ」とスポークスマンは語っている。

だが、操縦士が見たものが何であったかについては明確な説明がなされていない。現在、調査は継続中のことである。

ジェット旅客機がUFOとニアミス

●リスボン空港を飛び立った直後

昨年の9月、ポルトガルの上空で、101人の乗客を乗せたボーイング707型ジェット旅客機が輝くUFOとあやうく衝突しそうになるという事件が発生した。

炎と火花のようなものを吐きながら、物体はこのポルトガル旅客機をかすめ去った。

他の乗員2人と地上管制官1人も目撃したこの出会は、9月19日午前2時10分、TAP航空(ポルトガルの国営航空会社)の241便がアフリカを経てリスボン空港を離陸した直後に起きた。

操縦席には2万2千時間の飛行経験を持つウェイガート機長(52歳)、アルミンド・ピント副操縦士(34歳)、ギルベルト・サルメント機関士(48歳)、それにザイールのキンシャサで交替するホセ・ピント副操縦士の4人がいた。最初にUFOを発見したのはホセ・ピントだった。

「4千フィートまで上昇中のところろのうしろに坐っていました。4千フィートに到達するすこし前、右側の窓から時計で言えば2時の方向に、2個のとても明るい光が見えました。1つは星のように見えましたが、もう1つはよく覚えていません。」

高度計を見てから怪しい光に目をもどすと、光は1秒のうちに2時から1時の方向に移動していました。私たちの進路を横切つて右

から左へ高速で飛んでいるようです。燃料を燃しているように2本の光条を後にひいていました。そこでアルミンド副操縦士に「気をつけて。同高度の右側に別の飛行体がいる」と声をかけた

「外を見ると、明るく光る大きな筒が目に入りました。ネオン管よりもずっと明るく輝いています。300mと離れてはいません。機長のほうを見ると、彼は計器を一心に見つめています。私は本能的に操縦ハンドルをにぎり、機を右に傾けました。その瞬間、「衝突するぞ!」と思いました」

ウェイガート機長は語る。「目を上げると前方に物体が見えました。操縦席の窓の4分の3をおおいかくしています。そのUFOからは間隔のせまい窓のように5個から7個の明るい光がきらめいていました。機が旋回すると、物体はオレンジ色の閃光を発しながら左側を飛び去りました。

操縦士になつてから32年たちますが、あんなものは見たことがありません。軍用機でも流星でもありませんでした」

サルメント機関士の話。「アルミンドが機を傾けたので外を見ると、輝く光が機をめがけて進んで来るのが見えました。機が右旋回したので、目に入ったのはほんの数秒間でしたが、小さな光点を後に曳いていたようです。1949年いろいろ飛行を続けていますが、あのような物は見たことがありません」

不思議なことに、リスボン空港管制塔のレーダーにはこの物体は捕らえられていない。しかし、カールロス・コスタ先任管制官(59歳)は肉眼で目撃しているのである。

「光がいくつか空に見えたのです。レーダーを操作している助手に、あの光は何かとたずねたとき、TAP機の近くに強く光るものが動いているのを見ました。」

すぐレーダーをのぞきこみましたが、スクリーンにはウェイガート機しか見えません。そこで無線で彼に呼びかけました。

「君の近くに飛行体がいるがレーダーでは視認できないぞ」

ウェイガート機から応答がありました。「航空機らしいものが閃光を飛ばしながら接近中」

飛行物体は赤い火花が炎のような光を3、4度発しました。それから信じられないような高速で姿を消したのです。あれは民間機でも軍用機でもありません。レーダーで捕らえられないのですから」

ウェイガート機長たちはあとから機上で乗客たちを調査したが、UFOを見た者はいなかった。「私たちが気がついたとき、物体は機の上空にいました。私たちは上昇中で、双方は1点に集まるように動いています。機が翼を傾けると物体は機のすこし下を左寄りに通過しました。乗客は、自分たちの位置と物体までの角度のせいで、誰も目撃した者はありません。機の前部は貨物室になっており、乗客は後部にいたのですから」

そのUFOは西から東に飛行していた。241便が物体と出会っ

て間もなく、約960km東方を飛行中の同じポルトガルの707型機からも不思議な目撃報告が送られてきた。

高度3万3千フィートで飛行していたTAP便のマヌエル・アレイホ副操縦士(31歳)はこう語っている。

「午前2時15分ごろ、きわめて明るい光が機の下方を高速で飛行していました。西から東へ飛行して約45秒後に姿を消しました。航空機や流星とは思えません。ウェイガート機長のことは知りませんでした。UFOを目撃したよと機上で冗談を言い合ったものです」

米政府はUFO実在の驚くべき証拠を隠している

●有名なニューズ解説者が語る

昨年暮の「ナショナル・エンクワイアラー」紙は、アメリカのTVニュースキャスターとして有名なウォルター・クロンカイトとの独占インタビューとして、次のような内容を伝えている。

この有名な解説者が、「私はUFOの存在を確信している。しかも証拠の大部分は政府の手で覆い隠されている」と語ったというものである。

ニューヨークの事務所、クロンカイトはきわめて率直に次のように打ち明けたという。

「私が耳にしたUFO目撃報告の中で最も不思議なのは、アンドロス島事件です。この話はある政府高官から聞いたもので、その人の名は言えないが、私が全面的に信頼している人です」

1960年代の中ごろ、外国高

官をおおぜい招待してミサイル追跡実験がカリブ海で実施されることになった。しかしその開始前、ある偶発事件のためこの実験は中止された。

その事件のきっかけは、フロリダ・キーズの東方約240kmにあるレーダー操作員の偶然の発見だった。彼は、静かだった夜空が突然明るく緑色に変わったのに気がついたのである。

彼が戸外に走り出すと、驚いたことに頭上を巨大な円筒形の物体が飛んでいる。

そこへ、基地のマスコットに悩んでいる犬が走り出て、物体に吠えつき、獲物をねらうクイーガーのように空中に飛び上った。

ところが、一条の緑色の光線が犬に放射される、犬は凍りついたように動かなくなってしまったのである。

レーダー操作員の報告によれば、犬は数秒間そのまま空中に浮かんでいたが、やがて緑色の光線が物体の内部に引込むと、歩道の上に落ちた。

彼はいそいでムービー・カメラを持ち出し、8分ほど撮影を続けた。その間にもう2機のUFOが飛来し、最初の宇宙船の上空で静止したという。やがて宇宙船は音も立てず高速で飛び去った。

事件後上官たちはこの8分間のフィルムを差押え、高級将校たちが飛んで来て撮影者から事情を聴取した。

その後彼は自分の撮影したフィルムを見ようとしたが、もう没収されていてどうにもならなかったという。犬と、鳥にいたその他の

動物は、放射能検査のため魚雷艇で運び去られた。渚にうち上げられたたぐさんの死んだ魚の中から標本が採取された。

レーダー操作員には、彼の目撃報告は極秘情報とされたことが知らされた。

実験を追跡するため近くの島に配置されていた他のレーダー操作員2人が、レーダーのスクリーンが曇ってしまったところ、2人とも駆動させられてしまった。

「事件のいっさいは極秘扱いされることになった——だが、このような事件はこれが最初ではなかったのです」

もう1つの驚くべき事件で、アポロ11号のニール・阿姆斯特朗宇宙飛行士は、彼がそれまで受けてきた訓練が宇宙に出てから体験した出来事に対しては全く何の役にも立たなかったことを思い知らされた。

世界最初の月面着陸のための飛行中阿姆斯特朗の宇宙飛行士たちは、地球を驚倒させるような情報を送ってきた。

「そのとき私は現場に居合わせ、この耳でそれを聞いたのです」

クロンカイトは回想する。月と宇宙の間で巨大な円筒状の物体が回転している、と阿姆斯特朗は報告してきた。

だが彼がそれを発見して写真をとろうとしたとたん、物体は飛び去ってしまった。このことはNASAの記録保管所にも記録されている。

宇宙飛行士たちからは多くのUFO目撃報告が寄せられている。

最初は1965年6月、ジェミニの飛行のときだった。ジェームズ・マクドウィット飛行士が宇宙船の前方に妙な物体を発見したのだ。だがそれが何であるか、彼には分からなかった。

その物体は白くて円筒形をしており、一方の端から白い棒が突き出していた。

宇宙空間では距離感覚が正確でなくなる。だから彼にはその大きさは推定できなかったが、2台のカメラを使って何枚かの写真を撮影した。そのフィルムは、彼らが無事に大西洋に着水してからヒューストンに空輸されたはずだと彼は言っている。

「だが驚いたことに、公表された写真にはそんな物体は全く写っていないかったのです」

空軍自体の記録文書もUFOの存在を立証している、とクロンカイトは主張する。

「最近空軍は一部のUFO目撃報告の極秘扱いを解除して国立公文書館に移管したが、それでも、自然現象としては説明がつかない目撃例がまだ700件も残っていることは事実です」

フランスでもUFOが若い女性を誘拐

●催眠術で記憶を取り戻す

UFOの搭乗員に誘拐され、身体検査を受けたという事件がフランスでも起こった。被害者はドゥワーム県のオスマン(20歳)。町役場に勤めているが、みんなから頭がよく、落ち着いた女性として知られている。

そのUFOは西から東に飛行していた。241便が物体と出会っ

昨年6月10日の深夜、彼女は、フランスの町で友達と映画を見たのち、車で家路に急いでいた。

家から16km離れたロマンスを過ぎ、マルチネ橋にさしかかったとき、急に車のスピードが落ちた。停車して調べても原因は分からな

い。しかたなくまた走りだしたが突然ヘッドライトが消え、エンジンが止まってしまった。もう11日の午前1時半になっていた。

いつもは調子のいい車なのに思いながら、ジュリアナがふと前方を見ると、25mほど離れたところにオレンジ色に輝く物体が立ちふさがっている。急いで車のドアをロックした彼女は、恐怖のあまり両手で顔を覆ってしまった。

しばらくして顔をあげてみると発光物体は姿を消し、車も直っている。彼女は急いで家に向かったが、帰宅したときには午前4時、2時間以上も余計に時間がかかっている。いったいどうしてこんなに時間がかかったのか、彼女には見当もつかなかった。

翌日、ジュリアナはその事件について両親に話した。それから勤め先の町長さんにも。この話は地域一帯にあってという間に広まり、「ウラノス」研究委員会の調査員、サンマルセルラン在任のアンドレ・ルヴォール氏が彼女に連絡をとった。



▲UFO目撃事件の現場を指さす
▶催眠術で記憶を取り戻すジュリアナ



分でも何があつたのか知りたかつたのである。

こうして7月22日にサンマルセルランで、実験が行われた。エレノスは驚くべき事柄をしゃべった。ルヴォールがその話を繰り返すと、目覚めた彼女は信じようとしなかつた。

8月18日には再度実験が繰り返された。今度はリヨンのテレビ局FR3の職員、UFO研究の草分けであるシャロワソン氏、核物理学者のピエール博士、ドーフィネ・リベルテという地方新聞の記者ジャン・ムーリネとジャン・ルイ・ルシヨン、それにルヴォールと

デイが立ち合つた。40分間にわたって、エレノス・ジュリアナは最初の話と同じことを一語たがわず繰り返した。矛盾する点は全くなかった。質問はデイとルシヨンが行つた。

「私は光る物を見ました目が痛くなりました。2人の小人が近づいてくるのが見えました。彼らは車の左ドアを開け、私を発光物体のほうに連れていきました。私がいきました。私は鉄のドアから中に連れ込まれました。小人たちは上下続きの黒っぽい服を着ていました。顔つきは醜く、大目玉でし

た」
このとき、デイは万年筆と紙を渡して、催眠状態のまま彼女に怪物のスケッチを描かせている。

「その物体は高くて円形です。すべて鉄できていたようです。小人たちは、恐ろしくてふるえていた私をテーブルの上に横たえました。そして、両手と両足を一種の手錠のようなもので固定したのです。額にはタオルのようなものがかけられました。円盤の中は、白、赤、黄色の光がうずまいていました。

突然、小人の1人が私のブルオーバーの上を箱のようなもので丸くなぞりました。その箱は懐中電燈のようなものです。そして気がついたら円盤の外にいました。円盤には3mほどの脚が3本あって、下側で光がきらめいていました」

実験が終わり、目覚めた彼女は水が飲みたいと言つた。この実験の様子は、昨年の8月24日にフランスのTV局、FR3から放映されたが、ジュリアナはその番組を見たあとでも、自分の言つたことが全く信じられなかつたという。

たという。
しかしながら、この若い女性が2度までも同じ内容のウソをはつきりと述べるとは考えにくい。それに謎につつまれた時間の空白がある。2時間以上も、他のドライバーの注意をひくこともなく、道の途中に自動車を止めておけるものだろうか。

現在、ブルオーバーはグルノーブルの原子力センターで、何か痕跡が残っていないか検査されている。また、著名な専門家の立合いのもとで、再度、催眠術による実験が予定されているという。

知的生命の存在する惑星が地球だけとは考えられない
●ピリー・グラハムは語る
「私たちの太陽系は、数十億にのぼる神の巨大な創造物のほんの一つにすぎない——生命の存在する惑星として、主がただ一つ地球だけをお作りになったとは考えられない」

アメリカの高名な福音伝道者ピリー・グラハムは、エンクワイアリー紙との独占インタビューでこう断言している。

「宇宙にも知的生命は存在すると私は確信する……それはたぶんありふれた米国人とよく似た形をしていることだろう」

地球外の生命存在を確信していることにはじめて触れたこのインタビューでグラハム師は、自分はそのように信じて述べた。

●宇宙人は地球を訪問するだけの能力を持っている——だがその目的は平和的なものである。
●彼らは神を崇拝する。ちよう

ど私たちのように。

●彼らは、地球のかかえているいろいろな問題の多くを解決してやることだろう。

宇宙のかなたの惑星の多くには進歩した文明が存在するに違いないとグラハム師は語る。

「私は、UFO目撃報告のすべてが想像の産物として片づけてしまえるものとは思わない。そんなことでは説明のつかない正当な目撃事件が存在することは疑いない」

米国で最も有名なこの福音伝道者の言葉によると、彼のこの驚くべき結論は、自分の深い宗教信仰に基づけばかりでなく、米国の指導的な宇宙学の専門家たちと色々な問題について議論し合った結果なのである。彼は語る。

「私は、地球外の生命の問題について熱心に研究している米国の最高の科学者や宇宙飛行士たちも私と同意見であることを知った。宇宙のはるか彼方にも、神を信仰する私たちと同じような知的生物が存在する、と私は確信する。だが、彼らと出合うのを恐れることは無い。私たちと同じように彼らも神の創造物なのだから。」

これらの文明と連絡がとれるようになれば、それは人類史上最大の躍進となることだろう。彼らからいかに多くのものを学ぶことができるか、想像するだけでも心が躍るではないか。

彼らは少なくとも私たちと同程度に進化しているだろうし、たぶん私たちよりもはるかに進歩していることだろう。私たちが地球で直面している問題の多くを彼らはすでに解決してしまっているのだらう。

彼らの惑星には、病氣、戦争、環境汚染といった現象はもはや存在しないかもしれない。

「私、私の最大の希望は、彼らが神と共に平和な、罪を知らない社会を愛し育てているだろうということだ。地球文明の未来をおびやかす暴動、デモ、戦争、反逆などに彼らもなやまされているとは考えられない。」

SFの中の宇宙人はいつも不気味な生物として描かれているが、グラハム師はそんなことは信じない。

「彼らはあなたや私にそっくりの形をしているだろうと思う。そして、私たちと同じように彼らも、神の創造物である宇宙の他の場所に住む生命についてももっとも詳しくいこうと知りたいと熱望しているのだらう。」

今まで聖書を研究してきた結果言えることだが、もし私たちが他の惑星の生命を発見しても、福音書に対するわれわれの信仰はすこしも変える必要はない。

それに、この発見を通じて私たちの社会は莫大な利益を得ることになるのだらう——私たちが得るのは利益だけなのだ！」

急いでカメラを持ち出し
2枚の写真を撮影

●イギリスの学生が見たUFO
今年の1月に、イギリスで16歳の学生が友人とUFOを目撃、2枚の写真を撮影している。

1月5日の午前9時45分ごろ、ロバート・ジョーンズ(16歳)は友人のニノ・エリック(14歳)と一緒に、レックスハムにあるロバ

ートの自宅の部屋で遊んでいた。

「ふと窓の外を眺めたときに、それを見つけたんです。はじめは鳥かなと思ったんですが、近づいてきたら全然違うし、飛行機でもないことが分かりました。」

急いでお姉さんのカメラを取りに行き、裏庭に駆け出しました。その物体が雲間に隠れるまでに、写真を2枚撮影したんです。

黒くて空飛ぶ円盤そっくりの形でした。雲が不透明でしたが、とてもゆっくり動いていて、音はしなかったようです」

友人のニノも彼の言葉を裏付けている。また、ロバートの母親ベティ・ジョーンズ夫人は、

「2人が飛び込んできて『空に何かがある』と言ったかと思うと、カメラを持って走り去りました。あんまり興奮していらしたので、はじめ何か事故でも起こったのではないかと思ったりです」

夫人が裏庭に出てみたときにはすでにUFOは雲間に消えていたとのことである。

インスタマチック・カメラで撮影された2枚のカラー写真は、まさに本物らしく思われる。UFOの位置が変化しているし、ネガを細工した形跡もない。この写真の前後は、ありふれた家族のスナップ写真である。

当日、レックスハム上空を飛んだ飛行機があったかどうか、国防省と英空軍に確認してみたが、そのような事実はないとの返事だった。また、写真に写っているUFOの形状は、どう見ても飛行機とは違っている。この事件の調査をした地方新聞の記者は、なんとも説明がつかないと感想をもらしている。

一方、同じ日に、サフォークに住む公務員が妻と2人でUFOを目撃しているが、彼らの描写はロバートの言っていることとそっくりである。ひょっとすると、公務員の見えたUFOは、ロバートが撮影したものと同じUFOかもしれない。

メキシコで第1回国際UFO会議

史上初の国際UFO会議 (the First International Congress on UFO Phenomena) が、メキシコの太平洋沿岸にある有名な観光地アカapulcoで、4月18日から1週間の会期で開催された。

同会議には世界12カ国から400人の代表が参加、UFOの存在を前提に「前向きな」討論が行われた。

出席者はアレク・J・ハイネック博士、ジャック・バレー博士(ソルボンヌ大学天文学教授)、エーリッヒ・フォン・デニケンといったおなじみの顔ぶれに加えて、カリブ海の島国グレナダのエリック・ゲリー首相も加わっている。同首相は、昨年10月の国連会議で、UFO調査委員会の設置を提案して一躍有名になった。そのほかにも、実際にUFOを目撃したパイロット、宇宙飛行士たちが参加している。

各国代表による主な講演テーマは次の通り

「2人が飛び込んできて『空に何かがある』と言ったかと思うと、カメラを持って走り去りました。あんまり興奮していらしたので、はじめ何か事故でも起こったのではないかと思ったりです」

夫人が裏庭に出てみたときにはすでにUFOは雲間に消えていたとのことである。

インスタマチック・カメラで撮影された2枚のカラー写真は、まさに本物らしく思われる。UFOの位置が変化しているし、ネガを細工した形跡もない。この写真の前後は、ありふれた家族のスナップ写真である。

である。

- (1) UFOの存在に対する懐疑主義
- (2) UFOの存在を示す証拠
- (3) UFOから発射されるテレパシーの解説
- (4) 米政府によるUFOの存在を証明する証拠書類の隠匿

第1日の会議では、さまざまなUFOの出現例が披露された。目撃者の多くが高熱や火傷を負っているため、UFOに遭遇した際は写真撮影をしたり、近づいたりしないほうがよい、ということと科学者たちの意見はほぼ一致した。

また19日の会議では、デニケンが有史前のUFOに関する新証拠を発見した、と発表している。これはベルのナスカ平原に近いイカ河の河床から見つかった2万2千個の岩石(推定8千年前)で、フットボール大の岩石に星と星の間を往復する「宇宙船」らしき図が彫られているという。

なおこの国際UFO会議は今後も引き続き開催される予定である。

「2人が飛び込んできて『空に何かがある』と言ったかと思うと、カメラを持って走り去りました。あんまり興奮していらしたので、はじめ何か事故でも起こったのではないかと思ったりです」

夫人が裏庭に出てみたときにはすでにUFOは雲間に消えていたとのことである。

インスタマチック・カメラで撮影された2枚のカラー写真は、まさに本物らしく思われる。UFOの位置が変化しているし、ネガを細工した形跡もない。この写真の前後は、ありふれた家族のスナップ写真である。

国内

北海道

警察無線の交信不能事件は UFO が原因か

〔苫小牧〕 アメリカの国防総省、ペンタゴンの「ブルー・ブック」は、未確認飛行物体、いわゆる UFO の追跡調査に当たっていた秘密調査機関の暗号名であったことは広く知られている。

つい先日、民放のテレビ局のカメラがこのペンタゴンに入り（このこと自体異例のことだという）、UFO のナゾにいでんだ。ペンタゴンによると、ほとんどの目撃例が作偽によるものかまたは自然現象であったことが確認されたが、うち 701 件（5・5%）が「地球上の事象として説明できないもの」だったというのである。

ブルー・ブック計画は、純粋に国防上の見地からのものだったといわれているが、それだけにアメリカの科学技術の粋をもってして

も解明できなかったという「ナゾ」は、視聴者にある種の「興奮材料」を提供した。

そのせいか、苫小牧民報報道部にも「変な物体が浮いている」という市民からの情報がこのところ相次いでいる。そのほとんどが記者には「見えない」のだが、そのたびに「あの物体は、一体何だったのだろうか」と思う経験を実は持っている。しかも、この時はその物体を現職の警察官がパトカーで追跡して、写真撮影に成功しているのである。

49年10月25日。この日、苫小牧港では午前9時を期して、北海道防災総合訓練が行われていた。現地には道本札幌方面本部苫小牧署の移動無線局が設置され、港内をパトロール中の警備艇は「まます」と、苫小牧署の間で、連絡を取り合っていた。

出力の強いことでは定評のある警察無線。その無線が約30分間にわたって、全く交信不能の状態に陥ったのである。「こんなことは、

前例がない」と関係者はあわてたが、間もなく「正常に戻り、訓練は予定通り終わった。この時点で「変な物体」を目撃した関係者は1人もいない。

確か訓練の終わった3時過ぎだと記憶している。パトカーに乗って現地から本署へ戻る苫小牧署の警察官（複数）が、沼ノ端地区で「浮遊物」を発見して追跡した。その物体は、はじめは低速でスピードがなかったが、パトカーの追跡と同時に勇払沖方面へ移動、どんどんスピードをあげていったという。

あわてた1人の警察官が手持ちのカメラで（防災訓練のため、この日は、特別にカメラを持っていった）物体を撮影した。フィルムは白黒だったが、その物体はだ円形で、白っぽい色をしていた。警察官の証言によると、明らかに飛行機やヘリコプターのたぐいではなかったという。

アメリカなどでは、警察官がパトカーで UFO を追跡したという話はよく聞かれるが、たぶん、日本では最も珍しいケースではないかと思われる。先のテレビ番組では、キャスターとなっていた軍事評論家が「いる、いないという議論ではなく、現実に近い将来大きな問題、つまり、地球全体の防衛問題として考えざるを得ないだろう」と言っていたのが印象的だった。

それにしても、無線の交信不能と警察官の見た「浮遊物」と、関連があったのだろうか……。（1977年2月18日付、苫小牧民報）

警光灯に似た強い光の物体

〔豊頃〕 2月18日夜、中川郡豊頃町湧洞に「ナゾの飛行物体」が現れ、本紙記者、カメラマンが確認した。同夜は警察官、役場職員も出動する。『さわぎ』となったが、いまのところなんであるか不明。コトの起こりは17日午後8時10分ごろ、同町湧洞三線31、酪農業佐藤利吉さん（53）と町町茂岩の家畜商 永井誠治さん（31）が、佐藤さん宅南の上空に大人の握りこぶし大の「真黄色く光るもの」（永井さん）を発見。「星や飛行機にしては変だ」と注視しているとその物体はゆるやかな速度で次第に西へ移動、途中で静止したのち今度は2人の方に近づき、最大直径30cmほどの大きさに見えたという。やがて物体は、再び移動を始め、直径2〜3mほどの円を描いたのち東西に当たるオーラップの沢上空でいったん静止、静かに下降し山の端に消える直前、黄色い物体の下部から真つ赤な光を末広がりに発射して見えなくなった。この間約30〜40分。後半は佐藤さんの妻、ユミさん（48）母、みよさん（73）も見ており、大人4人が確認した。

支局長の到着が8時過ぎ、本社記者らは8時半を過ぎて着いたが同夜の物体の動きは南から西へ比較的変化のない移動のみ。やはりオーラップの沢で消えた（8時50分）が、記者らが着いた時は、佐藤さん宅から5〜6km西と推定される山の端や上空で……、淡い黄や青味を帯びた白色光にと光を変えながら1度消えた直後再び現れ、やはり光を変えながらかなり強い赤色になって消滅した（約5分間）。

同夜は、大津派出所から警察官1人と、豊頃役場職員5〜6人も現場に駆けつけたが「星じゃないか」と冷淡。な反応ぶり。しかし、永井さんは「光を反射するとか、内部で燃えるとかではなし、ミカンの皮のようにひと色の強い光。星じゃない」とキツパリ。17日夜は掃路が物体の消えた方向のためこわくなり、わざわざ速回りしたところ、途中、まだ4000kmしか走ってない新車のライトが「突然照度が落ち、元に戻る」不思議な現象を十数回も経験。「あれは確か UFO だ」と真顔。「あれは意味が悪く仕事を休んだほどで、夜同行を求めても断った。

星、飛行機、その他の人工物体などさまざまな考えられるが、自衛隊5師団の話だと「訓練空域外であり、最近では絶対飛行してない」という返事。現在は新月だから、もしくは新月ではない。天体に詳しい木村方一帯広柏葉高教諭は「大きさといい、飛行、時間などからみて星ではなさそう。あるいは火球では」と首をかしげる。

(1977年2月20日付、十勝毎日)

関東

あれがウワサのUFO?

〔茨城〕「あれは絶対にUFOです」——興奮気味に話すのは、土浦市高津東原の主婦、佐藤瑠子さん。1977年2月10日夜10時45分ごろ、佐藤さんは植木バチを取り込むため自宅庭先へ出た。ヒョッと西の空を見上げるとあやしくオレンジ色に輝くナゾの物体。

あれがウワサに聞くUFO——佐藤さんは双眼鏡を持ち出してナゾの物体に照準。偏平形で長さ約20cm。時々、スパークのような青白い光を発し、そのたびに「ジャツ、ジャツ」という音。速度は上空を飛ぶ旅客機並みで、東南の空へ消える寸前、2つに分かれたという。

この間、約4分。「最後に分かれたのは母船から飛び出した宇宙船かも……」と佐藤さん、「もう胸がドキドキしちゃって。テレビのUFO特集はよく見ますけど、やっぱり本当なんですわね……」。大分あわてていたので、寝ていたご主人を起こすのも忘れてしまったとか。

(1977年12月17日付、いはらき) パトカーがUFOを追跡

〔東京〕1月20日未明、東京や埼玉で正体不明の「物体」が飛んでいるのが見つかり、パトカーが追

跡するなどの騒ぎとなった。しかし、物体の正体はわからず、発見者は「UFOか光のいたずらか」と目をこすっている。

同日午前3時20分ごろ、東京都目黒区原町1丁目付近で、パトカー中の碑文谷署、パトカーが都心方面へ飛んで行く青白く光る人の頭大の物体を見つけ、警視庁通信指令室へ通報した。この直後、次々と同指令室に水上、築地、丸の内各署のパトカーや署員、埼玉県警から「変な物が飛んで行った」との通報が計6件も入った。

物体は東京湾へ落ちたように見えた。中央区の築地本願寺へ落下したように見えたため、パトカーが追跡、同寺付近を捜索する一幕もあった。結局、物体のかけらも発見できず、正体はナゾのまま騒ぎも夜明けとともにひとまず終わりとなった。

UFOの落とし物?

〔栃木〕栃木県那須郡那須町の農家の敷地内に、ブロックの塊近くもある石が落下し、イン石かUFOの落とし物かと近所の話題となっている。

この農家は同町八ヶ代農業中山久司さん(55)方。昨年暮れ、妻太枝さん(55)が自宅から約15m東側にある古い鶏舎のトタン屋根に大きな穴が開いているのを発見して久司さんに知らせたが、年末年始の忙しさにまぎれて忘れていた。たまたま去る22日、この鶏舎を取り壊そうと屋根に登ったとこ

ろ、タテ、ヨコ約50cmの四角い穴を見つけ、太枝さんの話を思いだし、鶏舎の地面を探したところ、屋根の穴から約1・5m南側の地面に約30cm四方の穴があいているのを発見。スコップで掘り起こしたところ、穴は深さ50cmもあり、中にタテ約15cm、ヨコ約30cm、厚さ約10cm、重さ約10kgのはぼ長方形をした石が埋まっていた。石は薄い赤茶色で表面はろくろ、手でさわってもポロポロくずれそう。

この話を聞いて、同町役場をはじめ近所の人たちが次々に見物に訪れ、ナゾの石を見たらしいと語りしているが「もし放射能でも出していたら」と心配のタネは尽きない。中山さんは、近く宇都宮大学の専門家に鑑定してもらい、なぜこんな石が空から降ってきたのか正体を突きとめてもらうことになっている。

(1977年1月26日付、下野新聞) アマ天文家もビックリ 満月ほどの大火球飛ぶ

〔栃木〕1月20日未明、東京の上空に青白く光る大きな火の球が現れ、「UFO(未確認飛行物体)か」と大騒ぎになったが、この火球を栃木県で見たとというアマチュア天文家があり、近所の話題となっている。火球は流星のうち特に明るいものをいうが「これまでにも何度か火球を確認しているが、今度の満月ほどの明るさだった」と当のアマ天文家もビックリしている。

このアマ天文家は、栃木県芳賀

郡茂木町飯1770の3に住む逆川郵便局電報局に勤務する谷中哲雄さん(23)。

谷中さんは、天文アマチュアの会の「星の広場」(本部・和歌山市会員約300人)の会員。同町立逆川中から県立真岡高と6年間ずつと天文班に籍を置いた、星の魅力にとりつかれた青年。現在でも小遣い銭をためて買った3台の天体望遠鏡を使って毎夜2〜3時間新しい彗(すい)星発見をねらって夜空を見つめ続けている。

谷中さんが、この大火球を見たのは20日午前3時17分ごろ。1時ごろ起きて自宅裏の物置に天体望遠鏡を設置、いつものように彗星を探しているうちに確認した。望遠鏡を東に向けていると、それまで月が出ていなかったのに突然、1〜2秒間満月の時と同じほどの明るさになり、北北西のカンオベア座あたりを、星図の赤径1時30分、赤緯プラス67度から赤経零時20分、赤緯プラス58度方向へ約1時間、半月ほどの大きさの火球がオレンジ色に流れ、消え去ったという。

この大火球を見たという人は、その後東京のほか福島市や福島県郡山市、宮城県気仙沼市などでも現れた。また「星の広場」などの調べてこの大火球は東京上空を流れたのではなく、新潟北部分の上空高さ約80kmで発光、北北東方向の山形県北部分の上空約30kmで消え去ったことがわかった。

谷中さんは、これまで3度も火球を見ているが「とにかく自分の影ができるほどの大火球を確認したのはこれが初めて」と驚いている。

(1977年2月1日付、読売新聞 関栃木版)

ラジオ司会者UFOを発見

〔東京〕2月23日の日没2〜3分後、富士山の右上空に異常な発光物体が飛んでいるのを、東京・駒沢公園近くで車を走らせていたラジオ司会者、ケン田島さん(46)が見つけた。同じような説話者の連絡が朝日新聞に15本も。

「大きな星の3〜4倍、オレンジ色がかかった色で、空は不気味に明るかった。ゆっくり沈み、7〜8分後に消えた。私は船を持っているからわかるけど、雲とは絶対違いますよ」と田島さん。

ところで、羽田空港では「該当機なし」。気象庁は「小さな積雲が日の光を反射したのでは。警視庁は「確認できず、110番もありません。もし、東京に落下したら災害対策課で処理します」。UFO(未確認飛行物体)の正体は、やっぱり未確認か。

(1977年2月24日付、朝日新聞) 太陽を反射して舞う 米粒型物体

〔宇都宮〕つい先日、下都賀郡壬生町で「UFO」(未確認飛行物体)の目撃者が現れ話題となったが、今度は宇都宮市で3月15日の白昼、極めて不可解な飛行物体を目撃した。

目撃者は同市御幸ヶ原町、気象台勤務の岡正行さん(26)。同日午

後零時20分ごろ自宅2階の窓からふと南の空に目をやると、一定の高さで太陽の光を反射してキラキラと輝き、木の葉のようにヒラヒラと舞っている物体を目撃した。岡さんは気象台勤務のベテランだけに、すぐに望遠鏡を持ち出し観察したところ、物体は米粒のような形をしていて薄茶色をしていたという。そして10分後には、ゆっくり、さらに南の空に消えて行ったという。

気象台に関係しているだけに、この日気象ゾンドは飛ばしてないことを知っており、そこで自衛隊や県、市にも問い合わせたが、物体を飛ばしていないことがわかり岡さんは首をかしげるばかり。(1977年3月16日付、栃木新聞)

北陸

赤青混ざった怪物

〔新潟〕 月が美しかった1976年9月5日午後7時、夜空を赤、青の炎を噴きながら怪物が音もなくよぎった。「UFO?」「流れ星だろう」と目撃者は大騒ぎ。新潟地方気象台にも問い合わせの電話が鳴り続けた。さて、その正体は。

新潟県五泉市本町3、表具店経営・加納茂雄さん(61歳)が怪現象を目撃したのは、午後7時頃、三男の会社員・久雄さん(27歳)と一緒に釣りに行った帰り、同市内の早出川にかかっている三本木橋近くだった。「アーあれは何だ」と久雄さんが

指す方を見ると、東から北西の方向に、赤と青がまじり合った線が動いた。

線は、赤、青、赤、青……と交互に色がまじり合ったヒモのようで、幅10cm、長さ100mの怪物体と見えた。かなりの速さで動き、早出川上空でスッと消えたが、30秒くらい見えたような気がした。飯豊山方向から飛んできたものようだった。

加納さんは「流れ星なら斜めに落ちて消えるはずだが、あれは横に走っていた」と思った。——6日朝になって近所の商店で話してみると、ほかにも目撃者が何人もいたらしい。

同気象台の予報課員・松本貴代巳さん(28歳)も目撃者の1人。新潟県燕市の自宅付近で、ひょっと空を見ると東から西へヘニスポールほどの青白い火が飛び、2つに分かれて消えた。「火花かな」と思ったが、6日出動すると5日夜は問い合わせの電話で気象台も大騒ぎだったことがわかった。電話は五泉をはじめ、新潟市、西蒲原郡巻町、十日町市、南魚沼郡湯沢町などから午後7時から1時間の間に約30回もあったという。

では、その正体は——、「流星ですね。東京、千葉、新潟、大阪でもほぼ同時刻に見た人が大勢います」と東京都三鷹市にある東京天文台では説明している。(1976年9月7日付、朝日新聞新潟版)

中部

UFOではないか

〔山梨〕 南西の方向に星のように輝く不思議な物体が見えるが、UFOではないか——と1月17日夜山梨県南都留郡鳴沢村の紅葉台入り口のレストラン支配人から山梨日日新聞社に電話があった。

UFOではないか——という電話は非常に多いが、同日夜の電話は「昨年12月中旬から一定の場所に見える。光が大きくなったり明るくなったりする。毎晩8時ごろ大勢で見ているがみんな不思議がっている」というもの。

社屋の窓から南の空を見ると確かにひととき大きく輝いている。早速甲府地方気象台に問い合わせたところ「あれはおそらく木星ではないでしょうか。風の吹く日には空気が澄んでいるからとくに鮮かに光ります」との説明。本物のUFOにはなかなかお目にかかれそうにない。(1977年1月18日付、山梨日日新聞)

近畿

円盤は、おかま型しとった

〔神戸〕 1976年11月25日の午後6時20分キタ。神戸大学医学部のとこからちょっと西へ行った荒田グラウンドのところを犬遊ばしてたん。そしたら来てねえ。「何が?」円盤や、UFO。ご飯飲のおかまの型しとった。ピルの5階ぐらいの高さでねえ、バスケットのボールより一周り大きいぐらいに見えた。すごい速さで回っ

てて、中は黒で周りは真っ赤、西の方へ飛んで行ったけど、音がしなかったの。私、びっくりして座り込んでしもてねえ。家へ帰ってからも大騒ぎしてたの。信じてもらわれへん思うけど、あれ、UFOやわあ。神戸・兵庫、高3女(1976年11月27日付、神戸新聞)

九州

鹿児島にUFO着陸か!

〔鹿児島〕 UFO(未確認飛行物体)を見た!との通報は多いが「UFOらしき物が70m先に着陸するところを見た」と、鹿児島県始良郡横川町の若い女性から本社に電話があった。

この女性は同町の農協職員A子さん(19歳)で、1976年11月9日午後7時ごろ牧園町万膳の山道を母親(52歳)を乗せて車で走行中、前方の空中に美しい光を放つ物体を発見した。グングン近づいてきて、車の前方70mを横切り、道路わきのやぶに入り見えなくなった。A子さんは、車を急停止せヘッドライトを消して母親と2人ガタガタ震えた——と話している。

大きさは確認できなかったが、物体は長方形で真っ青な光を放ちその周囲は赤く燃えていた。「最初、飛行機かなと思いましたが、あれがUFOかとあとで母親と話しました」とA子さん。母親も確認しており、かなり現実性の高いUFO情報?(1976年11月12日付、南日本新聞)

新聞

今度は写真撮ってやる

〔大分〕 1976年12月15日午後11時20分ごろ、大分市府内町、トキハ社員、工藤政宏さん(20)と同僚の熊田清次さん(25)の2人が、同市若松通りで、夜空を横切る不思議な物体を見た、毎日新聞大分支局に知らせて来た。厚さ10cm、横20cmくらいの長円形で、中心が白く、縁が青白く光り、南から北へ横切ったという。見えた時間はわずか1秒間。2人とも雑誌でみたUFOの写真と同じ。間違いないUFOだ」と興奮気味。

これについて大分地方気象台は「他に見たという人を聞かない。流れ星か何か、空に反射した光を見たのでは」と半信半疑だが、2人は「見間違いないんでない。今度は必ず写真に撮ってやる」と張り切っている。(1976年12月17日付、毎日新聞大分版)

上空を横切る金属物体

〔大分〕 1976年12月15日深夜大分市のトキハ社員が「夜空を横切る不思議な物体を見た」と毎日新聞大分支局に知らせたが、このUFO騒ぎは、県下各地で起こっている。

2度目の目撃は16日午後5時すぎ。大分県大野郡津市野津町上空を横切る金属物体のようなものを近くの主婦数人が目撃。さらに5分後、南海部郡上浦町浪太でも帰宅途中の同町東雲中教諭、森本

煙をはきながら弧状に飛び立つ飛行体

〔大阪〕 大阪府門真市栄町3の10、旭ハウス15号室、無職牧野武夫さん(63)が3月9日午後、守口市役所に「UFOが写っていた」と写真を持ち込んだ。

2月7日午前11時ごろ、吹田市泉町付近をマイクロボスで通行中、西約1・5kmの住宅街から青白いサラ形の円盤が光を放ちながら飛び上がったのを目撃、持っていたカメラで1枚撮影したとたん

円盤はどこかへ消えてしまった。この間約40秒。

「噴射煙」をはきながら、弧状に飛び立っている飛行体はかなり鮮明に撮れている。

牧野さんは「昨年11月にもあの付近で同じ光景を見た。大阪空港から離れているし飛行機ならすぐわかる。あのへんにUFOの基地があるので」といっている。

(1977年3月10日付 読売新聞大阪版)



高美さん(30)ら3人が車窓から目撃。続いて、佐伯市上空でも與人佐伯住宅の主婦や子供たちが見て「UFOだ」と大騒ぎになったという。

共通するのは、輝く長円球の物体で、西から南へ横切ったこと。大分地方気象台は「15日、16日は晴れており、何の光か合理的な説明は難しい」といい、大分空港事務所は「15、16両日も、思い当たる民間航空機はない。自衛隊機が銀色の点滅灯をとますので、それではないか」といっている。

(1977年12月19日付、毎日新聞大分版)

消防署員UFOを確認

〔長崎〕 1月19日午後8時45分ごろ、「金比羅山上空に光りを放つ物体が飛んでいる」と、長崎市消防局に市民からの通報。8人の当直員は半信半疑で望遠へ。望遠鏡でのぞいているうち、稲佐山方向に「物体」を発見した。市中央消防署員、田端次孝さん(34)も物体を見た1人。

「稲佐山より低い標高2000〜3000m付近をゆっくり動き、10分ぐらい静止したあと福田方面に姿を消した」という。その姿はクラゲみたいな形で、赤い円形状をして横に動くときは8本の噴射しているようなダイダイ色の炎? 本体は、黒っぽく見えたり、銀色になったり。音は全くしなかったという。肉眼では捕えたものの写真を撮った者はおらず、ああ残念。

市消防局では、飛行機かヘリコプターではと、海自大村航空隊に

も問い合わせたが「同夜は飛行予定なし」。そこで稲佐署へ急報指令を受けた同署は、パトカー2台を出勤させ、稲佐山頂まで追跡したが、確認できなかった。お役所まで振り回したUFO騒ぎは、長崎では初めて。夜の15分ミス터리」は、結局ナゾに終わった。

(1977年1月21日付、長崎新聞)

UFO出現で家中大騒ぎ

〔熊本〕 〓八代市、主婦(62)〓 ゆうべ(2月18日)の9時から10時半ごろですたい。西の海上たぶん天草沖あたりと思うとです。UFOらしきものを見たつです。

ちょうどツバメが飛ぶような形をして鮮やかなオレンジ色になったり、薄れたり。家中が大騒ぎになりました。みんな2階に上がって見たんです。きょうになつても気になってすなあ。気象台に電話してみたつです。ところが同じような問い合わせがほかにもあつたそう。だけん、ずいぶん多か人が見たと思うとです。熊目にも問い合わせがあつたつじやなかですか。なんだつたつしょう。私のごたる年寄りはいちちよんわからんバツテン、子供は「UFOだ。なんだ」と言って興味があるでしょう。子供たちのためにも正体がわかるといいんですがね。

(1977年2月19日付、熊本日日新聞夕刊)

沖縄にミニサイズ円盤現る

〔沖縄〕 1月16日夜、名護市古我

地の内原部落でミニサイズの空飛ぶ円盤(?) があらわれ、付近住民の間で話題になっている。この「円盤」は直径70cm〜1mの小さなもので、色はオレンジがかった赤にときたま紫が入り、速度を増すにつれて黄色い色を放つたという。今回発見したのは20歳の女性で「2年前にも見たことがあるので間違いないです」と言い切る。

また、同じ年に名護中学の生徒も名護火葬場上空で円盤を見たといっている。

円盤を見たのは、同市字古我地469、公務員、屋比久光子さん(20)。屋比久さんはこの日、本部に遊びに行き、午後7時ごろ勤務先に置いてあった自転車に帰るため、名護から我地へ向け走っていた。伊差川の北部生コンのところにさしかかったさい、左側の上空でオレンジがかった赤色の円盤状のものを発見、いったん、自転車を止めてよく見たら、横にすべるように音もなく飛んでいった。そして、内原公民館の上空で停止し、さらに嘉津宇岳の方に飛んで行った。発見して消えるまでの時間は2〜3分だったという。

屋比久さんは「その円盤は直径が70cm〜1m程度。紫色のほかに紫色の光をはなち、速度が増えると、黄色が出た。近距離で見ただけで自信を持って空飛ぶ円盤だと言えます。ちょうどカメラを持っていたのですが、びっくりして撮影する余裕はありませんでした」と信じられない表情の職場の人たちに説明していた。

(1977年1月18日付、琉球新報)

科学ニュース



火星の生物は不可解?

第5回生命の起源国際会議が4月の下旬、京都の京都会議館で開かれ、「火星に生命は存在しない」とする研究発表が大勢を占めた。

昨年夏、火星探査機・バイキングが火星上の生物を調べた実験で、地中から炭酸ガスや酸素が噴き出す現象があったため、火星にも生命や複雑な有機物があるのではないかと問題になっていた。

NASAエームズ研究所惑星探査部長のオーヤマ博士は「火星には炭素原子3個と酸素原子2個が結合してできたカーボン・サブオキシドが存在すると

考えるのが妥当だ」と発表。火星の土の一連の「奇妙な反応」も、このカーボン・サブオキシドの存在によって系統的に説明できると語った。

一方、同研究所のポナンベル博士は地球の砂でバイキングとそっくりの実験を行って、その結果から「生命や有機物がなくとも火星の土と同じような反応をする」と発表、生命の存在に否定的な見解を示した。

結局、火星には生命が存在しないという説が多かったが、バイキングではたった2カ所しか採取されてなく、米・バイオスフェリックス社のレビン博士のように依然として「生命反応か化学反応かを判断するにはさら

に実験が必要だ」とする学者もいる。

また、NASA付属ジェット推進研究所のG・ソフエン博士は火星の構造、大地の成分などについて「昨年11月に探査機から15km離れた地点で地震が記録された。波型の分析から月の地震よりも地球の地震に類似、火星には地殻の変動がある。

火星の表面にかつて水が流れたような跡があり、固定カメラでの連続写真で小石が写ったり写らなかったりすることから、風も吹いている。10億年くらい前の地球と同じ状況が火星にはあったのではないかと語ってバイキング計画の調査結果を発表した。

地震多発は、

極移動が原因?

ここ10年間の観察によると、大地震の多くが赤道地帯から南北両緯度の35〜40度の範囲に集中している。これは地球の極、つまり回転軸の変動と密接な関係があるからだ、とソ連科学アカデミー地球化学・分析化学研究所長のワレリー・バルスコフ教授は説明している。

同教授によると、地球の極は一定の場所に静止しているわけ

トピックス

バミューダ海域に

水中ピラミッド

古代文明の遺跡と思われる巨大なピラミッドが、バミューダ海域で発見された。

米紙ワシントンポストによると、水中ピラミッドは同海域の大西洋とカリブ海の接点にあたる深さ約900mの海底で見つかったもので、ピラミッドの高さは約180mという。

これはエジプトにあるギゼのピラミッドより40mも高いことになる巨大なものだ。どうしてこの海中にピラミッドがあるのか、まだわかっていないが、かつてこの海域に高度に発達した古代文明が栄えていた証拠ではないかともいわれている。

また、この海域は数多くの船や飛行機が姿を消すことで有名なところ。このナゾについてソ連の科学者が新説を発表したばかりのことだった。ますますナゾは深まるばかりである。

へソ連科学者の新説

物理学者イェルキン氏は「バミューダ海域の事故は火曜日に関わりやすい」と発表している。月が満ちて近地点→地球に最も近い位置に達し、これに太陽の位置関係がからんだとき、同海域に特殊な磁気のアランが発生する。そのため、航空機や船のコンパスやジャイロスコープが狂ってしまう。そういう状態が火曜日に起きているというのである。

ソ連に世界最大の

電波望遠鏡が完成

約9000のアルミニウム鏡面が直径6000mの巨大なリング型アンテナを構成している電波

ではなく、いまも北極は北米方向に向かって1年に11cmも動いている。

極が動けば、それに応じて地球の形も変化、地殻の各プロックでさまざまな水平運動や垂直

实用衛星への第一歩に成功

わが国初の静止衛星が誕生した。静止衛星を独自に成功させたのは、これでもソ両国に次いで3番目になった。

宇宙開発事業団の技術試験衛星「きく2号」は、3月23日打ち上げられ、4月5日に4回目の軌道微調整で、ニューギニア島の北西海上の赤道上空約3万6千kmの地点に静止状態となった。

この成功は、今年7月から来

運動が起こる。こうした回転軸に対する地球の適応運動は、一定の間隔をおいた緯度帯でとくに強いひずみを生じるといわれている。

このような極の転位があった

年2月にかけてアメリカに打ち上げてもらう静止気象衛星(GMS)、実験用通信衛星(CS)実験用放送衛星(BS)の3つを我々の力で静止させる技術を習得したことになる。

静止衛星はいつも同じ位置にあるので、通信・放送用の宇宙中継基地として利用できるし、また地球の特定部分の気象を24時間追跡して観測ができる。

7月の気象衛星に成功すれ

ことは、これまでの研究である程度わかっている。

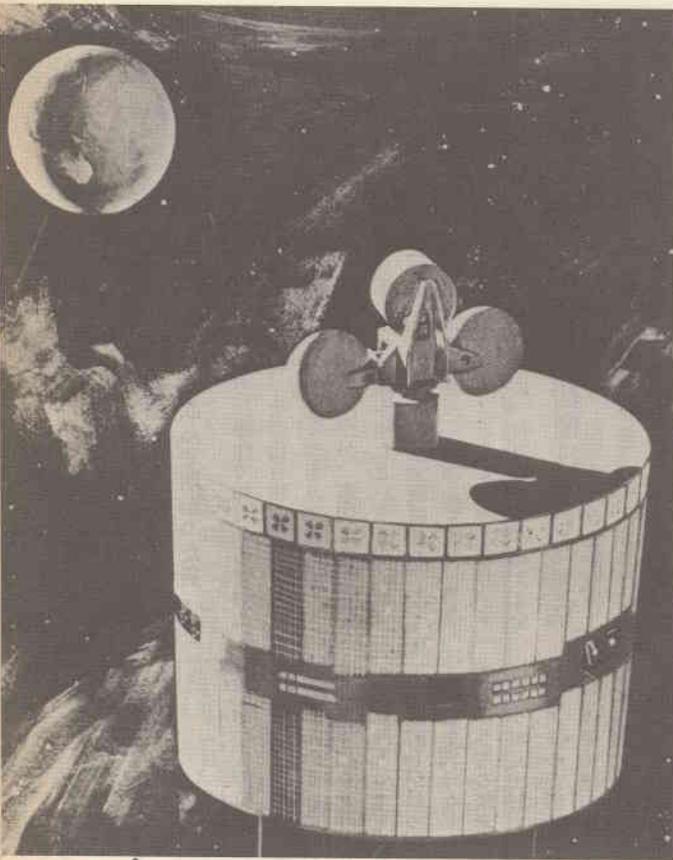
たとえば、約4億年前までに地球は造山運動を終えて、

が、それにともなつて極も移動。はじめは西オーストラリアにあ

ば、半径6kmにわたる雲の分布、種類や高さ、地上や海上の気温もすべてわかる。また観測の空白域である海上の気象データがとれるなど利用価値が大きい。

「きく2号」は、今後、電波実験に使うデスパン・アンテナの操作、宇宙通信に使うミリ波、準ミリ波の電波試験などを行う予定である。

(写真/共同通信)



TOPICS

望遠鏡がソ連で完成した。「ラタソール600」と名づけられたこの望遠鏡は北カフカズの中にあって、もちろん世界最大。銀河系の中心を調べたり、新しい種類のエネルギー発見に威力を発揮するだろうと期待されている。

ありふれた名前は

学業成績を上げる

最近アメリカで、子どもの名前に関する調査をした結果、人気のあったジョンとかマイケルなどの最もありふれた名前の子供の方が、全般に先生の採点も高く、ほかの子供より積極的に行動し、向上心にもあふれていることが明らかとなった。

また、テンプル大学の心理学博士も、児童名と知能指数と学業成績について調査した結果、成績が高かったのは両親の教育水準や人種的背景には関係なく、デビッド、マイケル、ポール、ジョン、ゲリー、ジェームズ、リチャード、スコット、ステイブンなどといったありふれた名前をもつ生徒だったという。

モーツァルトなど

自筆楽譜「ごっそり見つかる

行方不明になっていたモーツァルト、ベートーベンの多数の楽譜がポーランドで発見された。

これらの楽譜は第二次大戦中、英軍の空襲をさけるためナチス・ドイツの手でベルリンから持ち出され、旧ドイツ領シレジア地方に移管されたが、その後、行方不明となっていた。戦後、愛好家らによって探索活動が行われていたが、発見されず、関係者もあきらめかけていたところ

った北極は日本の東方にまで位置を移してしまった。さらに約2億年前、アンデス山系、北米西部山系、ウラル、パミール、チベットなどの山系が形成され、極はふたたび太平洋北部から移動、ほぼ現在の位置に落ちついた。

それにしても、1年に11cmの極の移動は地質学的に、かなりのスピードだが、原因はいまのところつかめていない。

スペース・シャトル初飛行

特別の訓練を受けていない一般人や科学者も自由に宇宙旅行ができるスペース・シャトルの開発が米航空宇宙局(NASA)で着々と進められている。

79年の宇宙への初飛行実現をめざして、このほどスペース・シャトルの実験用1号機「エンタープライズ」がカリフォルニア州で初飛行を行った。

長さ37.19m、翼長23.77m、重さ67.5トンと、中型旅客機DC9型とほぼ同じ大きさのエンタープライズは、ジャンボ機の背中におんぶされて高度4800mまで上昇、最高時速500kmで約2時間飛行したあと、

青酸ソーダを飲んで助かった男

強力な毒性で知られる青酸化合物。その化合物、青酸ソーダを自殺するつもりで致死量の何倍も飲んだが、適切な処置を受けて助かったという人がいる。

その人は、大阪に住む板金工のAさん(39)。ある日、奥さんとケンカしてカットとなり、手元にあった青酸ソーダ約1gを

コーヒーに入れて飲んでしまった。

Aさんは、しばらく苦しみ、救急車で大阪府立病院に運ばれる途中、1度呼吸を止めたが、病院で待ち受けていた南卓男医師らの手当を受けて2時間半後に意識をとりもどした。

南医師らが行った治療は、人工呼吸を続けながら、気管に濃度100%の酸素を送りこみ、重そう水を注射すると同時に亜硝酸アミルを吸入するというもの。この治療の結果Aさんが次第に自力で呼吸を始めたため、医師たちは、さらに重そう水の静脈注射、亜硝酸ソーダ、チオ硝酸ソーダの注射を続けた。

これらの治療法は、日本ではまだ珍しいが、米国などではかなり前から行われており、高い成功率をおさめているという。

遺伝子の

全構造初めて解明

インシュリンの構造決定でノーベル化学賞を受賞した英国のF・サンガー博士をキャップとする研究グループが初めて生物の完全な遺伝子構造を決定し、遺伝子はこれまで考えられていたより複雑なものであることを発見した、と発表した。



不死身の復活植物

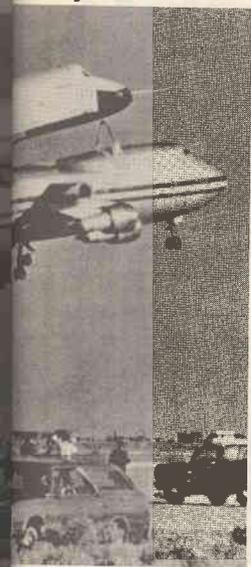
2年間雨量ゼロでも大丈夫

世界の乾燥地帯の牧草を改善させようと、オーストラリアのメルボルンは、モナッシュ大学のニール・ハラム博士らが復活植物の研究をしている。

これらの植物は長期間の乾燥に耐えて生き抜き、わずかな水で、復活するという、驚くべき能力を持っている。極度の乾燥に強い植物は、同大学に44種類もあるが、このうち11種は南アフリカ原産のタルボチア・エレガンス。写真/AIS)

ろだった。

発見の知らせを伝えたのは、ワルシャワの国立博物館のヤン・ピアロストツキ教授。楽譜は無傷のまま、モーツァルトのフィガロの結婚、魔笛、交響曲ジュピター、ベートーベンのものでは第九、第七、大フィーガ、ピアノ協奏曲第三番。その他メンデルスゾーン、バッハなどの名曲が含まれている。とくにモーツァルトのものは、現存する自筆の楽譜の4分の1にあたる100曲余りがあった。



心と体の統一強化

超道

◆超道師範資格取得講座

- カール・ヘニングガーの指導によりアメリカでブームを呼ぶ画期的運命転換システム「ボータ原理」、大脳生理学、深層心理学による独創的中枢能力開発によって、心と体の統一強化をはかる。
- 自宅に居ながら誰にでもでき、短期間で効果のあがる個人指導方式(パーソナルメッセージシステム)

◆入門される方へ

- 通信講座部** (基礎科3ヵ月) 1日10分の行法練習を自宅で行うだけで充分効果のあがるシステム指導。
受講料:9,000円(スクーリング付)
- 通学部** (基礎科3ヵ月) 銀座会場で毎月1回直接個人指導を徹底的に行う。
受講料:15,000円

尚、基礎科終了後、本科(10ヵ月)師範科(1年)に進めます。

申込方法 ハガキに通信、通学の別を明記の上、**超道受講**と書いて申込み下さい。受講料は教材到着後振替又は現金書留でお近くの郵便局からご送付下さい。

唯超学会(UFO係)
〒104 東京都中央区銀座 2の8の17 (中川ビル1号室)
TEL 03 (567) 6718
資料呈:超道資料(通信・通学の別)と書いて、切手50円同封下さい。

同グループはバクテリアに寄生する「ファイX174」というウイルスの遺伝子が5375個のヌクレオチドから成り立っていることを見つけ、どんな種類のヌクレオチドが、どのような順番で並んでいるかを、すべて明らかにした。これは世界で初めての業績である。

博士らのもう一つの業績は、遺伝子の働き方について、これまでの常識をはっきり覆したことである。遺伝子は、これまである部分がある1種類のたんぱく質だけをつくり、別の部分はまた別の1種類のたんぱく質だけをつくる情報を持っていると考えられていた。ところが博士らは、遺伝子のある部分が2種類のたんぱく質をつくりうる

サルからヒトをつなぐ猿人の完全な下アゴの化石が中国から世界で初めて発見された。これは中国科学院古脊椎動物・古人類研究所と雲南省博物館の合同調査隊が雲南省禄丰县石灰壩石炭採掘場古代猿人化石地点で発見したもの。これまで判明したところでは完全に近い古代猿人下アゴ骨化



800万年前の猿人化石 中国から下アゴ発見!

ことを確かめた。ひとつの配列から2つの違ったたんぱく質ができるというこのような事実が、これまで予想されておらず、この分子生物学上重要な2つの発見によって、サンガー博士は2度目のノーベル賞を受賞できるかもしれない。

自転車一台

食べちゃった!

エプルーで開かれた第11回「奇人変人大会」で、2週間がかりで自転車一台を食べた男がいる。この怪記録を成しとげた男はフランスのミシェル・ロリートさん。食後の感想を「チェーンを食べるのが一番やさしかった。グリースがついているのでタイヤより飲み下しやすいくらね……」とか。それにしても、よく腹をこわさないね?

イライラは

病気や事故のもと!

社会的不安をかかえている人は、そうでない人に比べて病気がかかったり、事故を起こす比率が2、3倍も高いことが、わかった。発表したのはハーバード大学ロバート・ハガティ博士。ひんばんな引越越し、身内の死亡や失業などの家庭内の不安定がその要因だとしている。

石は、サルからヒトに変わる移行的な性質を持つていて、現在国際的に認定されている猿人祖先のラマ古代猿人の形態と似かよっている。もちろんサルからヒトに移行するこの種の類型の完全な下アゴ骨化石の発見は初めてである。

このほかこの化石と同時に、古代猿人の歯の化石、3指馬動物群化石などが発見され、これから推し計ると今から約800万年前のものと思われる。

これらの発見は、中国南部が人類起源の重要な地区であることを物語っているとして関係者の注目を集めている。

発掘土器の年代測定に新方法

遺跡などの絶対年代の決定は放射性の炭素14を指標とする年代測定がほとんどだが、奈良教育大の市川米教授は「熱ルミネセンス法」という新しい測定法を研究している。

一般的に行われているカーボン測定法では、遺跡中の木片、木炭、貝殻、骨など生体遺物中の炭素14の量を計り、その生体が生きていた年代を測定する。したがって土器などの年代決定をするには、一緒に出土した木

片や貝殻から間接的に決めることになり、誤差も大きい。

これに対し、熱ルミネセンス測定法は、土器中の石英の結晶に蓄えられた放射線量から年代をきめる方法である。1950年、アメリカのウイスコンシン大学のダニエルズ教授が、石灰岩などの年代推定の方法として提案、10数年前から土器の年代測定への応用が試みられていた。

石英の結晶はケイ素原子と酸素原子とで構成されており、アルミニウム原子などが不純物として含まれている。原子の中心である原子核のまわりには電子が飛びまわっている。この電子の数やそれぞれの「軌道」は、原子の種類や原子の置かれていた状態によって大きく違う。

石英結晶中のアルミニウムの周囲の電子も固有の「軌道」を描いているが、これに放射線があたると、もつとエネルギーの高い軌道へビョンと移ってそこにとどまる。そして結晶に熱を加えると、光を出して元の「軌道」へ戻る。熱した時に出る光の量から、エネルギーの高い軌道にたまっていった電子の量、すなわち「蓄積」されていた放射線の量がわかる。

火星の衛星

フォボスはいん石

火星の衛星フォボスとダイモスは外部から飛来して火星の引力圏内に取り込まれた物体らしいことがわかった。

これは米航空宇宙局(NASA)が、バイキング1号の火星軌道機を撮影した火星の二つの衛星を写真分析した結果わかったもので、これまでその奇妙なジャガイモ型や異様に早い公転周期などから人工衛星説まで飛び出したほどであった。発表によ

土器になる前の粘土の中にある石英には、長い年月、自然の放射線があたっているため、多くの電子が、エネルギーの高い「軌道」にたまっている。しかし土器を作る時に粘土をカマで焼くと、この「軌道」中の電子は熱で全部追いつかれてしまうから、土器が冷えてから、石英中に放射線の「蓄積」が再開されることになる。

1年間にその土器中の石英が浴びる放射線の量を測定や計算で求めれば、土器を熱したときに出る光の量から土器の製作年代がわかるのである。

年代測定もいろいろ方法を併用することによって、より正確な年代決定が可能になりそうである。



フォボスは小惑星を形成している物質である炭素質コンドライトといういん石の一種でできていることが推定された。ダウ。(写真UPIサン共同)

ソ連、インドネシアでも

ネッシー騒ぎノ

ヘソ連▽南カザフスタンのコクコル湖で全長15m、巨大なヘビのような生物を見た大騒ぎになっている。目撃したのはソ連地理学会員のベチェルスキー氏と息子。報告を受けた進化論専門の生物学者は、怪物の存在を否定はできないと述べている。

ヘインドネシア▽「中央スウェン州のボソ湖には本物の「ネッシー」がいる」とインドネシア国営アンタラ通信が伝えた。目撃者の話によると「頭はツノのない牛、首はヤシの木の幹のように長く、腹は水牛のよう、目は青白く、ギラギラと光っていた」という。ボソ湖周辺には、かなりの目撃者がいるらしく、月に2、3度目撃したものもある。

はたして本物のネッシーかどうか、本家本元の英スコットランドのネッシーより一足早く捕まえられるかもしれない？

キルリアン写真实験セット



キルリアン (KIRLIAN) 写真とは、コロナ放電を利用し被写体の発光現象を撮影するものです。指や人体の一部などを撮影すると「生体エネルギー、オーラなどと呼ばれる現象が観察できます。あなたもこのセットで未知の世界を探ってみませんか？

○キルリアン電子写真实験セット

TKP101 (装置本体、附属部品共) ¥28,000

カタログのご請求は誌名記入の上下記まで

株式会社 テクノニクス

☎ 326 足利市鹿島町1156 ☎ 0284-62-8073

まんががフアンへ
お知らせ
うれしい

自宅でグン上達するマンガ技法を伝授します

さあ、キミも自分の
かくれた才能を
発見しよう!!



説明書セットを無料でさしあげます

まんがの好きな方は、下記へハガキ下さい。今なら、自宅でグン上達するまんがの学び方や自分の才能がすぐわかるテストつき

※ぶんの思っていることすべてがマンガやイラストに描けたらどんなにスバシイことでしょう。
※マンガをつくる才能はキミにも必ずあります。ただ、じぶんでは気づかないだけ。キミもこのチャンスにかくれた才能を発見してみませんか？
※今コミックスクールでは夢といわれた一流の先生方がキミのかくれた才能をスクスクのばし、どんなマンガでも自宅ですべて描けるよう指導してくれます。
※学びながら自宅でバイトができる「誌上展」にも参加できます。この機会にキミのかくれた才能を存分に発揮し、おこづかいもパツチリかせいで下さい。

申込先

現代コミックスクール UFO係

〒145 東京都大田区田園調布局第56号
(大田区上池台5-7-10)
TEL 東京(03)727-2216(指導部)



定価 ¥30,000(送料共) 練習用力カセットテープ説明書付 1年保証
高級天然木(クルミ)使用
長さ10cm巾6.2cm高さ3cm重さ100g

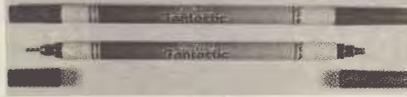
アメリカ・カナダで今、人気爆発!!

バイオフィードバック GSR-1

《GSR-1で時代を先取りしよう》

もっと自分の「心」を良く理解してあげましょう。
GSR-1は、人の身体的、精神的な緊張の度合を音の変化で教えてくれます。そして緊張をとりリラックスする訓練のモニターになります。短期間の練習であなたは自分自身の内面的なことをもっと理解できるようになり、集中力が高まります。又、訓練を重ねれば困難に直面しても、自分の心をコントロール出来るようになるでしょう。受験の時など、今迄よりリラックスして本当の力を発揮出来るようになります。又、禅やヨガによる瞑想と同じ効果が得られます。
●受験生、経営者、タレント、プロスポーツ選手、管理職、サラリーマン、OL、教師、医師…全ての方々

西ドイツ製 消えるボールペン



定価 ¥300(送料共・切手で可)

今までの常識を破って消せるボールペンが出来ました。ボールペンですらすら書いてあとは反対側についているインク消しでワンタッチで消せます。紙や布、あなたの指にインクがついても大丈夫、さっと消えます。面白いボールペンで遊びましょう。
(この商品の代金は郵便切手でも結構です)

●使用方法・効果については詳しい説明書とガイド・カセット・テープがついています。

お申込みは、氏名、住所、年令明記捺印の上、代金は現金書留又は郵便振替(東京・4-8703)でポラックス株式会社へお願い致します。現品急送します。

輸入総発売元



ポラックス株式会社 U係
東京都中央区日本橋小舟町2-7 ☎666-0511(代) 〒103

製造元



THOUGHT TECHNOLOGY LTD.
CANADA

宝島

毎月10日発売 480円



雑誌宝島へ上陸すると——音楽が聞こえてきます。映画も上映中です。読みたい本もいっぱい。今まで知らなかったことや新しい生活を発見します。——未来への宝ものを自分で探すことの楽しさを覚えます。



〒162 東京都新宿区揚場町15セントラル
・コーポラス207 電話03(268)6312



大空に賭ける勇気ある男を通して、あるカメラマンが、撮らえた、青春の一コマ。

「時に、言葉は不自由だ。」

PART 1



眩しい陽光に目を細め
地平線に向って
一筋に伸びる道を
歩きつづける
別に
出会いなんか
期待してはいない

盛岡養一郎が、キミにおくる
一編のメッセージ。

¥2000

文久書林 ● 〒113 東京都文京区白山1-29-12
電話(03)813-2495 振替東京4-2521 番

連載科学記事

続

宇宙・引力・空飛ぶ円盤

6

レナード・クランプ

〔電磁 (EM) 放射効果〕

〔UFOの音と回転〕

翻訳出版権獲得

電磁(E·M)放射効果

空飛ぶ円盤に関する報告書のなかで恐らく最も重要と思われるのは、電磁放射についての証拠であろう。ここで電磁放射というのは、可視光線からその両端のスペクトルまでを含む、様々な周波数の放射のことである。

この電磁放射効果について、対応する目撃例と関連させながら、分析、評価を行ってみよう。

まず最初に、ブラジルの要塞イタイブでの不思議な事件を検討してみたい。その物体が出現したのは1957年11月4日の午前2時、大西洋上の澄み渡った空には星が1つ明るく輝いているだけだった。その物体の接近速度は「あまりにもとほろもないものだったので、2人の兵士はパトロールのことも忘れてただただ眺めていた」

するとUFOは、停止して、強烈なオレンジ色の光を放しながらゆっくりと舞い降りてきた。砲塔から40×50mの上空で、UFOは動きを止め空中に静止した。最初は全く音をたてないようにならされたが、こうして接近した時点で、目撃していた人々はその物体が

低くうなる音を発しているのをはっきりと耳にした。

こうして物体は1分間近くその状態を保った。「それから悪夢が始まったのだ……」

哨兵たちは何か熱いものが彼らの顔に触れるのを感じた。そのうちの1人はすすり泣くような声を聞いたようだという。次に「まるで衣服全体に火がついたような」耐えがたい熱波が襲ってきた。と思う間もなく、電気系統がすべて駄目になった。

(a) 要塞の照明設備

(b) 機械の動力用電源

(c) 自家発電装置

(d) 通信システム

これらが一斉に機能を停止したのである。5時にセットしてあった電気時計のベルが鳴り出した。午前2時3分だった。

素人には、これらの影響がなんとも奇妙でとりとめもなく、なにか「別世界」の出来事のように思えて、関わり合いがよいと思えるかもしれない。しかし技術者にとっては、これらの出

来事が意味の通ったものなのである。理論的には、次の2つが考えられる。

まず、電気時計は周波数で作動するので、非常に強烈な高周波が電気回路に加わって時計の針の進みを速めたのではないか。この場合には加わった周波数を計算することができる。もうひとつは、コイルに強力な誘導磁場が加わって、アラーム機構の継電器に電流が流れたというものが、こちらの方が可能性が高いように思われる。いずれにしても、こうした事件は実際に起きたのだし、科学者が検討すべき信頼できる証拠である。

UFOが電源を妨害したというケースはこれ1つだけではなく、他にもいくつかある。

一方、自動車のヘッドライトに影響を及ぼした例となると、枚挙にいとまがない。スペースの関係で、ほんのさわりだけを紹介しよう。

1957年11月3日、アメリカのレバランドでの事件である。警察にジャンクション電話がかかってきた。長さ60mほどの輝く卵形の物体が出現、自動

車やトラックのエンジンがストップし、ヘッドライトも消えてしまったというのである。電話を受けて、警察と消防車が出動した。郡保安官のウェイ・クレムはネオンサインのような赤い光が、400mも離れていない前方でハイウエーを横切るのを目撃、「2秒間ほど、前方の路上を明るく照らした」と語っている。車がこうむった影響は、この物体のはなつ光と関係があったように思われる。物体の発する光は点滅を繰り返し、光がつくたびに自動車のエンジンが止まり、ライトが消えた、と目撃者のひとりが語っている。

このことは、自動車の電気系統への効果は、UFOが妨害を意図して行ったというより、UFOの通常の作動に付随する偶発的な出来事であることを示すもののように思われる。

次に、もつとイギリスの近くで起きた事件を取り上げてみよう。1962年2月9日の夜明け前、ヴォクスホールの新車を配送途中のロナルド・ワイルドマンが体験したもので、UFO研

表1. 様々な距離でUFOが自動車及び人に与える影響

場所	日付	UFOの及ぼした効果	UFOとの距離
フランス セーヌ・インフェリュール	1954年10月	電気ショック、自動車のエンジンとヘッドライトが同時に消える	180 m
フランス アゾー	1954年10月	電気ショック、熱の増加、モーター停止、ヘッドライト消える	180 m
アメリカ ワイオミング	1954年10月	自動車のエンジンが失速	75 m
アメリカ ルイジアナ	1957年11月	エンジンが不調になり停止	63 m
フランス ピュイ・ド・ドーム	1954年10月	麻痺、トラックのエンジンが不調になり時速32km以上でなくなる	54 m
フランス クラメンシー(ニール)	1954年10月	電気ショック、自動車のエンジンとヘッドライトが同時に消える	45 m
フランス サオーヌ・エ・ロワール	1954年10月	オートバイのエンジンが失速	45 m
アメリカ イリノイ	1963年 8月	自動車のエンジンが失速	30 m
フランス ルジニエの森	1954年10月	ひどい熱で、雨中にもかかわらず地面と木が乾燥する	23 m
イギリス バックinghamシャー	1962年 2月	エンジンのパワー低下	18 m
フランス トルケスタン	1954年10月	麻痺、熱を感じる、エンジンが失速	18 m

究者にはおなじみのものである。「午前3時に、工場をでたての新車に乗り、スワンシーへ向けて自宅を出発しました。ダンステーブルを過ぎて、アストン・クリントンにあるひとけの無いアービンホー道路のはずれの十字路に近づいたときです。午前3時半近くになっていました。そこで、楕円形の白い物体を見たのです。物体の周囲には、丸窓とも空気穴ともつかぬ黒いものが等間隔に並んでいました。地上

から6〜9 mのところであり、さしたしは少なく見積っても12 m、なんとも不可思議なものでした。私がその物体に18 mぐらいいまで近づくと、車の動力に変化が起きて、時速が32 kmまで落ちてしまいました。ギアをセコンドに入れてアクセルをいっぱいまで踏み込んだのですが、何も起きません。私はヘッドライトを最大限に明るくしました。エンジンの回転数は落ちたけど、ライトは消えませんでした。その物体は音をたてずに、180 mほどの間、約6 mの距離を保ちながら車の前方を進んでいました。それから、物体の周囲に月のカサのような白いモヤが生じ、猛烈なスピードで右手に飛び去ってしまいました。物体が飛び去るとき、棺の霜を払い落としたので、車のウインドスクリーンに降りかかりました」

車にこうした影響を及ぼすのなら、飛行機はどうだろうか。普通UFOは飛行機のすぐそばを飛ぶことがなく、たとえあつたとしても互いに高速ですれ

違うので、小型の飛行機ならイグニッションに若干の障害が起きるかもしれないが、それも一時的なものだろう。事実、このことを裏付ける事例もある。1958年8月31日、アルゼンチンのラ・ベルドで、パイパー軽飛行機がUFOを目撃した際、エンジンの回転数が「異常に」増加している。UFOが姿を消した後、エンジンは正常に戻った。

また、目撃者のなかには「電気ショック」で体が動かなくなったという例がいくつかあるが、円盤の搭乗員はこうした影響を受けているように思えない。これは彼らの新陳代謝が人間と違って電磁場の影響を受けないようになっているからか、あるいはこちらの方が可能性が高いが、なんらかの保護措置を講じているためと思われる。

UFOが自動車のイグニッションに及ぼすと思われる電磁効果について研究するため、ロンドンUFO研究協会のトーマス・トムスンとアラン・ワッツは、フォード・コルチナのイグニッション・コイルに616巻きたコイルを取り付けた。エンジンをフルパワーで作動させながら、6・5アンペアの直流を通じたが目立った効果はない。電場を逆転させてみても同じである。しかし、50サイクルで8アンペアの交流をコイルに通じたとき、エンジンの出力は目に見えて低下した。

ワッツによると、利用できる電流と

しては、700ガウスのピーク電場に達する11・5アンペアが最大であるが電場が500ガウス以上になると効果に大差ないとのことである。その一般的な効果はエンジンの調子が低下することであるが、UFO目撃報告でしばしば述べられているような乱調や断続的な不調は起きなかった。

ワッツは、ワイルドマンの事件をEM効果によって分析している。これについては、別の観点から後ほど再検討するとして、ワッツの分析結果を紹介しよう。

「空飛ぶ円盤が20フィート離れたところにおいて、自動車が500ガウスの磁場(Bc)を受けると仮定しよう。そうすると、円盤から1フィートのところの磁場(Bs)は2乗の反比の法則によって次の式から求められる」

$$B_s = \frac{20^2}{B_c} = \frac{1}{1}$$

$$\text{ゆえに } B_s = 400 \times 500 \text{ ガウス}$$

$$= 200,000 \text{ ガウスとなる。}$$

磁場のガウス強度がどのようなものかという点、地球の磁場強度が0・5ガウスで、100ガウスになると時計の作動が大幅に阻害されるということから見当がつくだろう。1000ガウスになると、防磁性の時計でも一瞬のうちには止まってしまう。5万ガウス、つまり50キロガウスにもなると、その磁場を発生させる磁石の構造自体が崩壊しはじめるほどである。しかしなが

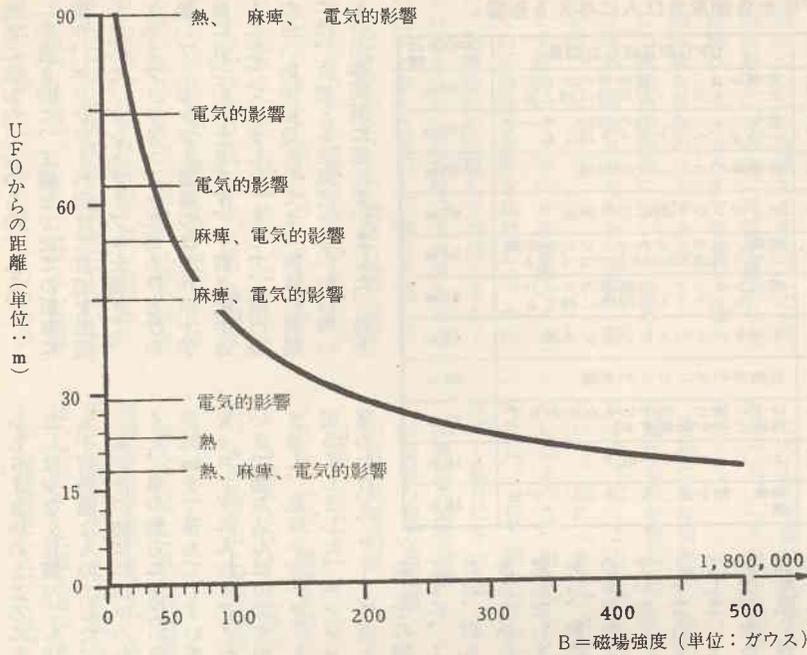


図1 電磁効果曲線 (ワイルドマンの目撃をもとに、他の身体的な影響と比較)

ら、実験室では、超伝導磁石を用いてほんの短時間ではあるがメガガウス単位の磁場を発生させることが可能になっている。

さて、これまで自動車の電気系統や身体に及ぼすEM効果の例をいくつか見てきた。また、表1には典型的な例が示してある。これらを手がかりにして、特にUFOからの距離という面か

らEM効果をさらに分析してみよう。表1にある11例のうち10例までが、自動車の電気系統に影響を受けている。ヘッドランプ、イグニッションのいずれか、あるいは両方とも被害を受けているのである。目撃者のうち少なくとも6人は、電気ショックや麻痺などの身体的効果を経験しているが、これの筋肉の収縮ということからみて同じ

ことである。また3人の目撃者は、UFOからの距離が減少するにつれ、熱あるいは熱の増加を経験している。

これらの目撃例の多くが、ワッツの使用した6mのデータよりも距離が離れているので、ワイルドマンが最初にパワーの低下を認めた18mの距離を調べるのに都合がよい。「車が18m以内に近づくと、車の変化するスピードが32kmにまで落ちてしまった」というワイルドマンの言葉から、円盤の周縁でのガウス強度は180万ガウスと計算できる。これは現在の標準から考えて、とほうもない強度ではない。

もちろん、距離の判断には誤りがあるものだが、80%の精度を仮定しておけば大丈夫だろう。

前記の数値に基づいた表1のカーブは、EM効果が距離範囲の全体を通じて示されていることを明らかにしている。すなわち、熱、麻痺、電気障害が18mの範囲だけでなく、90mの範囲でも生じている。その上、有機体へのEM誘導加熱は、普通、高周波放射を示すものである。したがって、前に紹介したワッツの実験は、もし高周波波を使用していたら違った結果になっていたであろう。事実、UFOのEM効果に関するすべての証拠は、きわめて高い周波数の振動場の存在をかなりはっきりと示している。この話を展開する前に、EM放射と重力との密接な関

係を示す別の証拠をいくつか検討してみたい。

今度は1957年にフランス南西部で起きた事件だが、これにもEM効果に関する手がかりを見つけることができる。

4月14日のこと、ヴァンスのガルシア夫人とラミ夫人は村の城の近くを散歩していた。その時、「耳をつんざくような金属音」に2人はふり返った。30mほど離れたところを、小さな金属の物体が路上低くゆっくり飛んでいた。上半分は半球の形で、下側は円錐形である。この下部の円錐は、さまざまな色の光をはなつ棒の束でできていて、めまぐるしく動いていた。しかし騒音を発したのは金属製の道路標識で、まるで発光する棒と共鳴しているかのように激しくゆれ動いていたのである。

近くの丘にいたボグリオも騒音とさげが声を耳にした。事故だと思って十字路まで駆けていった彼は、そこに思いもかけない光景を見出した。彼が後で語った内容は、夫人たちの話と細かい点までびつたり一致している。

地面まで降りた物体は、はね上がったかのように飛んで別の道路標識の上に行った。この標識も振動を始めて、「同じような金属音」をたてている。その物体自身は、静かに180mほど飛んで再び下降した。目撃者たちは物体が実際に地面に触れたと思ったが、

物体はその場で数秒間静止した。そしてついに、空中に飛び上がるとそれほどスピードを出さずに消えていった。

その後の調査で、2本の道路標識が異常に磁気を帯びていることが判明した。磁石を5cmまで近づけると、針が15度も振れるのである。3番目の標識では、こうしたことが全く見られなかった。また、物体が着陸したと思われる地点の近くに灌漑用の鉄管があったが、この鉄管も同じように磁気を帯びていた。

しかし、これで終わりではない。懷疑主義者たちにより「ウツつき、自然現象を間違えて解釈した者」としてスケープゴートに祭り上げられた人々が提供してくれる情報はまだまだ沢山あり、しかもパターンは私たちの理論にうまくあてはまるのである。

1957年11月6日、インディアナ州メリオンの近く、鉄工所に勤務するルネ・ギルハム(33歳)は、自宅の農家で光線をはなつUFOを目撃した。その円盤はブーンという音を残して飛び去った。ギルハムの妻と子供たち、それに義父も目撃している。UFOを見た翌日、ギルハムの顔はチクチクして、赤くなった。その晩、「日焼け」があまひどくになったので、彼は医者にかかった。彼を診察した内科医ジョセフ・ドレーク博士は、ギルハムの状態が、毒ツタやアレルギーによるものとは違い、「保護マスクなしにアーク

溶接機のそばで仕事をしたときに目や顔にうける」火傷に似ていることを発見した。しかしギルハムは、ここ3週間溶接機に近づいたことはない、と語っている。

放射は奇妙なことをひき起こすものである。皮膚を火傷させることもあるし、塗装に影響を及ぼすこともありうる。次にご紹介する話がウソだとしたら、これは記録にある事件のうち、もっとも手の込み、しかも費用をかけたデッチ上げということになるだろう。

1956年、トリグリーブ・ヤンセンは、オスロから自宅のあるスキーへと車で帰る途中であった。近所に住むビュフロット夫人を同乗させていた。ヤンセンにとつて、この道路は何年間も毎日通っている道である。その現象を最初に目撃したのはゲルシヨーン橋に来たときだった。背後の小さな丘から猛烈なスピードで物体が飛来し、そばの湖のところぐるっと回って道路の方へ戻ってきたのである。

ヤンセンは道路に注意していたので物体をあまひよく見ていなかった。最初、光の反射のせいか、あるいは大きな鳥だろうと思つたが、しばらくすると車のあとをつけてくるようだということに気づいた。その物体は何度も旋回し、ときどき車の横手を大きくかすめていく。

湖を過ぎたところで、UFOと車は道路をならんで進むようになった。U

F0は車の前方を飛び、道路の中央で急停止した。ヤンセンは車を止めるよう強制されているような気がしたが、UFOが高度を下げて近づいてきたので、ついに従わざるを得なかった。

車と一直線にならんでから、UFOは再び垂直に上昇すると、車の後方へと高速度で去っていった。

その物体が車の前方に停止しているとき、車に乗っていた2人とも顔がチクチクしたそうである。まるで、なにか強力な光線にさらされたようだったという。これまで何年も正確に時を刻んでいたヤンセンの腕時計は、まさにこの瞬間に止まっている。

後になって、その腕時計は修理に出さなければならなかったが、かなりの費用がかかった。時計の修理工は、強い磁力を受けたためだと語っている。ヤンセンが帰宅したとき、妻が興奮して駆けてきて、彼に新車を買ったのかとたずねた。

「いいや、どうして？」
妻は不思議そうな面持ちで車を指さした。

車は、その事件が起きるまでにぶいべージュ色だったのが、今やピカピカ輝き、色も緑に近くなっている。

この車の色の変化については多数の証人がいる。しかも彼らは、ヤンセンとビュフロット夫人から奇妙な出来事の話を書く前にその変化を見ているのである。翌日になると、車はまた元通

りの色になってしまった。

その晩、ヤンセン家ではパーティーが開かれたが、ヤンセンは食物が一口も喉を通らなかつた。どこが悪いというわけではないのだが、なぜか気分がすぐれなかつたのである。彼の皮膚は紫外線ランプの前に長くすぎたかのように、ずっとヒリヒリしていた。彼の調子は翌晩まで回復しなかつた。ビュフロット夫人もまったく同じ症状を示している。

目撃者は2人ともUFOを充分に観察する機会があつたが、翼のついた輝く円盤のように見えたと言っている。円盤は回転していたようで、頂部にはコックピットらしきものがあつた。円盤が発していた光はきわめて強烈で、緑がかった白色をしていた。光はしばしば波のように押しよせ、時々、森全体を照らし出した。

このほかにも、UFOと間近かで出会った後に車の色が変わつたという例はあるし、船が同じような影響を受けたという例も、少なくとも1つはある。科学的と称する懐疑論者たちはこれをきつと無視することだろう。もし論議の対象にするとしたら、いったいどういう風に説明をつけるのだろうか。隕石のしわざ、そんなところだろう。

もっとも、現代においては、科学者たちがとほうもない発見をしているので、このような不思議な現象がすでに解明されているのかもしれないが……。

UFOの音と回転

ほとんどの円盤は、接近したときにある種の音をたてる。また多くの目撃者の証言から、この音の発生源は機械的なものと推測するのが理にかなっている。急速に離陸するためパワーを増した場合、音はピッチを高めてから遠のいていくだろう。これは、円盤は絶えず音をたてているが、非常に周波数が高く、可聴範囲を超えているということだと考えられる。したがって、目撃報告に見られる「騒がしい」「UFOと」静かな「UFOは矛盾するものではなく、それどころか、まさに予想どおりと言える。これによって、たとえば円盤が通過したとき動物がしばしばおののくわけが説明できるだろう。というのも、動物たちは人間よりも高い周波数を聞くことができるからである。目撃報告にみられるこの種の確認は、目撃者の証言に矛盾するものではなく、かえってその正しさを裏付けるものである。

UFOの音については、すでに取り扱った「ジュッ」という音を除けば、「小鳥の群れのような」あるいは「蜜

蜂の群れがたてる音をもっと大きくしたような」低くうなる音という説明がもっとも一般的である。これらの音はなんらかの機械の作動をきわめてはつきりと暗示している。「電動モーターのような」あるいはもっと言えば「回転発動機」のような音というのが真相に近いであろう。目撃報告の中にも、これを確認する証拠がある。目撃者の多くは高空を飛ぶ円盤が、音をたてなかったが、回転していたようにだと証言している。そして、もっと近くで円盤を目撃した人の、音をたてながら回転していたという主張に同意している。

円盤着陸に関するもっとも真びょう性の高い事件は、1954年9月27日、東部フランスのプレマオーという小村で起きたものである。目撃者はすべて小さな子供で、レイモン・ロマン（12歳）、妹のジャニース（9歳）とジスレーヌ（8歳）、そして一番下の弟のクロード（4歳）だった。

その晩、彼らは納屋で遊んでいた。外はもう暗くなっていて、雨が降っていた。突然、犬が吠えたので、レイモ

ンが調べにでかけたが、もう少しで「真つすぐ立っている砂糖の塊り」のようなものにぶつかりそうになった。下の方で分かれていたようだったと言っている。それは納屋の光に反射して、ぞっとする感じを与えた。たいして気にもとめずに、レイモンが小石をひろってぶつけてみると、はねかえって「アキカンにぶつかったような音」がした。次にオモチャのピストルで、ゴムの矢じりがついた矢を射ってみたが、なんの効果もなかった。レイモンは、勇気をふるい起こして前進し、その物体にさわろうとしたが、「氷のように冷たい目に見えない力」で、あつという間に地面にたたきつけられた。こわくなった少年は、這いながら納屋に戻った。

レイモンの叫び声を聞いてジャニースが外をのぞくと、その物体は何か詰りめ物をしたような奇妙な足どりで立ち去っていくところだった。

子供たちはより集まって戸のすき間からのぞいたが、何も見えないので、家へと飛んで帰った。家に着いたとき

クロードが興奮しながら指さした。農場の下手にある牧草地の上空に、巨大な赤く輝く球体が浮かんでいたのである。子供たち4人は、その晩、ふるえながらベッドにもぐり込み、両親には事件について何も話さなかった。翌日、彼らのヒソヒソ話を耳にした教師が、レイモンから何とかその事件を聞き出した。子供たちは幽霊を見たときから信じ込んでいた。4人から別々に話を聞いたが、4人の言うことはピッタリ一致していた。

その次の日、警察は子供たちに赤い球体を目撃した場所をたずねた。「むこうの牧草地」と指さす場所に行ってみると、雨中にもかかわらず、奇妙なマークが残っていた。

「直径3・6mぐらいの円形の地帯全体にわたって、草が逆時計回りの方向にベシャンコになっていて、まるでツムジ風のとががそのまま固定されているようでした。円内にある花は、押し花のようになっていました」

またこの円内の地面には、4つの穴が正方形にはっきりと残っていた。さ

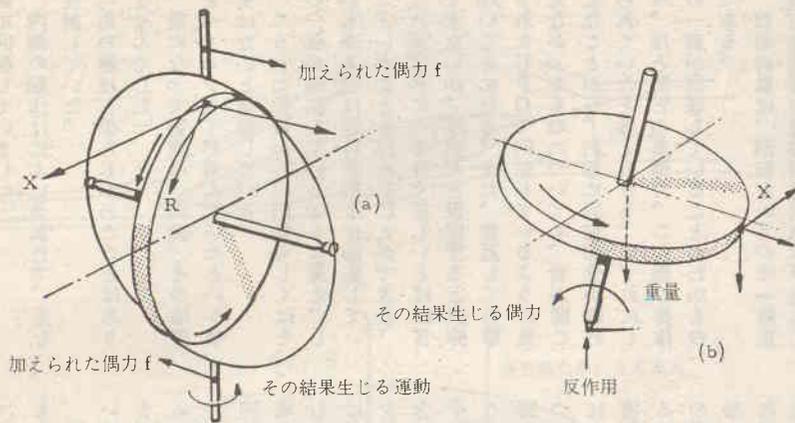


図2 回転体頂部の動力学

しわたし10cmの三角形の物体4本が、地面にめり込んだような形状で、中心部へと45度の角度をとっていた。旗ざおの側面は、地上1・5mのところ、15cmほど樹皮がはぎとられていた。その旗ざおの少し横の地面にも、三角形のマークが2つ残っていたが、停止する前にひきずられ、はね返

ったように穴が広がっていた。また、ロマンの事件で、草は逆時計回りの方向に押しつぶされ、「ツムジ風のあとを固定した」ようだったことにも注目していただきたい。次にご紹介する事件で、パイロットも同様の目撃をしているのである。

線は通じなかったそうである。今度は、ウガンダの事件である。カタンガ川の近く、カンバラから80km西の小村カワゴンに住むL・A・ベリッシャーは、直径6mを超す物体を目撃した。最初にUFOを見たとき、450mの高度で停止しているようだったという。

と考えられる。これはロマン事件のとき草に残っていたマークと一致する。「草は逆時計回りの方向に押しつぶされていた」のだから。したがって、これらの事件では、円盤を底部から見た場合、時計回りの方向に回転していたと推測できる。

1955年2月2日。エアロポストの航空機がマイケチアを出発してメリダへと向かっていた。機長はダリオ・セリス、副操縦士はB・J・コルテスである。

「明るい緑色で、ガラスでできているようでした。その物体はかすかなブーンという音をたてていました」

そこでスコットランドで起きた次の事件を見ていただきたい。カーカッドブライトシャーのバルマクレランという小村での出来事である。

「午前11時15分ごろ、緑の光をなつ機体」が本機に近づいてきました。その機体は逆時計回りに回転しているようでした。中心部には、まぶしい光を発生する赤い色のリングがあり、その上下には丸窓みたいなマークがありました」

技師のベリッシャーは、その物体が1、2分後に高度を下げて彼に近づいてきた状況を次のように説明している。彼はUFOが着陸するものと思っただが、UFOは逆にスピードを上げてビクトリア湖の方向に消えてしまった。数人のアフリカ人もその物体を目撃している。

1955年11月のある晩(午後7時半)、機械工のモリス・ブラジエ(32歳)は、文字通りこの世のものとは思えない物を目撃した。彼がニュートン・スチュワートからの帰り、ニュージーヤロウエイへのさびしい山道にさしかかったとき、山腹に光を発見した。別の車のヘッドライトだと思って、次の曲がり角で出会うだろうと予想していたところ、出現したのは巨大な発光物体だった。最初はヘリコプターかもしれないと考えたが、近づいてきたUFOは巨大な楕円形をしていることがわかった。ゆうに18mはあり、側面には青味がかかった光がついていた。そのときには、高度が12mになっていた。

セリス機長が機首をUFOに向けると、UFOは直ちに回転しながら下降し、機体を傾けると猛スピードで飛び去った。セリス機長はこの事件を無線で報告しようとしたが、無

「その物体は回転していたようで、シューというよりブーンに近いかすかな音をたてていました。なんらかの回転物体だったことは確かです」さて、回転方向に何か意味があるのかどうかまだはつきりしたことは言えないが、目撃報告に共通するものを明らかにする役には立つだろう。セリス機長の話を思い出していただきたい。UFOは飛行機と同じ高度に近づいたようにとれる。というのは「直ちに回転しながら下降した」と言っているからである。このことから、円盤は上から見たとき逆時計回りに回転していた

全身にふるえがきて、モリス・ブラジエは車を止めるまで飛び出した。彼から18mのところ、その物体は彼の左側へと傾斜して底面を見せた。「周辺にライトのついた巨大な皿を2つ合わせたような形で、時計回りの方

「周辺にライトのついた巨大な皿を2つ合わせたような形で、時計回りの方

向に回転してました」

内側の胴体はにぶい金属色で、光を反射していた。

「あの晩ほど恐ろしかったことはありませんでした」

後になって警察は、同晩、その地帯をヘリコプターが飛んでいたという事実はないと発表している。

こうした報告から、円盤もしくはその一部が回転しているように見え、しかもある物は逆時計回りに回転していたということを認めることができる。これがすべての事件で正しいとは断言できないが、事実だと仮定すると興味深いことになる。また、接近して目撃されたUFOで回転しているように見えなかったものについても、音が聞こえたことから、内部に回転部分が取められていたと考えられる。いずれにしても、ほとんどの事例で、この謎の物体の一部が回転していることがわかるのである。

以前に私は、回転というのは「無重量」の装置や重力場で空中に停止している装置を安定させるもつともはつきりした方法だと述べた。その際に、気球に似た機体についても若干触れたかもしれない。しかしそのような装置は、気球のように重心を低くすればバランスをとれるわけではない。というのは、円盤の分子構造のひとつひとつが無重量なので、重心を低くするといふことがありえないのである。したが

ってこの問題は、もう少ししゃっかいなものである。

円盤をどのように安定させるかについては次章で別の方法を検討するが、まずここでは回転体頂部の安定システムについて考察してみよう。

回転運動をする物体と、回転質量の回転面に加えられた力について考える場合、それを空間的に描き出すことのむづかしさを私は常に痛感する。例えば、回転するジャイロスコープに偶力を加えると回転面が変化する(図2a)というところまではいいのだが、もう少し説明しないと理解しにくいだろう。それというのも、一例をあげれば回転する頂部がどうしてバランスを保つか、あるいは歳差運動をするのかについては一般に知られていないが、実際にはこの2つの影響は類似しているのである(図2b)。私としてはこの現象を数学的に表現しなければならぬとは必ずしも思わないが、数学的に取り扱わないと分析を進めることができない。図2aのホイールの頂部の任意の点をとってみると、その点は絶えずX方向に動くようになっている。これに偶力Fを加えると、その点は同時に両方向へ動かなければならなくなるが、それは不可能なのでR方向へと向かう。ホイールの回転質量を形成しているどの点についてもこのことはあてはまるので、その結果、ジャイロは図示した方向に回転する。安定した回転

体の頂部の場合も同様で、図2bに示すように、図2aの偶力Fを重力で置きかえたものにすぎない。したがって、図のように支持点のところ安定化させる偶力が働く。

これと同じことが、空中で回転しながら停止している円盤についても言えるのである。その円盤が横風を受けると、言いかえれば場強度の低いところに風があたると、それが相殺されないかぎり円盤は歳差運動をするか、動揺する。もちろん、これを裏付けるUFO目撃報告は多数ある。

それでは、この条件のもとで何が起こるか、もう少し詳しく検討してみよう。図3aで、円錐形を2つ合わせた形の円盤は中心軸の周囲で回転している。この場合全体が回転していると考へなければならぬが、周縁だけ、あるいは一部だけが回転しているも同じことである。もし円盤が揚力をもたらず気流によって支えられて傾斜したら、あらゆる傾斜した飛行物体と同様に、圧力の中心は翼前縁に発生する。しかし、円盤の重心は幾何学的中心にくるので、円盤は回転もしくは失速することになる。もし重力場宇宙船のように重心が重力による揚力の中心と一致すれば、お互いに相殺しあうので図3bに示すように全体はX点を中心に回転する。

これこそ、今まで論議してきた効果である。直角に偶力が加わるので、円

盤は回転方向に応じて傾斜、右方向、あるいは左方向に進むのである。筆者はこの効果を空気力学的に円盤を制御し、安定化する手段として考えた。

というのは、制御表面が不要になるからである。必要なのは、同じ回転平面にある2つの等しい回転質量だけである。もし一方の回転質量のスピードがやや上がると、慣性の法則により、他方はそれに見合うだけスピードが落ち、その結果生じた偶力により宇宙船は右でも左でも望みのままに進んでいく。空中で停止させる場合は、一方の回転質量を停止させなければならぬだろう。というのは、前述の発生した力がお互いを相殺し合うので頂部を逆回転させるのはバランスをとるのがむづかしく、瞬間的に必要な調節を行える自動システムでもないが無理である。ただし、高速度で、動力場が広範囲に及んでいる場合は、宇宙船への空気力学的効果は作用しないだろう。

しかしながら、重力場宇宙船を安定させ、望む平面で傾け、定位させるのに、回転を利用できるのだろうか。それが必要なことは明らかで、しかも事実可能である。これは航空宇宙工学ではよく知られている効果で、慣性の法則によって軌道を回る人工衛星を定位できるのである。これは電気モーターで比較的質量の小さいフライホイールを回転させ、そのトルクでハウジングあるいはそれを収容している宇宙船を

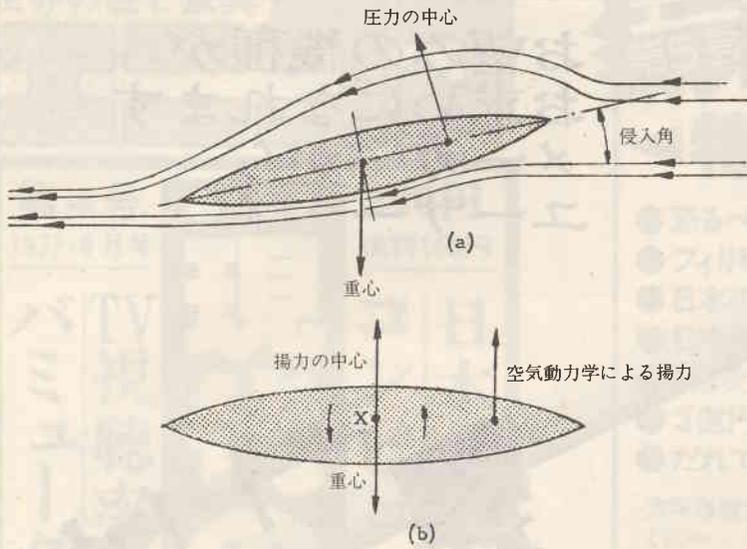


図3 空気力学的に攪乱された回転する円盤に発生するジャイロスコープの偶力

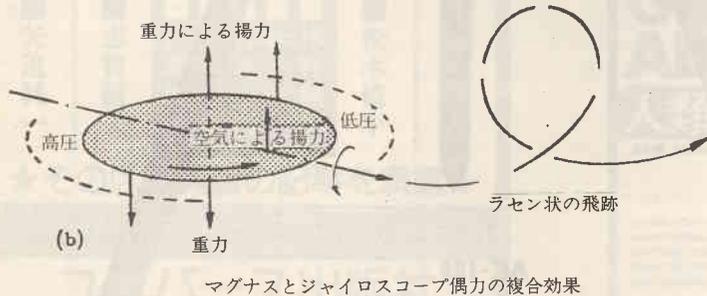
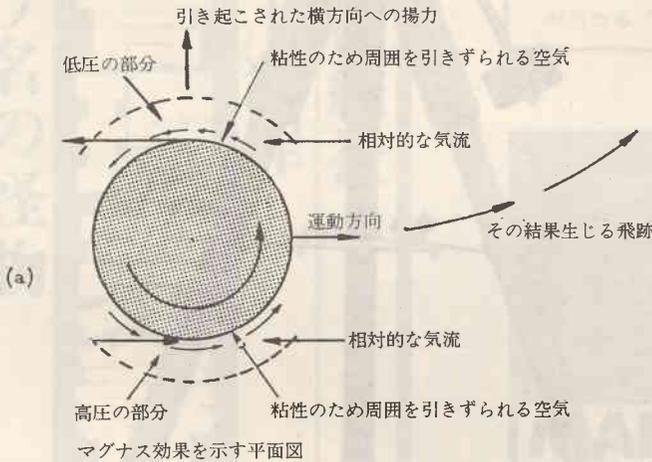


図4 流体中を回転する円盤の空気力学的複合効果

逆方向にゆっくり回転させるといふ簡単な方法である。宇宙空間でモーターを始動し、必要な方位に向いたら徐々にモーターを停止させればよい。この装置をジンバル(十字つり架)に取り付ければ、どの平面でもこの効果を起こすことができる。スペースカプセルでこれと同じ作業を逆噴射によって行っているのは、前に述べた方法だと体積と重量がかさみすぎるからである。

したがって、もし円盤が宇宙空間でも大気中でも無重量で、しかも安定装置として回転質量システムを使用しているとすれば、そのシステムを制御にも使用していると考えるのが論理的といえる。

空気力学的な力を受けて回転する円盤のジャイロスコープ理論を終わらせる前に、もう1つ考察すべき点がある。それは「マグナス」効果として知られているもので、図4aにその原理を示している。

急速回転している厚い円盤もしくは円筒が移動気流を受けると、1方向に空気力学的な力が発生する。これは図からわかるように、回転質量の両側を通る気流の相対速度によって生じる圧力差によるものである。この原理を利用して、回転円筒から揚力を得ている風がよく知られている。このことか

訳/中村省三

お望みの機種が
お求めになれます
メーカーから
ユーザーへ!

サテライト 天体望遠鏡

★ヤマモトの天体望遠鏡は
海外(アメリカ、フランス、
イタリア、ベルギーetc.)
で絶賛を博しております。

★この他多機種とりそろえてい
ます。詳しくは 250 円切手同
封の上カタログをU係へご請
求ください。

株式会社 **山本製作所**

〒174 東京都板橋区大原町5-3
☎(03)966-2408

AE-108

●有効径：108mm

●焦点距離：1600mm



世界の謎と驚異

エニガマ

第4号

1977・6月号

TV視聴率という名の怪物
バミューダ海域見聞行

■ 矢追純一

■ 志賀信夫

●特集● 現代の管理売春

■ 猪野健治
■ 松永伍一
■ 日夏明
■ 松崎博和
■ 佐藤悦子

390円
送料160円

日本の最高秘密結社
コンピューター犯罪
皇族の忍び集団
赤間剛
■ 松木修平

★そのほか興奮の記事を満載★

全国書店にて絶賛発売中!

ユニバース出版社

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル
電話(832)1341~1344 振替・東京1-119478

エニガマ

第5号予告!

6月25日 ¥430
全国書店で発売予定

◀特集・超能力▶

- 恐るべき超能力スパイ! 中岡俊哉 (現地取材)
- フィリピンの驚異の超能力手術
- 日本の巨大地震はいつ発生するか?
- 日本列島は沈没するか?
- 第3次大戦は発生するか? 一流超能力者数名による予知と透視結果を大公開!
- 3億円事件の犯人を透視
- だれでもできる超能力開発法

太平洋戦争の秘密兵器 / 驚異のピラミッド・パワー / キリストは日本で死んだ / 謎と幻の大陸アトランチス / 恐怖のバミューダ海域決死の潜入 矢追純一シリーズ / 日本列島宝探し(東京の巻) / その他すばらしい記事を満載。

■あなたの超能力を開発しよう! 豪華賞品が当たる「読者のテレパシー・コンテスト」



アポロ計画 大写真集!

●世紀の大冒険「アポロ計画」の全貌公開。アメリカ航空宇宙局(NASA)提供による真実のカラー写真119点、モノクロ写真11点があなたを未知の宇宙へご案内します。

●本書(BRMセラー社版)は横寸5cm、タテ寸3cmの特大版で本文種上アート紙使用、硬厚手装紙カバーつき、総頁数128の豪華写真集です。詳細な英文解説に別冊日本語版(全訳)がつきます。

●科学研究者・天文ファン、学校・図書館等の公共施設にももちろん、ご家庭の教育図書としてもぜひ一冊おそなえ下さい。
定価11,000円
(税別送料600円)

MAN'S GREATEST ADVENTURE

人類の最大の冒険

BRM SELAH社版

●本書はユニバース出版社内独占販売のため一般書店ではお求めできません。ご購入の場合は、代金を現金書留または振替で直接当社業務部までお送り下さい。なお5日間無料でお書をご覧になれる方法もあります。ご希望の方は当社営業部まで資料(無料)をご請求下さい。

国内総販売元
株式会社 ユニバース出版社

〒110東京都台東区上野5-1-6ヤマトビル 電話東京(832)1341



声 OPINIONS

星を見る日にはいつも UFOが出るんです。

黒沢正彦
〒086-118 北海道日置郡羅臼町
麻布町

ぼくの相談のつて下さい。ぼくは夜空を見るのが好きで、天気の良い日は毎晩星を見えています。星を見る日はいつもUFOがでるんです。それで、ペランダで10枚ちかくUFOの写真をとりました。まだ現像していませんけれど、UFOの大きさはたいして大きくなく星ぐらいいです。ジグザグ飛行したり一晩のうち5・6回見る日もあります。北海道にUFOが集まっているところとは書いていましたが、こうまでとは知りませんでした。そしてテレパシーを使うとなおです。なぜでしょうか？

それから、外国切手約500枚を切手帳共、5000円前後でいかがでしょうか。連絡ははがきで。こちらから切手をお渡ししてからお金をいただきます。

UFO研究は好きだけど、宇宙人に会うのが恐ろしい。

宮野由裕(14)
〒089-32 北海道十勝中川郡本別町上押帯

日本の、世界の、いや、宇宙のみなさまに知っていたため、3ヵ月ぶりにペンをとりました。

身長165センチ(中ぐらい)
体重158キロ(筋肉美)
趣味1)BCL、天体観測、読書
バイク(見るだけ)

家は農家で、牛50頭、にわとり20羽、犬2匹、ねこ3匹、その他すめとねずみ多数。ぼくの部屋は弟と一緒に十畳間。ぼくの家の近くには黒い石が多く(こちらでは十勝石という)、石器も幾つか見つかったこともありま。

みなさん、ぼくのことをわかって下さいましたか？ 趣味にUFOを書けなかったのは理由があるのです。UFOは、真剣に研究すべきも



●阪上清久(画) 茨城県土浦市

ので趣味とは違うと思うからで、みなさんもきつとそうだろうと思えます。

もう一つ、ぼくはUFO雑誌を読んだり写真を見たり、研究したりするのは好きだけど宇宙人に会うのが恐ろしいのです。

こんな弱気なぼくだけど、考え方は万物平等、たとえハエでも人間には殺す権利はないのです。だいたい前に「空飛ぶ円盤同乗記」を読み、他の世界の謙虚さと喜びに満ちた暮らし、指導者のすぐれた理解力などを感激しました。それにしても、地球人の何と貧弱な理解力よ！

そこで、読後のこの充実感としあわせを少しでも他の人に分けたいと思います、まず弟に話したところ「メンがますますなる」……にカクタン。ああ、ぼくの努力はどうなるのだ。しかし、みなさん、失望とはもともと消極的な言葉で、他の世界にはないのだなと文通して下さい。女性の方とくに歓迎。

テレビのUFO番組はあまりに幼稚なごまかしが多すぎる！

段塚由利
〒731-01 広島県広島市佐東町
緑井1172

私は、最近のUFOブームでとても気になることを書きます。

アダムスキーはサイレンス・グループにつきまともわれましたが、私達がUFOをより深く知ろうとする時やはり大小の障害があることは残念です。

まず、書店に本がありません。価格はほとんど上がり、1年ほどで2倍になったものもあります。注文すればしたで、アダムスキーの「テレビパシ」や「生命の科学」等は、1ヵ月以上になるのに出版社からはナンツぶで、どこへレポートしたのやら、「蚤の市」が繁盛するわけですよ。

ユニバース出版社で、アダムスキー関係のものをまとめて出してくださることはできませんか。また、テレビがたびたび特集を組みますが、実写フィルム、なぞの発光体の特有の動きが手ぶれであったり(双眼鏡で星をみれば全部UFOかと思えるほどです)、UFOに追われたという人を催眠にかければ恐怖にかられるべき場面に、冷静沈着、声の乱れもなかったり、あまりに幼稚なごまかしが多すぎます。

アメリカ、ソ連等は、軍や科学者が各々専門分野で現実に取り組んでいるところ、日本ではこれはいつまでたっても「子供だまし、マンガの延長」という認識しかされないでしょう。

日頃、意欲的に啓蒙活動をしてい

るユニバース出版社が、安易な番組に名を連ねないで下さい(テレビは確かによい媒体です)。

テレビが初心者向けというなら、それを1度見ただけで、UFO全体を、こんなもんかとバカにして、離れていく人達の多さを考えて下さい。何度失望しても、UFOと名がつけば本を買いあさり、空を見つめてる私たちは、ごくわずかではありませんか？

石頭人種にもアピールするだけの企画はないものではないでしょうか。テレビは、アダムスキーを問題にしません、彼が1956年の終わりに撮った宇宙機の16ミリフィルムなど、放送されたらどんなに有意義でしょう。

同志のみなさん、がんばりましょう。ではまた。

本誌創刊号を5000円で売ることを、みなさんは許せますか？

松島 智
〒321-01 栃木県宇都宮市末広
1-13-9

今年からは「創刊号5000円で」などという悪徳取引は、やめていただきたいと思えます。4000円も利潤を得る(？)こんなことをみなさんは許せますか？ それを欲しい人がいるなら仕方ありませんが譲る立場の人は原価と送料ぐらいにとどめてほしいと思えます。利潤を得ることは不当だと思えます。今、私達には、少しでも多くの人々の目を宇宙に向けさせる責任があるのです。この本によって宇宙に心を開いたのと同じように、全地球人が宇宙人を受け入れてくれるまでは、私達が努力しなくてははいけないので

す。またそれと同時に、このみにくい地球を少しでも正常にしくなくてはいけないのです。こんな責任を持つた私達で、こんな悪徳なことをしていいのでしょうか。宇宙人は奇醜でみくいの世界を美しくするために来ているのです。私達は宇宙に心を開いた一員として、1日でも早く宇宙の友と会えるような心を持ちたいのです。

私たちが宇宙人を受け入れるには、素直で純真な心がなくてはなりません。うらみ、そしり、ねたみ、いかり……さまざまの悪心が消えた時、地球は理想郷となり、宇宙交流時代がはじまるでしょう。

私も努力しましたが、なかなかうまくいきません。みなさん、がんばって下さい。

宇宙人は今の地球人を見て、あわれな生物だと思っっているかも……

福元忠実
〒891-04
鹿児島県指宿市十二町807

最近、ほうほうで起こっている地震、異常気候、さらに核軍備など、さわがし世の中になりました。これら数々の危機を逃れるのはむずかしいことですが、その対策として今、何を行っているのでしょうか。

むしろ、アメリカやソ連などでは核兵器などの開発を行っているのです。人類が危機だというのに、このようなバカなことをしてよいのでしょうか。もはや国家のことより、この緑の地球のことを考えるべきではないでしょうか。

ぼくは中1の時、同学年の人たちに「あなたは地球に大変動が起きたらどうしますか？」というアンケート

をとったところ、「死ぬ」と答えた人が圧倒的に多かったのですが、なぜか悲しくなっていました。

なぜ最後まで生きようとしたのだらう。人類が今こそ滅亡しないならこれまで長い年月をかけて育ててきた科学も音楽も、すべての文明がこの世から消えてしまえば、2度とよみがえることはないのでしょうか。

宇宙人たちは、今の地球人の行動を見てどのように考えているのでしょうか。「あわれな生物だ」と考えているかもしれません。

先日、県文化センターで地球物理学関係の人の話を聞きましたが、その人たちの話によると「地球に人がふえすぎたら、人間を徴んだ大きな円柱形の都市を地球の軌道にのせ、また工場などは他のカプセルの中に入れて一緒に地球の周りを回るとい

う計画を立てています」と話していました。いまからでも決して遅くはありません。

みんなでの地球のことを考え、生き抜くことを考えましょう。

また、13〜15歳の方でぼくたちの研究会TUCに入って下さる方はぼくのところまでご連絡下さい。

それから、UFO写真を譲って下さい(カラー100円、白黒70円共)。なお、金曜スペシャルの「バミューダ三角地域とUFO」を1時間カセットに録音してあります。詳細は往復はがきで。

アダムスキー以来20数年経過した今も、何と進歩のないことか。

平賀伸一(17)
〒937-01
広島県東市広町17636小坪

最近、TVや雑誌などでUFOのことが取り上げられています。みんな虚々実々で、TVのアノメでは宇宙人は地球を侵略するのときめつけられてしまいました。マスコミは否定や抽象論ばかりで非科学的かつ封建的、単に真実を曲げるのみで全く無責任極まりなく、大いに反省すべきでしょう。

UFOを非現実的で非科学的なものだという人や、UFOは絶対無いこととは無いといつて話を茶化す人、心霊とごちゃ混ぜにする人、SF小説と間違える人等々、全く人類とは、この問題に関せず、アダムスキー以来20数年経過した今も、何と進歩しないことでしょうか。

巷では相変わらず、実在論者、非実在論者の議論が続けられていますが、遅ればせながら、この問題

に関して結論を出してもいいのではないのでしょうか。

もちろん、これには必要です。多くの人の声が必要で、貴社

や読者諸君に多分にご尽力いただきたいと思えます。そうすれば、おのずとUFOに対する偏見も小さくなります。要は私達の力一つにかかっているのです。

みなさん、それを忘れないで研究して下さい。私達、広島高校物理部では、これに関し話し合える人を求めています。

また、J A 4 Y B Z、J H 4 D E Sのコールがアマチュア無線バンドで聞こえましたら、UFOについて語り合えましょう。

みなさんのご意見、反論をお聞かせ下さい。

「蚤の市」欄にひとこと、少々意地になつて言わせてもらいます。

藤咲知朗(中3)
〒321-01
栃木県宇都宮市富士見町10-4

21号の斎藤さんの「つめたい太陽」については、ぼくも信じられませんでしたが、しかし16号のコンタクト事件で宇宙人も言ったと信じないわけにもいかないではありませんか。ぼくは、ずっと前に「キリスト宇宙人説」を読んだことがありますが、その中でもやはりそれにふれて



●西元朗(画) 大阪府豊中市

います(ぼくはキリスト宇宙人説肯定者です)。

とにかく黒くつめたい太陽の概念は中世いやムー大陸の伝説のあるあたり(聖なる靈感の書)をさすから伝えられているのです。

「蚤の市」についてひとこといわせていただきます。「タダで譲って下さい」大いにいいではありませんか。損得は別として、やさしい人

にすがりたい甘えたい、結構じゃないですか。それがいいかわるいか決定するのは送って下さらうとするその人です。うそも方便」の関連はどこにあるのですか。それよりむしろ

金で解決しようと高い値をつけるより余程いいと思えますよ。善悪のみで譲られた方にはまことに失礼ない方かもしませんが……。考えてみれば蚤の市は譲って下さいなんですか? はっきりいって売ります買いますよこれは。ぼくも21号10頁1段から2段目にかけて載せていただきましたが、同号であのうた

もつと広い宇宙に目を向けようではないか。

井上浩一
〒709-08
岡山県赤松郡山陽町

この間ぼくは、デニケン著の『未来の記憶』を読んで面白くことに気づきました。角川文庫の52ページに、「アフガニスタン北東部ヒスタンの山地のある洞穴には1万年前の正確な星図が描かれており、金星と地球は直線によって結ばれている」とあります。

そうです、1万年前から地球人と金星人との間には交流があったのです。そして金星といえば、すぐみなさんはG・アダムスキーを連想するでしょう。そして金星人がとても友好的なこともご存知でしょう。もし

現在の地球人は知らない間に宇宙の兄弟たちと仲良くなっているのかもしれない。

1999年宇宙人たちのために地球人が滅びるという人がいますが、地球人さえ友好的であればそういうことはないと思えます。地球人はもっと広い宇宙に目を向けなくてはならないのです。

らな

文通しよう

ほ くは、アダムスキーの『UFO同乗記』を読むまでは、UFOには恐ろしい顔をした宇宙人でも乗っているのかと思っていました。『UFO同乗記』を読んでからは一刻も早く宇宙人に会いたい、大師の話を聞きたいなど思っているのです。ぼくは今、同じアダムスキー著の『宇宙哲学』を読んでいます。どれもこれも反省することばかりです。とにかくこの小さな絶対に消えないロケットを広めていこうとがんばります。ところで、ぼくはまだ1度もUFOを見たことがないので、見たことのある人は目撃談を聞かせて下さい。お手紙を待っています。

全 国の金丸さん、お便りください！ 当方は、金丸という名の人と文通する会'です。仲北剛子(18) (〒616 京都市右京区嵯峨明星町5-15)

札 幌市内かその近くの14~16歳の方、私と文通してください。木浪三知子(中2) (〒065 北海道札幌市東区伏古4-3)

私 は20号に載った杉本君と文通している者です。彼の意見には全く同感、実践とは容易ではありません。しかし、私は確実にゆっくりと魚のように進んでいきます。この私と近県なるべく市内とか県内の人でGAP会員それに興味のある方実践をしている方、お手紙または電話を下さい。特に女性歓迎。長尾俊明(高2) (〒631 奈良市西登美ヶ丘5-1-12 電話0742-436987)

宇 宙、生命哲学、古代文明などに興味のある女の方、私と情報交換あるいは文通しませんか。私はほんやりしているのが好きな大学生です。また本誌創刊号をお持ちの方は適価で買って下さい。大沢邦男 (〒306 茨城県古河市観音寺町68-45)

全 国のUFOと宇宙に関心のある女性の方、私と文通しませんか。お手紙待っています。信定芳雄 (〒591 大阪府堺市新金岡町3-18-7-1105)

名 古屋付近かまたは長野県に住んでいて日頃から宇宙的フリーリ

ングを起こす練習をしているGAP会員の方、未熟な私のために話し相手になって下さい。連絡は、はがきか手紙でお願いします。手塚太一(19・学生) (〒466 愛知県名古屋市昭和区山中町2-127 近藤幸夫方)

地球を調査するため 飛来する目的を率直に言えば地球の調査・研究だと考えられる。他にも目的があるのかもしれない。調査といっても、地学的なのか、生物学的なのか、その辺のことに上つてはわからない。おそらく詳細に知る人はいないのでは――。

UFOの飛来目的は何か



●渡辺俊二(画) 神奈川県横浜市

みんなで楽しく「UFOと宇宙」を
その点
はやは
り、解
明まで
には時
間がか
かるで
しょう
ね。下
山浩
之(群
馬県新
田郡)
見の人
たち)
升沢優
子白

地球を侵略するため

UFO飛来目的は? と問われれば、私は地球侵略説を答える。よくUFOは地球人の友好を求めて、救済のためになどといわれるが、全くその逆である。なぜって、その気があればもっと友好的な態度を示すはずだからである。

地球を救済するため

UFOは科学にそして工業に汚染された人類を救済するため飛来して来ると思っています。私たちの地球は公害のために悩まされています。21世紀にはその影響で海や川に魚が住めなくなる。陸地では農薬のために動植物は死に絶え、汚染された土じょうでは農作物が採れられません。食料危機のため、人類は滅亡するといわれています。それとも核戦争が起こって、自滅するかもしれません。そうならない前にUFOが救済してくれるかもしれません。しかし38億もの地球人を運ぶこ

地球を救済するため

とはUFOでも不可能でしょう。ですから私たちの中から、すぐれた者だけを他の天体に運んでくれるのではないかと思うのです。

地球を救済するため

本誌23号に「私たちはUFOにさらわれた」という記事がありましたね。私はなぜ人間をさらうのか疑問に思っています。UFOが人間をさらうのは、私たち人類が他の星で生存できる体質にあるかどうか調べるためだと思います。つまり救済するためです。いまから調べているんです。土橋新一(北海道中川郡) <同意見の人たち> 早石芳紀 高田育宏 土田宏

海外のUFO事件でも、似たような調査をされているようだ。ときには地球人を身体検査するようないこともあるようだ。地質や地球上の天気、気象観測も含め、あらゆる方面から調査・研究を目的としているのだろう。UFOの書物を読んだりしている、UFOは地球に旅行しに来ているようにも思える。

以上の方が UFO の実在を信じ、約 15% の人が UFO を目撃したことがあるという、我々 UFO 狂には大変うれしき数字がでました。一般の人々がこれほど UFO を信じ目撃しているとは……。

ところで、ぼくらの UFO 研究会は発足してまだ日も浅く、会員も男子だけです。そこで近頃の女性 UFO 研究グループの方々、われわれと資料交換、UFO ディスカッションなどの交流をしませんか？ 先に書いたアンケートの結果などを載せた会誌もさし上げます。20世紀最後のロマン、UFO について共に語り合いましょ。まずは手紙で！

樋口裕見 (17)
(〒603 京都市北区衣笠西馬場町 43)

み なさん、最近ますます本の値が高くなったと思われませんか。そこで私は同じく持ってる UFO や超自然現象に興味を持ってる人達、自然現象に興味を持ってる人達、本の交換などをしていいます。私もその分野の本はわずかながら集めていますが、手渡しできる方とは様々な本を交換してみたいと思います。また、遠方の方は文通で知識や情報などを交換しあいたいと思ってるのですが、どなたかお便り下さい。

坂口かをり (学生)
(〒803 北九州市小倉北区真鶴 2丁目 2-24)

私 は UFO に大変関心を持っていてます。UFO に興味を持っていてる方で、努力しているけれど、いまだかつて一度も見たことのない方は至急ご連絡下さい。私の経験により、テレパシー (想念) で UFO は必ず見られます。だれにでも見られます。ただし、この方法は忍耐と努

力が必要です。とにかくご連絡下さい。私は多くの人に UFO を見てもらいたいです。お便りお待ちしております (50円切手同封の上)。

大石則昭
(〒421-01 静岡市丸子新田 242-16)

初 めまして私は UFO の存在を信じている男性のひとりですが、UFO に興味のある 20~30歳の女性の方、文通して下さい。また、円盤同乗グループを作る予定です。千葉県内で直接会える方に限りです。

山下和一 (26)
(〒239-11 千葉県八街町東吉田 98-1-1)

ほ くも数多い UFO ファンの 1人ですが、いまだに UFO を見た見つけ方の秘訣を教えてくださいませんか。それから UFO 探知機についての資料やパンフレット等を教えてください。

まだ一度も UFO を見たことのないほくに愛の手を：
川口卓男 (15)
(〒659 兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町 32-2)

私 は UFO と宇宙に興味をもち、ひそかに 1人で研究しているものです。でもただ専門誌を読むだけでなく一度も UFO を確認していません。

そこで、だれか UFO を確認した時の体験談、UFO を発見する独自のの方法などを教えてください。

福島 進 (20)
(〒016 北海道富良野市日の出 2-3-3)

はその最もな例であろう。全米で 5千頭もの牛が奇妙な殺され方をしている事を考えれば、莫大な被害ではないか。

UFO……いまもって正体はつかめていない。その不可解な行動は私たちを不安に陥れる。人類の危機は迫っている。結論を急ごう。

UFO でやってくる宇宙人は自分たちの星の資源を使い果たしたか、あるいは何らかの理由で住みにくくなったため、新しい星を探して地球を征服しようとしてるのである。その偵察行動として発電所、軍事基地、ロケット発射場、工業地帯に現れるのである。

川瀬功生 (三重県員弁郡)
〈同意見の人たち〉
原口徹也 磯部剛喜

●目的は UFO により様々

- ①地球を援助するため
- ②科学的な調査 研究のため
- ③旅行中に立ち寄るため
- ④地球侵略のため
- ⑤宇宙のオアシスとして

これらには各々根拠があります。

①イギリスのリーダーに U Ⅱ Z という文字の UFO 編隊が映った。U Ⅱ Z の意味は、U はワラン、Z は最後で、ワランをもてあそんでいると最後が来るという警告サインらしいのです。その他、G・アダムスキー説も同じものです。

②これまでの目撃報告から推測される。

- ③仮説でしかないのだが。
- ④地球には、まだまだたくさん資源がある。宇宙人にしてか発見されていないものが、かならずあるはずである。
- ⑤水や大気の豊富な地球は宇宙空間のオアシスにちがいないからだ。

地球に来る UFO は同じ星からでなく、それぞれの星から来るのだと思う。だから、星によって飛来する目的が違うのだ。

種市雅彦 (青森県黒石市)
〈同意見の人たち〉
伊藤輝男 豊嶋啓悦 小林一夫

●危険を警告するため

地球人に警告するためだと思う。ある UFO の本に、UFO に乗った地球人が「あなたたちは自分の手で地球を破壊しようとしている」と警告されたという。

たしかに地球人は自然を汚し、公害に苦しめ地球を破壊しつつあるといえる。

江口孝子 (山形県東村山郡)
〈同意見の人〉 三枝 浩

●地球文明を促進するため

異星人が我々にアプローチし始めたのは、原子エネルギーを開発した地球の科学技術力に興味を示したから。宇宙に目を向け始めた地球人にコミュニケーションを希望して、自分たちと同じレベルの交流を実現するために、地球の科学力や精神面を一層飛躍させる目的で大改革を計画しているのではないか。

伊藤重信 (札幌市中央区)
●宇宙人は ロマンチスト

宇宙人だってたまには何も考えないでロマンチックな気分の方の散歩。くれゆく美しい地球を上空よりドライブすることだってあるでしょう？ 私たち地球人が旅行したりドライブしたりするように！

●その他

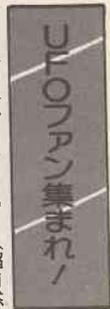
宇宙警察に追われた犯罪者を追ってやって来る。

熊倉武彦 (栃木県)

●UFO の推進原理は何か

今回も全国のみならず多数のご意見をいただきました。次回は右記のテーマに対するご意見をお寄せください。誌上掲載は 7月 20日発売の「UFO と宇宙」25号です。縦書き 20字詰×40行以内、メ切 6月 10日の消印まで。

ユニバーサ出版編集部「声」係



私たちは、SHFROR (超自然現象調査最高司令機構)と称する小さなグループのメンバーです。

研究目的は①UFOの存在目的②UFOと人類の関連性③地球防衛問題などについてです。現在会員を募集中ですが、UFOに関心のある方一刻も早くご入会ください。

磯部剛喜 (〒289-21 千葉県八日市場市1-8-1736)

このたび「日本宇宙研究協会」では、機関誌を発行しはじめました。会そのものは発足3年目です。UFOに興味のある方ならどんなにでも！50円切手同封して下されは案内書をお送りいたします。

中村智彰 (〒120 東京都足立区谷中2-1-315)

地球洞説に関心のある方、その方面での研究グループを作りませんか。本気でやる人はご連絡下さい。

大畑公正 (〒107 東京都港区赤坂9-1-11)

9 岳南寮 (〒107 東京都港区赤坂9-1-11)

全 国のUFO・心霊・超能力キチガイの諸君！わが「くらやみ倶楽部」に入会しませんか。これから研究しようとしている人でも結構です。会誌などもあります。入会希望の方は、はがきか手紙で連絡して下さい。

青木一美 (代理) (〒123 東京都足立区江北4-1-22)

124-406

私は一人でUFOの研究活動を続けているものです。現在学校新聞にUFO記事連載中です。今度UFO研究会を結成しようという計画です。ので参加しようと思う人、気軽に手紙下さい。

星屋 正 (17) (〒412 静岡県御殿場市中畑1-9-812)

全 国のUFO研究家の諸君！ぼくといっしょに「JPN UFO」研究会を作りましょう。くわしいことはお手紙下さい。待っています。(先着30人限り) 塚越康雄 (12) (〒639-22 奈良県御所市竹田7)

こ んばんは！もうUFOをごらんになりましたか？私たちが「Let's Look UFO」というクラブを作りました。(現在2人)私たちと一緒にUFOを追いかけてみませんか。学年と自己紹介などを書いておはがき下さい。はがきにはお返事は必ず書きます。どちらでも！安見広美 (中3) (〒332 埼玉県川口市芝903)

千葉千鶴子 (中3) (〒332 埼玉県川口市芝南町3301)

ほ くがUFOにひかれたのは、まだ小学生の時、学校帰りにUFOらしきものを見てからです。それからUFOに関する本を読みあさりはじめ、本誌も5号から読んでいます。そして、今まで新聞やTVなどでUFOが出現したという土地へ足を運んで、実際にUFOを見た人からいろいろなことをきき自分なりに

まとめています。今までまとめた大書ノートは6冊になりました。これからも続けていくつもりです。それからUFO研究会を作りたいと思えますのでご連絡下さい。不思議なことにはよくが入社した会社はユーホー産業株式会社なのです。武田光男 (21) (〒587 大阪府茨木市宿久庄485大成化工社宅402号)

私 たちは「日本UFO研究会」を作っています。会員は2人しかいないのであまりよい研究は出来ませんが、これからは全国のみならずいろいろな資料などを交換しあって楽しい会にしていこうと思えます。どうかこの会に入ってください。会費は70円です。電話の連絡も結構です。

樽木孝夫 (〒74 大阪府大東市諸福6-1-7) 7 宏和住宅2号館305号JUS)

●清水克浩 (画) 東京都江東区



私 は小さい頃から宇宙のことがひじょうに好きで、大人になっても、UFOや宇宙のことを考えていきたいと思っています。私といっしょに研究会を作って、宇宙人のなぞを確かめようではありませんか。小中学生を主体にしたグループにしたいと思えますので、男女を問わず是非入ってください。何かご意見のある人お手紙下さい。

金村美智子 (〒546 大阪市東住吉区平野西之町1-1)

ユ ニバーズ出版社並びに全国のUFOファンのみなさんこんばんは。私が本屋ではじめて「UFOと宇宙」を手にしたとき、この世にこんなすばらしい本があったのかと非常に驚きました。それ以来、私はどの本よりも先に買うようにしています。ついこの前、テレビでUFOのトリック写真について放映されましたが、その写真の数があまりに多いのに驚いたと同時に腹が立ちました。なぜそんなトリック写真を撮るのでしょうか？たとえトリック写真を撮ってもトリックとして発表すれば無害ですが、トリックとしてでなく単にウソをついて騒ぎ立てるから本物のUFO写真までが信用されなくなるのではないのでしょうか。私は今回「くらやみ倶楽部」というものを結成しましたが、超常現象、UFOの資料や情報、それに会員も募集しています。研究する内容は超能力、心霊現象、UFO、その他不思議なことを書いて送ってください。

○簡単な自己紹介 ○他の会に入っている方はその会名 ○住所・氏名・年齢・職業 宮崎恒夫

(〒389-25 長野県下高井郡野沢温泉村前坂)

私 たちはUFO (UFO研究クラブ)を76・5・28に結成しました。成果はよく、10数回目撃しました。写真にも収めましたが、あまりにも小さすぎます。ただいまメンバーを募集しています。くわしくはがきで……。伊藤和彦 (〒113 東京都文京区根津1-22113)

U FO 研究観測隊を結成しました。ただ今、隊員を大募集中です。UFOに興味をもっている方、男女を問わず、どなたでも大歓迎です。お持ちしています。岩本栄作 (〒649-02 和歌山県海草郡下津町下津神田1275)

今 度、UFO・ESP・催眠術・心霊・四次元などに興味をもったもの同士が集まり大学内に研究会を作りました。それで今後の研究のためにいろいろな資料、本、あるいは切りぬき、コピー、写真、ネガなどが必要になり、それらを譲っていただけたら幸いだと思います。また私達の研究会に「このような研究をしてくれ」という要望がありましたらご連絡下さい。

有園英雄 (19) (〒890 鹿児島市高麗町4-1-34)

「UFOと宇宙人、真実を伝える会」を結成することになり、会員募集中。UFOと宇宙人の真の目的、正体などを知りたい方は返信用切手同封の上、ご連絡下さい。丹野良子 (17)

(〒981-02 宮城県宮城郡松島町幡谷字行下55-11)

私はUFOと宇宙のあらゆる現象に興味を持ち、UFOを生産追いつけていきたいと思っています。しかし、私の周りにはUFOなどを理解してくれる友達がなくて、さびしいのです。そこで今度、UFO研究会を作ってお互いに理解し合い友情を深め合おうと思いいちました。私自身、まだUFOについては知らないことが多く未熟ですが、なるべくなら会って話のできる近くの方で私と同じ考えをお持ちの方、ご連絡下さい。ともがらばろうではありせんか。

内海 修(15)
(〒991-01 北海道美幌市峰延公園町)

小 さいなながらもUFO研究会を作ったのですが、会を全国的に広めたく思い、さつそくペンを取りました。会誌なども人数が多いほど安くできます。本場にUFOに関心がある方どうぞご連絡(往復はがきで下さい)。
登坂祐明(15)
(〒484 愛知県犬山市字横町98)

全 国のUFO研究者諸君! UFOその他の研究を一緒にするための、10人ぐらいのグループを作りたいと思います。UFOの写真や資料を沢山お持ちの方の入会をたくに歓迎します。別に何もなくてももちろん歓迎します。希望者は50円切手同封の上ご連絡下さい。
赤松徹郎
(〒981-42 宮城県加美郡中新田町)

宇南町180)

ほ くはUFOに深い関心を持ち、研究会などという大それたものではなく、ただのニューホロジストの集いになってほしいから会を結成したいと思っています。つきましては、すでに研究などを実際に運営されている方々の意見を伺いたく、活動内容や発足当時の失敗談、また注意事項など、何でも結構ですからアロバイスして下さい。
岡岡浩紀(15)
(〒683-14 鳥取県八頭郡智頭町智頭2051)

本 誌「声」欄にはいろいろな意見が載せられていて面白く、毎号楽しみにしています。個人の意見は

尊重されるべきだと思いますが、中にはずいぶんへんなものもありますね。科学主義には反対ですが、証拠もない空想はUFO研究とはいえないと思います。それにしてもUFOに関する見解はさまざまで、一体どれが本当なのか、それとも、それらはみんな間違っているのでしょうか。当会への入会を歓迎します。
谷川つとむ
(〒001 札幌市北区新琴似10-114 札幌UFO研究会 代表逢坂輝夫)

希望の方は50円切手同封の上、ご連絡下さい。詳しい案内書を送ります。
山田賢悟
(〒572 大阪府寝屋川市平池町2518)
UFO&ESP研究会を結成いたしました。会員募集中です。
三浦英樹
(〒987-22 宮城県栗原郡築館町字宮野屋敷前20)

夢あい音楽会
フアンタジー・ピクニック
日時・6月12日(日)PM11:00
場所・日比谷野外音楽堂
出演・リリー、西岡恭蔵、他
入場料・千円(前売券八百円)
主催・開けこま 会(411) 1804

宇宙からの訪問者

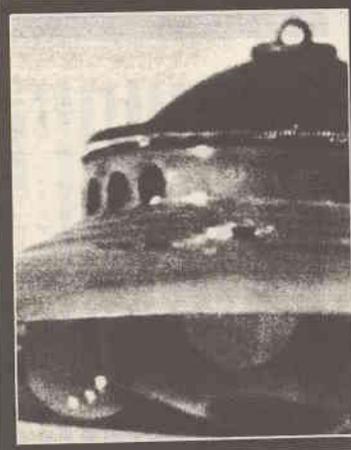
米ジョージ・アダムスキー財団より翻訳合本出版権獲得!

偉大な惑星人との会見記

●空飛ぶ円盤は実在する! 遠い惑星から、偉大な進化をとげた人類が、大宇宙船を駆つて地球の救援に飛来……壮大な宇宙空間の大スペクタクルと驚異的事実をつたえた本書は、まさに20世紀最大のドキュメントだ!

絶賛発売中!
定価 1300円 (〒160)

20世紀最大のドキュメントだ!



ジョージ・アダムスキー/著

久保田 八郎/訳

●「空飛ぶ円盤実見記」「空飛ぶ円盤同乗記」として名高い二点の記録書をアダムスキー研究者として著名な久保田八郎が流麗平易な訳文により全面的に改訳、「実見記」のうちアダムスキーの手記と「同乗記」全文を合本として事件の理解を容易ならしめ、また未発表写真を含め50点以上の写真・図解を一挙掲載した決定版である!

ユニバース出版社

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル
☎832-1341~44 振替・東京1-119478

●書店にない場合は直接小社営業部までご注文ください。



★譲ります



売ります
買います

▼本誌No.19、まとめて10000円で譲りたし(送料別、分売不可)。連絡は往復はがきで。

宮田孝彦(〒43) 愛知県名古屋市中村区元中村町一三二(一)

▼本誌No.19を一括譲ります。

森本吉幸(〒722) 広島県尾道市東土堂町一九二七(一)

▼SF関係の洋書、洋雑誌(リストあり)入用の方は50円切手同封の上連絡を。

洋書愛好会(〒61) 愛知県名古屋市中村区春里町一六〇

▼「世界のテレビ現象」I・II・III、世界の四次元現象II・III、「四次元の科学」I「四次元への挑戦」「現代のミステリー」「テレビの四次元」「テレビの世界」10冊一括4000円で。

秋山豊宏(〒600) 京都府京都市下京区朱雀分木町七(八)

▼本誌No.9、12を送料別20000円以上で。希望価格を往復はがきで連絡のこと。

高沢敬一(〒025) 岩手県花巻市豊沢町八一六

▼「四次元世界の謎」「地球空洞説」「四次元への挑戦」「時のない地球」「テレビの謎」「超能力入門」も「地底文明説」をご希望の価格で。バラも可。またの交換でも結構です。往復はがきで。

森田洋子(〒737) 広島県呉市本通八一(一〇)

▼「UFOの正体」「謎と恐ろしい大図鑑」などを適価で。はがきで連絡を。

福原裕(〒061) 14 北海道恵庭市桜町七(一)

▼本誌No.10、15を。希望価格を往復はがきでご連絡下さい。

金内清志(〒97) 山形県鶴岡市昭和町九(一)

▼「円盤写真大図鑑」「空飛ぶ円盤のなぞ」「円盤大図鑑」「世界のスライサー」他多数あり。往復はがきでご連絡を。

熊田利秋(〒611) 02 兵庫県姫路市四郷町東阿保九六(二)

▼本誌No.16、18と「7つの怪事件」を16000円くらい。はがき連絡を。

浜田義昭(〒10) 東京都東久留米市金山町二六一(一四)

▼「天才パカボン」他計20冊、59600円のを30000円で。はがき連絡を。

小林博幸(〒303) 福岡県北九州市小倉南区上蒲生二(一〇)

▼「空飛ぶ円盤」「つり入門」他3冊あり。また、「スタンブマガジン」1974年9・10・11月号3冊を3300円(送料共)、「ラジコン技術」1974年2・3月号2冊を6000円(同)で。なお、雑誌はバラ売りも可。連絡は往復はがきで。

小熊裕二(〒436) 愛知県春日井市上田町一九六(四)

▼「空飛ぶ円盤の真相」「不眠症が治る本」また、シチズンの電子メモを7000・8000円。手渡し可能な方ははがきでご連絡下さい。

梅下武彦(〒363) 埼玉県桶川市東二丁目一〇一五

▼「星雲写真集」「天文ガイド」(1975年11・12月号、1976年1月号)「赤外音楽」他。往復はがきでご連絡を。

京須美千代(〒023) 11 岩手県江刺市岩谷堂栄町八一五

▼本誌No.5・7・8・13・17・19を一括25000円(送料共)で。往復はがきで。

伊藤昌彦(〒410) 静岡県沼津市高沢町一六(一〇)

▼本誌No.12、19を1・5割引きで。直接手渡しできる方ははがきに必ず書。

真田正之(〒371) 群馬県前橋市吉町一五(一五)

▼「超能力者ユリ・ゲラー」「UFO事典」「謎のパミューダ海域」「PSI(サイ)入門」、その他あり、連絡を。

中村由紀子(〒020) 岩手県盛岡市吉町六(一)

▼本誌No.9、19、BCL専門誌「短波」5・6月号、「UFO写真集①」「カラップクス星と星座」を計70000円(送料共)で。バラも可。

風見明男(〒300) 24 茨城県筑波郡谷和原村鬼長舟(二四)

水谷英一(〒22) 神奈川県横浜市中区区入江一(一一)

▼本誌No.1、19(No.2なし)を適価で。他に小型FM盗聴器、自作超短波コンバーターなど多数あり。往復はがきで。

杉田俊一(〒259) 01 神奈川県中郡二宮町百合が丘三三(一一)

▼本誌No.1、6を定価で。往復はがき。

伊藤聡(〒049) 01 北海道上磯町宇久根別二(一五)

▼本誌No.5、17とUFO関係の雑誌計97000円。を60000円(送料別)で。詳細ははがきで。

八木沢純一(〒229) 31 栃木県黒澤市大原間六一(一四)

▼本誌No.1、14を60000円(送料共)で。田中利昌(〒665) 兵庫県宝塚市社町四一(一四)

▼「世界のUFO」5000円、「あの事件を追え」3000円、「モーターマガジン」75・8・76・8月号を1部30000円。また、UFOの写真、ミニカー(大きさ、値段は問わない)を譲って下さい(上記の本との交換も可)。連絡は往復はがきで。交通も希望します。

林 哲(〒206) 福岡県北九州市八幡西区小嶺団地一四(一六)

▼「神々の戦争」(ペーパー・バック)の英語版を20000円で(香山修司の文庫本2冊付)。ビックリハウス創刊号2号を10000円(ペーパー)の「結晶世界」付)で。手渡し可能な方有利。また、本誌No.1、4をお持ちの方、次の本と交換して下さい。「日本王國説」(12000)、「失われた古代文明」(340)、「UFO」(300)、「ESP入門」(500)、「四次元の謎」(260)。「超自然の謎」(260)。切り抜きも可。バラで希望の書籍との交換可。はがきに明記のこと。手渡し有利。

竹中 弦(〒247) 千葉県船橋市高根公園一八五(一〇)

▼超能力、超常現象、四次元関係の本17冊あり、格安で譲ります(例「四次元図鑑」25000円を13000円で)。連絡は往復はがきで(リスト呈上)。

里見 隆(〒414) 静岡県伊東市竹の台四一(一七)

▼「地球空洞説」「宇宙連合の飛来」「動物の超能力」「UFO大襲来」「四次元99の謎」計36800円を15000円で。また、「メカセ」「RCシヤーマン戦争」を格安で。以上手渡し可能な方ははがきで。

岡島好治(〒192) 東京都八王子市中野町三三(一八)

▼本誌No.3、6、8をまとめて適価で譲ります。連絡は往復はがきで。

安岡昭和(〒680) 兵庫県尼崎市東難波町三(一七)(一一)

▼「その列車を止める」「その花を見る

な」「24時間の侵入者」「SFカセット50」「ロボット大の反乱」「悪夢の呼ぶ声」「SFショートショート傑作集」「真昼の侵入者」各1000円、「ステイアン」よっれ」1500円、「アンドロイドお霊」2000円(全部送料別)。往復はがきで。

土谷美穂(〒303) 福岡県北九州市小倉南区下徳力寿町

▼日本心理教育協会「催眠による自己強化」(テープ2巻、テキスト3冊、ブック型ケース付)(49800円)を25000円(送料別)で。また、昨年ラジオで放送した「空飛ぶ円盤の科学分析」の一部録音(約1時間)あり、希望者には録音して上げます。本誌バックナンバー揃っています。見たい方にお貸しします。いずれも連絡は往復はがきで。

後藤英治(〒062) 札幌市白石区東札幌二(一四)

▼本誌No.9、13を適価で。連絡ははがき。

諏訪穂波(〒411) 静岡県駿東郡長泉町下土狩二七(一一)

▼「空飛ぶ円盤20集」(それでも超常現象は存在する「私は宇宙人を見た」(正統)、「恐怖の心霊写真集」(正統)、「お化けの住所録」「タナトロジー入門」謎の「パミューダ海域」コックリさんの秘密「宇宙人の謎」「UFO」目撃者の証言)、本誌No.9、17と僕の集めた資料など、全部を40000円くらいで。

前川英明(〒443) 東京都大田区中馬込二(一四)

▼「空飛ぶ円盤製作法」(9500円)を6000円で。活版印刷機(活字300個未使用)を25000円で(送料共)。

田口 裕(〒017) 秋田県大館市沢沢字狐台五(一三)

▼「UFO大襲来」「空飛ぶ円盤」(74ムズキ)、「空飛ぶ円盤同乗記」(「空飛ぶ円盤の真相」「空飛ぶ円盤実見記」超能力者ユリ・ゲラー)、「霊と死の世界」を。また、「JOYのレジャーブオン」(30000円以上)もあります。いずれも希望価格を往復はがきで。

服部幸一(〒519) 01 三重県亀山市住山町三三(三)

▼本誌No.10、14、20を20000円で。天文ガイド「71・8・75・12月号」50000円。連絡は往復はがきで。

岡 利英(〒700) 香川県高松市田村町七

一四) 「ブラックホール」 「十番目の惑星」

▼「地球とは何か」など講談社のブルーバックスシリーズ計13冊(6180円)と「アポロ計画大写真集」(10000円)

▼「万年後」 「おもしろい宇宙論」 「惑星直列」 「人類は生き残れるか」 など、計20370円を150000円で。

倉南区和夫日豊県宮住宅四四二)

▼「LO」 600円 「Wild T

▼「LO」 500円 「TIME」 (定価3000円・75・5・76・7月号)

を1部送料共1200円で(2冊以上) 譲ります。また、高文社の円盤シリーズと、大陸書房のUFOシリーズを適価で譲って下さい。

▼西村康生(〒522 滋賀県彦根市大堀町五六八)

▼「子供の科学」 74・11・76・10月号を各2500円で。その他「やさしい天気教室」 などあり。連絡はがきで。

▼菊地幹夫(〒999-55 宮城県栗原郡若柳町字北北大袋八〇一)

▼「マナシのかくれ島」 「宇宙少年イオン」 「空に浮かぶ騎士」 「密林の使者」 (各4000円) を各2000円で。なお、江戸川乱歩の「妖博士」 「霧上の奇術師」 「電人M」 「大暗室」 「空飛ぶ二十面相」 「幽霊の塔」 「蜘蛛男」 など(よこれあり)、3冊10000円で。本誌No.1と18との交換でも可。

それから、UFO関係の本や写真のネタを譲って下さい。

▼伊藤面樹(〒051-11 北海道札幌市東区北七条五丁目) 北海道札幌市東区北七条五丁目若菜町四一七

▼本誌No.14を適価で。往復はがきで。西山幸男(〒286 千葉県成田市吾妻三九一)

▼「私は宇宙人を見た」 など単行本10冊と、本誌No.9、10、15、17、20、各冊送料共3000円で。また、天文ガイド74・17、75、4月号を無料で。

あるいは前記の本類とアダプスキーの著書との交換でも結構です。往復はがき。阪本ひろ子(〒362 埼玉県上尾市西上尾第二団地1-17-1二〇五)

▼本誌No.1と17を適価で。往復はがきで。大江江浩一(〒571 大阪府東大阪市小若江三一〇一七)



望遠鏡

▼ピンク・フロイドのLP「炎」(2200円)を15000円で(1度かけただけで無キズ)、「宇宙人謎の遺産」(6000円)を4500円、「世界の謎を解く」(2300円)を15000円で。

▼岩間隆(〒989-17 宮城県柴田郡柴田町榎木戸ノ入八一六)

▼占術カード「悪魔のカード」(1800円)を10000円以下で。無キズ、新品同様。連絡はがきで。

▼細村隆弘(〒333 埼玉県蕨市南町一一一四)

▼明確な心霊写真を取りました。希望の方は10000円切手同封の上、お申込み下さい。(白黒)UFO写真と交換も可。佐藤昌喜(〒012 秋田県湯沢市杉沢一一二一五)

▼UFO写真1枚、心霊写真10枚あります。ほしい人はご連絡下さい。また、UFO、心霊に関心をお持ちの方、年齢、性別に関係なく文通しましょう。

小伏正司(〒174 東京都板橋区西台一一三六一七)

▼日本テレビ放映「現代の怪奇・宇宙人は地球に来ている!!」の録画(カセット)1時間と30分の2本)を適価(1名の方に譲ります。はがきでご連絡を。

森 寅生(〒597 大阪府貝塚市海新町四四五)

▼76・77購入のスリーブT製MTZ40を4000円以下(送料共)で。往復はがきで希望価格を書いて連絡下さい。佐藤ひろみ(〒990 福島県福島市渡利小久保四一八)

▼光体のUFO写真を送料共1枚2000

円。往復はがきでお申込み下さい。原田勇二(〒675 兵庫県加古川市加古川町南橋二)

▼タロットカード(23000円・説明書つき)送料共15000円。往復はがきで。川島秀一(〒983 福島県郡山市深沢一一三一九)

▼ミザール製「CX」一五〇反射赤道儀天体望遠鏡(コンピュータ設計)を送料共185000円で。2回使用しただけで新品、性能抜群、現金で願います。本庄芳則(〒730 高知県高知市福井町九〇四 平方井)

▼キヤノンFD50ミリF1.4、フード、1Bフィルター、保証書付、新品同様、2万円。小関芳宏(〒151 東京都渋谷区代々木三三五一四 松本方)

▼UFO探知機T-15型を適価で譲ります。それから、どなたか石森章太郎の作品および「COM」虫プロ発行の同漫画選集などを適価で譲って下さい。連絡はがきで必ず書を書いて下さい。

▼村尾貴行(〒277 千葉県柏市増尾二〇七八一九)

▼FAR EAST ファミリーBAN Dの「地球空洞説」というレコードを適価で。曲名は未知の大陸時代から地球空洞説。なるべく手渡しが可能な方。佐藤たまみ(〒031 青森県八戸市白銀町南ヶ丘一 もえぎ寮内)

▼電話級アマチュア無線講座(ラ研・7500円)を30000円で。権限術セツ(テープ、ケース、本・6900円)を25000円で。両方の場合50000円で譲ります。はがきで連絡を。

▼百垣 恵(〒794-25 愛媛県越智郡引町佐島)

▼12V用アダプター1800円、部品取用カセット1600円、8トラックステープ3本1300円、部品取用スタスタ13000円(すべて送料共往復はがき。町部 泰(〒936-04 宮城県本吉郡津山町柳津沢田一〇四一)

▼顕微鏡(100×200×400・ケース、ガラスセット付・35000円)を30000円(送料別)で。連絡は往復はがきで。附田 忠一(〒033 青森県三沢市幸町三二四一六)

▼記念切手魚シリーズ(60円を40円)他

多数あり、問合わせはがきで。井上静江(〒230 神奈川県横浜市鶴見区下末吉六六一三七 美鶴荘E号室)

▼ニコルスRKO8012(795000円)の品を400000円で(屈折・口径80mm) また、S社スカイセンサー15800と、ニコルスRKO8012で55000にします。詳しいことはがきで。古川喜啓(〒382 長野県須坂市春木町団地三一三〇)

▼旺文社カセットLL入門英会話、実用英会話、テキスト付未使用を各1万円。また、トランポーン、ケース付新品同様を150000円で。あるいは上記1点と双眼鏡との交換も可。はがき連絡を。栗原正人(〒270-14 千葉県東葛飾郡沼南町若白毛六)

▼ザ・ビートルズ62~66(46000円)を65000円で。1組では35000円(いずれも送料共)。連絡は往復はがき。朝井豊彦(〒577 大阪府東大阪市吉松二一九一三三)

▼UFO写真を取りました。無料でお分けします。ネガを貸してほしい人はTE清水 守(〒156 東京都世田谷区八幡山三二四一三四 電話3046035)

▼重力研究所所長清家新一氏開発の重力発電機、電源用真空管UY807新品3コを1万円で(この型は限定生産で入手困難なものです)。往復はがきで。望月隆昭(〒400-14 山梨県東八代郡一宮町金田)

▼UFO探知機の配線図(コピー)2枚を14000円の切手(送料共)で。棚橋隆昭(〒770 徳島県徳島市末広五一二六一三五)

▼ミザールP-100型を350000円で。手渡しできる方、ご連絡下さい。

▼693号ボイブライフの「空飛ぶ巨大艦から落とされたナゾの怪生物」に関する資料のコピーを。往復はがきで連絡を。小山敦史(〒463 愛知県名古屋守山区大字大永寺字西島一五五五)

▼リコーカメラ300Sを送料別1万円。往復はがきでご連絡下さい。

補上慎二(〒599 岐阜市高森町六一三〇)

★読んで下さい



▼UFOに関する資料と、UFO関係の会の資料を送って下さい。元木 栄(〒044-03 秋田県仙北郡角館町細越七)

▼本誌No.1と12のどれかを無料で(送料負担。はがき連絡を。進藤憲市(〒360 埼玉県熊谷市広瀬八〇〇一三四)

▼本誌No.1と10を定価で。もちろん送料は払います。東 秀永(〒576 大阪府交野市星田山手三一三一一五)

▼本誌No.1と6、16をなるべく安価に譲って下さる方、はがきでご連絡下さい。渡部和彦(〒272 千葉県市川市市国分四一一一四)

▼No.1の横尾忠則の「円盤は実在する。私は何度も見た」という記事(コピーでも可)がほしいのですが、おはいたします。

▼藤波智子(〒712 岡山県倉敷市津島町西之浦五四六)

▼本誌No.1と6を(ラでも可)。なお、電界メーターの作製、オラマター、境界ラジオ、UFO探知機の作り方を教えて下さる方ご連絡下さい。また、当会では会員も募集中。往復はがきで。萩野圭一(〒901 北海道札幌市北区屯田二四一三七 北日本超自然現象研究会)

▼本誌No.4と6を各5000円以内で。送

料は負担します。連絡ははがきで。石川勝也(〒119 東京都立川市若葉町団地二〇一〇二)

▼本誌No.114、コピーでも結構です。各500円以内なるべくまとめて下さい。バラでも、またNo.4の「ドラギニヤン……」の記事のコピーだけでも……高橋禎子(〒217 山形県鶴岡市道形字亀の甲二二二二)

▼本誌No.116を(バラでも可)。佐藤勇一(〒930 宮城県仙台市荒巻字源太丘藤東一八一六二)

▼「未確認飛行物体」「月刊ユーロジスト」他、各研究会の機関誌を無料。送料は負担しますのでご連絡下さい。平田啓吾(〒061-01 北海道札幌市豊平区北野一〇七一九)

▼本誌No.114・4・6、「写真で見える空飛ぶ円盤200集」と、ブルワーカーをタダで譲って下さい。(バラも可)。佐藤 憲(〒933 宮城県気仙沼市本郷一〇一七)

▼本誌118をタダで(キズも可)。増田明広(〒289-13 宮城県児湯郡川南町牧平)

▼本誌No.117をタダで。中佐藤 均(〒932-02 富山県東礪波郡井波町松島二七)

▼本誌No.12、16を送料も負担しますから譲って下さい。また、UFO写真の解説を付けて、1500円くらいで願います。落合和男(〒499-06 山梨県大月市七保町瀬戸四〇九)

▼「SF入門」「メランコリーの妙案」「アトムの子ら」と、「海のトリトン」のレコード及びカセット、海のリトロンに関するものなら何でも、適価で。往復はがきで。古高ひとみ(〒161 東京都新宿区中落合二四一〇一七 松田仁方)

▼本誌No.116をできればタダで。小林宏樹(〒045 北海道岩内郡岩内町東山二五二一八)

花田 剛(〒111-42 福岡県遠賀郡岡垣町原)

▼本誌を何号でも結構ですからタダで。その他UFO関係の本も送って下さい。竹内敏二(〒735 広島県広島市安芸町温五二二)

▼本誌119をできればタダで。下 俊久(〒440 愛知県豊橋市曙町字南品三七松原五三一六)

▼「地球は狙われている」「空飛ぶ円盤何でも号」と、以前各研究会から配布された小冊子「UFO報告書の研究」「空飛ぶ円盤展開史講座」「空飛ぶ円盤は宇宙機である」「宇宙人? 着陸す!!」「宇宙人? と交信する」(以上J.F.S.A)

▼「空飛ぶ円盤の謎」(MSFA)をお持ちの方、適価。はがきでご連絡下さい。熊谷 愛(〒039-31 青森県上北郡野辺地町字笹館二二)

▼「地球は狙われている」「空飛ぶ円盤は宇宙機である」「UFO報告書の研究」「空飛ぶ円盤なんでも号」「宇宙人? 着陸す!!」を適価で。はがきで。升谷暢行(〒176 東京都練馬区旭丘一三)

▼本誌No.111をタダで。生駒 敬(〒602 京都市上京区浄福寺丸太町下ル二二二)

▼本誌No.115をタダで。バラでも可。中島美子(〒230 栃木県宇都宮市鶴岡町三六五〇)

▼本誌No.112、15のどれでも。また、「宇宙人は呼ぶ」「宇宙交信機は語る」「宇宙人、宇宙人」「宇宙のかたやう」「土星の恋人」「黄金訪問記」「大気圏外より諸君へ」「金星の書」の中の1冊でも。連絡ははがきで。矢口ふみ子(〒780 長野県長野市箱清水二二四五 木下方)

▼本誌No.117をタダで。バラでも。萩原ひろみ(〒611 京都府宇治市小倉町南堀池九一七)

▼「超感覚ESPの世界」「霊感の世界」「生命作用の二極性説」に関する論文、本をお持ちの方、1冊でも結構です。ご希望の価格をはがきで連絡願います。春木勝元(〒591 大阪府堺市日置庄原寺町四七五二二)

往復はがきご希望の号数を書いて申込んで下さい。赤羽敬二(〒119 東京都東村山市萩山町二一九一三)

▼私は中学のUFO研究クラブに入っていますが、このクラブには残念ながら資料が何もありません。そこで、皆さんにお願いがあります。UFOについて、ごぞんじのこと、見たこと聞いたこと、UFOの資料など、UFOに関することなら何でも結構ですからご連絡下さい。影山佳代(〒673-13 兵庫県小野市丸山町五二一九)

▼「SF入門」、手塚治虫の「新選組」をそれぞれ適価で願います。田中日出子(〒289-11 千葉県印旛郡八街町に九九)

▼「写真で見える空飛ぶ円盤200集」をタダで譲って。愛甲俊哉(〒834 福岡県八女市北平塚一〇二二)

▼本誌No.116を安く、SF書があるので、それとの交換でも可。往復はがきで。岩間 隆(〒939-17 宮城県栗田郡柴田町機木戸ノ八二八二)

▼昭和40年頃の「少年マガジン」「少年サンデー」「少年キング」「少年」などをお持ちの方、1冊1500円以内で。また「レインボー部隊」その他、古いTVマンガ主題歌のレコード、ソノシートをお持ちの方、それぞれ500円以内で。柳瀬良生(〒782 高知県香美郡土佐山田町百石町二一〇六)

▼本誌No.110を送料共5000円です。「UFO写真集①」を10000円前後で。また、あなたのとったUFO写真、できれば詳しい説明書をつけて譲って。浜田正道(〒780 高知県高知市神田八四五二五)

▼本誌No.114・4・6をぜひ、1冊でも可。送料当方負担、はがきで連絡を。出口就也(〒424 静岡県清水市馬走八〇〇三)

▼本誌No.116を適価で。石川明保(〒230 神奈川県横浜市鶴見区上末吉町五四一七 TEL045-57317229)

▼本誌No.113、15を、No.8の「ネス湖における……」のコピーだけでも結構です。井上浩一(〒709-08 岡山県赤松郡山陽町二井四四二)

▼本誌No.115を適価で。伊藤徹也(〒246 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷町四四八一七)

▼本誌No.116 UFOに関する資料も。大城 哲(〒901-03 沖縄県糸満市字座波一七七六)

▼本誌No.117をなるべくまとめて。藤原 健(〒344 埼玉県春日部市武里団地五一〇二〇八 TEL0487-3416540)

▼「空飛ぶ円盤同乗記」など、アダマスキーの本をお持ちの方、安価に譲って。伊藤順子(〒197 東京都秋川市雨間五三)

▼本誌No.116をまとめてタダで。日井正実(〒192-02 東京都多摩市落川一〇九六一三)

▼本誌No.118をタダで。バラも可。また「イオン・クラフト」の作り方資料も。梅谷和男(〒518-14 三重県度会郡南島町神前一二二〇)



▼UFO写真のネガをタダで譲って下さい。また、UFOを見たときの日時、状況なども詳しく知らせて下さい。小沢 仁(〒412 静岡県御殿場市中山四六二)

▼「サイボーグ009」「スーパーエージェント」「海のトリトン」「花のピュンピュン丸」などSFテレビアニメのレコードやソノシートと、「宇宙船艦ヤマト」の紙芝居を安く。また、写真で見える空飛ぶ円盤200集を。はがきで。上記レコードとの交換でも結構です。馬場順子(〒364 埼玉県北本市北本一四〇)

▼UFO写真、白黒・カラーを問わず1500・2000円で。また、ネガをお貸し下さる方には2000円お返しします。白岩則夫(〒989-51 福島県会津若松市大戸町上三番南原甲二二八八)

▼SLヒッポスを安く。新品希望。石井 実(〒411 静岡県三島市玉沢三〇九)

▼UFOの写真をタダで。トリックの場合はトリックと書いて下さい。水谷伸二(〒434 愛知県名古屋市中川区八幡町三六)

▼UFO、心霊、超能力などの資料、写真は何枚も、1枚につき1000円で。青木一美(〒123 東京都足立区江北四二二二四四〇六)

▼天体望遠鏡を安く譲って下さい。横田晃三(〒638 兵庫県神戸市東灘区住吉町屋ノ内一八)

▼カリ版を安く譲って。田中忠吉(〒544 大阪府野野区勝山南四一〇一七 大安社内)

▼UFO写真を安く。できればネガを貸して下さい。必ずお返しします。遠藤 修(〒173 東京都板橋区小茂根二一五二一三 杉田方)

▼UFOと「宇宙船艦ヤマト」に関するもの、切抜き、写真何でもお礼します。樽谷恵子(〒569 大阪府高槻市下田部住宅A三一一三三〇六)

▼双眼鏡、望遠鏡、カメラ、天文アクセサリや天文書、本誌、その他を安く。大石幸一(〒960-06 福島県伊達郡保原町宮内町四九)

▼UFO写真をタダで(トリックも可)。



▼「超能力の秘密」をお持ちの方、私の「空飛ぶ円盤と宇宙人」が「幻のレムリ

★交換コーナー

渡辺文倫(千郎) 愛知県名古屋守山郡大字大森字下市場三七六八一

▼UFO写真を写された方、白黒100円、カラー2000円で(トリック不可)岩野宣嗣(千郎) 佐賀県唐津市西朝日町一〇三九

▼UFO写真のネガを貸して返します。岡本佐恵子(千郎)03 高知県幡多郡大月町添(宇川)

▼ポラロイドカメラを5000円以内でなるべく安く。はがきでご連絡下さい。登坂祐明(千郎) 愛知県犬山市字横町九八

▼スリービーム製の天体望遠鏡(SST 600かSST76、またはSST1000希望、その他も可)。はがきで連絡を。小野寺典之(千郎)01 宮城県気仙沼市字松崎片浜二〇〇

▼UFO写真と日時、状況撮影用具を。奥野与司樹(千郎)37 愛媛県北宇和郡吉田町大字奥浦

▼ビクター白黒テレビ(テレビとラジオがセットされたもの)。はがきで連絡を。佐藤正明(千郎) 埼玉県上尾市上八五九一(三三)

▼ライティングライターかUFO写真を譲って。あらかじめ金額をお知らせ下さい。浜田正博(千郎) 高知市西久万二四八

▼UFO写真のネガを貸して返します。渡辺寛(千郎) 北海道網走市北三条西六丁目 鉄道宿舎内)

ア大陸」と。往復はがきで連絡を。川野栄利子(千郎) 鹿児島市伊敷町四二〇(一一一七)

▼本誌創刊号5をお持ちの方、次のものと交換して。硫酸ナトリウム、クエン酸、炭酸水素ナトリウム(各1g)、指示薬(ユニバーサル、チモールブルー、ブロムチモールブルー)、アマチュア無線教科書、コイルの実験セット、ミニエレクトロ音楽器。また、以上のものに自作する発振器をプラスして6000円で譲っても結構です。

▼小島裕夫(千郎) 埼玉県大宮市高鼻町四一(二九一七)

▼本誌創刊号をお持ちの方、「地球内部からの円盤」「四次元世界の神秘」と。安武茂樹(千郎)12 福岡県田川郡方城町三四一七

▼私の「地球内部への旅」と、本誌№4を。詳しくは往復はがきで。中島裕樹(千郎) 千葉県柏市十倉二丁目三一(一五三)

▼ぼくの持っているモデルガンデリンジャー(2000円)、デリンジャー専用ホルスター(500円)、デリンジャーのタマ12発(900円)、MGCのモデルガンのカタログ(300円)等と、本誌創刊号6を交換して。はがきで。船田利秋(千郎)02 兵庫県姫路市四郷町東阿保九六二

▼エレキギターかベースをお持ちの方、本誌№4と21の計18冊と。往復はがきで。前田哲秀(千郎) 千葉県柏市向原町三二四(二〇一)

▼コダックポケットカメラ40型新品があります。天体望遠鏡かUFO探知機と交換して。また、グァVエレクトロベース新品あり、LP20枚付で連絡のベースGと交換して下さい。はがきで。真玉 論(千郎)04 大分県下毛郡耶馬溪町平田

▼ぼくの持っているモデルガン「モゼルミリタリ」(完動、7200円)、「SWハンドエジェクター」(不良、4000円)、「コルトデティタイプ」(不良、3000円)と、本誌創刊号17のうち5冊以上と。

▼羽山明夫(千郎) 北海道富良野市上綱料

▼ぼくの顕微鏡(ビクセンのマイティク50、電光照明装置付、7500倍付風品

付)を、あなたのカワイイガットギターのどれか、アサヒペンタックスの135ミリか150ミリ、またはフォーオクギターと。

▼稲垣敏行(千郎) 東京都北区志茂四一(五一二)

▼本誌№4がほしいので、私の「地球内部への旅」と交換して。往復はがきで。中島裕樹(千郎) 千葉県柏市十倉二31(一五三)

▼ぼくの「超能力者ユリ・ゲラー」「クワゼットの透視力」「超心霊世界の神秘」「テレパシー入門」「密教念力入門」「中国式念力強化法」「超科学推理なぞの四次元」と、あなたの「テレパシー」「生命の科学」「UFO実見記」「空飛ぶ円盤とアダムスキー」を。はがきで。西村昭彦(千郎)01 愛知県一宮市大字光明寺字千馬一

▼ミザールH80、アイビス、UFOの本、天文学の本などあり、あなたのトリオ9R159DかケンクラフトQR666と交換して下さい。

▼大谷朝光(千郎) 神奈川県横浜市港北区新羽町二五(一六)

▼本誌№1(できれば2、3も)がほしいのですが、手塚治虫の「サンダーマウス」、漱石の「坊ちゃん」、ナンバワチブツスの「なぞの四次元」、ジュニアアチャピオコンソールの「超科学ミステリー」の4冊と交換して。往復はがきで。森島征晴(千郎) 兵庫県西宮市小松西町二六一(三四〇)

▼「UFO辞典」「UFO大襲来」「タロット占いの秘密」(カード付)、本誌№16、17を送料共2300円で譲りたいのですが、飛行機(現代)に関する本との交換も可。往復はがきでご連絡を。松田直哉(千郎) 山梨県甲府市武田二一六(一六)

▼本誌№5・7・15、シングルレコード25枚、LP4枚、ラジオあり、天体望遠鏡か一眼レフと交換して下さい。よい品物には、オリンパスペンFLI、双眼鏡百倍、カシオミニ、ギター、万年筆、日本本などを加えます。ビードロなどの日本未使用切手もあります。往復はがきで。飯伏弘二(千郎) 大阪府大正区平尾四(一一一七)

UFO5人男

本誌編集陣紹介

久保田八郎 52 (慶大)



わが国UFO研究界の先駆者の一人。アダムスキー研究者としても著名。また宇宙哲学と超能力の研究も続けている。ふだんはおとなしいが、飲めば豪放磊落、ギターを弾いてシャンソンなどを歌う。趣味は写真(狂)、クラシック音楽(ブルックナーの交響曲が最高に好き)、美術鑑賞、語学等、幅が広い。本誌創刊者。

菅原 史崇 26 (早大)



もと体操選手。小柄で敏捷。小回りがきく。東京12チャンネルの「びっくり大集合」UFO番組のレギュラー出演者。写真、剣道を趣味とし、スキー級。純情快活で、いつも楽しそう。酒・タバコをやらない。独身。目下花嫁を探し中。立候補者は写真添えて履歴書と申込書本社久保田まで郵送のこと。

内野 恒隆 27 (慶大)



オレを雇わないとは何事だと単身本社へ乗り込んで来た豪傑に似合わぬ優雅な美男子。愛称は「玉三郎」。水彩画をよくし、水彩連盟展の常連出品者。夫人も水彩画家。東京12チャンネル「びっくり大集合」UFO番組に数度出演。大学ではフェンシングの選手。その他種々のスポーツとワインを好む。

中村 省三 30 (東大)



博学多識、およそ知らぬ事のない人間百科辞典。英語・フランス語が達者。通勤途中も常にミステリーの原書を持ち歩く。すぐおとなしくて目立たないが、UFO問題に高度の見識をもつ。趣味は特になし。東大出の典型的タイプ。酒はたいして飲まないが、タバコをよく吸う。満1歳の1児のパパ。

福田 忠雄 31 (日大)



肥満タイプ。横に転がった方が早い。雑誌レイアウトのベテラン。焼酎を得意とし、平素はジツにおとなしいが、酔うと奇行を演ずる。趣味は8mmと16mm映画の製作。映像集団「新映画研究会」同人。タバコを吸わない。最近可愛い女兒が誕生した。男児が欲しかったが、女の子でも「まあいいや」というので麻矢と名づけた由。

本誌バックナンバー

※1,2,3,4,5,6,7号は売切れ、8号は残部僅少!

第8号 (1974年9月発売) ¥330

マンテル大尉の悲劇荒井欣一/イタリアの不思議な小人出現事件/コンタクト/千葉県に出現した大型円盤/ネス湖における飛脚ばらひの謎とUFOの接触/ワ・ホリデイ/天体オラと宇宙電界の謎内田秀男/宇宙・引力・空飛ぶ円盤(3)L・クランプ/科学トピックス/国内UFO目撃報告/読者の声 その他

第9号 (1974年11月発売) ¥400 特大号

UFOによる米空軍機遭撃事件/スペインに出現した円盤と乗員J・マシアス アンヘル/パリコン/ジョージ・アダムスキーはまだ影を投げかけている/G・クレイトン/地震の謎をにぎるマンテル対流/竹内均/宇宙・引力・空飛ぶ円盤(4)L・クランプ/科学トピックス/国内UFO目撃報告/読者の声 その他

第10号 (1975年1月発売) ¥360

銀色の服を着た宇宙人高梨純一/科学をぶける男ユリ・ゲラー/G・クレイトン/月世界の謎の現象を撮る京都大学山天文台台長・理学博士・宮本正太郎/NASAの活動と、その未来読売新聞科学部・中村政雄/宇宙・引力・空飛ぶ円盤(5)L・クランプ/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

第11号 (1975年3月発売) ¥360

月面は円盤の中継基地か荒沢潤一郎/ニューヨーク州の着陸事件/フリーチャー/1980年代の宇宙運送船科学博士・河島信樹/原子・銀河系・理解(1)D・フライ/アダムスキー型円盤/風道面に出現/UFO/宇宙・引力・空飛ぶ円盤(完)L・クランプ/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

第12号 (1975年5月発売) ¥360

甲府市にUFO着陸/UFOオーストリアの光るカタツムリ状物体E・ベルガー/古代の天空人E・F・デンケン/長野県に落下した小型円盤/重力波とは何か栗三郎/原子・銀河系・理解(2)D・フライ/宇宙のUFO現象(1)シベリアの謎の大爆発/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

第13号 (1975年7月発売) ¥360

千葉市にアダムスキー型円盤出現/UFOに乗った宇宙人を見た/UFO宇宙交信のためのテレパシー通信科技術/原野・銀河系・理解D・フライ/中学生にもわかる積分積分(1)三好英市/宇宙のUFO現象(2)ルーマニアのUFO出現事件/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

第14号 (1975年9月発売) ¥390

円盤をよく見る人/1987年の謎の飛行船/私は金星文字を解読した/UFOマルセル・サム教授の不思議な発見物/大気圏外生命体とのコンタクト?/原子・銀河系・理解(4)/実在する超感覚と念力関英男/中学生にもわかる積分積分(2)宇宙のUFO現象(3)ユーゴスラビアのUFO出現現象 その他

第15号 (1975年11月発売) ¥390

ステラ・ランシング夫人の不思議な写真B・シュワルツ/ドラマキャンの怪事件/ワルソンの奇妙なロボットG・クレイトン/監督の予告とスペース・プログラム(1)C・A・ハニー/原子・銀河系・理解(完)/中学生にもわかる積分積分(3)/宇宙のUFO現象(完)(続)ルーマニアのUFO出現事件 その他

第16号 (1976年1月発売) ¥390

〈本誌特別取材〉三原市の驚異コンタクト事件/テレポーテーションとテレパシー平野威馬雄/名古屋市上空に円盤大出現/監督の予告とスペース・プログラム(完)C・A・ハニー/中学生にもわかる積分積分(完)/久博士の怪UFO事件A・ミシエル/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

第17号 (1976年3月発売) ¥390

口絵・月面の謎アポロ飛行士が撮ったUFO写真初公開/巨大円盤・横須賀に出現/UFOは地球の救済に来るのかオットー・B・ワインゲラー/奇跡を起こす方法テッド・オーウェンズ/ピーター・フルコスの驚異的大発見/B・アン・スレート/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

第18号 (1976年5月発売) ¥390

森林探検エトラス・ウォルトンのUFO同乗事件高梨純一/UFOは地球の救済に来るのか(完)〈UFOインタビュー〉私はUFOを見た・岡崎友紀さんの巻/私は宇宙人のクビをすげかえた/(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(1)L・クランプ/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声 その他

第19号 (1976年7月発売) ¥390

横尾忠則私はUFOを何度も見たり/チャールズ・ムーディ軍曹砂浜で円盤に誘拐される/UFOのスポークスマン?/世界の12の「魔」の墓場/大地盤は予知できるか内田秀男/火星生物発見の旅宮本正太郎/(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(2)/科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/読者の声/重の市 その他

第20号 (1976年9月発売) ¥430

口絵・NHK16ミリカメラの快挙 他/トラス・ウォルトン事件の真相/東北地方UFO事件特別取材・UFO大接近・自動車4台急停止/他/UFOインタビュー・久里洋二/月世界はUFOの中継基地か(1)(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(3)/UFO目撃レポート/UFO情報/科学ニュース/読者の声/重の市 その他

第21号 (1976年11月発売) ¥430

日本を代表するUFO研究者3人の主張展開高梨純一・並木伸一郎・久保田八郎/空飛ぶ円盤の推進原理を探る橋本健・清家新一/精密UFO大図解/UFO事件完全年鑑/月世界はUFOの中継基地か(完)私は宇宙人に身体検査をされた/(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(4)/UFO目撃レポート/UFO情報 その他

第22号 (1977年1月発売) ¥430

〈本誌取材〉UFOは石を食べていた!?/チベット山中の金星人基地高坂烈魁/金星の女性宇宙人とはしばしば接触/女性三人を身体検査した巨大UFO/着陸した円盤に宇宙人の死体が/大ニューヨークの郊外に円盤着陸(1)(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(5)/バックナンバー完全紹介UFO目撃レポート その他

第23号 (1977年3月発売) ¥430

〈特集〉ジョージ・アダムスキー劇画アダムスキー物語・アダムスキー写真集・アダムスキー最後の講演記録/鷺さバロマの空久保田八郎/闇夜に半が殺された/アメリカUFO見聞記 矢追純一/UFO写真のコンピュータ分析/女性宇宙人セムジャヤゼとの会話/星・生命の始まるどころ/読者の声 その他

送料

- 1冊 ¥160
- 2〜3冊 ¥200
- 4〜6冊 ¥240

本誌保存用

特製バインダー

本誌を破損・紛失しないためにバインダーをご利用ください。この特製バインダーは極厚手表紙・布装で表面と背に誌名を金文字で箔押ししており、1年分6冊をとり込むことができます。

¥400

- 荷造送料 1〜2個 ¥350
- 3〜4個 ¥700

UFO写真集

カラー写真21点、白黒写真33点A4判のワイド画面からくる迫力/極上アート紙使用・美麗カバー付き豪華本

戦後世界各地で目撃され、日本にもひんぱんに出現して話題を呼んでいる未確認飛行物体の正体は? 全国UFOファンの熱望にこたえて全世界で記録された貴重な写真を集大成。UFO研究界の第一人者・久保田八郎が和英両文で解説を加えた。

¥1300 千300

■当出版社が書店にない場合は、振替・現金書留・小為替・低額切手などで当社宛直ぐご注文ください。代金も直接ご注文はおこわります。■最近、住所不明で返送される郵便物が増えています。ご注文の際は必ず郵便番号・注文品名・号数・冊数を明記してください。

ユニバース出版社

UFOと宇宙

海外の記事はすべて翻訳転載権取得済。

本誌掲載記事・写真の無断転載を禁じます。

書店で入手できない場合は、本社へ直接ご注文ください。

年々購読料 三三〇〇円(送料含)

振替 東京一〇一九四七八

印刷所 三見印刷株式会社

電話 〇三(八三三)一三四一〜四四

住所 東京都台東区上野五十一

発行所 株式会社 ユニバース出版社

編集人 久保田八郎

発行 昭和五十二年六月一日 第24号

発行 昭和三十二年六月一日 (隔月刊/奇数月二十日発売)

定価 四三〇円 送料一六〇円

読者の投稿を歓迎します

本誌ではUFO(未確認飛行物体)に関する原稿、目撃レポート、写真などを広く募集しています。原稿はなるべく原稿用紙(タテ書き)をご使用ください。なお、投稿された原稿等は一切お返ししません。写真の一切がご希望により返送しますが、この場合は返送用封筒に切手をはり同封してください。なお、掲載料を差し上げます。

定稿の掲載料を差し上げます。

目撃レポート参考事項

- (1) 目撃者の住所・氏名・年齢・学年・その他
- (2) 目撃地点の略図・時刻・天候状態等
- (3) 飛行物体の形状・飛行状態等

あて先 ユニバース出版社 UFOと宇宙編集部(目撃レポートの場合はUFO資料調査部)と明記してください。

★本号より当社社長久保田八郎が再び編集長を兼任し、編集の陣頭に立つことになりました。興味本位の通俗雑誌の傾向を排し、名実ともに世界のトップクラスをゆく格調高いUFO専門誌にしますから、未長くご愛読をお願いします。

★「戦後UFO30年史」は紙数の都合で掲載不可能な事例が多数ありました。UFO目撃体験を公言したカーター大統領の勇氣ある態度はさすがです。私達も憶することはありませんか! ★本号21頁広告のすてきな企画に多数ご参加の程を。(K)

新発売!!

●無料でご覧になれます

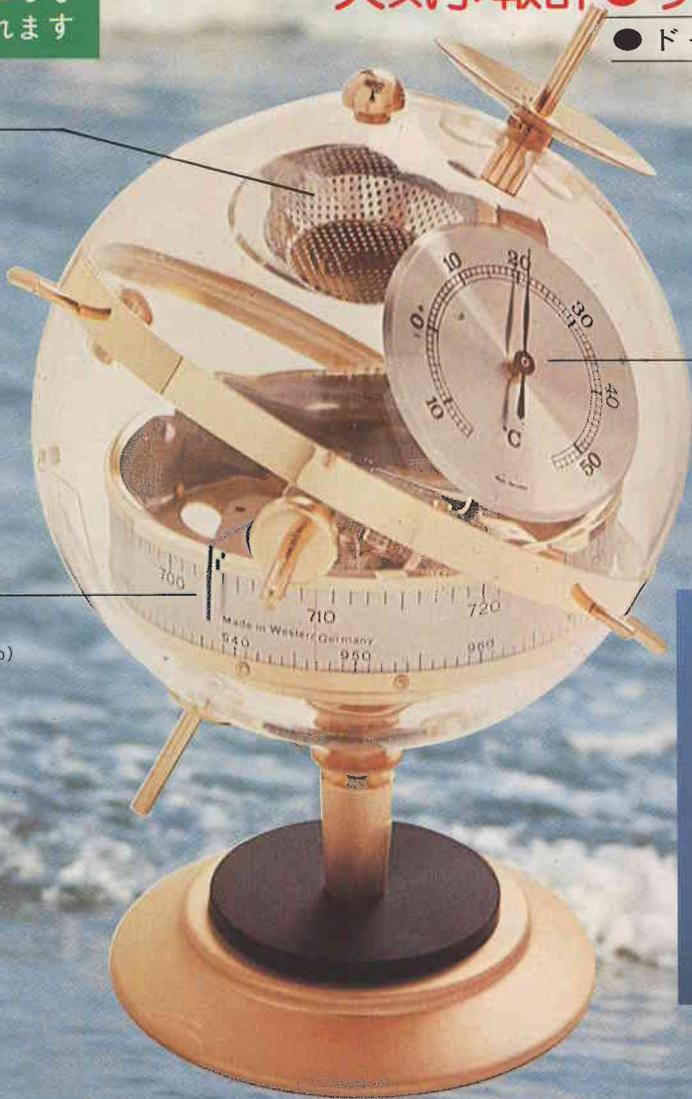
温度計+湿度計+気圧計 天気予報計●サテライト・3

●ドイツ製、直輸入品

●湿度計
(20%~100%)

●気圧計
(700mb~1060mb)

●温度計
(-15°C~+55°C)



球体直径 130mm
高さ 205mm
重量 610g

晴れ、のち曇り、一時雨—?

天気予測に最も大きな関係があるのは、気圧の高低ではなく、気圧が上昇中(快方に向う)なのか、下降中(下り坂)なのかということです。欧米ではウェザー・バロメーター(天気予報計)が一般の会社や家庭に広く普及しています。しかし、我が国ではあまり普及しておりません。公害や天気不順の折から現代人は、毎日の天候・温度や湿度、気圧に適應する、健康管理を、ひいては生活設計をしなくてはなりません。このドイツ生まれの“サテライト・3”は、気圧計・温度計・湿度計の3つの精密機器が、コンパクトに収まり、そのうえ、洋風にも和風にも調和する豪華で美しい室内装飾品にもなります。また、お子様の科学の勉強に、興味をひく面白い天気観測器は、机や書齋の上に飾るインテリア・アクセサリに最適です。なお、ご結婚や新築のお祝い、ご入学・卒業などの贈り物に実生活に役立つ天気予報計“サテライト・3”はぴったりです。

●手にとって無料でご覧になれます!!

「天気予報計“サテライト・3”」を手にとって無料でご覧になれます。もし、ご満足できないようでしたら、現品受取後、5日間以内にご返送ください。この場合、何らの購入義務もありません。お気に入りましたら、そのままご購入ください。

●月つき3,000円×6回払いでOK

いま、お申込みの方は奉仕価格⇒月つき3,000円×6回払いでお求めいただけます。(一括払いの場合は16,800円)しかも現品先送り、代金は後払いで結構です。

ご希望の方は右記の申込書を切り取り、住所・氏名・支払方法を明記し、印を押して当社(東京か大阪)へお送りください。なお現品をご覧になってご不満の場合は、現品受取後5日間以内にご返送ください。この場合、何らの購入義務もありませんので安心してお申込みください。

●現金価格 16,800円	●割賦価格 18,000円
(一括払いの場合のみ)	分割払金 3,000円
	支払回数 6回
●梱包送料当社負担 ●製品保障	支払期間 6ヵ月

今、スグ切り取ってポストへ!!
●下記の申込書に記入し捺印の上、封筒に入れてお送りください。

“サテライト・3” 購入申込書

■天気予報計“サテライト・3”を購入申込みます。現品到着後に下記の方法で必ず送金します。

●支払方法 (の印をしてください)

1. 月つき 3,000円×6回払い
2. 一括払い 16,800円

●現品に不満の場合は現品受取後5日間以内に返送し、この場合、購入義務は一切負いません。

おなまえ	捺印	年令	TEL
	印	才	
おところ (郵便番号)			
保護者名 (18才未満の方は保護者の印が必要)			
			捺印
UFO-5			

申込先 社団法人 日本割賦協会 専業会員
フェーマスアートギャラリー 企画部

<〒556> 大阪市浪速区大國町1の121の8 ☎(06)649-5508
<〒170> 東京都豊島区駒込1の34の8 ☎(03)945-2810

●印のない場合は無効になり、手紙でも必ず二重印をください。

誕生と進化の大ドラマ!

ライフ人類100万年

第1回配本

人類誕生への道

10日間＝無料でご試読できるチャンス!!

サスペンスにあふれる人類誕生までの道!

●希薄な空気に耐え、灼熱の大地でついに生まれた最初の“生命”とは?そして、数億年にわたり、いかなる進化と破滅がくりかえされたのか?

●地球上初の覇者一恐竜が、なぜある日こつ然と消えたか?突発的な疫病か?気候の急変か?宇宙線の激増?それとも超新星の大爆発!?

どんな推理小説よりもドラマティック!

●サルからヒトへの変貌、その驚異と謎に包まれた過程!
●ネアンデルタール人によって初めて示された“人間愛”とは? ●今も北欧一帯に分布する神秘的な“巨石群落”……。いったい誰が?何のために築いたのか?

「ライフ人類100万年」は、数億の惑星の一つである“地球”になぜ生命が宿り、そしてどのようにそのささやかな“生命”が地球を支配する“力”となっていったのか?——“人類”をこの広い宇宙の一生物として捉え、興味深くその進化の全

貌を明かしております。

第1回配本「人類誕生への道」に続き「ミッシング・リンク」「最古の人類」「ネアンデルタール人」……と配本され、いずれの巻もまず10日間無料でご試読いただけます。

世界的権威者たちが人類発生の謎を初めて明かす!

各巻ともそれぞれの分野の専門家が監修し、化石のみならずヒトやサルの生態、細胞、遺伝子分析といった“生の資料”からも過去における進化の実態を解明しております。平易流麗な文章、迫力あふれる写真とイラストは、きっと一段とあなたの想像と推理をかきたて、あなたも思わず“有史以前”の独特な魔力にとりつかれるに違いありません。

まず、第1回配本「人類誕生への道」を手に取り、心ゆくまでご覧ください。万一、お気に召さない場合は、最寄りの郵便局より切手を貼ってご返送ください。勿論、その後は一切代金支払いの義務はありません。お気軽に、今すぐ左のハガキでお申し込みください。



特典・お申し込みの方全員に
「エニグマ」最新号を無料進呈!

発売元(INTEL)株式会社インテル 製造元 武蔵光学株式会社

◆MOP高性能天体望遠鏡 (通産省光学検査合格品)

◆MOP本格派双眼鏡 (通産省光学検査合格品)

インテル
特価

全商品大特価セール 5年間品質保証書付 UFOをとらえるのはこれだ!

研究観測用高級機 100%反射型赤道儀式

MOP M109型

規格・性能 焦点距離
900mm 主鏡レンズ有
効径100mm(主鏡アルミ
ナイズメッキ) 分解能
1.16秒 極限等級11.8
等星 集光力204倍

装置 直進ヘリコイド
式繰出(接眼レンズ口
径24.5mm用) 赤道儀兼
経緯台 微動装置ウォ
ームギヤー使用 赤経
・赤緯目盛環付

付属品付き
定価55,000円の品
インテル特価37,800円
(送料2,000円)



チャンス!

MOP 610型

規格・性能 焦点距離
1,000mm 有効径60mm
(アクロマートレンズ
使用) 分解能1.9秒 極
限等級10.7等星 集光
力73倍

付属品 サングラス
6×30mmファインダー
天頂プリズムHM6mm
HM12.5mm K20mm
バランスウェイト2 フ
レキシブルハンドル2
木製2段伸縮三脚

研究観測用高級機
60%屈折赤道儀式

チャンス!

定価55,000円の品
インテル特価
36,000円
(送料2,000円)



MOP双眼鏡 8×30

スタンダードな小型機

規格・性能 倍率8倍
対物レンズ有効径30mm
射出瞳径3.8mm 明るさ
14.1 実視界7.5度 1000
m先の視野131m 高さ
11.5cm 重さ550g

定価11,500円の品
インテル特価8,500円
(送料800円)

付属品 ソフトケース
保証書 使用説明書

チャンス!



●ミクロンシリーズ

持ち歩きに便利な
高性能機!

MOPミクロン 10×40

規格・性能 倍率10倍
対物レンズ有効径40mm
射出瞳径4mm 明るさ
16 実視界7度 1000m
先の視野123m 高さ12
.3cm 重さ490g

10×40
付属品ハードケース

チャンス!

定価17,300円の品
インテル特価
13,800円
(送料800円)



MOP双眼鏡 20×50

高倍率大型機!

規格・性能 倍率20倍
対物レンズ有効径50mm
射出瞳径2.5mm 明るさ
6.3mm 実視界3度
1000m先の視野52m
高さ17cm

全機種特価
広告に記載されて
いない商品も格安
にて販売!!お気軽
にお問い合わせ、ま
たはご一報下さい。

付属品 ハードケース
保証書 使用説明書

定価18,000円の品
インテル特価11,500円
(送料800円)

チャンス!



●ミクロンシリーズ

ポケットにピッタリ!

MOPミクロン 8×20

規格・性能 倍率8倍
対物レンズ有効径20mm
射出瞳径2.5mm 明るさ
6.3 実視界5度 1000m
先の視野88m 高さ7.1
cm 重さ185g

8×20
付属品ソフトケース

チャンス!

定価14,000円の品
インテル特価
11,000円
(送料800円)



ご注文方法

広告価格はすべて現金価格です。ご注文の場合は品名・住所・
電話番号・氏名を明記し、現金書留でお申し込みください。

あて先

〒193東京都八王子市小比企町2957-9 ☎0426-25-7941(代表)
(株)インテル 光学事業部UFO係

【お知らせ】

当社製品の販売代理店を募集します。当社まで資料をご請求下さい。またこの広告に
いてのお問い合わせは当社調査室(TEL0426-25-7941)までお電話でお願い致します。

カタログ無料進呈

当社全製品満載のカタ
ログを無料で差し上げま
す。切手100円を同封し
下の請求券をはって
お申し込み下さい。

カタログ請求券
UFO24

新発売

初回金でお手もとへ

お求めやすいクレジット分割払

高性能精密器 **ニコルス望遠鏡**

●たしかな品質
合理的良心価格
●ご不満のときは
交換/解約/返金自由

●たしかな品質・合理的良心価格 ●ご不満のときは・交換・解約・返金自由

ニコルスRJ-6092A
注文番号81-056

【特長】

- 225倍屈折型経緯台式望遠鏡
- 有効径60%焦点距離 F=900%
- コーリメーターテスト済 高性能対物レンズ使用
- 上下微動装置付
- 二段ドロウチューブ

ニコルスLS-1149
注文番号81-011

【特長】

- 150倍反射型経緯台式望遠鏡
- コーリメーターテスト済 高性能反射鏡
- 有効径114%焦点距離 F=900%
- 上下、水平微動装置付
- 光軸修正装置付



【定 格】全長890%

- 対物レンズ 有効径: 60% アクロマートコーティング 焦点距離: 900% 集光力: 73倍(肉眼) 分解能: 1.93秒 極限等級: 10.7等星
- 接眼レンズ (倍率225×) HM-12.5%(倍率72×)

- 接眼部 ラック&ビニオン繰出装置
 - 架台 ヨーク式上下微動装置付
 - 三脚/二段伸縮式木脚 脚長70~135cm
- 初回金3,900円 1,200円
分割払金(月)1,900円×9回
現金払価格18,800円

【付属品】

スターダイヤゴナルプリズム(天頂プリズム) ファインダー(5×24% 十字線入合金製), サングラス

【定 格】

- 対物主鏡 有効径: 114% アルミナイズ済 焦点距離: 900% 集光力: 265倍 分解能: 1.00秒 極限等級: 12.0等星
- 斜鏡 短径23% アルミナイズ済 ●接眼レンズ HM-6%(倍率150×) HM-12.5%(倍率72×)
- 接眼部 ラック&ビニオン繰出装置 ●架台 ヨーク式上下、水平微動装置付 ●三脚/2段伸縮式木脚、脚長70~135cm

【付属品】

ファインダー(6×24% 十字線入合金製), サングラス, フレキシブルハンドル(1本 太陽穴付キャップ)

初回金5,000円 1,500円
分割払金(月)3,000円×9回
現金払価格28,500円

商品のご注文方法は

- ご注文番号か品名を紙に書いて、月賦は初回金と送料を現金書留封筒でお送り下さい。
- 一時払いは同じ方法で現金価格と送料をお送り下さい。
- 代引注文(商品到着時に現金価格一括お支払いの方法)も受け付けます。詳しくは電話でお問合せ下さい。☎03(672)9094(内線33) 日・祝日を除くAM9:30~PM5:30

あて先

〒133 東京小岩局27号
二光通販(株)
光学課 74係

カタログ無料進呈!

只今無制限進呈中! 商品をより詳しく知りたみ下さい。下記のカタログ進呈券をハカキのうらにはつてお送り下さい。無料でお送りいたします。



カタログ進呈券74係

二光カタログハウス 営業時間 AM10:00~PM7:00

ニコルス

●広告の商品はニコルス店にて展示販売中! お急ぎの方は、ご来店下さい。初回金でお持ち帰りOK!
(印鑑をご持参下さい)



社団法人 日本割賦協会正会員
この協会は通産省の指導により消費者保護を目的とする団体で、当社は会員です。安心してご注文下さい。

ニコルス (株) 光学課
東京都江戸川区南小岩 3-31-11 新井ビル 2F

苦情相談

この広告についての商品不着や商品苦情はご遠慮なくお申出下さい。
ニコル消費者相談室 ☎03(672)8558 東京都江戸川区西小岩 3-31-11 新井ビル 2F

お手もとへ

クレジット 分割払

精密器 望遠鏡

●ご不満のときは・交換・解約・返金自由

ニコルス L シリーズ 10大特長

- ①大口径、明るく鮮鋭な像
- ②光軸修正はダイヤル式でワンタッチ
- ③大型接眼部
- ④広視界大型ファインダー(6×30%)
- ⑤狙った星はのがさない上下水平微動装置付
- ⑥筒ぶれを排除! ガッシリしたマウント。
- ⑦ピクともしない太くて丈夫な直脚式木脚
- ⑧ガイディングスコープ 取付ネジ付。
- ⑨太陽直接観測用絞穴付キャップ
- ⑩オール金属製

反射式 L シリーズ 新発売

【特長】

- 225倍反射鏡筒式望遠鏡
- 有効径114%、焦点距離F=900mm、集光力265倍
- コリメーターテスト済高性能反射鏡

- 接眼レンズ SR-4%(倍率225×) HM-9%(倍率100×) HM-20%(倍率45×)

【付属品】

- ファインダー(6×30%十字線入合金製)
- サングラス
- フレキシブルハンドル(1本)
- 太陽絞穴付キャップ

L シリーズ用 ガイディングスコープ



- 【特長】
- コリメーターテスト済高性能対物レンズ
 - 観測しながら同時に写真撮影可能(但し、新製品を要す)
 - 同時に二人で同じ目標を観測できる。
 - ガイディングスコープ取付脚に星野雲台がついている。
 - 反射式Lシリーズの商品にはすべて、ネジ止め取付できる。(Lシリーズはガイディング取付ネジ付)
- 初回金2,300円 分割払金(月)2,300円×4回 分割払価格11,500円 現金払価格10,000円

ニコルスLK-1149

- 【特長】
- 有効径114%、焦点距離F=900mm、集光力265倍
 - コリメーターテスト済高性能反射鏡
 - 狙った星はのがさない赤道儀兼経緯台式マウント

- 【定格】全長880mm
- 対物主鏡 有効径:114%アルミナイズ済 焦点距離:900mm 集光力:265倍 分解能:1.00秒 極限等級:12.0等星
 - 斜鏡/短径23%アルミナイズ済 ●接眼レンズ SR-4%(倍率225×) HM-9%(倍率100×) HM-20%(倍率45×) ●接眼部 (大型口径36%、24.5%両接眼レンズ使用可能) ラック&ピニオン繰出装置
 - 架台(マウント)赤道儀式(赤経、赤緯目盛環付赤道儀兼経緯台) ●鏡筒/金属製、白色塗装
 - 三脚/直脚式木脚 脚長85cm

商品のご注文方法は

- ご注文番号か品名を紙に書いて、月賦は初回金と送料を現金書留封筒でお送り下さい。
- 一時払いと同じ方法で現金価格と送料をお送り下さい。
- 代引注文(商品到着時に現金価格で一括お支払いの方法)も受付けます。詳しくは電話でお問合せ下さい。☎03(672)9094(内線33) 日・祝日を除くAM9:30~PM5:30

どこにも負けない ガッシリした安定感



Lシリーズの特長を備えた 赤道儀式高級機



初回金12,300円 分割払金(月)5,300円×9回 分割払価格60,000円 現金払価格55,000円

Lシリーズ10大特長を完備



ニコルスLG-1149

【特長】

- 225倍反射鏡筒式望遠鏡
 - コリメーターテスト済高性能反射鏡
 - 有効径114%、焦点距離F=900mm、集光力265倍
 - 有効径60%ガイディングスコープを搭載
- 【付属品】
- スターダイヤゴナルプリズム(天頂プリズム)
 - ファインダー(6×30%十字線入合金製)
 - サングラス
 - フレキシブルハンドル(1本)
 - 太陽絞穴付キャップ
 - 接眼レンズ SR-4%(倍率225×) HM-9%(倍率100×) HM-20%(倍率45×)

Lシリーズの中でも傑出した最高級赤道儀式

ニコルスLKG-1149

- 【特長】
- 225倍反射鏡赤道儀式望遠鏡
 - 有効径114%、焦点距離F=900mm、集光力265倍
 - コリメーターテスト済高性能反射鏡
 - 有効径60%ガイディングスコープを搭載
 - 赤道儀兼経緯台式高級マウント
- 【付属品】
- スターダイヤゴナルプリズム(天頂プリズム)
 - ファインダー(6×30%十字線入合金製)
 - サングラス
 - バランスウェイト(0.8kg5個)
 - フレキシブルハンドル(2本)
 - 太陽絞穴付キャップ
 - 接眼レンズ SR-4%(倍率225×) HM-9%(倍率100×) HM-20%(倍率45×)

ニコルスLKG-1149

- 【特長】
- 225倍反射鏡赤道儀式望遠鏡
 - 有効径114%、焦点距離F=900mm、集光力265倍
 - コリメーターテスト済高性能反射鏡
 - 有効径60%ガイディングスコープを搭載
 - 赤道儀兼経緯台式高級マウント
- 【付属品】
- スターダイヤゴナルプリズム(天頂プリズム)
 - ファインダー(6×30%十字線入合金製)
 - サングラス
 - バランスウェイト(0.8kg5個)
 - フレキシブルハンドル(2本)
 - 太陽絞穴付キャップ
 - 接眼レンズ SR-4%(倍率225×) HM-9%(倍率100×) HM-20%(倍率45×)

カタログ無料進呈!



カタログ進呈券74係

ニ光カタログハウス

営業時間AM10:00~PM7:00

●広告の商品はニコルス店にて展示販売中! お急ぎの方は、ご来店下さい。初回金でお持ち帰りOK!(印鑑をご持参下さい)

ニコルス



【苦情相談】

この広告についての商品未着や商品苦情はご遠慮なくお申出下さい
ニコル消費者相談室 ☎03(672)8558 東京都江戸川区西小岩3-31-11新井ビル2F

ニコー ライフを高めるニコル
Nicoh
ニ光通販(株) 光学課
東京都江戸川区南小岩6-31-25

社団法人 日本割賦協会正会員
この協会は通産省の指導により消費者保護を目的とする団体で当社は会員です。安心してご注文下さい。

屈折式
Rシリーズ
新発売



大口径(76.2%)、長焦点(1.250%)
の最高級精密機!!

ニコルスRK-7612

注文番号81-055

【特長】

- 625倍屈折式赤道儀式望遠鏡
- コリメーターテスト済高性能対物レンズ付
- モータードライブ取付可能な赤道儀兼経緯台マウント
- アクセサリ完備の大型機

【定格】

対物レンズ76.2%(有効径)アクロマート、焦点距離1.250%、集光能118倍、分解能1.5秒、極限等級11.2等星、全長1.270%、歯数114枚

●保管に適した格納用木箱●



【付属品】

- スターダイヤゴナルプリズム(天頂プリズム)
- 地上用正立プリズム
- ファインダー(6×30%十字線入合金製)
- サンダース・ムーングラス
- 2倍バローレンズ
- 太陽投影板
- バランスウエイト(1個)
- フレキシブルハンドル(2本)
- 接眼用木箱
- 接眼レンズ
[バローレンズ使用時の倍率]
OR-4%(倍率312×)[625×]
HM-6%(倍率208×)[416×]
HM-20%(倍率62×)[124×]

初回金16,200円 ¥2,000円
分割払金(月)7,200円 × 9回
分割払価格81,000円
現金払価格73,000円



ニコルスRS-6010

注文番号81-052

【特長】

- 250倍屈折式経緯台式望遠鏡
- コリメーターテスト済高性能対物レンズ
- 狙った星をのがさない上下水平微動装置付
- 二段ドロウチューブ付
- 高性能正立プリズム付

高倍率を無理なく可能にした長焦点!
経緯台式の最高級機!



【定格】

- 対物レンズ
有効径: 60%アクロマートコーティング 焦点距離: 1,000%
集光力: 73倍(肉眼) 分解能: 1.93秒 極限等級: 10.7等星
- 接眼レンズ
SR-4%(倍率250×)
HM-9%(倍率111×)
HM-20%(倍率50×)
- 三脚・二段伸縮式木脚
全長70-135cm

初回金6,800円 ¥1,500円
分割払金(月)2,800円 × 9回
分割払価格32,000円
現金払価格28,800円

【付属品】

- スターダイヤゴナルプリズム(天頂プリズム)
- 地上用正立プリズム
- ファインダー(5×24%十字線入合金製) サンダース



ニコルスRK-6010

注文番号81-053

【特長】

- 250倍屈折式赤道儀式望遠鏡
- コリメーターテスト済高性能対物レンズ付
- モータードライブ取付可能な赤道儀兼経緯台式
- 二段ドロウチューブ、高性能正立プリズム付

天体の連続観測が可能な高級赤道儀式



【付属品】

- スターダイヤゴナルプリズム(天頂プリズム)
- 地上用正立プリズム
- ファインダー(5×24%十字線入合金製)
- サンダース・ムーングラス
- バランスウエイト(0.5g/2個)
- フレキシブルハンドル(2本)
- 接眼レンズ SR-4%(倍率250×)
HM-9%(倍率111×) HM-20%(倍率50×)

【定格】

- 対物レンズ60%アクロマート(セミコート)、焦点距離1,000%、集光力73倍(肉眼)、分解能1.93秒、極限等級10.7等星、鏡筒径63%、全長1,000%(接眼部を除く)、赤道儀歯数138枚、赤緯と赤経目盛付

初回金10,800円 ¥1,500円
分割払金(月)5,000円 × 9回
分割払価格55,800円
現金払価格50,000円



●60%屈折用赤道儀一歯数138

(有効径60%の望遠鏡に使用可能)

モータードライブ取付可能、赤道儀兼経緯台式、赤経赤緯目盛環付、バランスウエイト2個、フレキシブルハンドル2本付



初回金3,400円 ¥1,000円
分割払金(月)2,300円 × 7回
分割払価格19,500円
現金払価格17,000円

●2倍バローレンズ(アクロマート)

簡単に使用倍率を2倍にすることができます。特に短焦点の望遠鏡には有利です。



現金価格 1,900円
送料 200円

●ズーム接眼鏡

接眼部口径24.5%用 焦点距離 7.5-22.5%ヘリコイド式 連続可変倍率 ●ズーム接眼鏡は低倍率(広視野)から、高倍率まで、連続して倍率を変えられるので、星をとらえやすく、ヘリコイドをまわせばそのまま高倍率で観測できる。



現金価格 3,800円
送料200円

High S型赤道儀シリーズ Low



グレートビクトリー 700MD 60%赤道儀兼経緯台

対物レンズ アクロマート
コーティング
D60% F700%
接眼鏡 フルコート 同焦点
HM6% HM12.5%
倍率 117× 56×
接眼部 24.5% 36%兼用
付属品 天頂プリズム
サングラス
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付
¥47,800 送料¥1,500
モータードライブ ナシ
¥35,800 送料¥1,500



No. ST1000MD 60%赤道儀兼経緯台

対物レンズ アクロマート
コーティング
D60% F1000%
接眼鏡 フルコート
HM6% HM12.5% K25%
倍率 167× 80× 40×
接眼部 24.5% 36%兼用
付属品 天頂プリズム
サングラス
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付
¥52,500 送料¥1,500
モータードライブ ナシ
¥40,500 送料¥1,500

安定性の低い小型赤道儀の時代は終わった。そしてガバナー制御のモータードライブ付大型赤道儀の時代が始った!!



グレートビクトリー100 MD 100%反射式赤道儀兼経緯台

主鏡 D100% F800%
接眼鏡 フルコート 同焦点
HM6% HM12.5%
倍率 133× 64×
接眼部 ラックピニオン式
24.5% 36%兼用
付属品 サングラス
光軸アイピース
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付
¥49,800 送料¥1,500
モータードライブ ナシ
¥37,800 送料¥1,500

(モータードライブは後日購入も出来ます。)



No. SH900MD 100%反射式赤道儀兼経緯台

主鏡 D114% F900%
接眼鏡 フルコート
HM5% HM8% K25%
接眼部 ラックピニオン式
24.5% 36%兼用
付属品 サングラス
光軸アイピース
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付
¥54,800 送料¥1,500
モータードライブ ナシ
¥42,800 送料¥1,500

S型赤道儀は一クラス上の大型赤道儀……小型赤道儀は微振動が多い為、観測しにくく写真撮影も思う様に出来ません。従来の赤道儀の欠点を補って新設計されたS型赤道儀は微振動が少なくて安心です。
S型赤道儀は上下角微調節ネジ付……今迄は10万円クラスの高級品にしか採用されていませんでした。
S型赤道儀は移動するロールバランスウェイト軸……今迄は15万円以上の高級機専用でした。
S型赤道儀のモータードライブは二電源方式のガバナー（電圧安定装置）制御のDCサーボマイクロギヤードモーターですので精度の良い回転が得られ、単3乾電池4本(6V)又家庭用100V電源の両方が使用出来ます。
S型赤道儀シリーズはコストパフォーマンス(価格に比した品質と性能)が最高で他の及ぶ所では有りません。

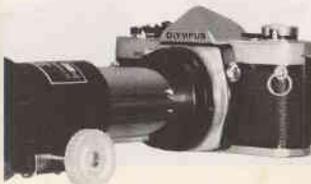
●写真撮影用カメラアダプター (35%一眼レフ専用 屈折望遠鏡接眼筒36%専用) ●地上用ズーム接眼鏡

天体写真、地上写真のどちらにも使用出来ます。直接撮影方式で望遠鏡が超望遠カメラ用交換レンズと同じ事に成りますので、他の方式に比べてもっとも鮮明に写せます。

¥3,000 送料¥300

<使用出来る35%一眼レフカメラ> ペンタックス(S&Kシリーズ)
フジカ、マミヤ、リコー、ヤシカ、ニコン、キャノン、ミノルタ、オリンパスOM、
コジカ(新)、ミランダ(注文時カメラ名お知らせ下さい。接眼筒24.5%径は使用不可)

正立像 6%~15%ズーム
天体望遠鏡がズーム式地上望
遠鏡に使えます。¥4,500



ご注文は代金、送料を送金下さい。又はご来社下さい。

株式会社 **スリービーチ** 光学部UFO係

光学部TEL 東京03
(850) 6110

〒121 東京都足立区平野3丁目7番17号

振替口座 東京7-103033

総合カタログ・切手300円同封の上お申込み下さい。

(広告有効期間・本誌号月の月末迄)

カメラの有力専門誌 日本カメラ 51年6月号 特集 常用交換レンズ観点横より
 スリコールLP135、135%、F2.8
 中心部はコントラストもほぼ良好で、シャープさもじゅうぶんである。周辺部はわずかに画質が低下するが目立つほどではない。全般的に見て各取差がバランスよく補正され画質のよいレンズである。しかも13,000円という普及価格が魅力がある。(原文のまま)



reliance THREKOR P series

High 高品質 **技術力を結集した信頼の交換レンズ** **Low** 低価格

リライアンス **スリコール交換レンズ** Pシリーズ

スリコール交換レンズは出来る限り安くお届けする為にユーザーへの直接販売システムです。天体望遠鏡専門メーカーのスリコール交換レンズの実力をお楽しみ下さい。

●スリコール交換レンズ仕様 (プリセット絞り、絞込み測光、マウント交換式)

品番	LP135	LP200	LP300	LP400	LP500	WP 35
焦点距離	135mm	200mm	300mm	400mm	500mm	35mm
明るさ	F:2.8	F:4.5	F:5.6	F:6.3	F:8	F:2.8
レンズ構成(群/枚)	4/4	3/4	3/4	3/4	3/4	5/6
レンズ口径	47mm	44mm	53mm	62mm	30mm	
全長%・重量g	80・340	140・420	230・550	315・700	410・790	52・150
価格	¥13,000	¥14,000	¥18,000	¥21,000	¥24,000	¥12,000
付属品	フード、Pマウント、ケース					マウント、ケース

価格は付属品を含んだ価格です。(35%一眼レフ用)

●使用できるカメラ (35%一眼レフ)

アサヒペンタックス(Sシリーズ・Kシリーズ)・ニコン・ニコマート・キャノン(EX除く)・ミノルタ・オリンパスOM・コニカ(新)・フジカ・マミヤ・リコー・ヤシカ(ネジ込み)・ベトリ・ミランダ・

スリコールPシリーズはカメラを買替えた場合、あるいは2台以上メーカーの異なるカメラをお使いの場合でもマウントのみ別に購入すれば、どのカメラでも使用出来ます。

スリコールPマウント 別売価格 ¥1,500

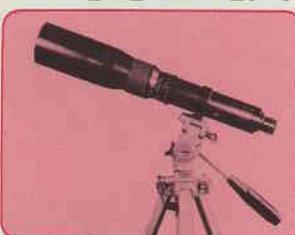
スリコール交換レンズは1台3役 **1** カメラ用望遠レンズが (300%・400%・500%)



2 ズーム式地上望遠鏡に

【別売】 付属品
 アイピースアダプター ¥1,500
 スーム式地上アイピース ¥4,500
 300%の倍率: 20倍~50倍
 400%の倍率: 27倍~67倍
 500%の倍率: 33倍~83倍

②③の使い方をする時は、アイピースアダプター・アイピース(天体又は地上ズーム)を合わせてご注文下さい。



3 天体望遠鏡に

【別売】 付属品
 アイピースアダプター ¥1,500
 天体用アイピース各倍率 ¥1,500
 300%の倍率: 24倍・50倍・60倍・75倍
 400%の倍率: 32倍・50倍・80倍・100倍
 500%の倍率: 40倍・62倍・100倍・125倍

望遠鏡になるのはスリコール交換レンズだけです。他社の交換レンズには使用できません。

〒121 東京都足立区平野3丁目7番17号
 株式会社 **スリービーチ UFO係**

電話照会受付時間
 午前10 - 12時 午後1 - 5時
 日・祭日休業
 〒東京(03)859-1331
 (広告有効期間 本誌月号の月末迄)

スリコール交換レンズを購入希望の方は、ハガキにお持ちのカメラ名を書いてカタログ(無料)をお申し込み下さい。急送します。

OLYMPUS

同じ電子シャッター一眼レフなのに、こうまで違うのか。OM-2を手にした方から、よく聞く言葉です。一眼レフの新しい流れを生みだした縮小のフォルム、OMサイズのまま、革新的な電子頭脳を搭載。しかも本格的システムカメラとしての、あらゆる条件を完璧に満たしています。これまで新しいメカを加えるたびに大きく重

くなっていた一眼レフの世界が信じられなくなるほどです。まさに設計の妙。

システムを組んでもかさばらない

軽快さ、そして

チャンス

逃がさない

電子頭

脳。いま

OM-2が、

電子シャッター一眼レフの未

来と呼ばれるのもそのためです。しかもその電子頭脳をみても、まさに

革新的。これまでの記憶式と違い、「今」の光

を測るTTLダイレクト測光。秒5コマの高速連続撮影もオートで写せ、またTTLでストロボのオート撮影を可能にするなど、本格的システムカメラの機能を大巾に高めています。(しかもオートとマニュアルの完全な使い分けができるプロ仕様です)13種のフォーカシングスクリーン、高速モータードライブ、豊富な交換レンズなど完璧なシステムをもつOM-2。いま真の一眼レフを選ぶとしたら……OM-2です。



おもな仕様 ●形式/35ミリフォーカスプレイン自動露出制御式電子シャッター一眼レフ ●レンズ/オリンパスOMマウント、バヨネット交換式(回転角70°) ●シャッター/フォーカスプレインシャッター、自動露出制御時間:数十秒(ASA100、常温常湿)~1/1000秒、手動露出制御時間: B・1~1/1000秒、マウントダイヤル式 ●自動

露出制御(オート)/測光方式:TTLダイレクト測光式、測光範囲:ASA100・F1.2、数十秒~F16、1/1000秒、約EV-5.5~EV18(常温常湿)、TTL中央制御ストロボ連動接点付 ●手動露出(マニュアル)/測光方式:開放測光式中央重点測定、測光範囲:ASA100・F1.2付、EV1.5~EV

17 ●ファインダー/ペンタプリズム式広視野ファインダー、フォーカシングスクリーン交換可能、3段階表示切換式 ●フ

イン

ダー視

野率/実

画面に対し

て97% ●ミラ

ー/大型ミラ

●手動フィルム巻

上/小さざみ巻上可

能、巻上角150°、

予備引出角30° ●モータ

ーフィルム巻上/専用モーターユニッ

ト着脱式、最高状態時毎秒5コマ ●裏蓋/交換式、レコーダーバック1、250フィルムバック1取付可能 ●大きさ・重量/(F1.8付)136×83×81mm・690g、(ボディのみ)520g

未来を搭載。

使いやすさをきわめた縮小のフォルムに、革新的な電子シャッターを搭載。一眼レフの未来がここに。



OM-2ボディ	¥76,000
F18(50mm付)	¥94,500
F14(50mm付)	¥102,500
F12(55mm付)	¥118,500
OM-2ブラックボディ	¥80,000
別売リードケース(ストラップ・ベルト2付)	¥5,000

小型・軽量の最高級一眼レフ

●自動露出制御式電子シャッター一眼レフ ●本格的システムカメラ ●モータードライブ使用可能 ●スクリーン交換可能 ●明るく大きい広視野ファインダー ●視野率97% ●低音・低ショック機構 ●耐久性10万回 ●F1.8標準付で690gの小型・軽量化 ●モータードライブ装備のときは、アイキャップ1をご使用ください ●OM-2またはレンズのカタログは、機種名・住所氏名・年齢職業一眼レフ保有の有無をご記入の上、ハガキでどうぞ ●干ISI、渋谷区幡ヶ谷2の43の2オリンパス光学工業㈱UF係 ●お求めやすいオリンパスクレジットはCP房やマークのお店で